

埼玉県加須市

騎西城武家屋敷跡

KB4・5区

第15・26次

—中近世編—

加須市埋蔵文化財調査報告書 第6集

騎西城武家屋敷跡

KB4・5区
第15・26次
—中近世編—

加須市教育委員会

2013
加須市教育委員会

埼玉県加須市

騎西城武家屋敷跡

KB4・5区

第15・26次

—中近世編—

2013

加須市教育委員会



KB4区 完掘



同 1井 横槌 (木-16) 出土



同 1井 座繰の部材? (木-15) 出土



同 6井 漆被膜出土 (未図化)



同 7井 天目茶碗 (土-41) 出土



KB4区 7井 志野丸皿 (土-42~44) 出土



KB4区 墨書かわらけ (土-285) 出土



同 赤外線写真



同 1壙 漆碗と鉄出土 (未図化)



同 天目茶碗 (土-75) 出土



KB4区 2壙 焼土・炭化物出土



同 55・56壙 完掘



同 調査風景



同 下駄(木-1), 桶の底板(木-4) 出土



同 曲物(木-2) 出土

口絵 4



KB 4区 55・56墳 槌 (木-17) 出土



同 ザル? 出土 (未図化)



同 竹タガ出土



同 唐津鉄絵皿 (土-189) 出土

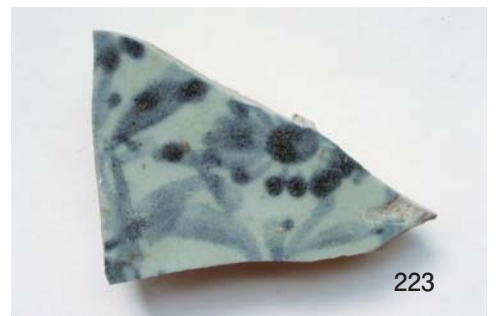


同 杓子 (木-12) 出土



口絵 6





KB4区 土器類3

口絵 8



KB5区 完掘 (南から)



同 3溝 完掘



同 2溝 瀬戸美濃端反皿 (土-355) 出土



同 漆碗出土



KB5区 14墳 遺物出土



同 かわらけ (土-432・433) 出土



355



404



441



461



464



372

KB5区 土器類1

口絵 10





第15次 A区 完掘



449



510

第15次 土器類



第26次 10墳上位面 かわらけ出土



下駄



曲物



桶の底



桶の底
木製品 1



12

杓子



同拡大



同出土時



13

箸



火打石入筒



14



15

座繰の部材？



16

横槌
木製品 2



蘇民将来符



同 出土時



漆碗



漆碗

木製品 3



槌

17



陽物形製品

18



小柄の柄

20



部材

21

木製品 4



銅製品

75

76

77

78

97

96

95

91

98

99



鉄製品



同 X線写真



取瓶

序

加須市は埼玉県北東部に位置し、利根川をはじめ多くの河川を擁する豊かな田園地帯であります。

市の南部に位置する騎西地域はその中央に延喜式内社玉敷神社が鎮座する、歴史の古い地区であります。地域には、旧石器時代から江戸時代までの遺跡が多数所在しており、近年進行する都市化にともなう開発により事前に発掘調査を実施しております。

今回の調査報告は、昭和60～平成3年に実施された根古屋地区に所在する騎西城武家屋敷跡 KB4・5区、第15・26次調査の記録であります。調査の結果、当時の堀や井戸の跡、居住した武士が使用した陶磁器など貴重な遺構・遺物が検出され、城館跡を研究する上で、騎西城の重要性を再認識することとなりました。

本報告が文化財の保護に対する理解の一助として、また郷土資料として広く活用されることを望んでおります。

最後になりましたが、調査の実施、本書の刊行に当たりまして深いご理解と多くのご協力をいただきました開発者の方々をはじめ関係各位の皆様に対しまして深く感謝申し上げます。

平成25年3月

加須市教育委員会

教育長 渡邊 義昭

例 言

1 本書は埼玉県加須市騎西地域内遺跡の発掘調査報告書である。

2 発掘調査は根古屋外川土地区画整理に先立つもので、昭和60～平成3年に実施したものである。

3 本書の刊行に際して次のように分担して作業に当たった。

- (1) 執筆 木製品 嶋村薫
ほか 嶋村英之
※基礎データ 土器類 島村範久
銭貨 坂本征男

板碑は『騎西町史考古資料編2』による。

(2) 写真撮影は現場は調査担当者が、その他は嶋村英之のもと整理協力員が行った。

(3) 出土品の整理・図版の作成は下記の指導者の下、整理協力員が行った。

指導者

土器類・木・金属・石製品の一部 島村範久

銭貨 坂本征男

ほか 嶋村英之

※木製品は嶋村薫が実測・修正した。

『騎西町史考古資料編1』掲載のものは本報告を優先する。

※板碑の拓本は『騎西町史考古資料編2』掲載のものを加工した。

4 本書の編集は嶋村英之が行った。

5 資料は加須市教育委員会が保管している。

6 整理報告に際して下記の方からご指導・ご協力をいただいた。記して感謝の意を表します。

杵名貴彦様 藤澤良祐様 山梨県立博物館

調査組織

1 発掘調査組織 調査主体者 騎西町教育委員会

担当者 各調査に記載

調査協力員

秋池角蔵 秋山ノリ子 梓澤ユキ子 網野のぶ
新井富子 飯塚剛一 五十嵐喜一郎 五十嵐清
五十嵐まさ子 五十嵐米太郎 石井たね 石坂正幸
猪股栄子 江原福太郎 岡田金之助 小川征子
小熊嘉助 小野田誠 小野田靖 梶原妙子
方波見良子 金久保清 金久保政子 川島久男
木下雅子 来須きく 小久保衛 小坂恭子
小林徳治郎 小坂忠一 小森谷アサ 斉藤年治
斉藤はる代 斉藤久夫 斉藤光良 酒巻勇
坂本一政 坂本佐一 坂本セイ 佐藤ヨシ
塩崎順子 篠塚よね 島村忠志 須永春雄
関口しげ 関口千代 関口登喜子 関口のぶ
関根長一 高鳥一郎 高原真実 田口島蔵
田口ひろみ 田口ふみ 田村源太郎 土屋トヨ
中島かづ江 内藤ふく 中根聡 根岸孝子 萩原ヨネ
橋本一雄 福島利夫 古沢繁子 細野万次郎

増田留次郎 松村重明 松村二郎 松村一枝
柳田由弘 山口保夫 山崎綾子 吉野武一
若林美知子 渡辺美幸

2 整理組織

(平成24年度) 加須市教育委員会

教育長 渡邊義昭

生涯学習部長 牛久保達三郎

生涯学習副部長 奈良邦彦

騎西教育事務所 所長 中野一成

主幹 嶋村英之

主査 坂本征男

整理協力員

秋山ノリ子 新井博子 五十嵐まさ子 石渡とみ江
石坂正幸 小川征子 小川美津子 小野田誠
小野田靖 方波見良子 加藤菊代 木下雅子
小坂恭子 酒巻勇 塩崎順子 鈴木房子 高原真実
田口ひろみ 遠井恭子 中根聡 長谷川恵
松村順子 丸山このみ 渡辺美幸

凡 例

1 本文および表について

- （ ）の数値は残存値である。
- ※は不確定な推定復元値
- 煩雑な記載を避けるため下記の通り略した。
井戸状遺構→井戸・井。□号溝→□溝。□号土
壙→□壙
- 銭貨の文字は欠損等しているが確定できるもの
は明記した。

2 挿図について

- 縮尺は以下の通りである。
遺構 土層堆積 1/40
溝断面・井戸状遺構・土壙 1/60
遺物出土 1/40・1/20
遺物 陶磁器類・木製品 1/3
金属製品 1/1~2 (銭貨 1/1)
土製品・石製品 1/2~3
石器 1/2~1/3 板碑類 1/4

- 遺構断面図の基準標高は各々に記載した。
- 遺物の図ナンバーは土器類・木製品類などの製
品毎に通しとした。
- 土層説明は土層色調/含有物の順に記載した。
略称凡例

- ※テフラ=T、ローム=L、炭化物=C、焼土=S、
酸化鉄=FE、黒褐色=BB、黒色=B、褐色=Br
- ※粒子=R、ブロック=B
- ※非常に多い=☆、多量=◎、少量=△、微量=▲、
万遍なく=万
- ※やや明るい=やや明、やや暗い=やや暗
- ※非常に軟らかい=軟度高・軟らかい=軟質・やや
軟らかい=軟度低・硬い=堅緻
- ※縮まり良し=縮良・縮まり悪し=縮悪・粘性強し
=粘強・粘性有り=粘有

目 次

序/例言/目次

第I章 遺跡の立地・環境

- 第1節 遺跡の位置……………1
- 第2節 遺跡の地理的環境……………1
- 第3節 遺跡の歴史的環境……………2

第II章 調査に至る経過……………9

第III章 調査概要と検出された遺構

- 第1節 KB4区……………11
- 第2節 KB5区……………35
- 第3節 第15次……………45
- 第4節 第26次……………51

第IV章 出土した遺物

- 第1節 土器類……………58
- 第2節 木製品類……………112
 - (1) 概要……………112

- (2) 自然科学分析……………120

第3節 金属製品……………122

- (1) 鉄製品……………122
- (2) 銅製品……………122
- (3) 銭貨……………122

第4節 石製品類……………134

- (1) 石製品……………134
- (2) 石造物……………134

第5節 科学調査……………153

第V章 まとめ

- 第1節 KB4区……………156
- 第2節 KB5区……………156
- 第3節 他調査区……………158
- 第4節 遺構の変遷……………158

引用参考文献/図版/報告書抄録

挿図目次

第1図	遺跡の位置（騎西地域）	1	第39図	土器類5（KB4）	64
第2図	周辺の微地形分類と縄文・古墳時代遺跡	3	第40図	土器類6（KB4）	65
第3図	周辺の微地形分類と城館跡	3	第41図	土器類7（KB4）	66
第4図	騎西城を取り巻く勢力図	6	第42図	土器類8（KB4）	67
第5図	各調査区の位置	8	第43図	土器類9（KB4）	68
第6図	KB4・5区・第15・26次周辺の調査	10	第44図	土器類10（KB4）	69
第7図	KB4 遺構位置図	15	第45図	土器類11（KB4）	70
第8図	KB4 遺構1	17	第46図	土器類12（KB4）	71
第9図	KB4 遺構2	18	第47図	土器類13（KB4）	72
第10図	KB4 遺構3	19	第48図	土器類14（KB4）	73
第11図	KB4 遺構4	20	第49図	土器類15（KB4）	74
第12図	KB4 遺構5	21	第50図	土器類16（KB4）	75
第13図	KB4 遺構6	22	第51図	土器類17（KB5）	76
第14図	KB4 遺構7	23	第52図	土器類18（KB5）	77
第15図	KB4 遺構8	24	第53図	土器類19（KB5）	78
第16図	KB4 遺構9	25	第54図	土器類20（KB5）	79
第17図	KB4 遺構10	26	第55図	土器類21（KB5）	80
第18図	KB4 遺構11	27	第56図	土器類22（KB5）	81
第19図	KB4 遺構12	28	第57図	土器類23（15次）	82
第20図	KB4 遺構13	29	第58図	土器類24（15次）	83
第21図	KB5 遺構位置図	37	第59図	土器類25（15次）	84
第22図	KB5 遺構1	38	第60図	土器類26（15次）	85
第23図	KB5 遺構2	39	第61図	土器類27（15次）	86
第24図	KB5 遺構3	40	第62図	土器類28（26次）	87
第25図	KB5 遺構4	41	第63図	土器類29（26次）	88
第26図	KB5 遺構5	42	第64図	土器類30（26次）	89
第27図	第15次遺構位置図	46	第65図	土器類31（土製品1）	90
第28図	第15次遺構1	47	第66図	土器類32（土製品2）	91
第29図	第15次遺構2	48	第67図	木製品1	114
第30図	第15次遺構3	49	第68図	木製品2	115
第31図	第26次遺構位置図	53	第69図	木製品3	116
第32図	第26次遺構1	55	第70図	木製品4	117
第33図	第26次遺構2	56	第71図	木製品5	121
第34図	第26次遺構3	57	第72図	金属製品1（鉄1）	123
第35図	土器類1（KB4）	60	第73図	金属製品2（鉄2）	124
第36図	土器類2（KB4）	61	第74図	金属製品3（鉄3）	125
第37図	土器類3（KB4）	62	第75図	金属製品4（銅1）	126
第38図	土器類4（KB4）	63	第76図	金属製品5（銅2）	127

第77図	金属製品6 (銅3)	128	第89図	石製品9 (磨石1)	143
第78図	金属製品7 (銭貨1)	129	第90図	石製品10 (磨石2)	144
第79図	金属製品8 (銭貨2)	130	第91図	石製品11 (磨石3・火打石)	145
第80図	金属製品9 (銭貨3)	131	第92図	石製品12 (板碑1)	146
第81図	石製品1 (石臼1)	135	第93図	石製品13 (板碑2)	147
第82図	石製品2 (石臼2)	136	第94図	石製品14 (板碑3)	148
第83図	石製品3 (石臼3)	137	第95図	石製品14 (板碑4)	149
第84図	石製品4 (石臼4)	138	第96図	科学調査箇所	153
第85図	石製品5 (石臼5ほか・砥石1)	139	第97図	黒部分のスペクトル	154
第86図	石製品6 (砥石2)	140	第98図	緑部分のスペクトル	155
第87図	石製品7 (砥石3)	141	第99図	『絵図との対照図』	157
第88図	石製品8 (砥石4)	142	第100図	遺跡の変遷	159

表目次

第1表	KB4 遺構一覧表1	30	第22表	土器類一覧表13	104
第2表	KB4 遺構一覧表2	31	第23表	土器類一覧表14	105
第3表	KB4 遺構一覧表3	32	第24表	土器類一覧表15	106
第4表	KB4 遺構一覧表4	33	第25表	土器類一覧表16	107
第5表	KB4 遺構一覧表5	34	第26表	土器類一覧表17	108
第6表	KB5 遺構一覧表1	43	第27表	土器類一覧表18	109
第7表	KB5 遺構一覧表2	44	第28表	土器類一覧表19	110
第8表	第15次遺構一覧表	50	第29表	土器類一覧表20	111
第9表	第26次遺構一覧表	55	第30表	木製品一覧表1	117
第10表	土器類一覧表1	92	第31表	木製品一覧表2	118
第11表	土器類一覧表2	93	第32表	木製品一覧表3	119
第12表	土器類一覧表3	94	第33表	木製品一覧表4	120
第13表	土器類一覧表4	95	第34表	金属類一覧表1	131
第14表	土器類一覧表5	96	第35表	金属類一覧表2	132
第15表	土器類一覧表6	97	第36表	金属類一覧表3	133
第16表	土器類一覧表7	98	第37表	石製品類一覧表1	150
第17表	土器類一覧表8	99	第38表	石製品類一覧表2	151
第18表	土器類一覧表9	100	第39表	石製品類一覧表3	152
第19表	土器類一覧表10	101	第40表	黒部分の分析結果	154
第20表	土器類一覧表11	102	第41表	緑部分の分析結果	155
第21表	土器類一覧表12	103			

図版目次

図版 1	遺構 1	KB 4 - 1	図版19	遺構19	第15次 - 1
図版 2	遺構 2	KB 4 - 2	図版20	遺構20	第15次 - 2
図版 3	遺構 3	KB 4 - 3	図版21	遺構21	第15次 - 3
図版 4	遺構 4	KB 4 - 4	図版22	遺構22	第15次 - 4
図版 5	遺構 5	KB 4 - 5	図版23	遺構23	第15次 - 5
図版 6	遺構 6	KB 4 - 6	図版24	遺構24	第26次 - 1
図版 7	遺構 7	KB 4 - 7	図版25	遺構25	第26次 - 2
図版 8	遺構 8	KB 4 - 8	図版26	土器類 1	
図版 9	遺構 9	KB 4 - 9	図版27	土器類 2	
図版10	遺構10	KB 4 - 10	図版28	土器類 3	
図版11	遺構11	KB 4 - 11	図版29	土器類 4	
図版12	遺構12	KB 4 - 12	図版30	土器類 5	
図版13	遺構13	KB 5 - 1	図版31	土器類 6	
図版14	遺構14	KB 5 - 2	図版32	金属製品	
図版15	遺構15	KB 5 - 3	図版33	石製品類 1	
図版16	遺構16	KB 5 - 4	図版34	石製品類 2	
図版17	遺構17	KB 5 - 5	図版35	石製品類 3	
図版18	遺構18	KB 5 - 6	図版36	石製品類 4・木製品	



図版作成

第1章 遺跡の立地・環境

第1節 遺跡の位置 (第1図)

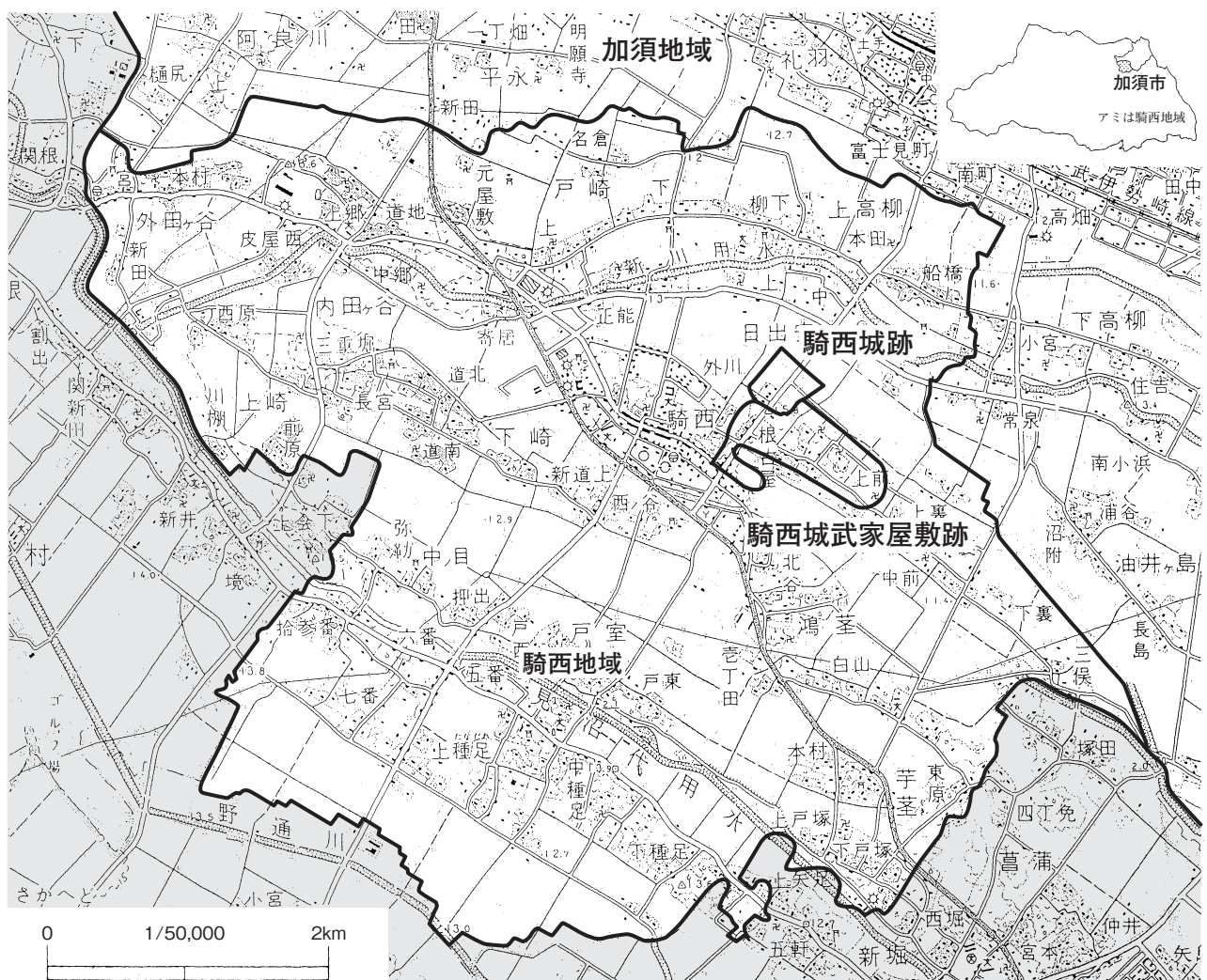
加須市騎西地域は埼玉県北東部に位置し騎西城武家屋敷跡は町のほぼ中央にある。行政上では加須市根古屋字道上・中宿・前・道下、牛重上前・中前・上裏その他に所在する。戦国から江戸時代の城跡で、昭和56年度実施の騎西町遺跡詳細分布調査や明治9年の「地引番号全図根古屋」、江戸時代に描かれた「武州騎西之絵図」などにより城の形状や武家屋敷の範囲が明らかである。遺跡の範囲は騎西生涯学習センターから南東へ1.2km、南西へ約0.5kmである。

第2節 遺跡の地理的環境 (第2図)

大宮台地の北東から南東方向には肥沃な水田地帯

である加須低地・中川低地が広がっている。加須低地には、騎西島状台地群をはじめとして笠原支台より断続的に続く埋没ローム台地がいくつか存在し、造盆地運動によって台地や低地が沈降した。その上に利根川などの氾濫による河成堆積物が堆積し、自然堤防・埋没ローム台地・後背湿地・沼沢地が形成されたものである。

現在騎西地域内で確認されている原始から近世までの遺跡は埋没ローム台地と自然堤防上に立地していると言われてきた。しかし発掘調査では、旧石器時代から奈良・平安時代の遺跡は自然堤防とされている見沼代用水両岸に位置しいずれもローム台地上に展開している。



第1図 遺跡の位置 (騎西地域)

第3節 遺跡の歴史的環境(第2・3図)

※(遺跡名)は『騎西町史考古資料編1』に準じたものである。城館跡名では不適切となるため小字による遺跡名を付け直したものである。

1 旧石器時代

約2万年前以降、ナイフ形石器や尖頭器が盛行した頃、萩原遺跡をはじめ(前)・(中宿)遺跡で該期の遺物が出土している。(前)遺跡では尖頭器及び剥片の集中箇所が2カ所確認されている。

細石刃石器群が出現した約1万5千年前以降では下崎中郷遺跡で北方系の削片、(道上)遺跡では同系の荒屋型彫刻器が出土している。

2 縄文時代

草創期に(中宿)遺跡で有舌尖頭器が見られるのみで土器は発見されていない。早期は修理山・小沼耕地・(前)・(道上)遺跡で撚糸文系土器、(前)遺跡では集石遺構が、(道上)遺跡で沈線文系土器、条痕文系は修理山・(前)・(中宿)・(道上)遺跡で土器が出土しており、特に修理山・(中宿)遺跡では炉穴が確認された。

前期では前半花積下層・関山・黒浜式土器が小沼耕地・(前)・(道上)で出土している。後半諸磯から十三菩提式期までは前半に加え萩原遺跡で諸磯式土器が、小沼耕地遺跡では県内では希少な花積下層式期の住居跡状落ち込みが検出されている。

中期前半に(道上)・萩原遺跡で五領ヶ台式・勝坂式が確認されている。後半は加曾利E式期その後半に(中宿)遺跡で柄鏡形住居・(道上)遺跡で竪穴住居が、萩原・修理山遺跡では集落が展開した。修理山遺跡では10軒の竪穴住居、萩原遺跡では数軒の住居跡と墓壙などが見つかっている。

両遺跡は後期前半堀の内期までは集落を継続し少数ながら住居跡や貯蔵穴が検出された。後半になると再び遺物のみの出土となるが萩原・中郷・(前)・(中宿)・(道上)遺跡で加曾利B～後期安行式が出土している。晩期では安行3a～3d式が修理山・町並・(道上)・(前)・(中宿)遺跡で出土している。

3 弥生時代

騎西地域内ではこのころの遺跡は少なく、中期では小沼耕地(※町史では上種足三番)遺跡で磨製石鏃が、(道上)遺跡では後期の壺や器台の破片が出土しており、中種足五番遺跡の絵画土器や小沼耕地遺跡の土器片は弥生時代終末期から古墳時代初頭のものである。

4 古墳時代

古墳跡は小沼耕地遺跡※で6～7世紀の前方後円墳1基・円墳5基が確認されている。また、(内田ヶ谷中郷)遺跡で勾玉や埴輪片、(前)遺跡の埴輪片や隣接する(中宿)遺跡の切子玉、さらにその周辺で出土したと伝えられる石棺部材(町内の玉敷神社所在)等からこれらの地域にも古墳が所在していたものと考えられる。また、集落は前期の住居跡が小沼耕地遺跡・(中宿)遺跡、中期の住居跡が萩原遺跡、後期の住居跡は萩原遺跡・(道上)遺跡・(中宿)遺跡で確認されており、なかでも萩原遺跡は地域内屈指の集落遺跡である。そのほかにも古墳時代の土師器が中種足五番遺跡・観音堂遺跡から出土し集落の所在を予想させる。他に古墳時代前期の方形周溝墓が修理山遺跡・小沼耕地遺跡で確認されている。

以上のように現在遺跡が確認されている台地には古墳及び集落がそれぞれ所在するものと考えられる。

※町史の上種足三番遺跡を含む

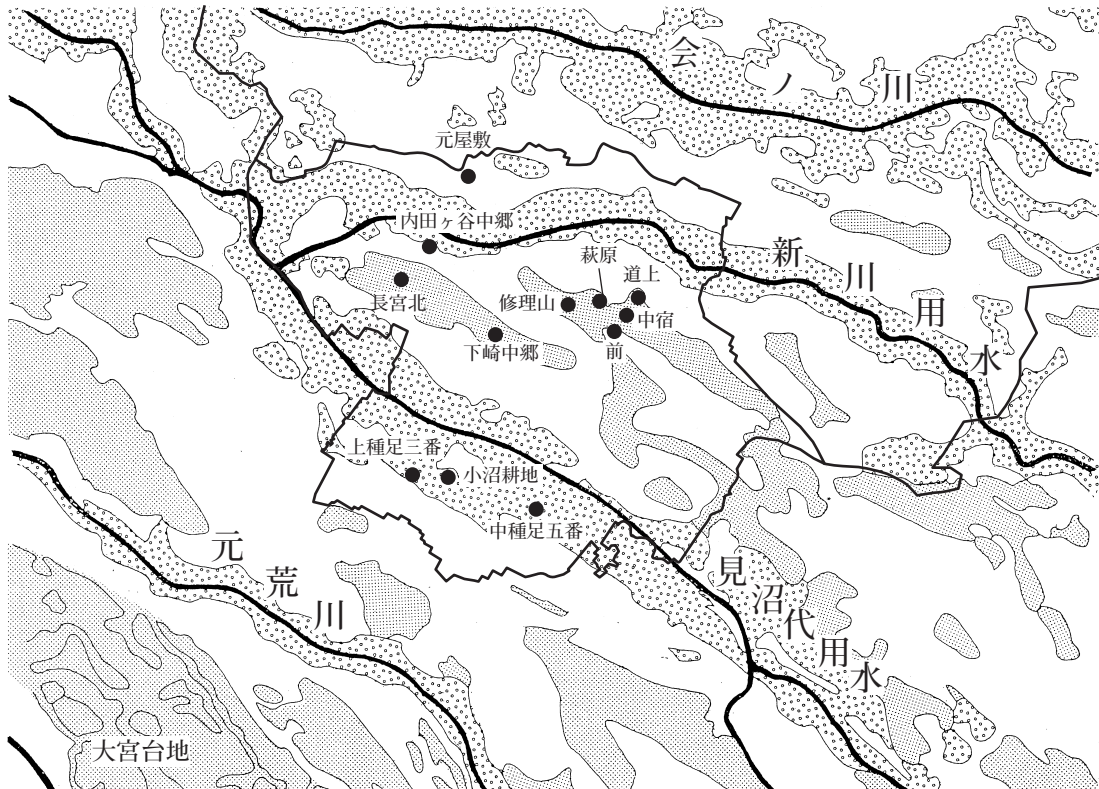
5 奈良・平安時代

住居跡が確認されているのは(道上)遺跡・上種足三番遺跡で8世紀代のものである。下崎中郷遺跡では湖西産とみられる須恵器が、観音堂・中種足五番遺跡で須恵器や土師器が、(中宿)遺跡では小金銅仏が出土している。元屋敷遺跡では墨書土器や瓦が出土している。

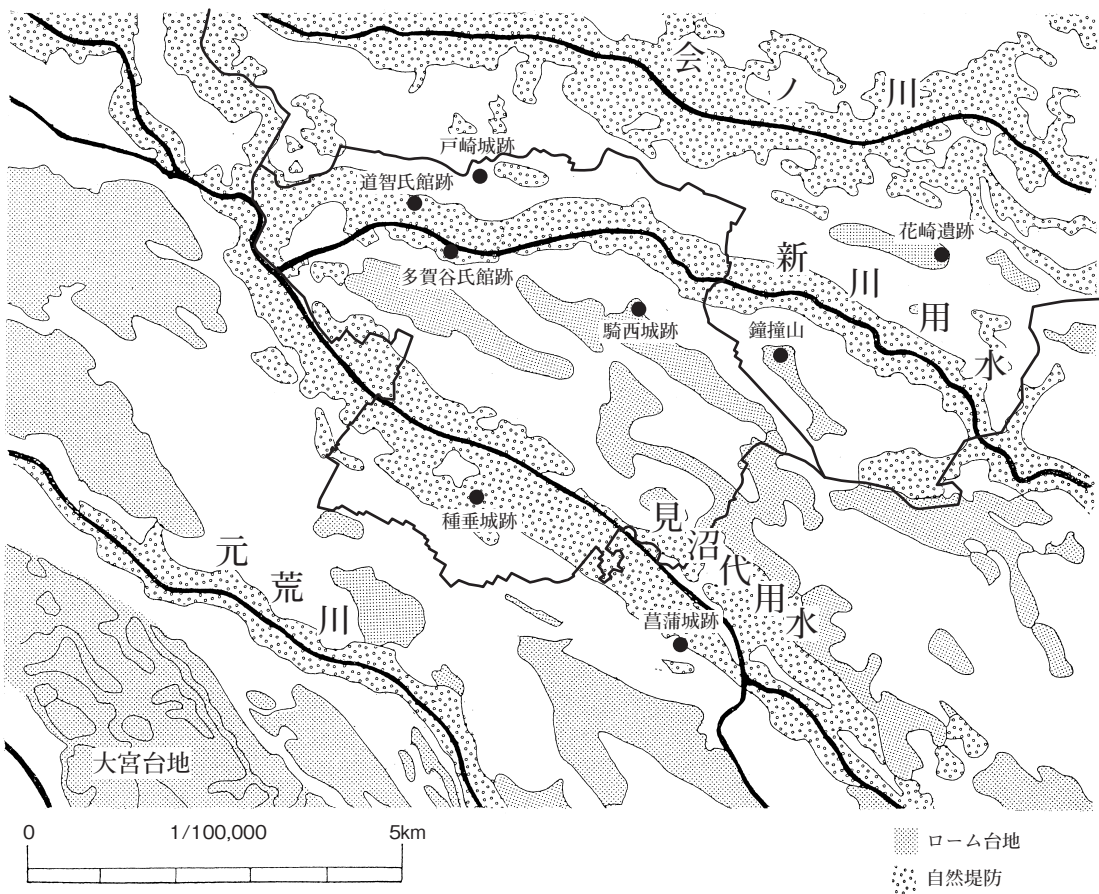
6 中近世

騎西地域内には平安末から鎌倉時代にかけて武蔵武士野与党の道智氏・多賀谷氏が館を構えたといわれる。

多賀谷氏館は内田ヶ谷の大福寺を中心にあったものと思われ、建久元年(1190)多加谷小三郎が源頼朝の上洛の随兵を、建長3年(1251)多賀谷弥五郎



第2図 周辺の微地形分類と縄文・古墳時代遺跡



第3図 周辺の微地形分類と城館跡

重茂が鎌倉由比ヶ浜での御弓始の射手を務めている『吾妻鏡』。永享年間（1429-41）初め頃に結城に移ったといわれる多賀谷光義は敬神の念厚く郭内に稲荷明神を勧請した『多賀谷旧記』。発掘調査では館跡の東端で、溝から12～14世紀の同安龍泉窯系青磁碗・常滑広口壺が出土しており、ほぼ中央大福寺の北で、土壙から12～13世紀の同安龍泉窯系青磁とともに刀身先端や鉄鏃が出土している。

道智氏館は、道地の成就院周辺で建久元年（1190）道智次郎が源頼朝の上洛の随兵を務め、承久3年（1221）の宇治橋の合戦では道智三郎太郎が討ち死にしている『吾妻鏡』。発掘調査では館跡のほぼ中央で13～14世紀の龍泉窯系青磁が、西端で12～13世紀の龍泉窯系青磁などが出土している。

種垂城跡は、上種足種垂城址公園から東へ広がり百石・シロンチ（城の内？）等の地名が残る。雲祥寺縁起には騎西城主小田顕家が養子の助三郎（忍城主成田親泰の子）に家督を譲り種垂村に隠居したという。発掘調査では、溝・井戸・土壙・火葬跡を検出し、漆碗・小柄や13～17世紀の陶磁器類が出土している。

隣接する**旧三番遺跡**（現小沼耕地遺跡）では、溝・土壙・井戸・集石墓が検出されており、12世紀の白磁水注・13世紀の龍泉窯系青磁・常滑甕・在地の蔵骨器・箆状木製品が出土している。

小沼耕地遺跡では県埋蔵文化財調査事業団の調査で、掘立柱建物跡・基壇状遺構・溝・井戸などが検出され、12～13世紀を主体とする陶磁器類が出土している。種足は、中世前半の弘安10年頃（1287）伊賀光清が所領としており、また応永24年（1417）に日英上人が種垂の講演御堂（布教道場）等の講演職を弟子に任せている。三番・小沼耕地遺跡の成果はそれらに関わるものとも思われる。

南方の中種足五番遺跡では12～13世紀の龍泉窯系青磁や15～16世紀の染付、13～17世紀の古瀬戸・常滑・在地の陶磁器類が出土している。

戸崎城跡は『新編武蔵風土記稿』に戸崎右馬允居跡なりとある。また、『吾妻鏡』に戸崎右馬允国延が寿永3年（1184）源頼朝の御前の射手となるとある。発掘調査では土壙跡や13世紀の鉢や17・18世紀

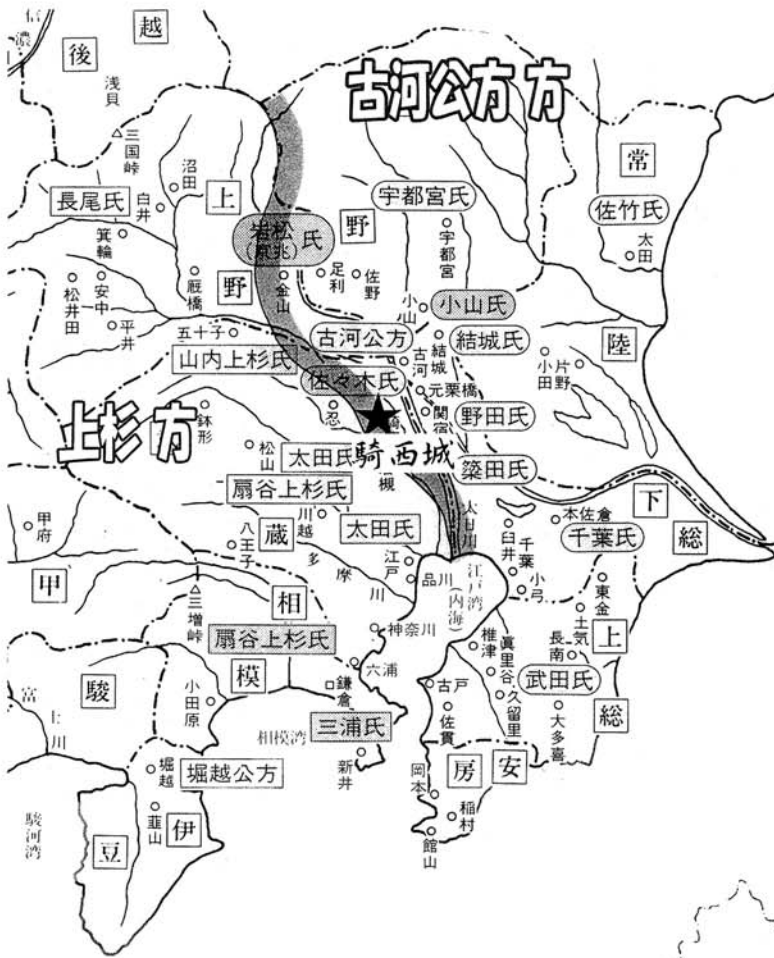
の陶磁器類が出土している。

騎西城（騎西城周辺年表参照）は文献や江戸初期の『武州騎西之絵図』など城の絵図が遺る。遺構は現在土壙跡が僅かに残るだけであるが、昭和55年から80次を超えて発掘調査されており、主に土地区画整理に伴い城郭部や武家屋敷跡西部の成果が顕著である。これまでに溝400条・土壙1600基・井戸状遺構200基・障子堀5ヶ所・橋跡4ヶ所が確認されている。遺物は戦場及び生活の場として武器武具・生活・生業・信仰・流通に関する多様なものが出土している。特に水位が高いことから木製品の遺存がよい。武器武具では、兜・前立・刀装品・鉄鏃・火縄挟み・弾丸・馬甲・轡・四方手・野沓・腰刀・薙鎌など、生活品では、下駄・鏡・竪杵・鉄鍋・桶・漆碗・杓子・折敷・火打金・天目茶碗・湯釜・将棋の駒など、生業では、砥石・紡錘車・鋏・溶解炉・鋳型・埴塙・金粒付着土器など、信仰では護符・呪符・舟形・位牌・銅鏡・数珠など、流通では金・袋入り銭貨・荷札などがある。年代を比定できる陶磁器は12世紀から19世紀にかけてのもので、主体は16～17世紀前半である。瀬戸美濃をはじめ中国染付・唐津・志戸呂・初山・在地産かわらけ・ほうろく・播鉢などがある。

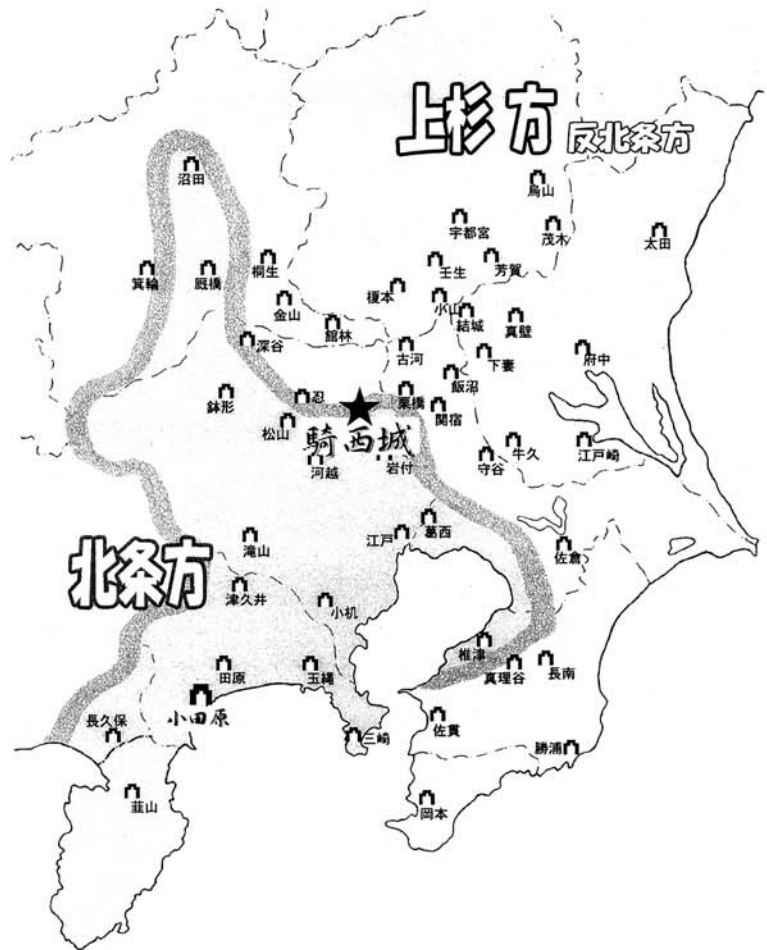
このほかに、日出安の保寧寺中世墓址では、大量の川原石や板碑、12～14世紀の常滑の甕・壺、13世紀の布目瓦が出土している。墓域の成立は中世前半に遡るものか。また、下崎の道南遺跡で工事の際1978枚の北宋銭が出土している。

騎西城周辺年表

- 康正元年（1455） 足利成氏、崎西郡（騎西城）に集結する上杉勢（上杉・疋鼻和など）を攻略する
- 文正元年（1466） 足利成氏、南多賀谷（田ヶ谷）と北根原（鴻巣市）で上杉勢と合戦に及ぶ
- 応仁元年（1467） ★応仁の乱
- 文明3年（1471） 上杉方に対峙する足利成氏の戦略配置に私市（騎西）の佐々木氏あり
- 文亀2年（1502） 騎西城主小田顕家、上会下（鴻巣市）・雲祥寺を復興。忍城（行田市）主成田親泰の子助三郎家時を娘婿とし騎西城を譲り、自らは種足村に隠居する
- 天文8年（1539） 騎西城主小田顕家没、雲祥寺に葬られる
- 天文12年（1543） ★鉄砲伝来
- 永禄3年（1560） 長尾景虎（上杉謙信）関東の北条方諸城を攻略。騎西城主小田助三郎、兄の忍城主成田長泰と共に景虎の小田原攻めに参加する
- 永禄4年（1561） 長泰、鶴岡八幡宮で上杉政虎（謙信）に辱めを受け、北条方となる。助三郎も同様
- 永禄6年（1563） 北条氏康・武田信玄連合軍が松山城（吉見町）を攻略。報復に上杉輝虎（謙信）、騎西城を攻略
- 永禄12年（1569） 上杉と北条の講和成立（越相同盟）。上杉方は武蔵北部を支配
- 天正2年（1574） 上杉謙信、羽生・関宿城を救援。騎西・古河・栗橋・館林・菖蒲・岩槻城を焼き払う
- 天正3年（1575） 小田大炊頭、古河公方への年頭の挨拶を行う
- 天正4年（1576） 騎西城主成田泰喬、家臣に知行を行う
- 天正6年（1578） 小田大炊頭、足利義氏に年頭の挨拶。謙信没
- 天正18年（1590） ★徳川家康、関東へ入国。松平康重に騎西城2万石を与える
- 天正19年（1591） 松平康重大英寺を開基、日出安・保寧寺に田畑1町歩を寄進する
- 慶長元年（1596） 康重、朝鮮出兵のため騎西領民を召し連れる。根古屋・金剛院、日出安から移転する
- 慶長4年（1599） 松平康重の奥方、城内にて死去、大英寺に葬る
- 慶長5年（1600） ★関ヶ原の戦い
- 慶長7年（1602） 大久保忠常、騎西城2万石を拝領する
- 慶長8年（1603） ★徳川家康、江戸に幕府を開く
- 慶長11年（1606） 騎西藩の家臣、領内（正能村）を検地する
- 慶長16年（1611） 忠常病死。子の忠職、父の遺領騎西城2万石を拝領する
- 慶長19年（1614） 大久保忠隣改易となり小田原・羽生城を没収、騎西城主忠職は閉門に処せられる
- 寛永4年（1627） 大久保忠職、久伊豆大明神に社領を寄進する
- 寛永9年（1632） 騎西城廃され、代官所置かれる



享徳の乱初期の関東
(1454～)



氏康 × 謙信の頃の関東
(永禄・天正年間)

『古河公方展』古河歴史博物館
『中世・下町再発見』葛飾郷土と天文の博物館
掲載の図を改変

第4図 騎西城を取り巻く勢力図

騎西城周辺の歴史的経過（年表・第4図参照）

当遺跡では濃密ではないが中世を通して遺物が出土している。12世紀代の常滑甕、舶載白磁、渥美製品、また古瀬戸陶器等が見られる。騎西城以前にも集落・館等が存在していたようである。

【享徳の乱】

文献では騎西城は、康正元年（1455）に初出し寛永9年（1632）年廃城となり姿を消す。享徳の乱では、関東公方足利成氏が古河に移り、関東管領上杉氏と対峙する。その争いの中に崎西郡を舞台として争う場面がある。これが騎西城とされる。残念ながら現在のところ当該期に相当する遺構は確認されていない。だがこの時期に騎西城の前線基地としての重要性は格段に高まり、戦闘の拠点としての城の整備がされたものと思われる。関東管領家臣の太田道灌が岩付城・河越城・江戸城の防衛ラインを張ったとき騎西城はすでに古河方の足場として機能していたのではないだろうか。

【永禄・天正期の軍事的緊張】

また、永禄から天正年間にかけての後北条氏対上杉謙信の覇権争いにおいても境の城であった。騎西城は何度となく厳しい立場に追い込まれている。特に謙信が関東の足掛かりとした羽生城を間近にしており、2度の戦火を被っている。

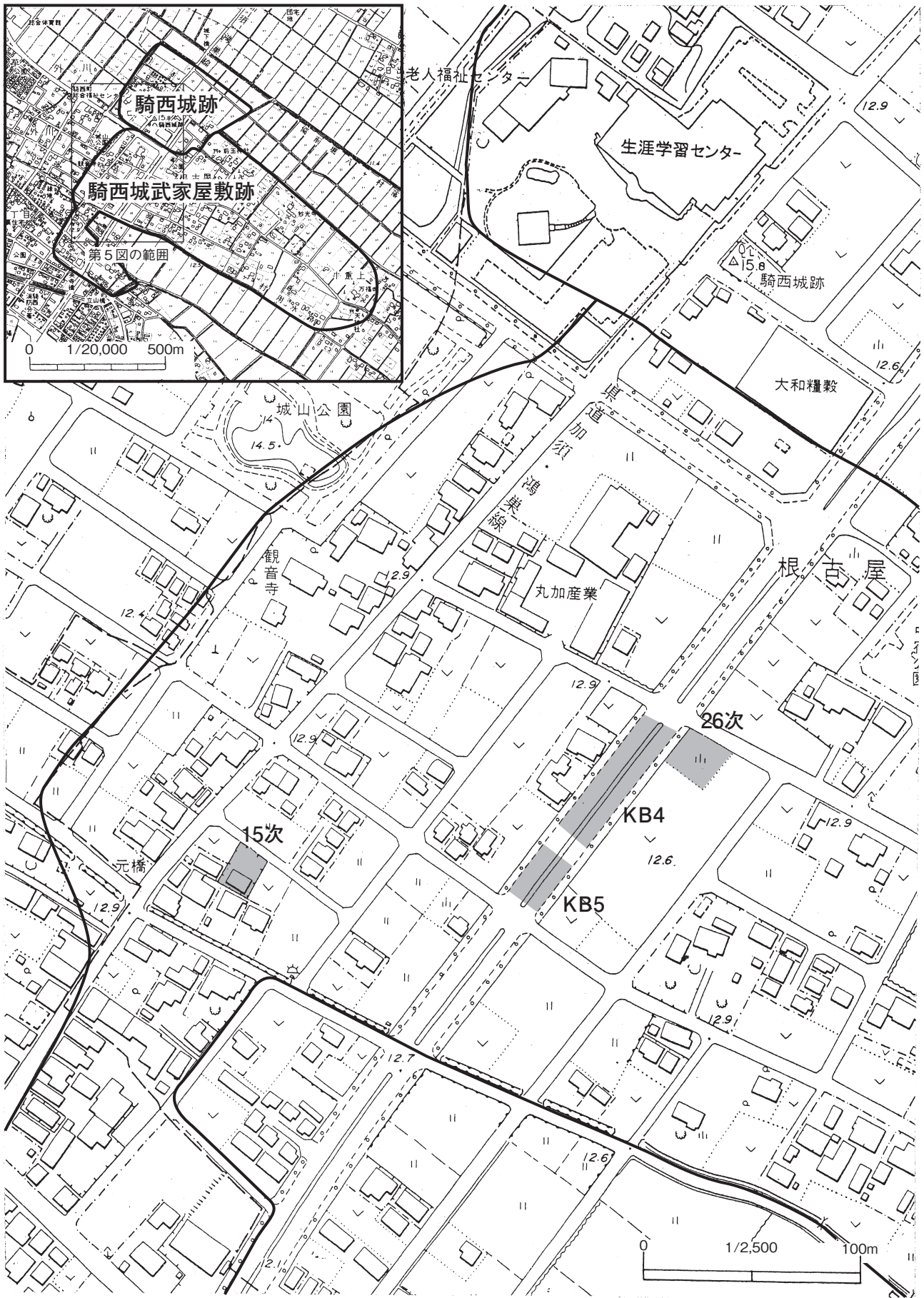
文献では、永禄6年、北条氏康・武田信玄が松山城を包囲したが、その救援に間に合わなかった謙信は攻める方向を転じ騎西城を陥落したとされる。その後、謙信は武田信玄との敵対関係から後北条氏との和睦（越相同盟）を成し、しばし平安であった。しかし北条氏康没後、甲相同盟の復活によりまた北条・上杉の合戦が再開された。天正2年には謙信が羽生・関宿城援護のため出陣し、古河・栗橋・菖蒲・岩槻城とともに騎西城を焼き討ちにしている。

当該期の遺物・遺構は豊富で、城郭部周辺の障子堀（KB15区・私13次）から炭化物・遺物が多量に出土している。これらはこの頃の戦火に伴う戦後処理のものと思われる。

【秀吉の小田原攻めと家康の関東入封】

豊臣秀吉が小田原城を攻めたとき、忍城も石田三成に水攻めを受けている。騎西城も備えとして城の拡張・改良を行っているものと思われる。特に城郭部を巡る障子堀を二重にしたり、堀幅を広くしたのはこの時期の可能性がある。

その後家康が関東に入り、騎西城には松平康重、大久保忠常・忠職が藩主となっている。その際に城郭部の縮小や城下の再編成を行っているものと思われる。実際『武州騎西之絵図』に載る御蔵屋舗には外側に障子堀を備えており、戦乱時は城郭部であったことを物語っている。



第5図 各調査区の位置

第Ⅱ章 調査に至る経過

旧騎西町は首都圏50km圏内に位置し、急激な人口の増加に伴う開発が見込まれていた。それに対し計画的な都市整備の一環として大字根古屋及び外川において土地区画整理事業が計画されていた。

町教育委員会では昭和56年度に実施した町内遺跡群分布調査によって町内に15ヶ所の遺跡が所在することを確認しており、とくに区画整理対象区域に所在する騎西城については小田原市に所蔵されていた『武州騎西之絵図』と対照すると南側に江戸初期に武家屋敷が広がっていたことが明らかとなっている。さらに昭和54年に実施した騎西城跡の城郭部の発掘調査では、和鏡や武具など城の存在を実証しその内容を具体的に明らかにしたものであった。僅かに残る土塁や水田と畑地に見られる郭の形など遺存状態は良く、地下に埋蔵される遺構は特に期待されるも

のであった。

しかしながら、長年の懸案であった根古屋・外川地区土地区画整理事業は町の重要施策で計画の中止及び変更は困難な状況であった。

そこで町教育委員会では町部局と協議を重ねた結果、区画整理施工に先立ち破壊される道路分について順次発掘調査を実施することとした。また、区画整理により発生する保留地についても町が原因者として発掘調査をすることとした。

文化財保護法に基づき騎西町から埋蔵文化財発掘通知、騎西町教育委員会から埋蔵文化財発掘調査通知を文化庁長官に提出した。

調査は昭和58年2月9日（私2次）から開始し、平成7年（第48次）までの13年に亘るものであった。今回の報告は、調査実施区域の南側を主とするもので調査名ではKB4・5区、第15・26次である。

調査名	所在地（大字根古屋）	文化庁通知番号		
KB4区	字前127・1261他	S60. 5. 24	60委保記第2-761号	道路
KB5区	字前112・113他	S58. 12. 15	58委保記第3710号	道路
第15次	仮換地39街区2画地	H 2. 5. 21	2委保記第5-707号	保留地（住宅）
第26次	仮換地50街区1画地	H 4. 4. 8	3委保記第5-6308号	保留地（住宅）



写真撮影



第6図 KB4・5区・第15・26次周辺の調査

第Ⅲ章 調査概要と検出された遺構

第1節 KB4区

(1) 調査概要

調査担当 指導課 島村範久 主事嶋村英之

調査期間 昭和60年2月1日～

昭和60年9月10日

調査面積 960㎡

調査の経過

KB5区の北に位置する調査区をKB4区とした。掘り下げは、確認面まで浅く表土から人力により行った。遺構確認面は黒色土～ローム層とした。調査はKB3区と一部並行して行なった。4区の南・中央部を先行して表土を削除し遺構を確認した。その後排土置場であった北端も同様に行なった。さらに遺構調査に移った。降雨による滞水・湧水などが調査の支障となるため、側溝を掘り下げ水中ポンプにより排水した。包含層中の遺物は測量・写真撮影し取り上げた。中央部溝・土壙が密集する地区はトレンチ・ベルトを多用し重複関係等を確認しながら慎重に調査した。特に上下に重複する55・56壙については特徴的な遺物が出土するため、出土状態に注意して丁寧に調査した。

また、遺構の延長を確認するため調査区北側を西に、中央部を東側に拡張した。

遺構等の実測及び遺物の取り上げは方位北に合わせ10m方眼にグリット設定し、その杭を基準とした。遺構の図化は調査区全体は平板測量により、各遺構は任意に設定した水糸を基準としてメジャーにより実測した。

遺物の検出を想定し、各井戸の覆土を洗浄した。その際蘆民将来符が出土した。

最後に縄文時代遺構検出のため精査を行った。その際、諸磯・加曾利E・大洞式等の土器片が確認された。グリット杭設置及び基準杭の標高は測量業者に委託した。

周辺の調査 (第6図)

東方にKB7区、北接してKB10区、西方にKB8区、南接して5区がある。4区北側の東に第26次

がある。

KB7区では南側にクランクする1号溝が走行し兜の前立や竹束が出土している。KB10区ではコの字状に巡る1辺50mの溝や密集するピット、50基を超える井戸状遺構が、5区では1辺25mを計るコの字あるいはL字状に溝が巡る。8区では溝が南端と北側で確認された。

(2) 遺構と遺物

【溝状遺構】

溝は総数19条を数える。調査区の南側に多く東西方向に走行するものが多い。大規模なものは南端の2号溝が東西に、他は幅60cm前後の小さなものが多い。

1号溝 南にあり、東西方向に走行する。幅45cm 深さ16cmを計る。小規模な溝である。出土遺物は肥前磁器(土-3～6)などがある。

2号溝 調査区南端に位置し東西方向に走行する。幅424cm(残存) 深さ118cmを計り東端では底面は幅210cmで平坦である。覆土中に腐食土層を含む。上方から見ると中央北側の底面部分にテラス状に張り出しが残り深い部分が南側に寄る。出土遺物は瀬戸美濃の白天目茶碗(土-11)・かわらけ(土-15)・取瓶(土-680)である。白天目は破砕していた。鉄製品では継手状金具(金-2)がある。桶の底(木-5)・漆椀片・クリの皮7点・ウリ科?の種子20点・骨がある。

3号溝 南にあり南北方向に走り2・4・1溝と重複しその先は不明である。鉄鏃(金-25)が出土する。1・4壙より古い。

4号溝 南半分にあり調査区を斜めに南北に縦走する。他の遺構と軸を異にする。幅は110cm 深さ26cmである。出土遺物は瀬戸美濃の天目茶碗・端反皿(土-19・20)がある。17溝・3井・5壙より古い。

5号溝 志野丸皿(土-21)・鞆の羽口(土-681)が出土している。

8号溝 煙管(金-71)が出土した。

9号溝 中央部溝集中部にあり東西方向に走行し10・15溝と並行する。幅54cm 深さ24cmと小規模であるが、中程(エレベーションGライン)に幅80cm

程のオーバーハングして膨らむ堰状の掘り込みが設けられる。かわらけ(土-27)・ほうろく(土-28)が出土した。

10号溝 南にあり9溝と平行する。幅90cm 深さ34cmである。西側は幅160cmで、15溝と合流しているか。常滑甕(土-29)・かわらけ(土-288・295)・ほうろく(土-30・31)、内外黒漆の漆椀・石錘?(石-43)が出土した。

11号溝 骨出土。

12号溝 かわらけ(土-34)・粉挽臼(石-4)が出土した。

13号溝 スラグ35g 出土。

15号溝 南にあり10溝と平行する。幅36cm 深さ14cmである。

【井戸状遺構】

総数24基を数える。調査区中央から北部にまとまる。全て素堀で平面形は円形か楕円形である。規模は多くは直径100cm前後で1・2・5・9号井戸は直径150cmを超える大きなものである。深さでは1・4・7・21号井戸は170cmを超える深いものである。また特に特徴的なのは壁面に足掛かりが設けられているものがある。1・3・6・12・14号井戸。7井では志野丸皿が復元完形で2点出土した。

1号井戸 中央にあり、直径150cm 深さ172cmを計る。壁面やや上位に20cm角の窪みを有する。2カ所あるが隣接する位置である。足掛けか。桶の底板(木-3)・座繰?の部材(木-15)・横槌(木-16)が出土している。

2号井戸 中央にあり1井に隣接する。直径178×144cm 深さ140cmである。ほうろく(土-35・36)・茶臼(石-6)出土した。

3号井戸 中央西にあり、壁面中位に16cm角の窪みが対向して設けられる。スラグ92g 出土。

4号井戸 中央東にあり、直径114cm 深さ176cmを計り深い。8溝より新しい。

5号井戸 中央西にあり、直径160cm 深さ130cmを計る。中国青磁鉢(土-37)・瀬戸美濃稜皿(土-38)・竹籠・板碑・スラグ12gが出土した。

6号井戸 中央北東にあり7井と隣接。直径100cm

深さ164cmを計る。大窯3期の瀬戸美濃の天目茶碗(土-39)が出土。蕪民将来符(木-19)は覆土の洗浄により確認した。板碑(石-133)・板材・不明炭化種子が出土した。7井より古い。

7号井戸 中央北東にあり6・8・9井と隣接する。直径102cm 深さ174cmを計る。瀬戸美濃志野丸皿(土-42~44)・天目茶碗(土-41)、志戸呂筒碗(土-45)が出土。4破片の志野丸皿は水平にまとまって出土した。祭祀が行われたものか。43は接合完形であるが2分割している。底部外面に墨書「二良? =郎」がある。44は完形。他に煙管(金-46)・磨り面のある板石(石-79)が出土した。17世紀初め頃か。ほかに金箔貼漆膜片出土。

8号井戸 中央北東にあり7井と隣接する。直径88cm 深さ103cmである。スラグ12g 出土。

9号井戸 中央北東にあり7井と隣接する。直径150×128cm 深さ148cmである。板材・桃の種5点・炭化麦15粒・不明炭化種子が出土した。

10号井戸 上層にロームブロック層堆積。スラグ240g 出土。瀬戸美濃丸皿(土-47)・板碑(石-141)出土した。

11号井戸 在地火鉢(土-51)が出土。

12号井戸 北に位置し21井と隣接する。直径106×80cm 深さ102cmと浅い。壁面中位に窪みを有する。

13号井戸 北中央に位置し、直径140×126cm・深さ134cmである。中国白磁碗(土-53)・かわらけ(土-54・55)、箸?(木-13)・不明炭化種子・スラグ15gが出土した。

14号井戸 中央北西に位置し15井と隣接する。直径100×74cm 深さ128cmである。瀬戸美濃稜皿(土-56)・かわらけ(土-57)、桃の種2点・不明炭化種子30粒出土した。

15号井戸 中央北西に位置し14井と隣接する。直径114×88cm 深さ122cmである。小柄の柄(木-20)・粉挽臼(石-7)、桃の種2点・梅の種2点・不明炭化種子が出土した。

16号井戸 炭化麦・スラグ80g 出土。

17号井戸 瀬戸美濃天目茶碗(土-58)・スラグ145gが出土した。

18号井戸 北の西端に位置し、直径98cm 深さ80cm

と浅い。青磁蓮弁文皿（土-60）・瀬戸美濃天目茶碗（土-61）・志戸呂片口（土-64）・礫・炭化麦が出土している。

19号井戸 炭化粟出土。

21号井戸 棒状製品（木-24）・桃の種1点・炭化麦が出土。

22号井戸 中央西にあり、直径108cm 深さ135cm を計る。中国輪花皿（土-67）、板材・最下層で陽物形木製品（木-18）・炭化麦が出土。

【土壇】

84まで振ったが欠番により総数77基を数える。長方形で浅いもの、方形に近く浅いもの（41・48）、やや大型であるもの（55・56）、大型のもの（3・6・64・65・77）がある。

1号土壇 南に位置し、東西に走行する2号溝と溝群の間にある。

数基の土壇の重複のように見えるが覆土第2層は縦横に堆積しており北西の円形の落込以外は1つの土壇として扱う。西辺は3号溝を切り立ち上がる。平面長方形で860（残存）×336cm 深さ42cm である。多数のかわらけ（土-93~142）・うち「三」と墨書されたかわらけ（136）が出土。分布状況（図-14）については、1壇は完掘平面図を検討するといくつかの遺構により構成しているように見えるが、かわらけの属性に特にまとまりが見られない。ただし、器高がやや低く、騎西城の中では当該期のまとまった資料である。土器類では他に瀬戸美濃の天目茶碗（土-74・75）・鉄絵皿（土-81~83）・志野丸皿（土-80）・志戸呂香炉（土-91・92）が、鉄製品では壺金？（金-3）・火打金（金-4）・筭？（金-20）・弾丸（金-24）・環状製品（金-30・31）・銭貨（金-118・119）、銅製品では煙管雁首（金-47~52）・吸口（金-72）・刀装具？（金-78）・弾丸（金-79）・銭貨（金111~117）が出土している。ほかに環状鉄製品内に漆碗が出土した。

（未図化・口絵2）。土器類の年代は17世紀前半までのものが多い。磨石（石-90~92）・スラグ155g 出土。

2号土壇 北側の北西に位置し、平面不整円形で100

cm×96cm で深さ22cm。土壇内に全面で炭化材と焼土・焼骨が出土した。炭化材は2本並置されていた。火葬施設か。

3号土壇 南の西端に位置し、平面隅丸長方形で420cm（残存）×138cm で深さ40cm と深い。長軸は東西方向。志戸呂香炉（土-147）が出土。

4号土壇 南の中央に位置し、平面不整形で65cm×52cm で深さ28cm。ほぼ全面に焼土・炭化物が分布する。1壇より新しい。

6号土壇 南の西端に位置し、平面長方形で502cm（残存）×300cm（残存）で深さ46cm と深い。長軸は東西方向、3溝と併行重複する。

10号土壇 中央ほぼ中央に位置し、平面円形で直径65cm で深さ68cm と井戸に比べ小規模で浅い。瀬戸美濃縁釉小皿（土-149）が出土している。

12号土壇 スラグ4g 出土。

14号土壇 在地の挿鉢（土-150）・スラグ160g 出土した。

23号土壇 スラグ20g 出土。

27号土壇 焼骨出土。

33号土壇 スラグ25g 出土。

34号土壇 北の北東部に位置し、平面円形で直径98×80cm で深さ85cm で10壇と同様の規模形態である。スラグ3g 出土。

41号土壇 北の北端にあり、42壇と一部重複している。平面長方形で248cm×210cm・深さ55cm で、覆土上層に炭化物・焼土粒子を多量に含む。遺物が多数出土し、瀬戸美濃の天目茶碗（土-153）・豆皿（土-154）・志戸呂徳利（土-155）・かわらけ（土156~161）・在地香炉（土-165）がある。かわらけは遺存状態の良いものが多く、159・161の内面は黒色の付着物がある。ほかに鞆の羽口（土-683）がある。磨石（石-95・96）・スラグ33g 出土。

42号土壇 瀬戸美濃の天目茶碗（土-166）・完形のかわらけ（土-167）・小札（金-21）・スラグ165g が出土した。

47号土壇 焼土・炭化物・焼骨が出土した。墓壇か。

48号土壇 北端に位置し、平面方形で212cm×255cm で深さ45cm と41壇に形態・規模が類似する。

底面スス付着？のかわらけ出土。瀬戸美濃丸皿（土

－169)・かわらけ(土－170～172)・ほうろく(土－173・174)・銭貨(金－124～126)が出土している。

49号土壙 塊状の礫(デイサイト)に砥面を有する砥石(石－80)が出土した。

52号土壙 瀬戸美濃の天目茶碗(土－176)・縁釉小皿(土－178・179)、下層で漆?付着の粉挽臼(石－17)が出土した。

53号土壙 金箔貼漆膜出土。

55・56号土壙 南側東寄りにある。土層堆積等の観察により(図化前に崩壊)、断面ロート状の上部を55壙・下部を56壙とした。ただし、遺構名をつけて取り上げた遺物は整然と分離できない。そのため、55・56壙として扱う。55壙は平面楕円形で壁面は緩やかに立ち上がる。330cm(残存)×320cm・深さ132cmである。56壙は平面楕円形で壁面はほぼ直上する。遺物は取上時の遺構名と分布の図上復元とを対比すると混在している。そのため一括して扱う。土器類では完形の瀬戸美濃の丸皿(土－185)・志野丸皿(土－184)・遺存率の高い唐津皿(土－189)・かわらけ(土－186・187・190・191)が、木製品では下駄(木－1)・曲物の側板(木－2)・桶の蓋板(木－4)・漆塗り杓子(木－12)・竹タガ・竹籠・槌(木－17)・加工材(木－23)・丸棒材、ほかに桃の種6点・ウリ科種子、板状の緑泥石片岩に砥面が残る砥石(石－78)が出土した。スラグは63g出土。小柄(金－19)はF－6G4T出土で当遺構出土か。

57号土壙 スラグ45g出土。

65号土壙 南の西端に位置し、平面長方形で396cm(残存)×244cmで深さ55cmと深い。長軸は東西方向。瀬戸美濃の天目茶碗(土－193)・かわらけ(土－195)・ほうろく(土－196)・刀装具の縁(金－76)が出土した。

69号土壙 北端に位置し、平面隅丸長方形で454cm(残存)×94cmで深さ38cm。長軸は東西方向。中央に段を有し重複の可能性あり。かわらけ(土－198～201)・ほうろく(土－202・203)・火打金(金－5)が出土。土－199は完形、198・201は1/2以上遺存している。

70号土壙 スラグ18g出土。

77号土壙 板材出土。

遺構外出土遺物

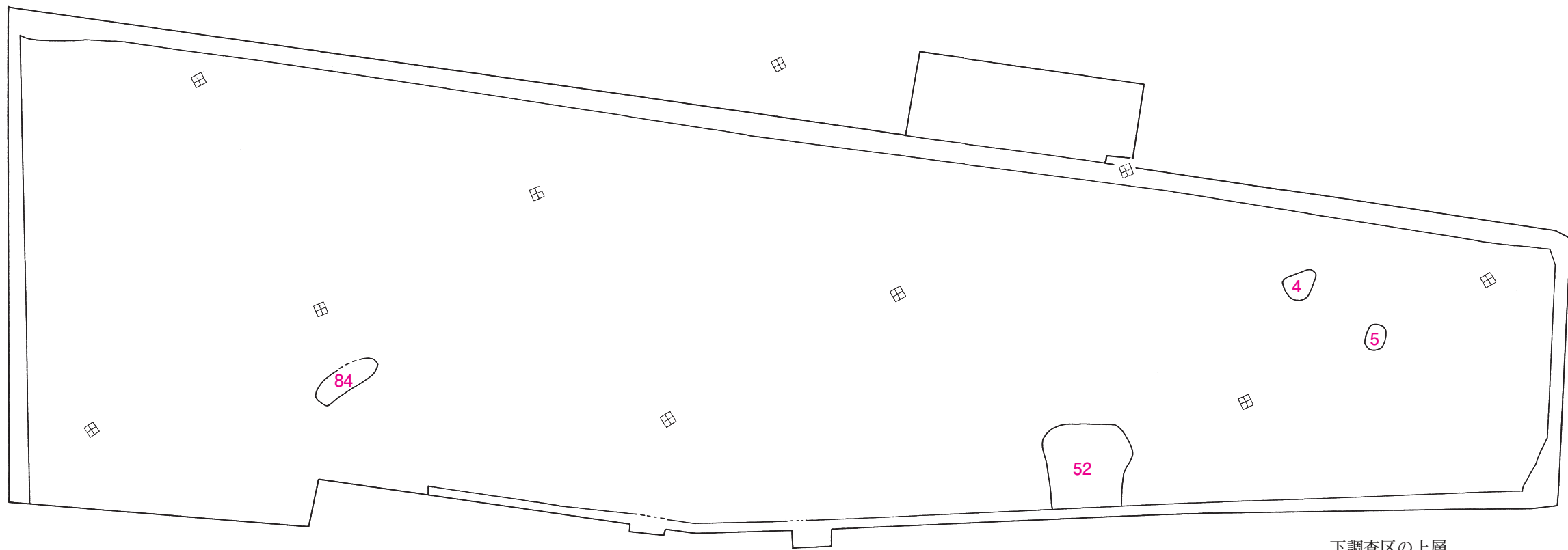
陶磁器類では、中国産青磁・白磁・染付、瀬戸美濃碗皿がある。特に瀬戸美濃稜皿(土－252)・丸皿(土－255)・丸碗(土－239)は1/2以上の遺存である。

在地産ではかわらけ・ほうろく・土鍋・播鉢・香炉(土－340・341)がある。かわらけには底面に墨書があるもの(土－285・287)があり285は「黒やなぎ」と読むか。

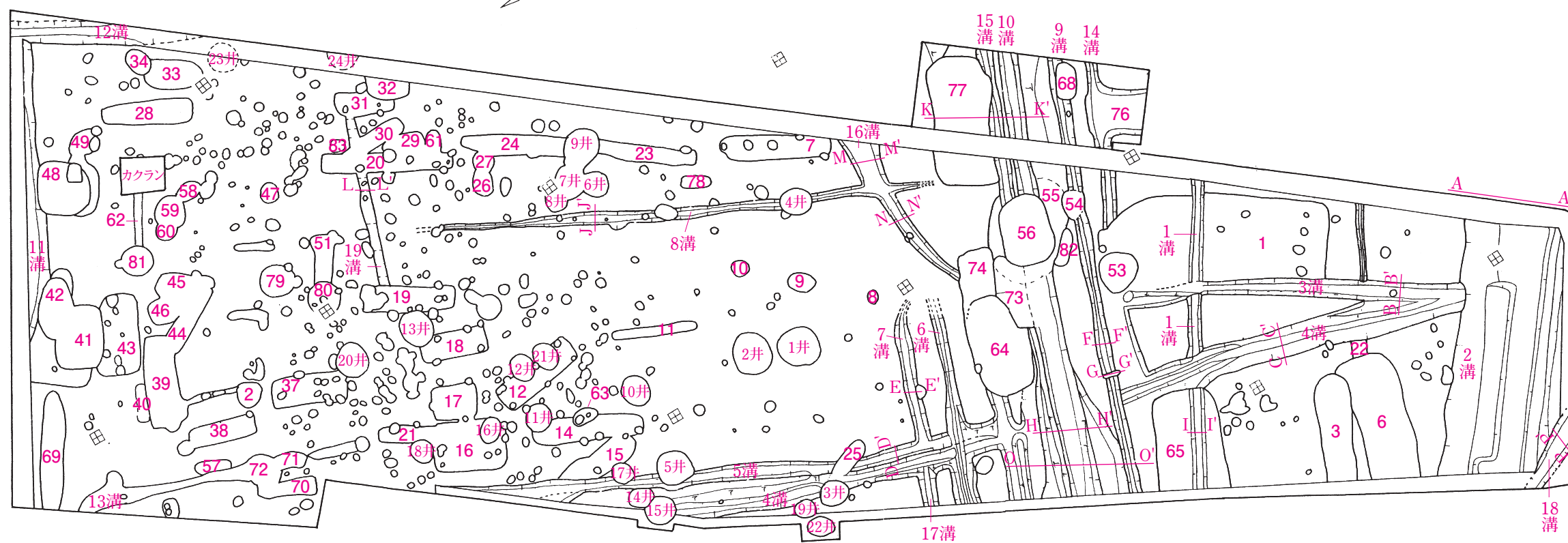
木製品では火打石が収容された竹筒(木－14)がある。

金属製品では毛抜き(金－1)・火打金(金－6・7)・小札(金－22・23)・鉄鏝(金－26・28)・煙管雁首(金－53～59)・切羽(金－77)・弾丸(金－81～88)・小柄(金－95)・渡来銭など、石製品では粉挽臼・茶臼・砥石・磨石・板碑などである。

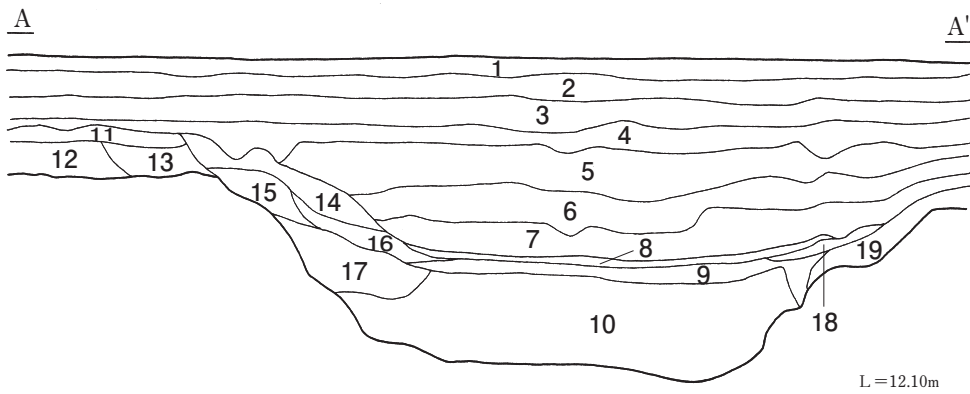
スラグはH－8Gで165g・H－9Gで395g・H－10Gで5g、G－5Gで108g・G－6Gで156g・G－9Gで885g・G－8Gで140g・G－10Gで165g、F－5Gで32g・F－6Gで182g出土しており、調査区北端のH及びG－9Gに集中が見られる。一括で635g出土。



下調査区の上層



第7図 KB4遺構位置図



2号溝 (A 東側)

○2 溝 (東側) セクション

- 1 耕作土
- 2 暗灰褐色 / T◎、FER◎ 縮良
- 3 暗灰褐色 / T・FER (こげ茶色) ◎、CR・C▲ 縮良
- 4 暗灰褐色 / T◎、FER (こげ茶色) △、CR・C▲ 縮良
- 5 暗灰褐色 / T・LR・SR・C▲ 縮良
- 6 暗灰褐色 / LB (ハード) △、LR・FER◎ 軟質
- 7 灰褐色 / LR・LB◎ 軟質
- 8 灰褐色 / LR・FER◎ 万 軟質
- 9 黒紫褐色 / 腐食土・C△ 軟質
- 10 濃緑褐色 / LB (下層多)、C・LR▲ 軟度高
- 11 暗灰褐色 / LR▲、FER△ 縮良
- 12 黒褐色 / FER△ 軟質
- 13 暗灰褐色 / FER・BBR◎、LR△ 軟質
- 14 暗灰褐色 / FER◎、LR▲ 軟質
- 15 灰褐色 / LR・FER△ 軟質
- 16 灰褐色 / FER・LR▲ 軟質
- 17 灰褐色 / FER◎、LR・BBR△ 軟度高
- 18 灰褐色 / FER△ 軟質
- 19 灰褐色 / FER・LR◎ 軟度高

土層説明凡例

色調 / 含有物

- テフラ = T
- ローム = L
- 炭化物 = C
- 焼土 = S
- 酸化鉄 = FE
- 黒褐色 = BB
- 黒色 = B
- 褐色 = Br
- 粒子 = R
- ブロック = B

非常に多い = ☆

多量 = ◎

少量 = △

微量 = ▲

万遍なく = 万

やや明るい = やや明

やや暗い = やや暗

非常にやわらかい = 軟度高

やわらかい = 軟質

やややわらかい = 軟度低

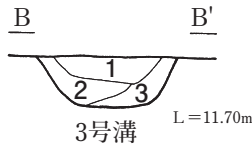
かたい = 堅緻

縮まり良し = 縮良

縮まり悪し = 縮悪

粘性強し = 粘強

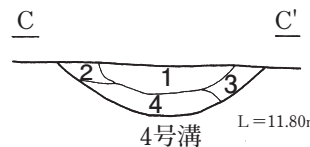
粘性有り = 粘有



3号溝

○3 溝セクション

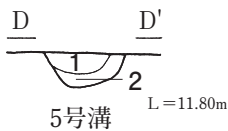
- 1 暗灰褐色 / 赤褐色 (FE) R◎T▲ 縮良
- 2 暗灰褐色 / 赤褐色 (FE) R◎LR△ 上層より軟質
- 3 暗灰褐色 / FER・LR◎ 軟質



4号溝

○4 溝セクション

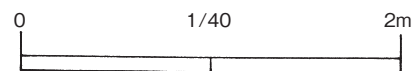
- 1 暗灰褐色 / T FER◎、C▲ 縮良
- 2 暗灰褐色 / LR FER△、縮良
- 3 茶褐色 / LB (ソフト) 軟質
- 4 暗灰褐色 (1層より灰色味強) / FER LR◎ 軟質



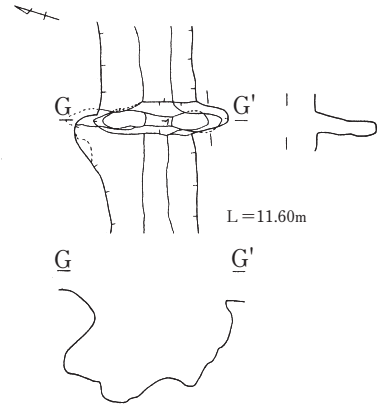
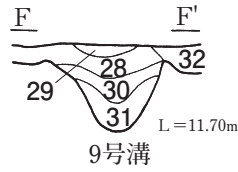
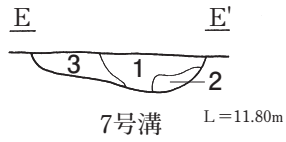
5号溝

○5 溝セクション

- 1 暗灰褐色 / FER◎、LR▲ 縮良
- 2 褐色 / LR◎ 縮良

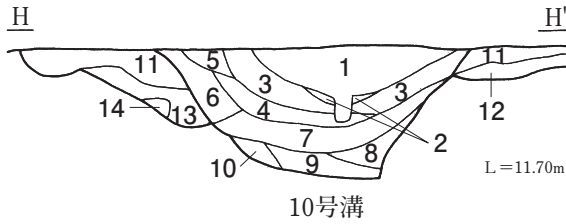


第8図 KB4 遺構1

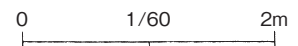
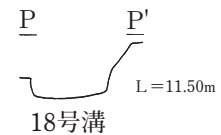
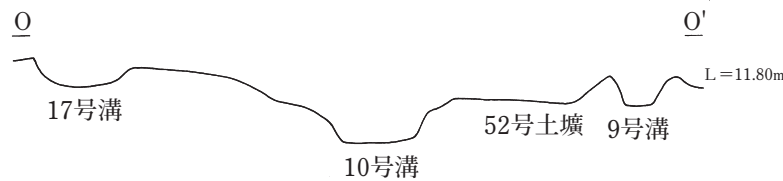
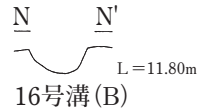
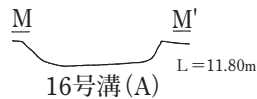
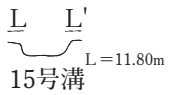
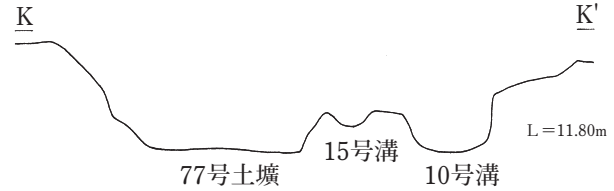
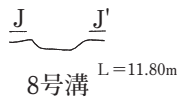
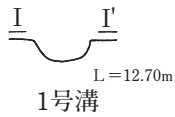
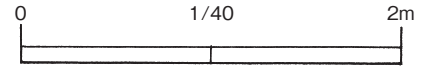


- 7 溝セクション
 1 暗灰褐色/LR、T▲ 締良
 2 黄褐色/LB (ソフト) 軟質
 3 暗灰褐色/LR T▲ 締良 →7 溝 } 1P

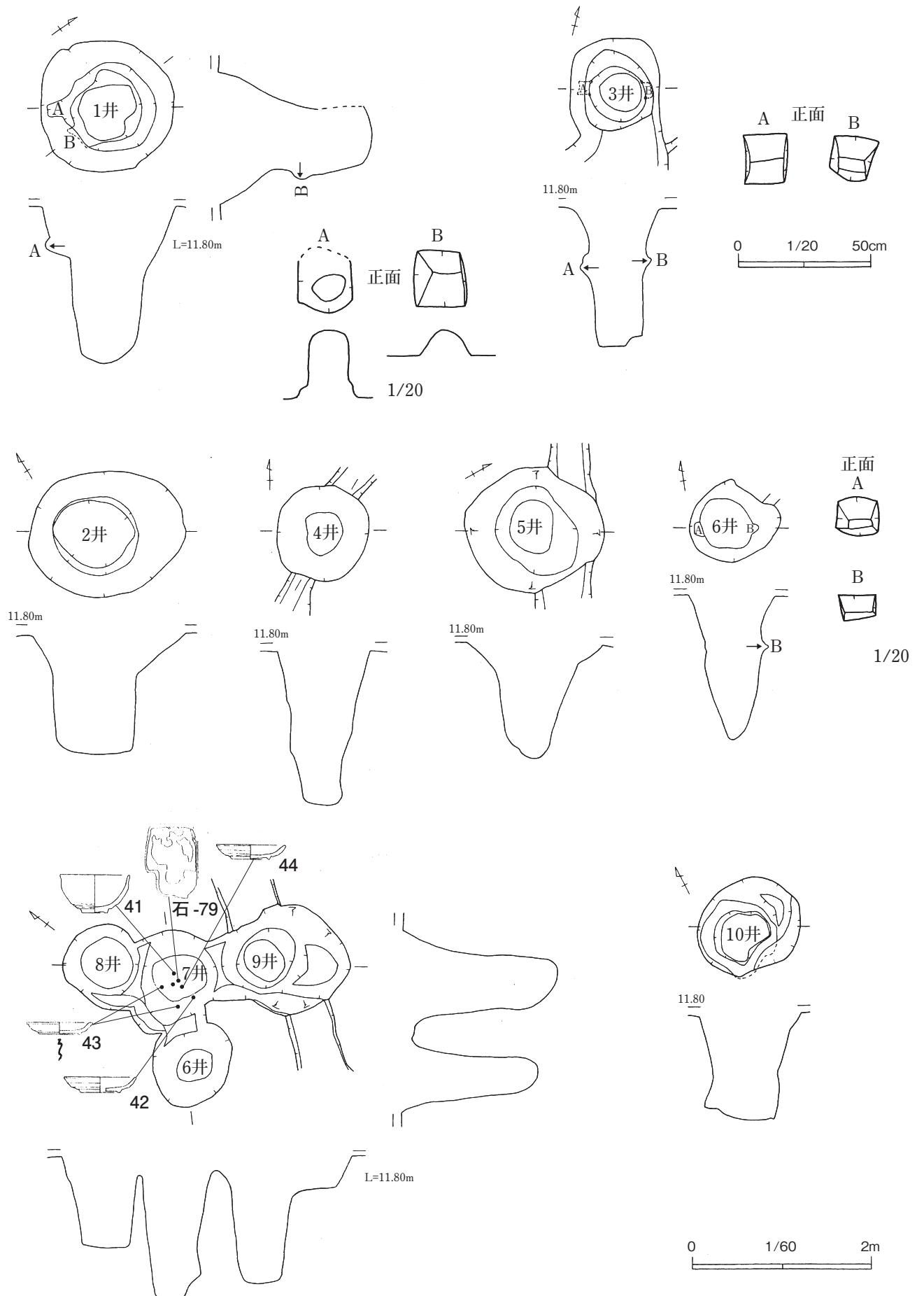
- 9 溝セクション
 28 暗灰褐色/ FER・灰白色粘土R△、T▲ 締良
 29 暗灰褐色/LR◎ 締良
 30 灰白色粘土/ FER◎、暗灰褐色B△ 締良
 31 暗灰褐色/ FER☆・LB 締良
 32 黄褐色/LR・FER△ 締良



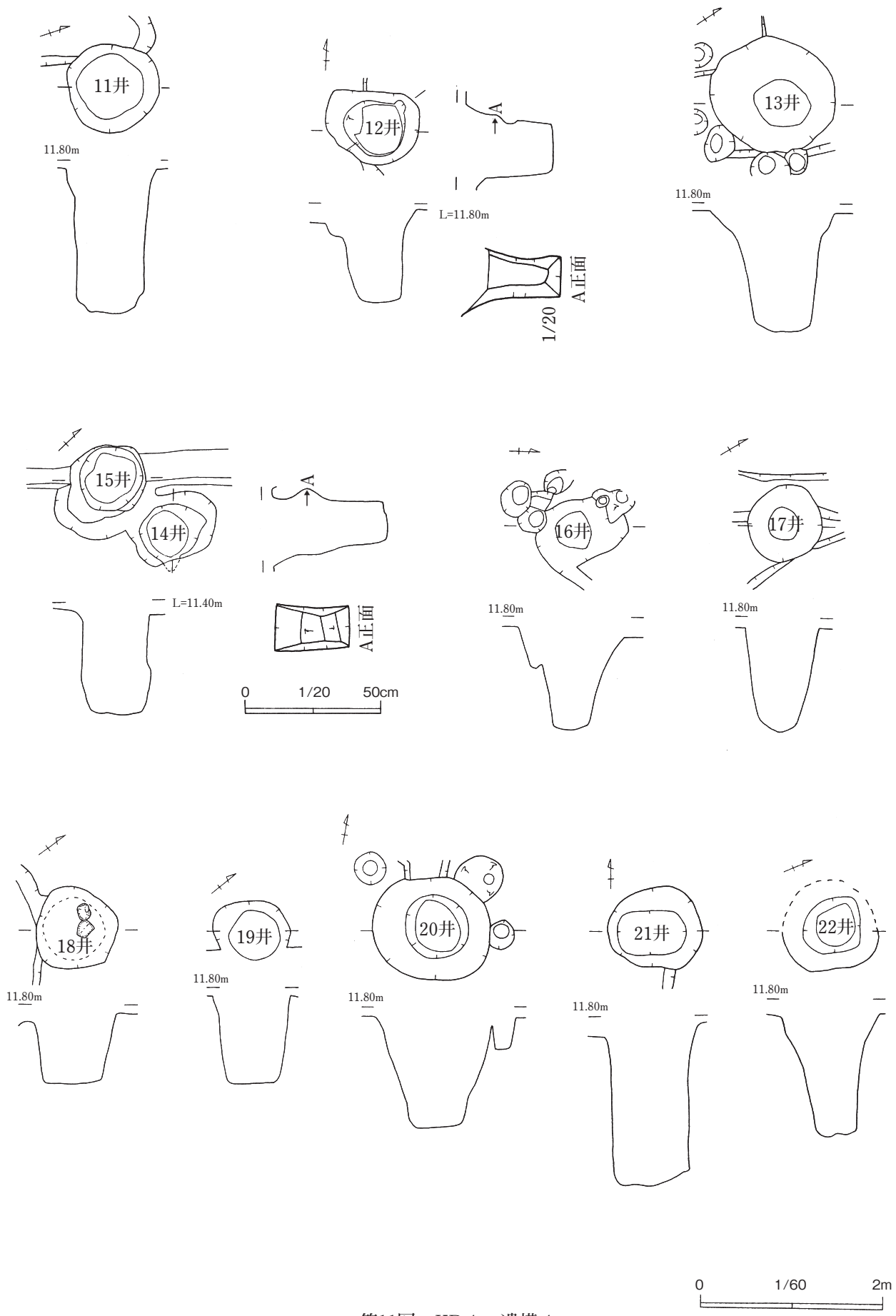
- 10 溝セクション
 1 暗灰褐色/S△、C◎、T△、FER△、LB▲ 締良 堅緻
 2 暗灰褐色/LR、FER△ 軟質
 3 暗灰褐色/LR、FER△、C、S▲ 軟質
 4 暗灰褐色 (3層より色調強) /LR、FER△ 軟質
 5 暗灰褐色 (2層に似る) /FER◎ 締良 堅緻
 6 暗灰褐色/ FER、LR△ 軟質
 7 暗灰褐色 (4層より灰色味強) /LB、FER△ 軟質
 8 黄褐色/LB (ソフト) 主体、FER、LR△ 軟質 粘強
 9 灰黒褐色/LR▲ 軟度高
 10 暗灰褐色 (7層に似る) /LB◎ 軟質
 11 暗灰褐色/ FER◎、LR△、T 締良
 12 暗灰褐色 (11層より灰色味強) /FER◎、LR△
 13 暗灰褐色 (11層より灰色味強) /FER◎、LR△ 締良
 14 黄褐色/LB (ソフト) 主体 軟質



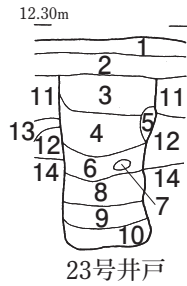
第9図 KB4 遺構2



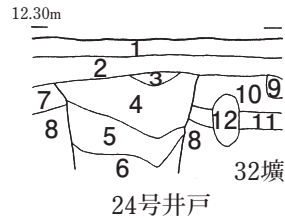
第10図 KB4 遺構3



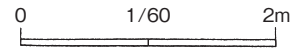
第11図 KB4 遺構4



23号井戸



24号井戸



○23井セクション

- 1 耕作土
- 2 暗灰褐色/T◎・LR、C△ 堅緻
- 3 暗灰褐色/T、LR C△ 堅緻
- 4 暗灰褐色/C、FER△、T LR SR▲ 締良
- 5 暗灰褐色/LR FER△ 軟質
- 6 暗灰褐色 (上層より色調暗) /FER◎、C△ 比較的締良
- 7 暗灰褐色/暗灰褐色土B (6層よりやや明)
- 8 灰黒褐色/FER LR△ 軟質
- 9 灰黒褐色/LR▲ 軟度高
- 10 灰黒褐色/FER LR・LB (ハード) △ 上層よりやや堅
- 11 暗灰褐色/LR・T△、C▲ 締良 堅緻
- 12 L層
- 13 暗灰褐色/FER◎ 灰色土B△ LB△ 締良
- 14 B、B
※ 8層より下層に従い暗くなる

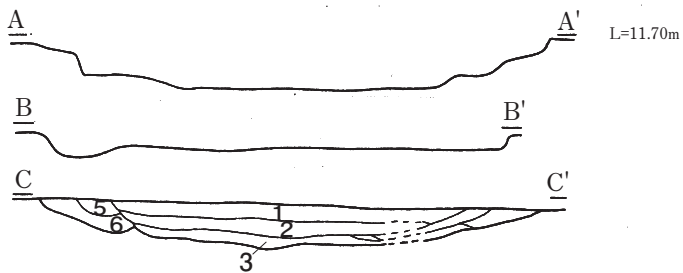
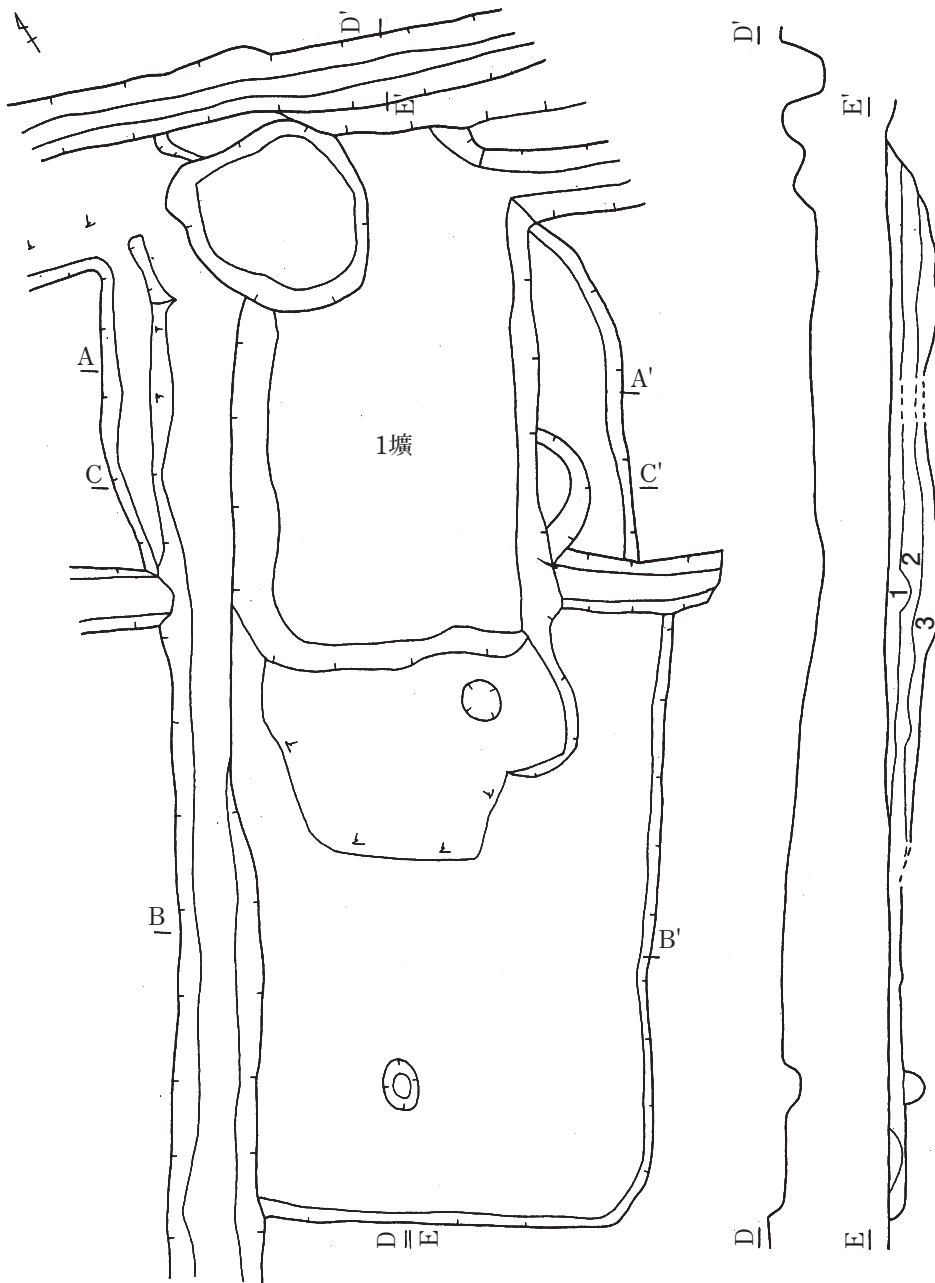
○24井セクション

- 1 耕作土
- 2 暗灰褐色/T◎、C、SR△ 締良 堅緻
- 3 暗灰褐色/C、SR、灰、LR△、T▲ 締良 堅緻
- 4 暗灰褐色/C、LB、FER△ 締良
- 5 暗灰褐色/LB (ハード・ソフト) ◎ 締良
- 6 暗灰褐色/LB△、FER△ 軟質
- 7 黒色褐色/LB (ソフト) 軟質
- 8 L層
- 9 暗灰褐色 (上層より灰色味強) /C、FER、T △ 締良 堅緻
- 10 暗灰褐色/T、LR△ 締良
- 11 暗灰褐色/LB (ソフト) △、FER、BBR◎ 締良
- 12 暗灰褐色/FER◎、LR△ 締良 →ピット

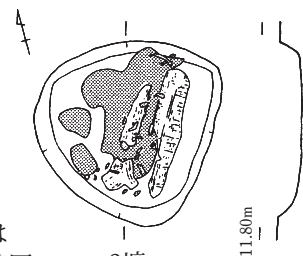
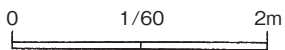
第12図 KB4 遺構5



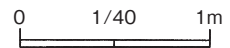
井戸覆土の洗浄



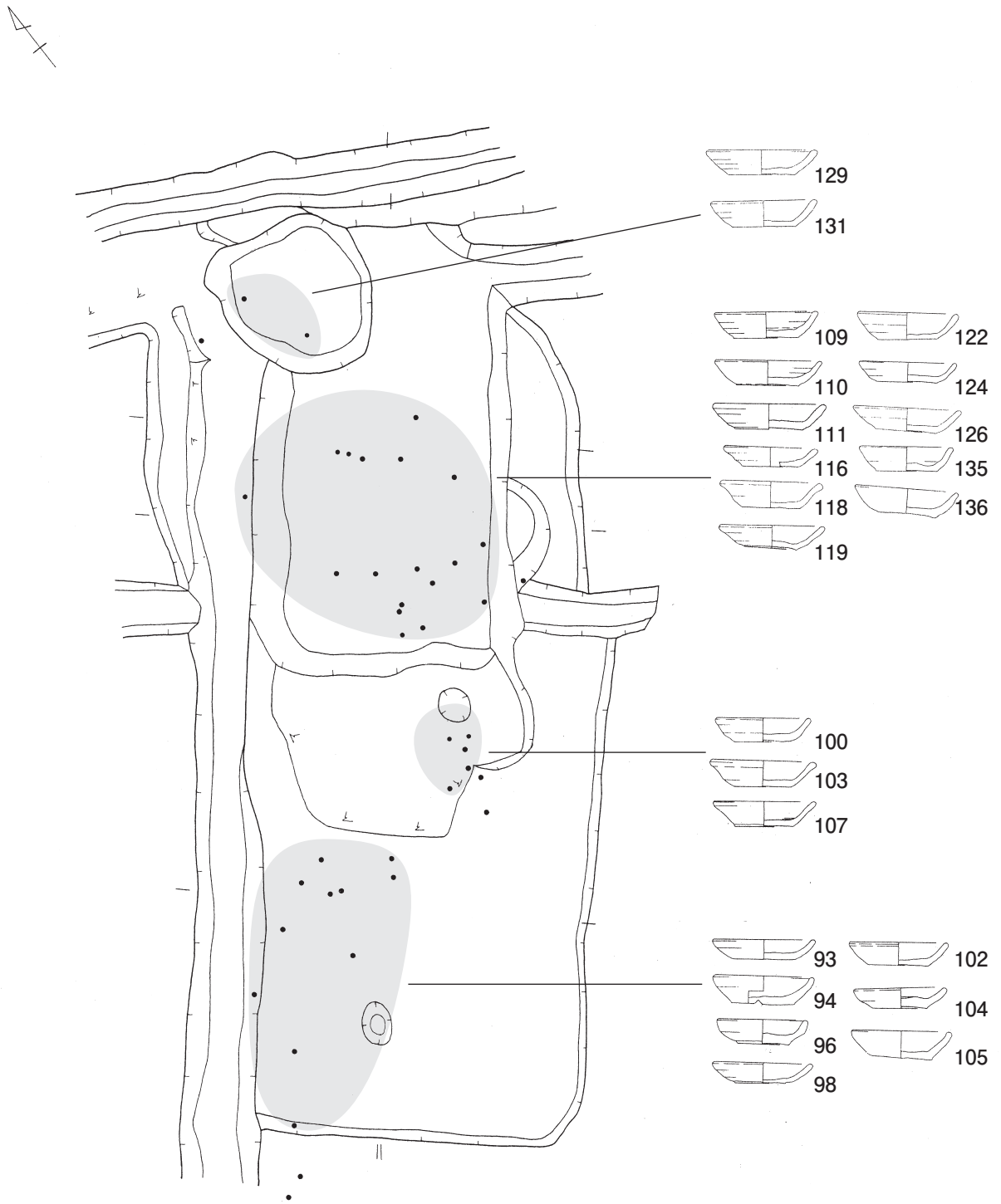
- 1 壙セクション
 1 暗灰褐色 / T○、C・SR、LR、暗褐色R 縮良
 2 暗灰褐色 (1層より暗) / C、SR○ LR、T△
 3 黄褐色 / LB (ソフト)、LR (ソフト・ハード)、Br R
 5 灰褐色 (黄色味を帯びる) / LR、LB (ソフト) 縮良
 6 暗灰褐色 / LR、LB (ソフト)、黒色土B 縮良



※アミは
焼土範囲

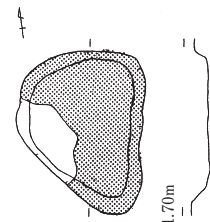
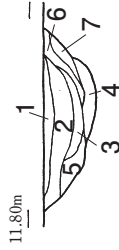
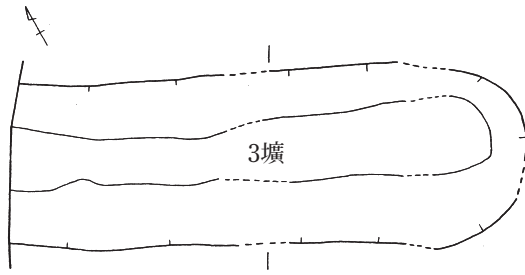


第13図 KB4 遺構6



1号土壇かわらけ出土状況(完形~1/2)

第14図 KB4 遺構7

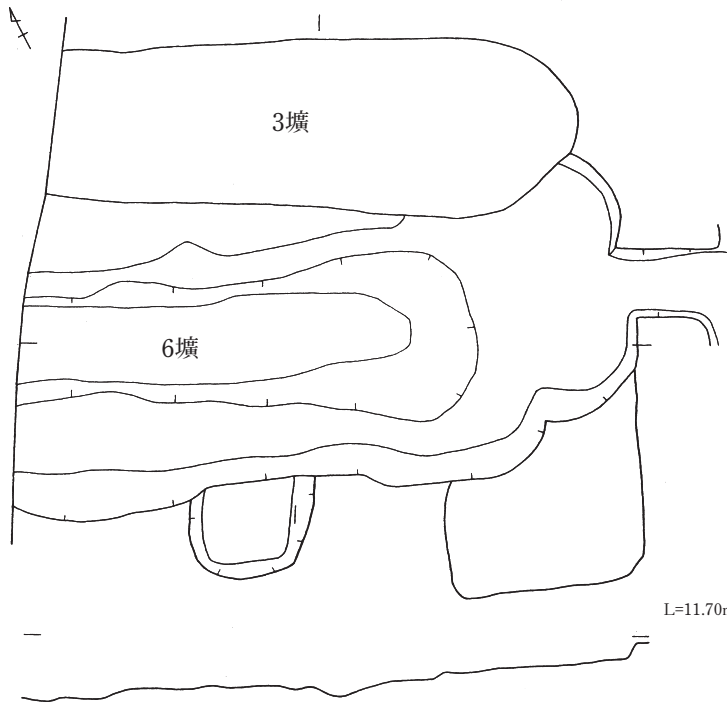


4壙

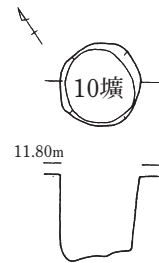
※アミは焼土・炭化物の範囲

○3壙セクション

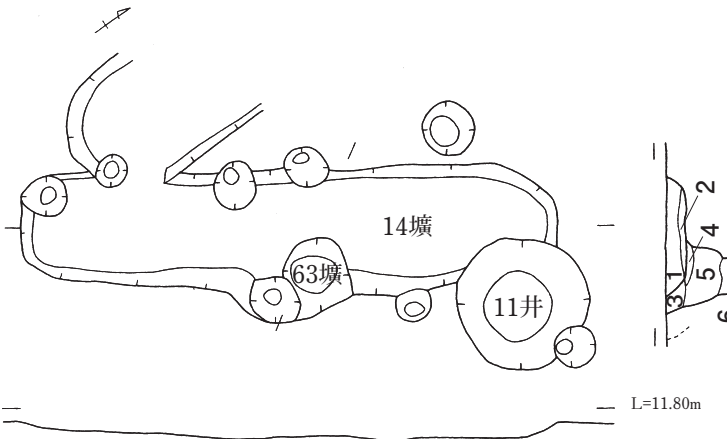
- 1 暗灰褐色 / T▲・LR・C 縮良
- 2 暗灰褐色 (1層より灰色味強) / 赤褐色R (FER) ◎、C・SR△ 縮良
- 3 灰褐色 / 赤褐色R (FER) △ 軟質 やや粘
- 4 黄褐色 / LR・LB (ソフト) ◎ 軟質
- 5 灰褐色 / FER△、LR△ 軟質
- 6 灰褐色 (3層に似る) / FER◎ 軟質
- 7 暗灰褐色 (6層に似るやや色調暗) / LR△



L=11.70m



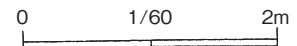
11.80m



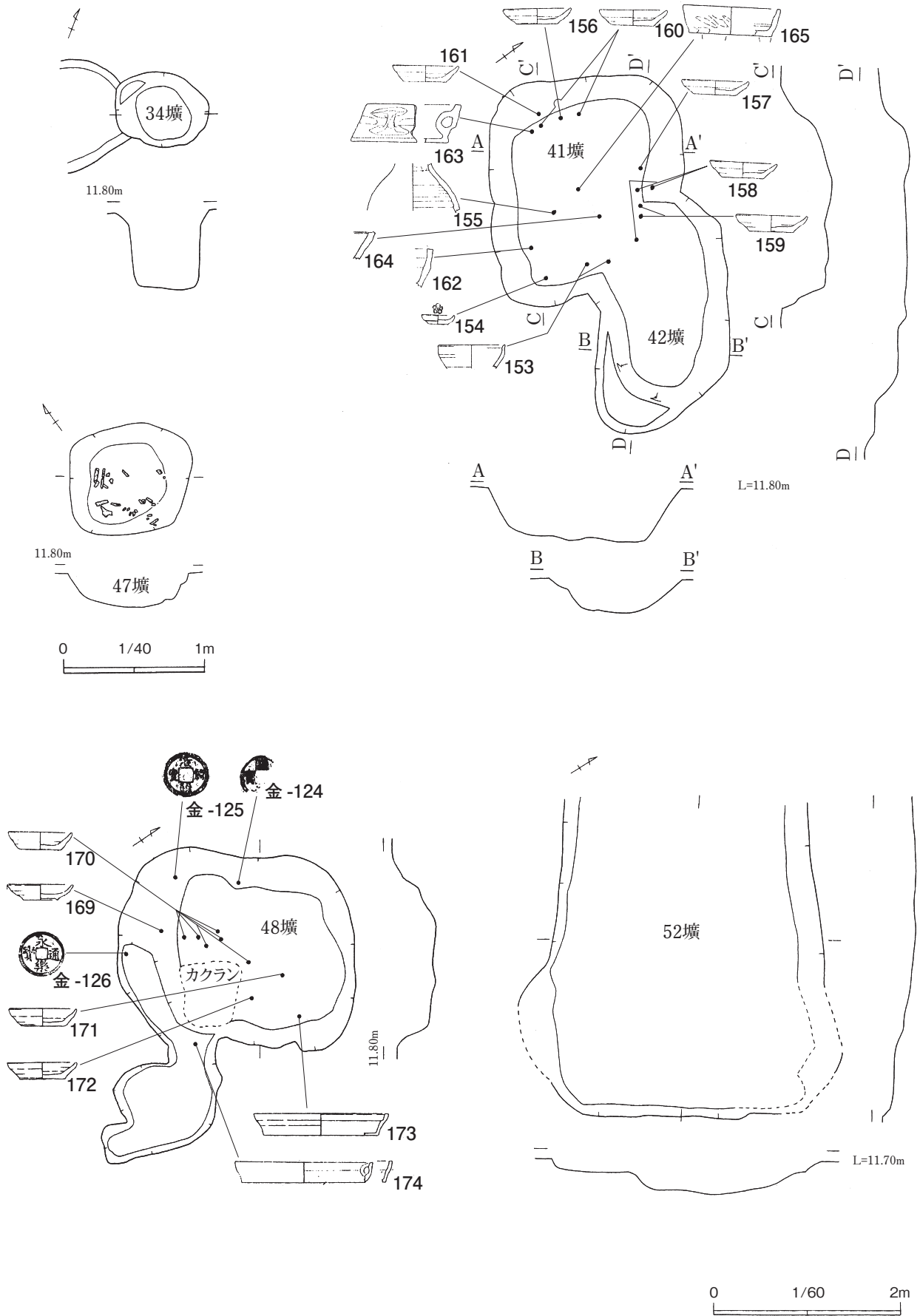
L=11.80m

○14壙セクション

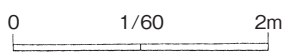
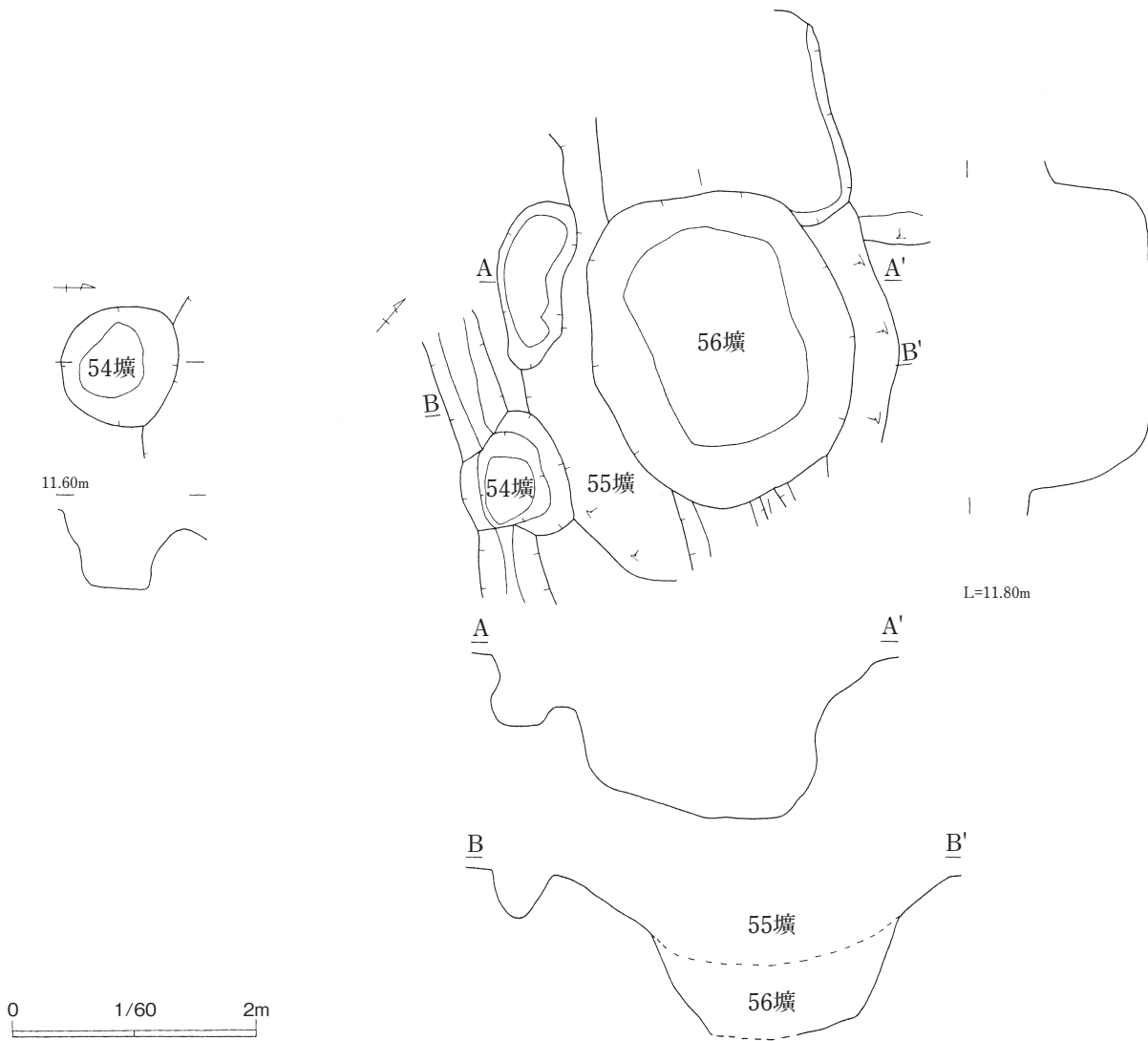
- 1 暗灰褐色 / FER◎・C・炭△ T▲ 縮良
- 2 暗灰褐色 / LR△ 軟質
- 3 暗灰褐色 / FER▲、C ▲▲ 縮良 堅緻
- 4 暗灰褐色 / LR▲、FER▲、C▲ 縮良
- 5 暗灰褐色 (多の層より灰色味強) / FER◎、C◎
- 6 暗灰褐色 / FER△ 軟質



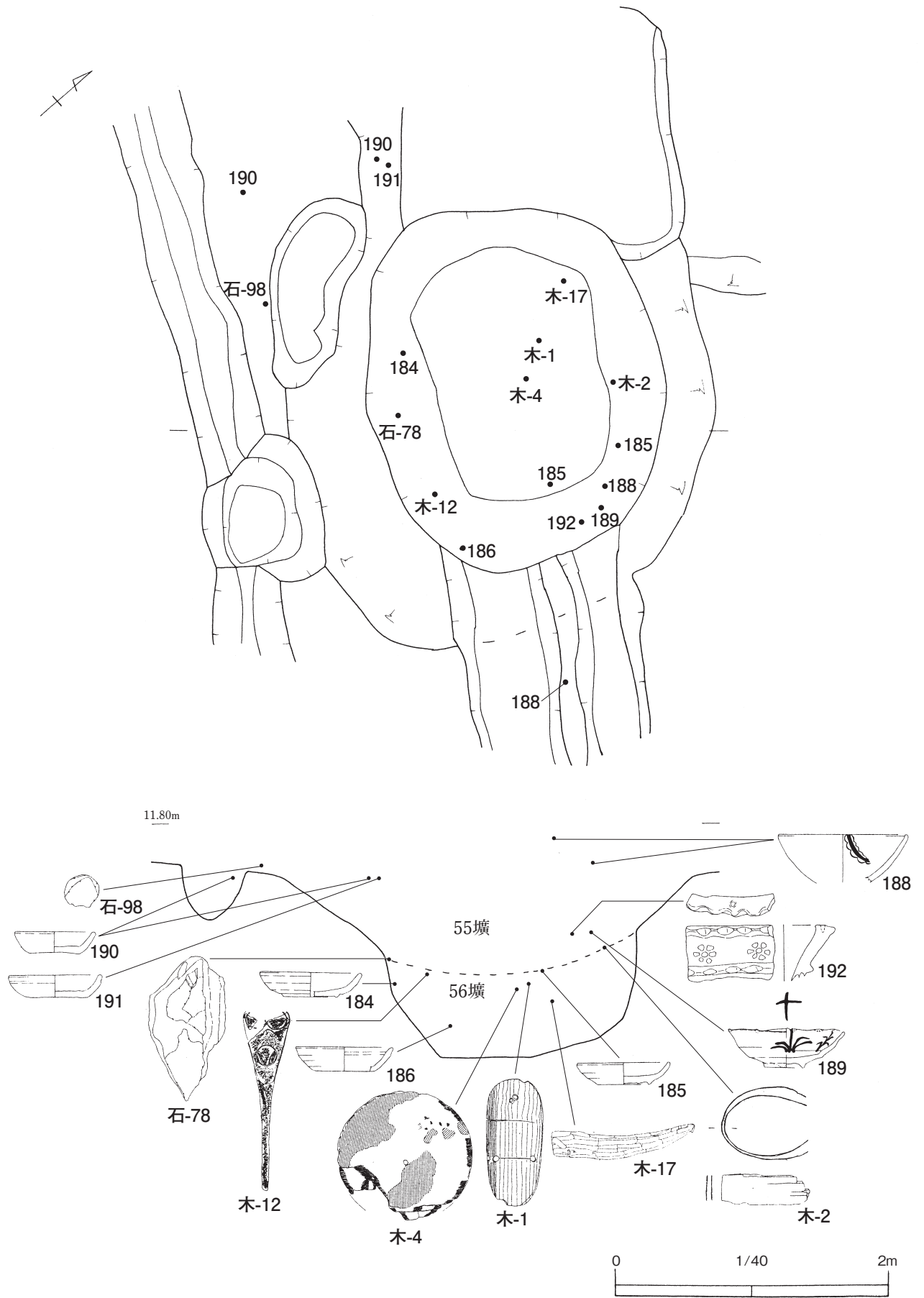
第15図 KB4 遺構8



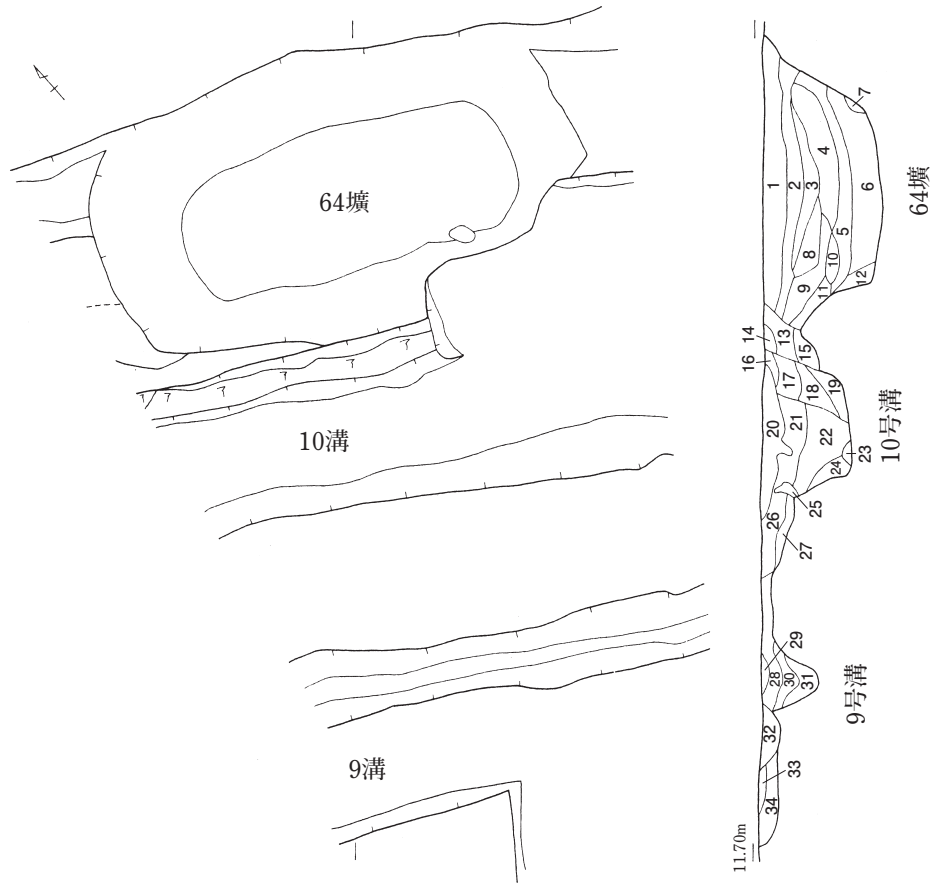
第16図 KB4 遺構9



第17図 KB 4 遺構10



第18図 KB4 遺構11



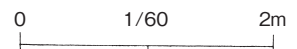
○64坑セクション

- 1 暗灰褐色 / FER, LR◎, T, C△, SR▲ 縮良
- 2 暗灰褐色 (1層よりやや暗) / FER◎, LR△ 縮良
- 3 暗灰褐色 / LB◎, FER△ 軟質
- 4 暗灰褐色 (1・2・3層より暗、灰色味強) / FER◎, LB, LR△ 軟質
- 5 暗灰褐色 (1～4層より褐色味強) / FER◎, LB・LR△ 軟質
- 6 灰黒褐色 / FER・LB△ 軟度高 粘有
- 7 灰褐色粘質 / LR▲ 軟度高 粘強
- 8 暗灰褐色 / FER△, LR▲ 縮良
- 9 灰褐色 / FER◎, LB・LR△ 軟質
- 10 灰黒褐色 / FER△ 軟質 粘有
- 11 暗灰褐色 (9層より灰色味強軟質) / FER・LR△
- 12 灰黒褐色 / LB・LR△ 軟度高
- 13 暗灰褐色 / FER◎, LR△, T▲ 縮良 堅緻
- 14 暗灰褐色 / FER△, LR・T▲ 縮良 堅緻
- 15 暗灰褐色 (13, 14層より灰色味強色暗) / FER◎ LB△ 縮良
- 16 暗灰褐色 / LR◎, FER△, T▲ 縮良 堅緻
- 17 暗灰褐色 / FER◎, LR・T△ 縮良 堅緻
- 18 灰黒褐色 / LB△, FER▲ 縮良
- 19 LB層 / LB (ハード) を主体 灰黒褐色B△ 縮悪 ポロポロ
- 20 暗灰褐色 / C・灰・SR◎万 T▲ 縮良 堅緻
- 21 暗灰褐色 / FER◎, LR・T・C△ 縮良 堅緻
- 22 灰黒褐色 / FER・LR△ 軟質
- 23 LB層
- 24 灰黒褐色 / LB・LR◎ 軟質
- 25 LB層
- 26 暗灰褐色
- 27 暗灰褐色 / FER・LB・LR△ 縮良
- 28 暗灰褐色 / FER・灰白色粘土LR△, T▲ 縮良
- 29 暗灰褐色 / LR◎ 縮良
- 30 灰白色粘土 / FER◎, 暗灰褐色B△ 縮良
- 31 暗灰褐色 / FER◎・LB 縮良
- 32 黄褐色 / LR・FER△ 縮良
- 33 暗灰褐色 / FER◎, LR▲ 縮良
- 34 灰黒褐色 / FER△, LR▲ 縮良

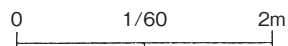
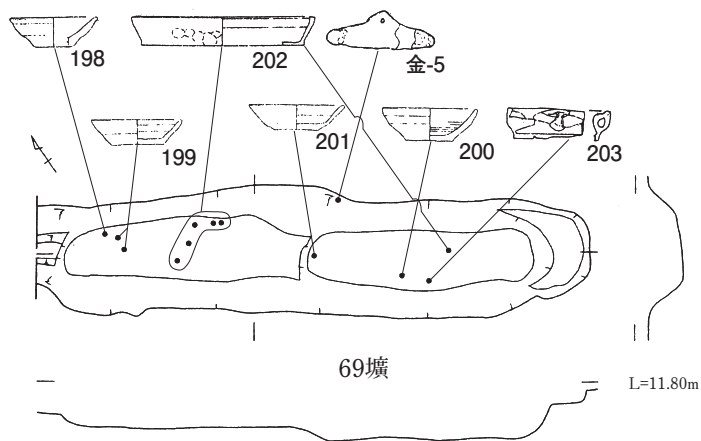
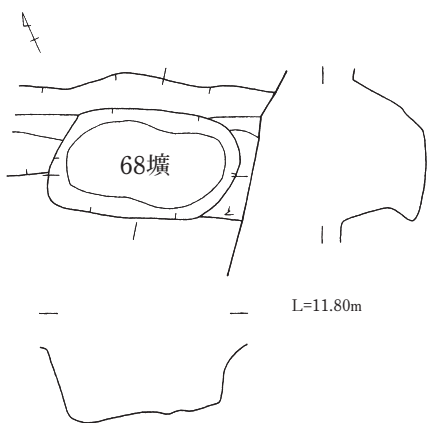
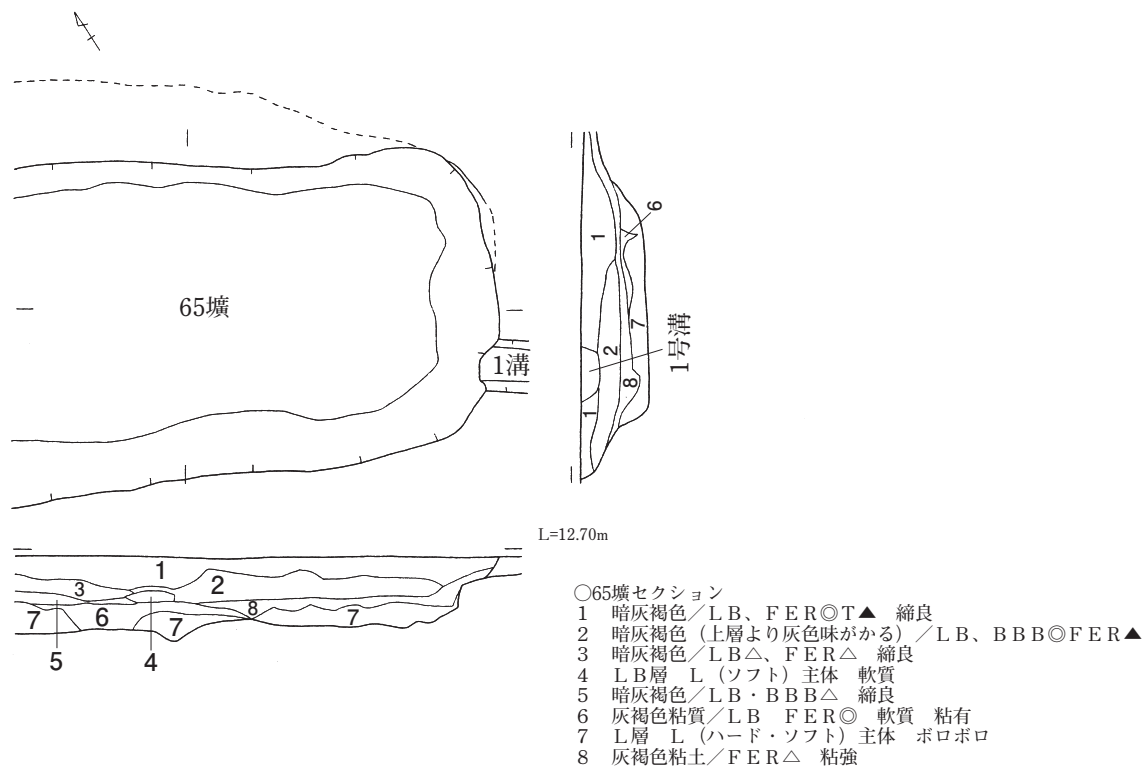
64溝

10溝

9溝



第19図 KB4 遺構12



第20図 KB4 遺構13

() は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化物/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	位置	重複	平面形	断面形	規模 (cm)	深さ	覆土	出土遺物	年代	備考
1号溝	南	1・65堀→○/3・4溝	直線	ほぼ直上	幅☆45	☆16	不明	肥前磁器(青磁鉢=17c~・染付碗=18c・染付香炉=18c~19c・仏花器=19c)/瀬美播鉢/軟質陶器碗=17c前/かわらけ/瓦=江戸期/砥石	18c~	
2号溝	南	3・4溝	直線	箱葉研	幅☆(424)	☆118	暗灰褐色/含T▲・LR▲・SR▲・CR▲	龍泉(青磁碗=13c~14c)/瀬美(白天目=17c前~中・丸皿・播鉢)/肥前唐津(鉄絵皿=17c前)/在地(埴塙・片口鉢)/かわらけ/継手状金具/漆碗片/桶(底板)/銭貨/粉挽臼/茶臼/磨石/皮(栗)/種子/骨	17c前	
3号溝	南	○→1・4堀/1・2・9溝	直線	箱堀	幅☆75	☆25	暗灰褐色/含T▲	龍泉(青磁碗=13c~14c)/鉄鏝		
4号溝	南・中央	7溝、22・25堀→○→5・17溝、3井、5堀/1・2・9溝、52堀	直線	ゆるやか	幅☆110	☆26	暗灰褐色/含T◎	中国青磁碗/瀬美(天目・端反皿)/板碑	15c末	
5号溝	中央	4溝→○/6・7溝、5・17井、15・25堀	直線	ほぼ直上	幅56	10	暗灰褐色	瀬美(志野丸皿=17c初~前・稜皿・播鉢)/焙烙/銭貨/鞠の羽口	17c初~	
6号溝	中央	4・5溝	直線	不明	幅84	42	不明			
7号溝	中央	○→4・5溝	直線	ほぼ直上	幅64	☆18	暗灰褐色			
8号溝	中央	○→4井/16溝	直線	ほぼ直上	幅48	8	暗灰褐色	煙管		
9号溝	南	3・4溝、52・54・68堀	直線	箱葉研	幅54	24	暗灰褐色	龍泉(青磁碗=15c)/かわらけ/焙烙		
10号溝	南	55・56・73堀	直線	箱葉研	幅90	34	暗灰褐色/含T▲	常滑(壺)/焙烙/かわらけ/漆碗/石錘?		
11号溝	北	12溝、42・48堀	直線	不明	幅(88)	37	BBB△・LB◎	常滑(片口鉢=13c)/瀬美鉦皿/骨	15c~	
12号溝	北	11溝	直線	不明	幅64	73	不明	かわらけ/粉挽臼/茶臼		
13号溝	北	○→57堀/72堀	直線	不明	幅62	9	不明	銭貨/スラグ35g		
14号溝	南	1・76堀	直線	不明	幅52	18	不明			
15号溝	中央	○→10溝、77堀/55・56・77堀	直線	ほぼ直上	幅36	14	暗黒褐色			
16号溝	中央	8溝、74堀	弧状	ほぼ直上	幅110	20	暗灰褐色/含T・LR△・FER△			
17号溝	中央	4溝→○/5溝、64堀	直線	ほぼ直上	幅80	24	不明			
18号溝	南	不明	不明	不明	幅(80)	44	不明			
19号溝	北	○→20堀/19・20・30・31堀	直線	直上	幅40	11	暗灰褐色/含BBB・FER◎・LB△・T▲			
1号井戸	中央	なし	円形	ロート形	150	172	暗灰褐色	横樋/桶(底板)/座繰部材/竹/砥石		
2号井戸	中央	なし	楕円形	ロート形	178×144	140	暗灰褐色/含T△	焙烙/茶臼		
3号井戸	中央	4溝→○	円形	ロート形	100	160	暗灰褐色/含T△	スラグ92g		
4号井戸	中央	8溝→○	円形	ほぼ直上	114	176	暗灰褐色			
5号井戸	中央	5溝	円形	ロート形	160	130	暗灰褐色/含T△	中国青磁鉢/瀬美稜皿/竹籠/板碑/スラグ12g	16c中~	
6号井戸	中央	○→7井	円形	ロート形	100	164	暗灰褐色/含T△	瀬美(天目=16c中~末)/かわらけ/菴民将来符/板材/銭貨/磨石/板碑/炭化種子	16c中~	
7号井戸	中央	6・9井→○→8井	円形	ロート形	102	174	暗灰褐色/含T◎	瀬美(天目=16c末~17c初・志野丸皿=17c初~中)/志戸呂(筒碗=16c末~17c前)/金箔貼漆膜片/煙管/砥石/磨石/板碑/板碑台石?	16c末~	
8号井戸	中央	7井→○	円形	ほぼ直上	88	103	暗灰褐色/含T△	板碑/スラグ12g		

第1表 KB4遺構一覧表1

() は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化物/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	位置	重複	平面形	断面形	規模(cm)	深さ	覆土	出土遺物	年代	備考
9号井戸	中央	○→7井/23・24壙	楕円形	ほぼ直上	150×128	148	不明	かわらけ/板材/銭貨/種(桃)/炭化麦/炭化種子	16c中～	
10号井戸	中央	なし	円形	ほぼ直上	120	120	暗灰褐色/含T△	瀬美丸皿/かわらけ/焙烙/板碑/スラグ240g	16c中～	
11号井戸	中央	14壙	円形	直上	106	163	暗灰褐色	在地火鉢/かわらけ		
12号井戸	北	12壙→○	楕円形	ロート形	106×80	102	暗灰褐色/含T▲・LR・C・SR	かわらけ		
13号井戸	北	19壙→○/18壙	楕円形	ロート形	140×126	134	暗灰褐色/含T・C・SR△	中国白磁碗/かわらけ/焙烙/箸/銭貨/磨石/炭化種子/スラグ15g	17c前～	
14号井戸	中央	○→15井/5溝	楕円形	ほぼ直上	100×74	128	暗灰褐色/含T△・LB△・SR▲	瀬美稜皿/かわらけ/磨石/板碑	16c中～	
15号井戸	中央	14井→○	楕円形	直上	114×88	122	暗灰褐色/含T・C・S▲	志戸呂(香炉=17c)/小柄(柄)/粉挽白/茶臼/砥石/種(桃・梅)/炭化種子	17c-	
16号井戸	北	16壙→○	楕円形	ロート形	106×76	112	暗灰褐色/含T・LR△・C・SR▲	板碑/炭化麦/スラグ80g		
17号井戸	中央	5溝、15壙→○	円形	直上	84	116	暗灰褐色	瀬美天目/スラグ145g	16c中～	
18号井戸	北	16壙→○/21壙	円形	ほぼ直上	98	80	暗灰褐色/含T△・LR・C・FER▲	中国(青磁碗・青磁蓮弁文皿=14c～15c?) /瀬美(天目・播鉢)/志戸呂(片口=17c～)/かわらけ/砥石/磨石/礫/炭化麦	17c-	
19号井戸	中央	4溝	円形	ほぼ直上	86	97	暗灰褐色	炭化栗		
20号井戸	北	84壙→○→37壙	楕円形	直線的に広がる	134×114	124	暗灰褐色/含T◎・LR・C▲			
21号井戸	中央	○→12壙	楕円形	直上	106×90	182	暗灰褐色/含LR・FER◎・T▲	棒状製品/種(桃)/炭化麦		
22号井戸	中央	なし	円形	ロート形	108	135	暗灰褐色/含LR▲・T・C	中国輪花皿/陽物形木製品/板材/粉挽白/板碑/炭化麦		
23号井戸	北	なし	不明	直上	☆80	☆140	暗灰褐色/含T・LR・C△			
24号井戸	北	32壙→○	不明	直上	☆115×74	☆(74)	暗灰褐色/含C・LB・FER△	粉挽白/磨石		
1号土壙	南	○→1溝、4壙/3・14溝、53壙	長方形	ほぼ直上	(860)×336	☆42	暗灰褐色/含T◎・CR・SR・LR	龍泉(青磁碗=13c～14c)/漳州白磁口禿碗カ/中国(染付碗・染付皿=15c中～17c前)/瀬美(天目=17c初～前・小天目・丸碗=17c初～中・腰折皿・鉄絵皿=17c前～中・志野丸皿=17c前～中・卸目付大皿・播鉢・志野向付)/肥前唐津(碗=16c末～17c前)/志戸呂(播鉢・香炉=17c)/在地土鍋/かわらけ=17c前/焙烙/漆碗/壺金?/火打金/筭?/彈丸/環状製品/小札状製品/釘/煙管/刀装具/銭貨/砥石/磨石/スラグ155g	17c前	
2号土壙	北	なし	不整円形	ほぼ直上	100×96	☆22	暗灰褐色/含S・C層	炭化材/焼骨		
3号土壙	南	6壙	隅丸長方形	ほぼ直上	(420)×138	☆40	暗灰褐色/含T▲・LR・C	瀬美播鉢/志戸呂香炉/砥石	16c末～	
4号土壙	南	3溝、1壙→○	不整形	ほぼ直上	65×52	28	S・C	かわらけ/粉挽白		
5号土壙	南	4溝→○	楕円形	ほぼ直上	107×74	☆22	暗灰褐色/含LR・C◎			
6号土壙	南	22壙→○/3壙	長方形	ゆるやか	(502)×(300)	46	暗灰褐色/含T・C▲・FE△			
7号土壙	中央	なし	長方形	ほぼ直上	425×92	20	不明			
8号土壙	中央	なし	楕円形	ほぼ直上	62×49	14	暗灰褐色/含LB△・FE△			
9号土壙	中央	なし	楕円形	ほぼ直上	104×87	12	暗灰褐色/含BBB・LB◎			
10号土壙	中央	なし	円形	直上	65	68	暗灰褐色/含FE◎・T・LR▲	瀬美縁釉小皿	15c-	
11号土壙	中央	なし	隅丸長方形	ほぼ直上	337×40	9	暗灰褐色/含T▲			

第2表 KB4遺構一覧表2

() は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化鉄/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	位置	重複	平面形	断面形	規模 (cm)	深さ	覆土	出土遺物	年代	備考
12号土壇	中央	21井→○→12井	長方形	ほぼ直上	336×100	☆15	暗灰褐色/含T・LR・FE△	スラグ4g		
13号土壇		欠番								
14号土壇	中央	15・63壇→○/11井	長方形	ゆるやか	440×102	14	暗灰褐色/含T▲・FE◎・C△	在地(掃鉢・火鉢)/かわらけ/磨石/スラグ160g		
15号土壇	中央	○→5溝、17井、14壇	長方形	ゆるやか	(333)×92	7	暗灰褐色/含FE◎・LR△・T▲			
16号土壇	北	16・18井、21壇	長方形	ほぼ直上	287×198	20	暗灰褐色/含T・FE・LR△・C・SR▲			
17号土壇	北	なし	長方形	ほぼ直上	180×142	12	暗灰褐色/含T▲・FER・LB△			
18号土壇	北	13井	長方形	ゆるやか	260×102	14	不明			
19号土壇	北	19溝、13井	長方形	ほぼ直上	370×95	12	暗灰褐色/含T▲・BBB△・LB△			
20号土壇	北	19溝、29・30・61壇→○/29・30・61壇	長方形	ほぼ直上	516×74	10	暗灰褐色/含CR・LR△	刀子状製品		
21号土壇	北	18井、16壇	長方形	ゆるやか	(210)×70	10	不明	棒状製品/銭貨		
22号土壇	南	○→4溝、6壇	長方形	ほぼ直上	(85)×60	22	暗灰褐色/含FER△・T・C▲			
23号土壇	中央	9井	長方形	ゆるやか	(393)×60	8	不明	スラグ20g		
24号土壇	北	27壇→○/9井	隅丸長方形	ゆるやか	(430)×70	4	不明			
25号土壇	中央	○→5溝/4溝	隅丸長方形?	ほぼ直上	(132)×64	☆21	灰褐色/含FER◎			
26号土壇	北	○→27壇	長方形	ほぼ直上	90×68	8	不明	焙烙		
27号土壇	北	○→24・26壇	楕円形	ほぼ直上	98×(76)	12	暗灰褐色/含S・C◎・FER・灰褐色R△	焼骨		
28号土壇	北	なし	隅丸長方形	ゆるやか	353×84	5	不明			
29号土壇	北	○→20壇/30・61壇	長方形?	ほぼ直上	(162)×(82)	7	暗灰褐色/含FER△			
30号土壇	北	9溝→○→20壇/19溝、29壇	長方形	ほぼ直上	(242)×70	6	不明			
31号土壇	北	19溝→○/32壇	長方形?	ゆるやか	239×89	10	暗灰褐色/含LR△・T▲			
32号土壇	北	○→24井/31壇	長方形?	ほぼ直上	167×(92)	☆42	不明			
33号土壇	北	○→34壇	楕円形	ほぼ直上	(228)×122	☆20	暗灰褐色/含T・LR△・FE◎・C△	茶臼/粉挽臼/砥石/磨石/板碑/スラグ25g		
34号土壇	北	33壇→○	楕円形	直上	98×80	85	暗褐色/含LB・LR◎・C	焙烙/スラグ3g		
35号土壇		欠番								
36号土壇		欠番								
37号土壇	北	20井→○	長方形	ほぼ直上	300×110	11	暗灰褐色/含FER・LB◎			
38号土壇	北	なし	長方形	ほぼ直上	258×80	14	暗灰褐色/含C・SR▲			
39号土壇	北	40・44壇	長方形	ほぼ直上	372×116	☆18	暗灰褐色/含LR・T▲・BBB△			
40号土壇	北	39壇	長方形	不明	150×44	不明	不明			
41号土壇	北	42壇→○/43壇	長方形	ほぼ直上	248×210	55	暗灰褐色/含S・C◎・T△	瀬美(豆皿=15c末~16c初・天目)/志戸呂徳利/在地香炉/かわらけ/焙烙/板碑/磨石/スラグ33g	16c中~末	
42号土壇	北	○→41壇/11溝	隅丸長方形	ほぼ直上	(242)×146	40	暗灰褐色/含FER△・C・S▲	瀬美天目/かわらけ/焙烙/小札/銭貨/粉挽臼/板碑/スラグ165g	16c中?	
43号土壇	北	41壇	長方形	ほぼ直上	320×170	14	暗灰褐色/含T△・LB▲	刀子		

第3表 KB4遺構一覧表3

() は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化物/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	位置	重複	平面形	断面形	規模(cm)	深さ	覆土	出土遺物	年代	備考
44号土壇	北	39・45・46壇	長方形	ほぼ直上	310×64	☆16	暗灰褐色/含T・C・SR▲・FER△			
45号土壇	北	44・46壇	楕円形?	ほぼ直上	238×(100)	10	不明			
46号土壇	北	44・45壇	隅丸長方形?	ほぼ直上	132×100	12	不明			
47号土壇	北	なし	方形	ほぼ直上	86×80	24	不明	炭化物/焼骨		墓壇か?
48号土壇	北	49壇・溝	方形	ほぼ直上	212×255	45	暗灰褐色/含T▲・C▲	瀬美(丸皿=16c前~中)/かわらけ/焙烙/銭貨/粉挽臼/碁石/砥石/磨石	16c中~末	
49号土壇	北	48壇	方形	ほぼ直上	(100)×(80)	15	不明	砥石		
50号土壇	北	欠番								
51号土壇	北	○→80壇	長方形	ほぼ直上	(193)×68	☆5	暗灰褐色/含T▲・FER・LR△・BBR△			
52号土壇	南	10溝	長方形?	ほぼ直上	(355)×270	36	暗灰褐色/含C・SR△	中国染付碗/瀬美(天目・底卸目皿・縁釉小皿)/かわらけ/焙烙/楕円形板/飾り金具/銭貨/茶臼	16c中~	
53号土壇	南	3・14溝、1壇	不整形	ゆるやか	150	35	不明	金箔貼漆膜片		
54号土壇	南	55壇→○	円形	ほぼ直上	100	65	暗灰褐色/含T△・FER・C▲			
55号土壇	南	○→54・56壇	楕円形	ゆるやか	(330)×320	132	暗灰褐色	中国(染付皿=15c中~16c末)/瀬美(志野丸皿=17c初~前・丸皿)/かわらけ=16c後~末?/小柄/杓子/曲物(側板)/加工材/竹タガ/竹籠/丸棒材/銭貨/砥石/葉/貝/種(桃・瓜科)/スラグ63g	17c前	
56号土壇	南	55壇→○	楕円形	ほぼ直上	268×222	102	不明	肥前唐津(鉄絵碗=17c初~前・鉄絵皿=16c末~17c前)/瀬美丸皿/常滑壺/在地火鉢/かわらけ/釘/下駄/桶(蓋板)/横槌/銭貨/茶臼/磨石	17c前	
57号土壇	北	13溝→○	長方形	ほぼ直上	135×52	14	不明	スラグ45g		
58号土壇	北	59壇→○	楕円形	ゆるやか	108×64	☆18	灰褐色/含FER△・C・T▲			
59号土壇	北	60壇→○→58壇	円形	ほぼ直上	126	☆18	暗灰褐色/含T・C▲・FER・LR△			
60号土壇	北	○→59壇	不整形	ゆるやか	86×(42)	☆12	褐色/含LB◎			
61号土壇	北	○→20壇/29壇	隅丸長方形	ほぼ直上	(80)×52	5	暗灰褐色/含FE△			
62号土壇	北	○→81壇	長方形?	ほぼ直上	(200)×36	12	暗灰褐色/含T▲・LB・BBB△	焙烙		
63号土壇	中央	○→14壇	円形?	ほぼ直上	54×(44)	☆56	暗灰褐色/含FER◎・C			
64号土壇	中央	○→73壇/74壇	長方形	ほぼ直上	(370)×200	☆94	暗灰褐色/含FER・LR◎・T・C△・SR▲	志戸呂香炉/焙烙/竹		
65号土壇	南	○→1溝	長方形	ほぼ直上	(396)×244	55	暗灰褐色/含LB・FER◎・T▲	瀬美(天目・丸皿)/かわらけ/焙烙/縁	17c前~	
66号土壇		欠番								
67号土壇		欠番								
68号土壇	南	9溝→○	長方形	ほぼ直上	144×90	52	暗灰褐色/含FE△・T・C・LR▲	瀬美平碗/かわらけ		
69号土壇	北	重複	隅丸長方形	ほぼ直上	(454)×94	38	不明	かわらけ/焙烙/火打金/板碑	15c中~16c前	
70号土壇	北	なし	長方形	ほぼ直上	225×74	11	暗灰褐色/含LR・CR・S△	焙烙/銭貨/スラグ18g		
71号土壇	北	なし	隅丸長方形	ほぼ直上	(140)×56	7	暗灰褐色			
72号土壇	北	なし	円形?	ゆるやか	132×(110)	不明	暗灰褐色	焙烙		
73号土壇	中央	64壇→○/10溝	長方形	ほぼ直上	280×(132)	☆38	暗灰褐色/含FE◎・S・C・LR△			
74号土壇	中央	64・73壇	長方形	ゆるやか	(214)×(139)	30	不明			
75号土壇		欠番								
76号土壇	南	14溝	長方形?	ほぼ直上	173×(152)	20	不明			

第4表 KB4遺構一覧表4

() は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化物/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	位置	重複	平面形	断面形	規模(cm)	深さ	覆土	出土遺物	年代	備考
77号土壇	中央	15溝→○/15溝・32壇	長方形	ほぼ直上	480×(260)	☆88	暗灰褐色/含FE・LR◎・T・C△	志戸呂大皿=16c 後/かわらけ/板材/銭貨	16c 後～	
78号土壇	中央	なし	長方形	直上	120×52	10	不明			
79号土壇	北	なし	円形	ほぼ直上	130	7	不明			
80号土壇	北	51壇→○	円形	ゆるやか	126	☆16	暗灰褐色/含T・LR△・FER△			
81号土壇	北	62壇→○	円形	直上	126	☆20	暗灰褐色			
82号土壇	南	55壇	楕円形	オーバーハンゲ	146×48	62	不明			
83号土壇	不明	なし	円形	不明	120	不明	不明			
84号土壇	北	○→20井	隅丸長方形	ほぼ直上	305×82	☆9	茶褐色/含LB◎			

第5表 KB4 遺構一覧表5



写真整理



データ入力



石製品実測



調査風景

第2節 KB5区

(1) 調査概要

調査担当 指導課 島村範久
 調査期間 昭和60年10月7日～
 昭和61年1月31日
 調査面積 595㎡
 調査の経過

調査区は23mの道路建設予定地で幅16m延長34mである。当区は調査現場事務所及び駐車場と使用していたため、砂利敷きで堅緻な表土となっていた。そのため重機により表土を攪拌した後に掘り下げた。掘り下げは、確認面まで浅く遺物が表土直下より出土するため、人力により行った。遺構確認面は黒色土～ローム層とした。用水に隣接し湧水が顕著であるため、東側に側溝を掘り下げ水中ポンプにより排水した。

調査区北側で柱穴列が確認されたため東側に拡張した。2・3溝掘り下げの際には先行してトレンチ調査を行った。また南側で2号溝が屈曲する箇所を西に拡張しその形態を確認した。遺構等の実測及び遺物の取り上げは方位北に合わせ10m方眼にグリット設定し、その杭を基準とした。遺構の図化は調査区全体は平板測量により、各遺構は任意に設定した水系を基準としてメジャーにより実測した。

最後に縄文時代遺構検出のため精査を行った。グリット杭設置及び基準杭の標高は測量業者に委託した。

周辺の調査 (第6図)

東方にKB3区・39次、北接してKB4区、西方に第7・12次、南接して1区がある。

KB3区東西方向の6-43号線区と南北方向の6-40号線区に近い。いずれも幅2mを超える大規模な溝が東西南北に走行し、井戸状遺構が散在する。溝からは板碑や曲物等が出土している。39次では溝や円形土壇が確認されている。KB4区は本報告。第7・12次では幅2.3～2.9mの溝が東西方向走行する。馬具(四方手)等が出土する。KB1区では溝が南端より北端に縦走し、隣接する北側では溝が東

西方向に走行する。井戸状遺構や長方形の小竪穴が検出されている。

(2) 遺構と遺物

【溝状遺構】

16まで命名したがab分割により総数17条である。さらに調査区をL字状に巡る2号溝と3号溝はつながる。

2号溝 調査区を南北に縦断する。幅290cm(残存)で深さ118cmの大規模なものである。断面は箱薬研で底面は幅広である。一部で4号溝と重複し2号溝が古い。覆土中位にロームブロック層が、やや下位に白色粘土層が堆積する。南端は3号溝とつながる。北端は規模・底面レベル(6溝が10cm高い)から6号溝につながることも考えられる。一部が7号溝(7溝が20cm低い)ともつながるか。出土遺物は中国染付皿(土-347・348)・略完形の瀬戸美濃端反皿(土-355)・常滑片口鉢(土-349～351)・完形のかわらけ(土-363)・小柄(金-96)・炭化材・板材・桃の種26点・クリの皮13点などである。

3号溝 調査区南を東西に走行し2号溝とつながる。幅380cm・深さ138cmと大規模で、断面底面ともに2号溝と同様である。覆土下位に白色粘土層が堆積する。出土遺物は肥前磁器碗(土-371・372)・瀬戸美濃平碗(土-367)・天目茶碗(土-368)・かわらけ(土-373～375)、小柄(金-97)・弾丸(金-90)が出土。漆碗(木-10)・部材(木-21)・丸棒材・板材8点・桃の種4点・クリの皮7点出土。スラグは75gがある。

4号溝 常滑片口鉢(土-377・378)・肥前磁器小杯(土-382)、桃の種6点出土している。

5号溝 調査区北西隅を東西に走行する。幅256cm・深さ50cmと大規模であるが浅い。規模・走行方向から6号溝とつながりそうであるが底面レベルが+40cm(5溝が高い)で、やや無理がある。

6号溝 桶の側板(木-6)・漆碗片・煙管雁首(金-65)・桃の種15点・ウリ科種子3点・クリの皮1点出土している。

7号溝 肥前磁器碗(土-391)・かわらけ(土-392・393)・白木碗(木-9)・漆碗・桃の種4点

・クリの皮1点が出土している。

10b号溝 調査区南端を東西方向に走行する。幅200cm(残存)・深さ108cmと大規模であるが浅い。周辺の調査でKB1区10b溝・KB2区22溝とつながり市報告第2集のT3溝に相当する。瀬戸美濃の祖母懷壺(土-395・396)が出土している。

11・12号溝 調査区中央を東西方向に並行して走行する。いずれも幅65~66cm・深さ20cm前後と同規模である。両者の間隔は680cmである。

【井戸状遺構】

4基の井戸が調査区北側に分布していた。

1号井戸 調査区北側東端に位置し、直径132cm・深さは120cmとやや浅い。断面ロート形。

2号井戸 調査区北側に位置し、直径125cm×106cm・深さは190cmと深い。かわらけ(土-398)が出土している。6号溝より新しい。

3号井戸 調査区北側西端に位置し、直径100cm・深さは150cmである。下方に段を有する。

4号井戸 調査区北側に位置し、2・5~7溝の重複地点にある。溝内検出のため直径65cm・深さは120cmと小さい。

【土壌】

総数31基であるが、調査区中程で多く確認された。上層では12基が調査された。ローム確認面ではコの字状に溝で囲まれた区画の南と北の2箇所集中した。平面は長方形・円形・楕円形を呈す。

2号土壌 北側に位置し、平面柄鏡形(図版17参照)で規模は194cm×116cm深さ14cmである。

14号土壌 北寄りに位置し上層で確認された。平面楕円形で規模は207cm×175cm・深さ25cmである。当調査区では大量の遺物が出土した土壌である(第25図)。土器類では瀬戸美濃天目茶碗(土-401~403)・織部菊皿(土-404)・肥前磁器碗(土-410~412)・大量のかわらけ(土-413~440)が、金属製品では刀子(金-17)や煙管(金-61)が、石製品では粉挽臼(石-32)・磨石(石-115~117)が出土した。かわらけは図化総数28点で完形が多い。かわらけの器高が低く、当該時期の騎西城の中でも

まとまった資料である。18世紀前半。

17号土壌 中央東寄りに位置し、平面長方形で規模は280cm×154cmで深さ47cmである。瀬戸美濃の菊皿(土-441)・肥前磁器碗(土-442)・かわらけ(土-443)、煙管(金-62)・銭貨〈寛永通宝一新〉(金-181)が出土している。

26号土壌 南に位置し、平面円形で規模は直径168で深さ40cmである。覆土にロームブロックを多量に含む。

27号土壌 南に位置し、平面円形で規模は直径154cm深さ47cmである。覆土にローム粒子・黒色土ブロックを多量に含む。

28号土壌 南に位置し、平面円形で規模は直径153cm深さ42cmである。

【建物跡】

上位確認面で1棟確認された。

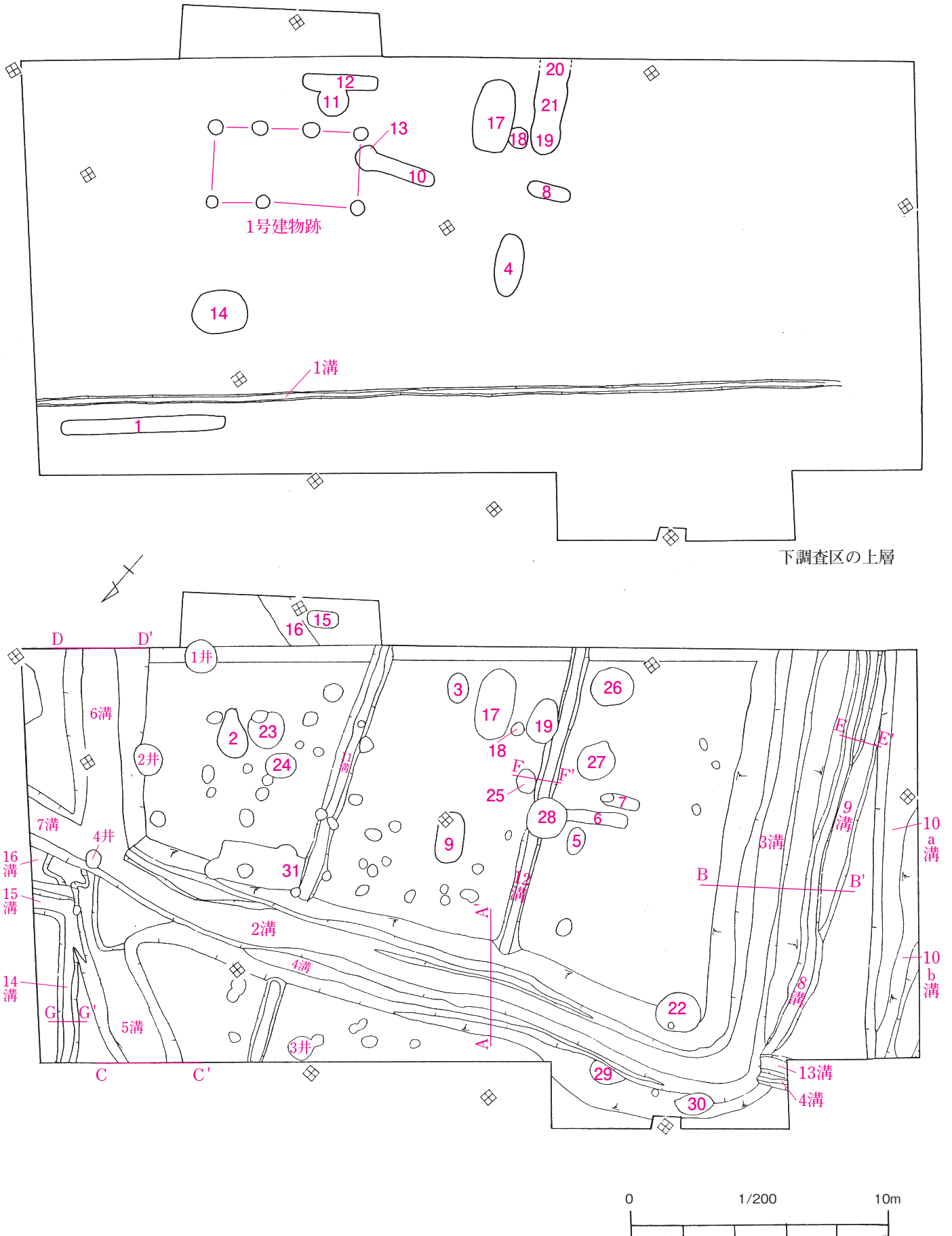
1号建物跡 調査区のやや北寄りで7基のピットが検出された。ピットはおおよそ直径60cm深さ40cmで、200cm間隔で並んでいた。簡易な建物であろうか。

第10号ピット 瀬戸美濃の三耳壺(土-444)が出土している。

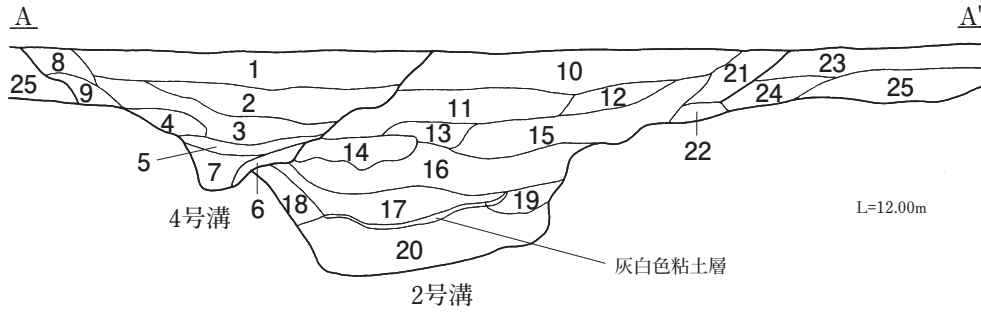
遺構外出土遺物

中国の青磁白磁・瀬戸美濃(古瀬戸から本業焼)・肥前磁器碗などがあり、遺存率が高いのは瀬戸美濃灯明皿(土-461)・蓋(土-468)・土鍋(土-472)で18世紀代のものである。

金属製品では煙管の雁首(金-63・64・66~68)・火縄銃の弾金(金-91)が、石製品では砥石(石-67~73)・磨石(石-118~121)などがある。スラグは730g出土している。



第21図 KB5 遺構位置図



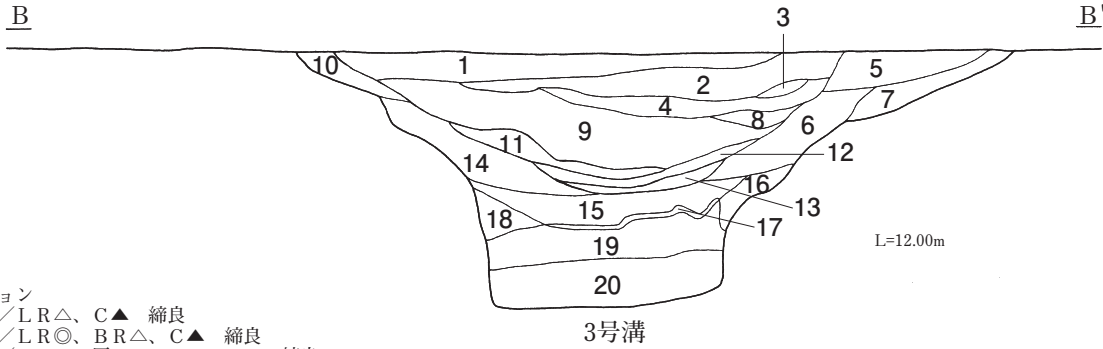
○2・4号溝セクション

- 1 暗灰褐色 / T, LR, 黒色土B△ 縮良
- 2 暗灰褐色 / 黒色土B◎, LR, C▲ 軟質
- 3 暗灰褐色 / FER◎, BR△ 軟質
- 4 LB層 / L (ソフト主体), LB (ハード) △ 軟質
- 5 暗灰褐色 / FER◎ 軟質
- 6 暗灰褐色 / LB, LR◎, FER△ 軟質
- 7 暗灰褐色 (上層より灰色味強) / FER, LB, LR△ 軟質
- 8 暗灰褐色 / 黒色土B△ 縮良
- 9 暗灰褐色 / FER◎, LR▲ 縮良

4溝

- 10 暗灰褐色 / T, LR▲ 縮良
- 11 暗灰褐色 / FER△ 縮良
- 12 暗灰褐色 / FER◎ 軟度低
- 13 暗灰褐色 / FER, LR◎ 縮良
- 14 LB層 / LB (ハード・ソフト主体) 暗灰褐色B△ 軟度低
- 15 暗灰褐色 / FER◎, LR▲ 縮良
- 16 暗灰褐色 / FER◎, LR▲ 軟質
- 17 灰黒褐色 / FER△ 軟度高 粘有
- 18 暗灰褐色 / LR, FER△ 軟質
- 19 暗灰褐色 / LR, FER△ 軟質
- 20 灰黒褐色 (上層より褐色味やや強) / FER△ 軟質 粘強
- 21 暗灰褐色 / FER△, 黒色土B△ 縮良
- 22 暗灰褐色 / LB◎ 軟質
- 23 暗灰褐色 / 黒色土B△, T, SR▲ 縮良
- 24 暗灰褐色 / LB, 黒色土B△ 縮良
- 25 黒褐色 / LB, 暗灰褐色B△ 軟質

2溝

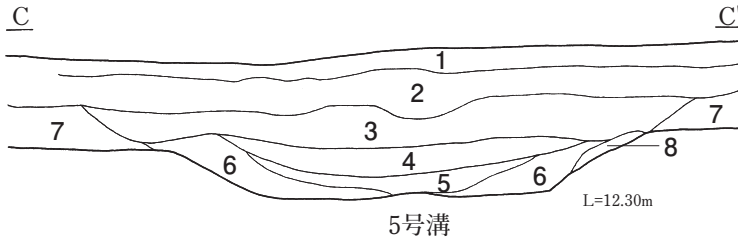


○3溝セクション

- 1 暗灰褐色 / LR△, C▲ 縮良
- 2 暗灰褐色 / LR◎, BR△, C▲ 縮良
- 3 暗灰褐色 / FER・灰BrR△, LR▲ 縮良
- 4 灰褐色 / FER◎, LR▲ 縮良 やや粘
- 5 暗灰褐色 / FER△, LR・C▲ 縮良 堅緻
- 6 灰褐色 (4層より褐色味強) / FER◎, LR△, C▲ 軟質 縮良
- 7 暗灰褐色 / LR△, FER・C△ 縮良 堅緻
- 8 灰褐色 / FER・LR△, LB▲ 縮良
- 9 暗灰褐色 / LR◎, FER◎, 黒色土B△ 軟質 パサつく
- 10 暗灰褐色 / LR△, BR・FER▲ 縮良
- 11 暗灰褐色 / LR△, LB▲ 軟質
- 12 暗灰褐色 / FER◎, LR△, LB▲ 軟質 パサつく
- 13 灰褐色 / FER◎, LR▲ 軟質 やや粘
- 14 灰褐色 / 6層と同じ
- 15 暗灰褐色粘質層 / FER, LR△ 軟質 粘強
- 16 灰褐色 / FER・LR△, LB▲ 軟質 さらつく
- 17 灰白色粘土層 軟度高 粘強
- 18 灰褐色 / 16層と同じ
- 19 暗灰褐色 (他の暗灰褐色より暗) / LR△, FER△ 軟度高
- 20 灰黒褐色 / LR△, 灰白色粘土△ 軟度高

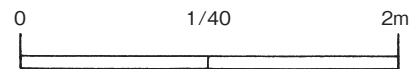
土層説明凡例

- | | |
|----------|----------------|
| 色調 / 含有物 | |
| テフラ = T | 非常に多い = ☆ |
| ローム = L | 多量 = ◎ |
| 炭化物 = C | 少量 = △ |
| 焼土 = S | 微量 = ▲ |
| 酸化鉄 = FE | 万遍なく = 万 |
| 黒褐色 = BB | やや明るい = やや明 |
| 黒色 = B | やや暗い = やや暗 |
| 褐色 = Br | 非常にやわらかい = 軟度高 |
| | やわらかい = 軟質 |
| | やややわらかい = 軟度低 |
| 粒子 = R | かたい = 堅緻 |
| ブロック = B | 縮まり良し = 縮良 |
| | 縮まり悪し = 縮悪 |
| | 粘性強し = 粘強 |
| | 粘性有り = 粘有 |

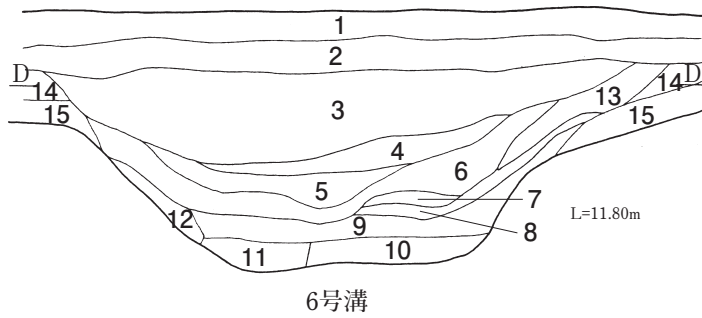


○5溝セクション

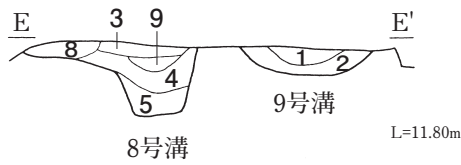
- 1 耕作土
- 2 暗灰褐色 / T◎, C SR△ 縮良
- 3 暗灰褐色 / LR, FER△ 縮良
- 4 暗灰褐色 (土層より明) / LR△, FER△ 縮良
- 5 灰褐色 / FER△, 白色粘土△ 軟質
- 6 灰褐色 / FER 黒色土B△ LB▲ 軟質
- 7 暗灰褐色 / 黒色土B△ T▲ 縮良
- 8 記載なし



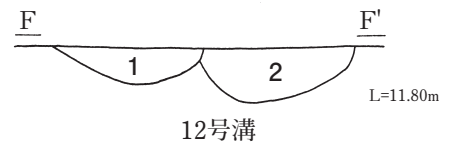
第22図 KB5 遺構1



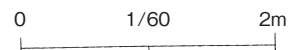
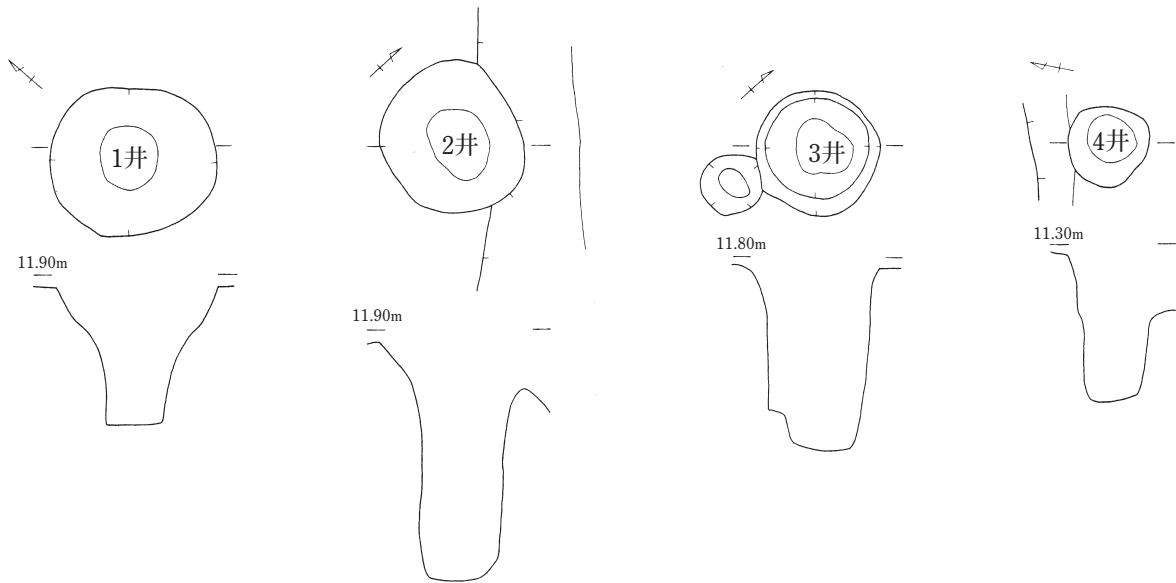
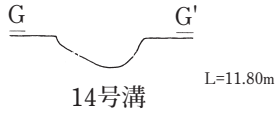
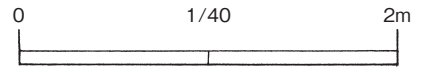
- 6溝セクション
- 1 耕作土
 - 2 暗灰褐色/T◎、C・SR△ 縮良
 - 3 暗灰褐色/LR・LB△、FER△ 縮良
 - 4 灰褐色/FER△・LR▲ 軟度低
 - 5 灰褐色/FER◎・LR▲ 軟質
 - 6 灰褐色(上層より灰色味強)/LR△、FER◎ 軟質
 - 7 暗灰褐色/LR◎・FER△ 軟質
 - 8 灰褐色/LR△・FER▲ 軟質
 - 9 灰褐色(6層より灰色味強)/FER◎・LR△ 軟質
 - 10 黄褐色/LR・LB主体 軟質粘強
 - 11 灰褐色/LB FER△ 軟度高
 - 12 暗灰褐色/LR◎ FER△ 縮良
 - 13 暗灰褐色/LR◎ 縮良
 - 14 暗灰褐色/LR・T△ 縮良
 - 15 暗灰褐色/灰B r B△、黒色土B△ 縮良



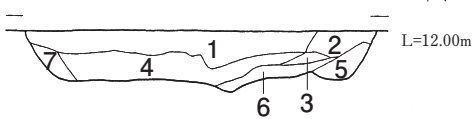
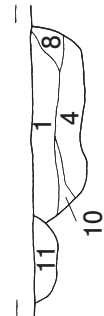
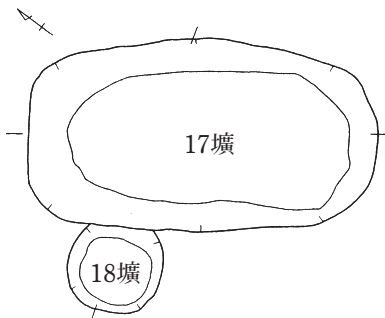
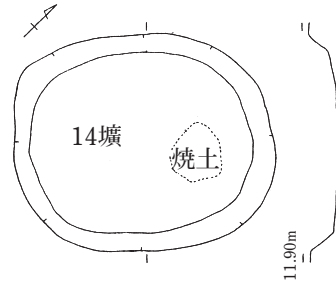
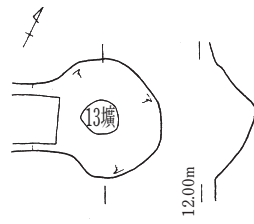
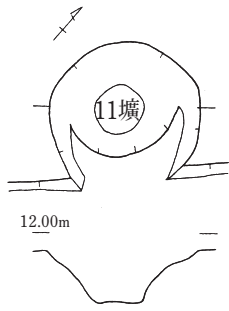
- 8・9溝セクション
- 1 暗灰褐色/LR C△ 縮良
 - 2 暗灰褐色/LB LR△ 縮良
 - 3 暗灰褐色/LR△ 縮良
 - 4 暗灰褐色/LR◎C△ 縮良
 - 5 暗灰褐色/LR、LB、黒色土B△ ポロポロ
 - 8 暗灰褐色/T、LR△ 縮良
 - 9 灰褐色/FER△ 堅緻



- 12溝セクション
- 1 暗灰褐色/T▲、LB△ 縮良
 - 2 暗灰褐色/LB LR BBB◎ 縮良



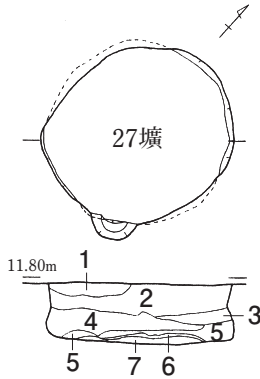
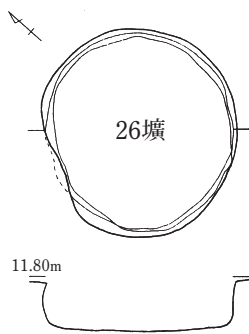
第23図 KB5 遺構2



○17・18壙セクション

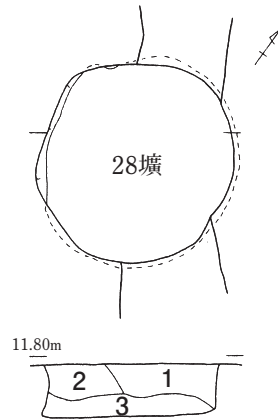
- 1 暗灰褐色/LB 黒色土B△、T SR▲ 締良
- 2 暗灰褐色/1層よりLB、黒色土B△ 締良
- 3 黄褐色/暗灰褐色B、黒色土B△ 締良
- 4 暗灰褐色(1層より暗)/LB、黒色土B△、FER△万 締良
- 5 暗灰褐色/BB△、LB▲ 軟質
- 6 暗灰褐色/LR◎、BR△万 軟質
- 7 暗灰褐色/LR、黒色土B(1層より少) 締良
- 8 暗灰褐色/LR、BR▲ 締良
- 10 暗灰褐色(1、4層より暗)/BR・LR▲ 締良
- 11 暗灰褐色/T・LR△、黒色土B△ 締良

17壙
→18壙



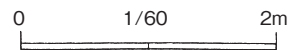
○27壙セクション

- 1 暗灰褐色/LR◎、黒色土B T▲ 締良
- 2 暗灰褐色/LR、BR△万 締良 堅緻
- 3 暗灰褐色(上層に似る)/LR◎ 軟質
- 4 暗灰褐色/LB LR 黒色土B◎ 締良
- 5 暗灰褐色(3層より暗)/FER△、LR▲ BR 締良
- 6 暗灰褐色/FER◎ 堅緻
- 7 灰黒色/FER▲ 締良 堅緻

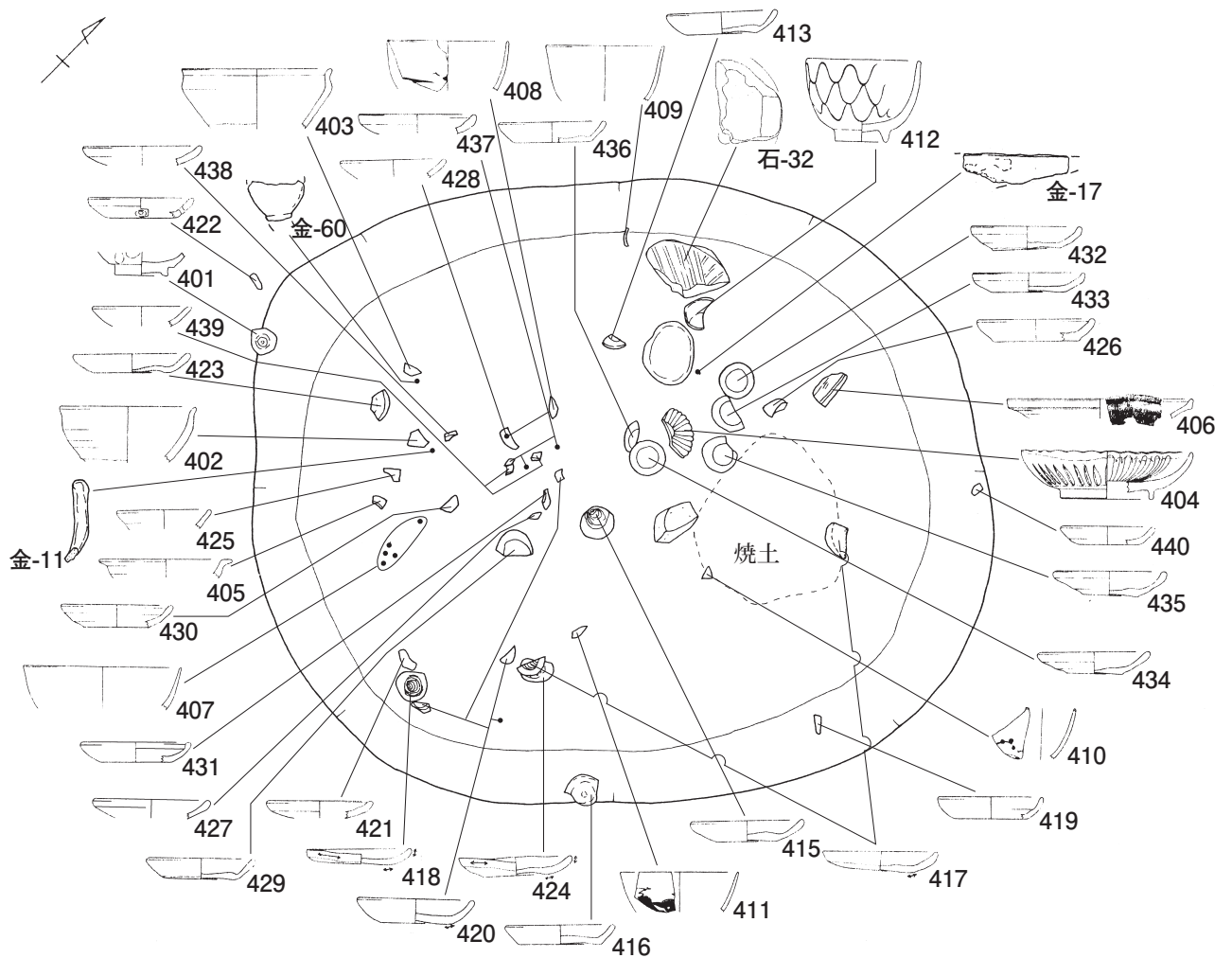


○28壙セクション

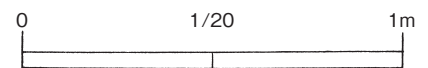
- 1 暗灰褐色/LR、LB(2層より少)、BBB、T
- 2 暗灰褐色/LB LR 黒色土B◎ 締良
- 3 暗灰褐色(黒味強)/CR、SR△、LR



第24図 KB5 遺構3



14号土壇遺物出土状況



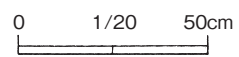
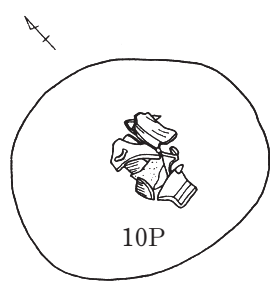
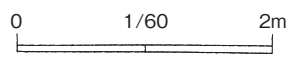
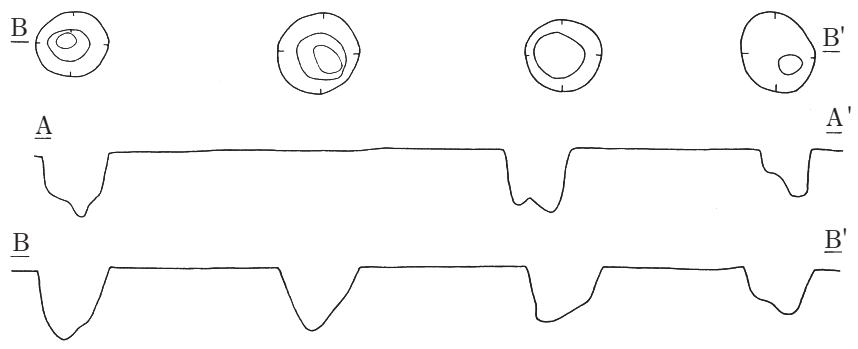
第25図 KB5 遺構4



調査風景



1号建物



第26図 KB5 遺構5



10P 壺出土 (土-444)



調査風景

()は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化鉄/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	位置	重複	平面形	断面形	規模(cm)	深さ	覆土	出土遺物	年代	備考
1号溝	南北	なし	直線		幅26	5	不明	中国(白磁皿=15c~16c)/在地(片口鉢=13c~14c)/銀/彈丸/鳩目/飾り金具/銭貨		
2号溝	南北	11・12溝、31壙→○→4溝/5・6・8・11~13溝、4・22・31壙	屈曲する?	箱葉研	幅☆(290)	☆118	暗灰褐色/含T・LR▲	龍泉(青磁蓮弁文碗)/中国(染付皿=16c後~17c)/漳州(染付皿=16c末~17c)/常滑(片口鉢=14c~15c)/瀬美(平碗・天目・志野丸皿・端反皿=15c末~16c初・播鉢・鉢類)/志戸呂(播鉢=16c)/静岡(小皿=13c前)/肥前磁器(白磁丸碗=18c)/在地(片口鉢・播鉢)/かわらけ=17c~/焙烙/煙管/小柄/板材片/炭化材/銭貨/砥石/磨石(桃)/皮(栗)	17c後~18c	やや廻るか
3号溝	南	8溝	直線	箱葉研	幅☆380	☆138	暗灰褐色/含LR△・CR▲	龍泉(青磁碗=13c)/中国(染付皿=16c後~17c)/瀬美(平碗・天目・片口鉢=17c後・祖母懷壺)/肥前磁器(染付丸碗=18c)/在地片口鉢/かわらけ=17c~/彈丸/小柄/漆碗/部材/板材/丸棒材/炭化木片/銭貨/茶臼/種(桃)/皮(栗)/スラグ75g	17c後~18c	やや廻るか
4号溝	南北	2・5・11・12・13溝→○	直線	葉研	幅☆222	☆74	暗灰褐色/含T・LR・BB△	常滑(片口鉢=12c中~13c初・壺=1250~1275)/瀬美(縁釉小皿=15c末~16c初)/志戸呂(筒形碗=17c~/)/肥前磁器(染付小坏=17c中)/かわらけ=17c~/銭貨/種(桃)	17c中	
5号溝	北	○→2・4溝/14溝	直線	箱堀	幅256	☆50	暗灰褐色/含LR・FER△	龍泉(青磁碗=13c)/常滑(片口鉢=13c)/瀬美(小碗=19c)/砥石		
6号溝	北	○→2井/2溝	直線	箱葉研	幅☆334	☆108	暗灰褐色/含LB・LR△・FER△	肥前唐津(丸碗=16c末~17c前)/在地播鉢/かわらけ=17c~/焙烙/桶(側板)/漆片/煙管/砥石/板碑/種(桃・瓜科)/皮(栗)	17c~	
7号溝	北	なし	直線	不明	幅200	102	不明	肥前磁器(染付碗=18c~19c)/肥前陶器(丸碗=18c)/かわらけ/白木碗/漆碗/種(桃)/皮(栗)	18c~	
8号溝	南	○→9溝/3・9溝	端部弧状	箱葉研	幅☆(104)	☆42	暗灰褐色/含LR△	瀬美梅瓶又は瓶子/鉄鍬		
9号溝	南	8溝→○/10溝	直線	ほぼ直上	幅☆92	☆22	暗灰褐色/含LR・C△			
10号溝	南端	—	—	—	—	—	—	瀬美(祖母懷壺=15c前)		
10a号溝	南端	9・10b溝	直線	不明	幅(170)	2	不明			
10b号溝	南端	10a溝	直線	不明	幅(200)	108	不明			
11号溝	北	31壙→○→2・4溝/12・13壙	直線	ほぼ直上	幅65	20	不明			
12号溝	南	25壙→○→2・4溝/8・19・28壙	直線	ほぼ直上	幅☆66	☆24	暗灰褐色/含T▲・LB△			
13号溝	南西	○→4溝/3溝	直線	不明	幅75	54	不明			
14号溝	北	15・16溝→○/4・15溝	直線	ほぼ直上	幅72	24	暗灰褐色/含BBB△・FER△			
15号溝	北	○→14溝	直線	不明	幅(70)	22	不明			
16号溝	北	○→14溝/4溝	直線	不明	幅(130)	15	不明			
1号井戸	北	なし	円形	ロート形	132	☆120	暗灰褐色/含LR・T・C△	焙烙		
2号井戸	北	6溝→○	楕円形	ロート形	125×106	190	不明	かわらけ=17c~/焙烙/板碑	19c~	
3号井戸	北	なし	円形	直上	100	150	暗灰褐色			
4号井戸	北	2・6溝	円形	ロート形	65	120	不明			
1号土壙	北	5溝→○	長方形	ほぼ直上	640×58	12	暗灰褐色/含CR・T△			
2号土壙	北	なし	不整楕円形	ほぼ直上	194×116	14	C・LR・SR◎			
3号土壙	南	なし	楕円形	ほぼ直上	112×80	23	暗灰褐色/含LR・SR△・T▲			
4号土壙	南	なし	隅丸長方形	ほぼ直上	244×103	☆17	暗灰褐色/含LR◎・BBR△			
5号土壙	南	6壙→○	楕円形	ほぼ直上	162×108	☆20	暗灰褐色/含LB・BBB△			
6号土壙	南	28壙→○→5壙	長方形	ほぼ直上	420×66	☆26	暗灰褐色			
7号土壙	南	なし	長方形	ほぼ直上	225×58	☆18	暗灰褐色/含LR▲・T・BBB			
8号土壙	南	12溝→○	長方形	ゆるやか	168×52	☆10	暗灰褐色/含SR・T▲			

第6表 KB5遺構一覧表1

() は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化物/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	位置	重複	平面形	断面形	規模 (cm)	深さ	覆土	出土遺物	年代	備考
9号土壇	北	なし	長方形	ほぼ直上	202×108	☆18	暗灰褐色/含LR ◎・BBB△			
10号土壇	北	13壇→○	隅丸長方形	ほぼ直上	(236)×60	☆14	暗灰褐色/含T △・LR			
11号土壇	北	12壇→○	円形	ほぼ直上	127	☆42	暗灰褐色/含LR ◎・T△・C▲			
12号土壇	北	○→11壇	長方形	ほぼ直上	294×60	☆12	暗灰褐色/含LR ・T・BR▲			
13号土壇	北	11溝→○→10壇	円形	ほぼ直上	94	☆30	暗灰褐色/含T・LR	かわらけ=17c~		
14号土壇	北	2溝、31壇	楕円形	ほぼ直上	207×175	☆25	暗灰褐色/含T・LR・C▲	瀬美(天目=16c中~17e前・織部菊皿=17c中~後・蓋?・播鉢)/肥前陶器(丸碗=18c前)/肥前磁器(染付碗=17c後~18c)/かわらけ=17c~/釘/刀子/煙管/粉挽臼/磨石/板碑	17c後~18c前	
15号土壇	北	なし	長方形	ほぼ直上	128×64	☆20	暗灰褐色/含CS ◎・T▲			
16号土壇	北	なし	長方形?	ほぼ直上	(308)×100	☆17	暗灰褐色/含LR ・T・C			
17号土壇	南	○→18壇	長方形	ほぼ直上	280×154	☆47	暗灰褐色/含LB ・BB△・T・SR▲	瀬美(菊花皿=17c後~末)/肥前磁器(染付碗=18c)/かわらけ/煙管/銭貨	17c後	
18号土壇	南	17壇→○	円形	ほぼ直上	80	☆18	暗灰褐色/含T・LR△・BB△			
19号土壇	南	12溝、21壇→○	楕円形	ほぼ直上	149×114	☆40	暗灰褐色/含T ◎・LR・SR△	砥石		
20号土壇	南	21壇→○	長方形?	ほぼ直上	125×(56)	☆11	暗灰褐色/含LR ▲			
21号土壇	南	19・20壇→○	長方形?	ほぼ直上	(170)×118	16	暗灰褐色/含LB ◎・BB◎			
22号土壇	南	2溝→○	円形	ほぼ直上	172	22	黒色/含LB・LR ◎			
23号土壇	北	なし	円形	ゆるやか	140	18	暗灰褐色/含BB ・LB・FER△			
24号土壇	北	なし	円形	ゆるやか	120×104	17	暗灰褐色/含BB ・LB・FER△			
25号土壇	南	○→12溝	円形	ゆるやか	96	20	暗灰褐色/含LB ・LR・BBB◎			
26号土壇	南	なし	円形	オーバー ハンゲ	168	☆40	暗灰褐色/含LB ◎・LR・SB			
27号土壇	南	なし	円形	オーバー ハンゲ	154	☆47	暗灰褐色/含LB ・LR・T・BB◎			
28号土壇	南	12溝、6壇→○	円形	直上	153	☆42	暗灰褐色/含T・LR・LB・BR			
29号土壇	南	○→4溝	円形?	ほぼ直上	162×(70)	34	不明			
30号土壇	南	○→4溝	円形	ほぼ直上	158×(94)	32	不明			
31号土壇	北	○→2・11溝、14壇	長方形	ゆるやか	320×144	24	不明			
1号建物跡		-	-	-	範囲564×296	-	暗灰褐色			

第7表 KB5遺構一覧表2

第3節 第15次

(1) 調査概要

調査担当 教育総務課 主事 嶋村英之

調査期間 平成2年2月13日～3月19日

調査面積 116.5㎡

調査の経過

建設予定地に13.5m×8.3mの調査区を設定し掘り下げた。ローム面を遺構確認面とし溝・井戸・土壌の調査を実施した。その後建設予定地が変更となり、南側に13.5m×8.3mの調査区を再設定しB区とし土壌の調査を行った。前者はA区とした。遺構の図化は、全体は平板測量により、各遺構は任意に設定した水糸を基準としてメジャーにより実測した。基準杭の標高はKB10に所在する基準点から計測し使用した。

周辺の調査 (第6図)

北にKB2区4-8号線区、東にKB2区6-33号線区が所在する。4-8号線区には溝・井戸・墓壇が多数分布する。

(2) 遺構と遺物

【溝状遺構】A区に1条のみ確認された。

1号溝 調査区中央で東西方向に走行する。幅122cm 深さ50cmである。

出土遺物は瀬戸美濃の菊皿(土-498)・水注(土-499)・在地片口鉢(土-500)がある。

【井戸状遺構】6基ありA区に集中する。

1号井戸 A区中央に位置し、直径138cm・深さ126cmと浅い。覆土にロームブロック層あり。志野丸皿(土-502)・瀬戸美濃播鉢(土-503~505)や・丸棒材・粉挽臼(石-33・34)が出土した。

2号井戸 A区東に位置し、直径93cm・深さ176cmである。断面は直上する。

3号井戸 A区西に位置し、直径120cm・深さ152cmである。断面は中位で膨らむ。瀬戸美濃鉄絵鉢(土-508)・木材・板碑片が出土。

4号井戸 A区北寄りに位置し、直径100cm・深さ92cmである。5号井戸に隣接する。志野向付(土-510)が出土した。5号井戸が新しい。

5号井戸 A区北寄りに位置し、直径132cm・深さ152cmである。中国染付皿(土-511)・備前徳利(土-513)・丹波信楽播鉢(土-514)・在地壺(土-516)・煙管(金-69)・粉挽臼(石-35)・板碑(石-152~154)・釘(金-12)・煙管雁首(金-69)が出土した。

6号井戸 A区北端に位置し、直径138cm・深さ62cm(残存)である。

【土壌】土壌は18まで命名したが欠番・ab分割等により実数20基である。北側のB区に集中し全面に分布する。

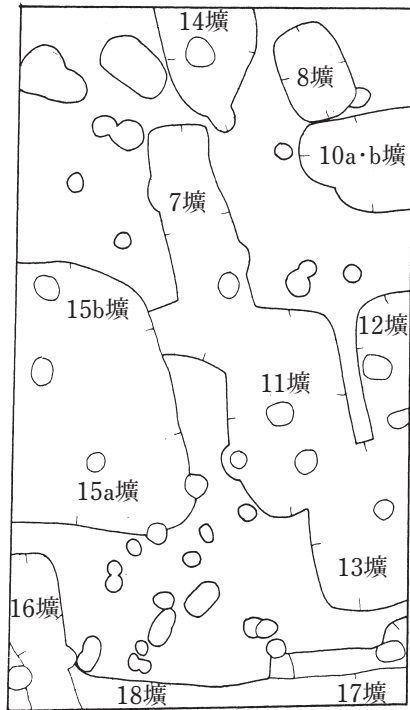
2号土壇 A区西端に位置し、平面楕円形で規模は72cm×34cm(残存)で深さ7cmと浅い。骨が出土しており墓壇と思われる。

遺構外出土遺物

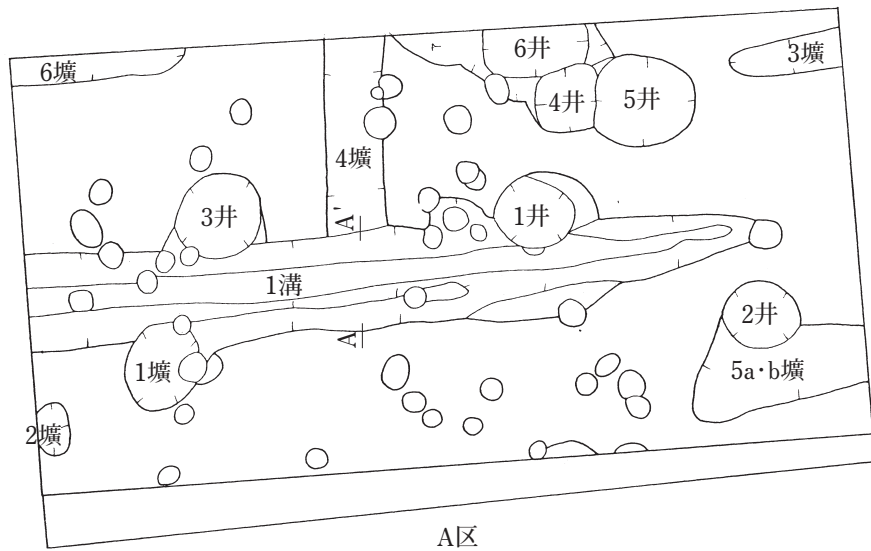
略完形のかわらけ(土-561~563)・口金(金-94)・寛永通宝(金-185・186)が出土している。



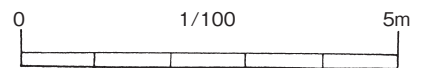
調査風景



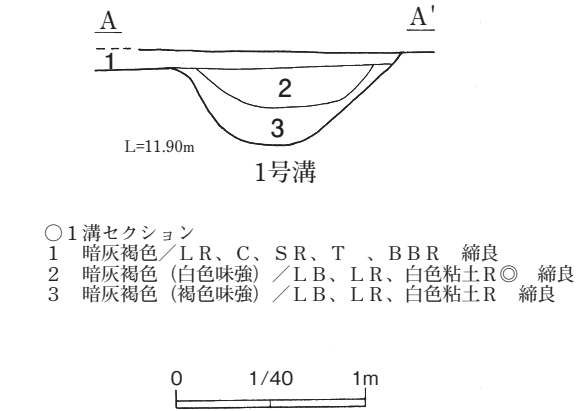
B区



A区



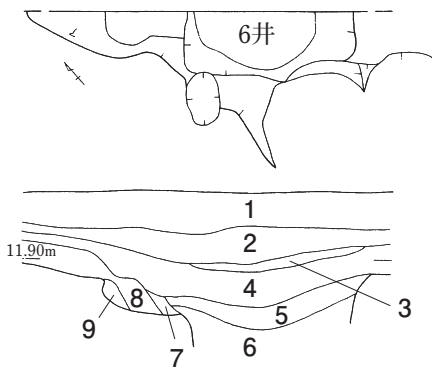
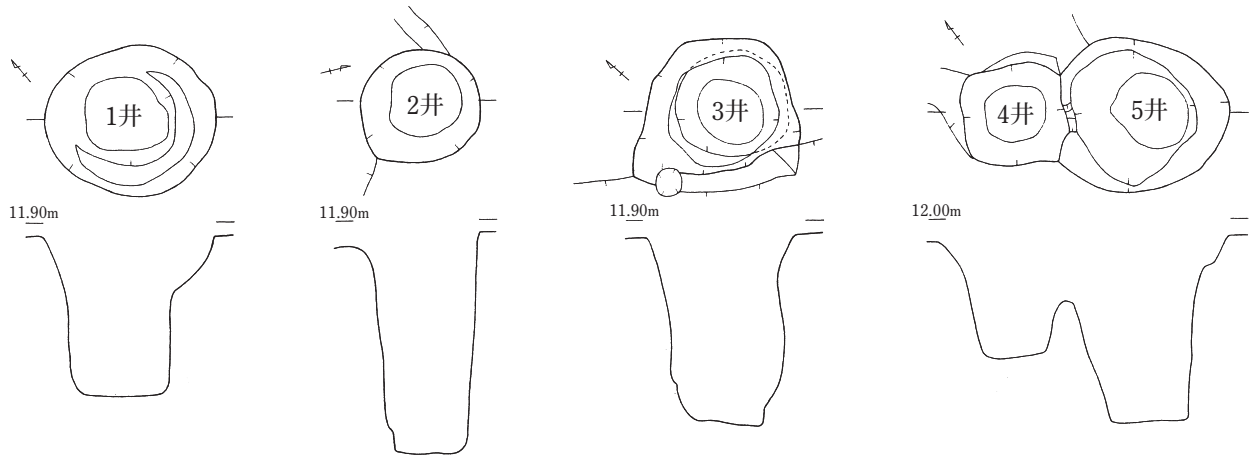
第27图 第15次遺構位置图



土層説明凡例
 色調/含有物

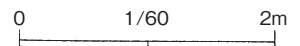
テフラ=T
 ローム=L
 炭化物=C
 焼土=S
 酸化鉄=FE
 黒色=B
 褐色=Br
 粒子=R
 ブロック=B

非常に多い=☆
 多量=◎
 少量=△
 微量=▲
 万遍なく=万
 やや暗い=やや暗
 非常にやわらかい=軟度高
 やわらかい=軟質
 やややわらかい=軟度低
 かたい=堅緻
 縮まり良し=縮良
 縮まり悪し=縮悪
 粘性強し=粘強
 粘性有り=粘有

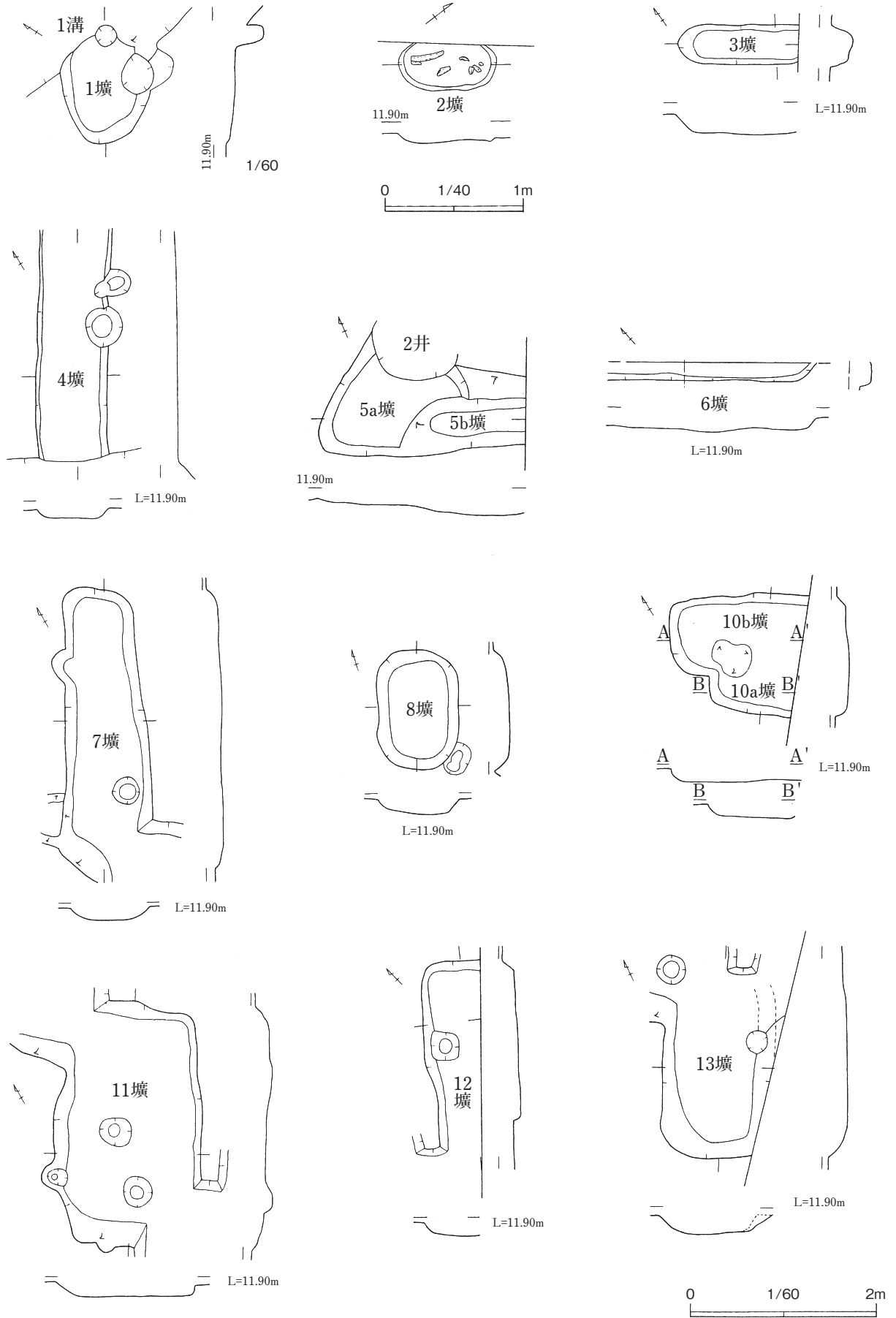


○6 井戸セクション

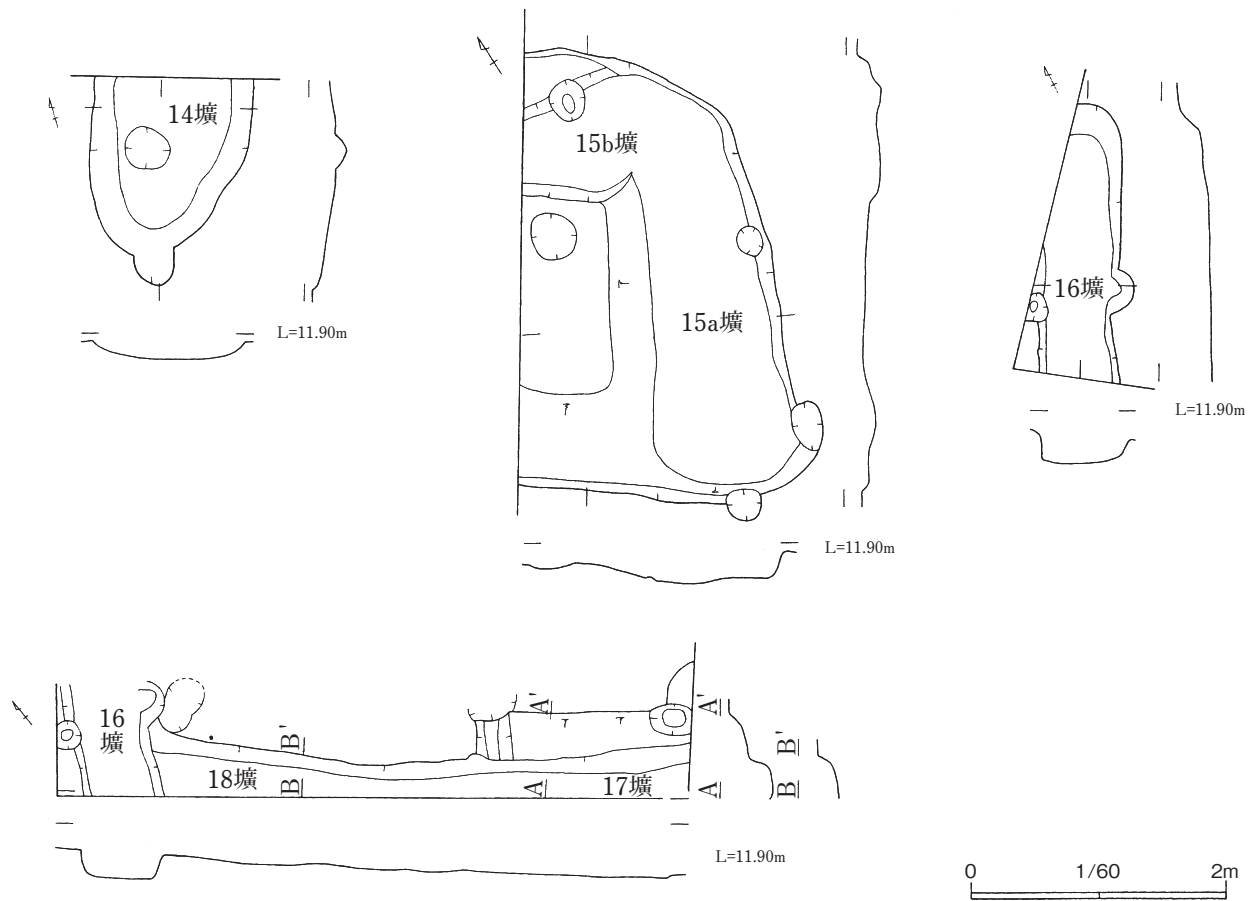
- 1 暗灰褐色 (表土) / LR、CR、SR、T ◎ 縮良
- 2 暗灰褐色 / LR◎、CR△、SR、T 縮良
- 3 暗灰褐色 / LR、C、SR、T、白色粘土B 縮良
- 4 暗灰褐色 (やや暗) / LR、C▲、SR▲、白色粘土R◎ 縮良
- 5 暗灰褐色 (褐色味強) / LB、LR、FER、C▲、SR▲、白色粘土R 縮良
- 6 暗灰褐色 (褐色味強) / LB☆ (LBの2次堆積のよう)、LR、白色粘土B 縮悪
- 7 暗灰褐色 / LB、LR、FER、灰白色粘土B◎ 縮良
- 8 暗灰褐色 / LR、CR▲、灰白色粘土R 縮良
- 9 暗灰褐色 / LB、LR 縮良



第28図 第15次遺構 1



第29図 第15次遺構 2



第30図 第15次遺構 3



調査風景

()は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化物/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	重複	平面形	断面形	規模(cm)	深さ(cm)	覆土	出土遺物	年代	備考
1号溝	○→1 壙	直線	ほぼ直上	☆幅122	☆50	暗灰褐色	瀬美(菊皿=17c 後・水注)/在地(片口鉢=13c 後)/磨石	17c 後～	
1号井戸	1 溝	円形	ロート形	138	126	暗灰褐色/LB 層あり	瀬美(志野丸皿・播鉢)/かわらけ/釘/煙管/丸棒材/粉挽白	17c 前～	
2号井戸	○→5 壙	円形	直上	93	176	暗灰褐色/含 LR ◎			
3号井戸	1 溝→○	円形	ほぼ直上	120	152	暗灰褐色	瀬美(鉄絵鉢=17c 後)/焙烙/木材/板碑片	17c 後～	
4号井戸	○→5 井/6 井	円形	ロート形	100	92	暗灰褐色/含 LR ◎	瀬美志野向付/磨石	16c 末～	
5号井戸	4 井→○	円形	ロート形	132	152	暗灰褐色/含暗 灰褐色 B◎・T△	中国(染付皿=16c 末～17c)/志戸呂(播鉢=16c 中～17c)/備前(徳利=16c)/丹波・信楽(播鉢=17c 中)/在地壺/焙烙/釘/棒状製品/鉄着せ製品/煙管/粉挽白/板碑	17c 中	
6号井戸	4 井	方形	ロート形	138×(58)	☆(62)	暗灰褐色/含白 色粘土 R◎			
1号土壙	1 溝→○	楕円形	ゆるやか	(124)×94	10	暗灰褐色/含 LB ・LR	焙烙		
2号土壙	なし	楕円形	ゆるやか	72×(34)	7	不明	骨		墓壙
3号土壙	なし	隅丸長方形	ほぼ直上	(134)×44	22	暗灰褐色/含 LB ・LR.CR			
4号土壙	1 溝	長方形?	ほぼ直上	(253)×78	9	不明			
5a号土壙	2 井→○/5 b 壙	不整円形	ゆるやか	(158)×135	8	不明			
5b号土壙	5a 壙	隅丸長方形?	ゆるやか	(140)×50	10	不明			
6号土壙	なし	隅丸長方形	ほぼ直上	230×(22)	15	不明			
7号土壙	11壙	長方形	ゆるやか	(270)×92	16	暗灰褐色/含 LR ・LB			
8号土壙	なし	隅丸長方形	ほぼ直上	132×90	18	暗灰褐色/含 LB ・LR			
9号土壙	欠番								
10a号土壙	10b 土壙	不整長方形	ほぼ直上	(100)×40	14	暗灰褐色			
10b号土壙	10a 土壙	不整長方形	ほぼ直上	(150)×98	14	暗灰褐色			
11号土壙	7・13壙	長方形	ゆるやか	270×162	18	暗灰褐色/含 LR			
12号土壙	○→13壙	長方形	ほぼ直上	(213)×(64)	20	暗灰褐色/含 LR ◎			
13号土壙	12壙→○/11壙	長方形	ゆるやか	(145)×(98)	20	暗灰褐色/含 LR			
14号土壙	なし	楕円形	ゆるやか	(145)×130	17	暗灰褐色/含 LB ・LR			
15号土壙	-	-	-	-	-	-	瀬美折縁深皿		
15a号土壙	15b 壙	不整長方形	ゆるやか	356×134	24	暗灰褐色			
15b号土壙	15a 壙	長方形?	ほぼ直上	126×(96)	18	暗灰褐色			
16号土壙	18壙	長方形	ほぼ直上	(226)×66	30	不明	在地土鍋		
17号土壙	18壙	長方形	ほぼ直上	(270)×(30)	35	暗灰褐色	砥石		
18号土壙	16・17壙	長方形?	ほぼ直上	(287)×(60)	16	不明			

第8表 15次遺構一覧表

第4節 第26次

(1) 調査概要

調査担当 教育総務課 主事 坂本征男
 調査期間 平成3年12月9日～
 平成4年1月28日
 調査面積 89㎡

調査の経過

建築予定地に11.5m×5.5mの調査区を設定し、表土を人力により掘り下げた。確認面はローム層である。区域外の様子を把握するためにA(北)・B(西)・C(西南)の3箇所トレンチ調査を行った。Bトレンチで井戸が確認されたため、拡張して調査した。

また11号土壌部分も拡張して調査した。

図化は調査区全体は平板測量により、土層等は水糸を基準としてメジャーにより実測した。

最後に縄文時代遺構検出のため精査を行った。その際、土器片が確認された。

基準杭の標高は大英寺に所在する基準点から計測し使用した。

周辺の調査(第6図)

北にKB10区、東にKB7区、西にKB4区(本報告)が所在する。KB4・7区の隣接部ではともに土壌・ピットが確認され、大規模な溝は走行しない。

(2) 遺構と遺物

【溝状遺構】6まで命名したが欠番などから、実数4条を数える。調査区西のトレンチに分布する。走行方向は南北方向で3・6号溝はつながるか。

3号溝 Bトレンチ中央に位置し、南北に走行する。幅84cm・深さ30cmである。肥前磁器香炉(土-571)が出土している。

【井戸状遺構】2基あり調査区西拡張部およびBトレンチにある。全て素堀である。

1号井戸 Bトレンチ中央に位置し、直径115cm×105cm・深さ124cmである。壁面中位が2箇所窪む。足掛かりか。桶の側板(木-7)・底板(木-8)・板材2点・炭化材・板碑(石-159)が出土した。

2号井戸 調査区西端に位置し、直径88cm・深さ108cmである。在地のかわらけ・ほうろくなど(土-572~575)や板碑(石-160・161)及び板碑台石(石-164)が出土した。

【土壌】土壌は12まで命名したが欠番等により実数11基である。調査区に万遍なく分布する。

10号土壌 調査区中央西端に位置し、平面不整形で規模は284cm(残存)×130cm・深さ8cmである。複数の土壌・落込が重複したものか。覆土中より多量の炭化物が検出された。

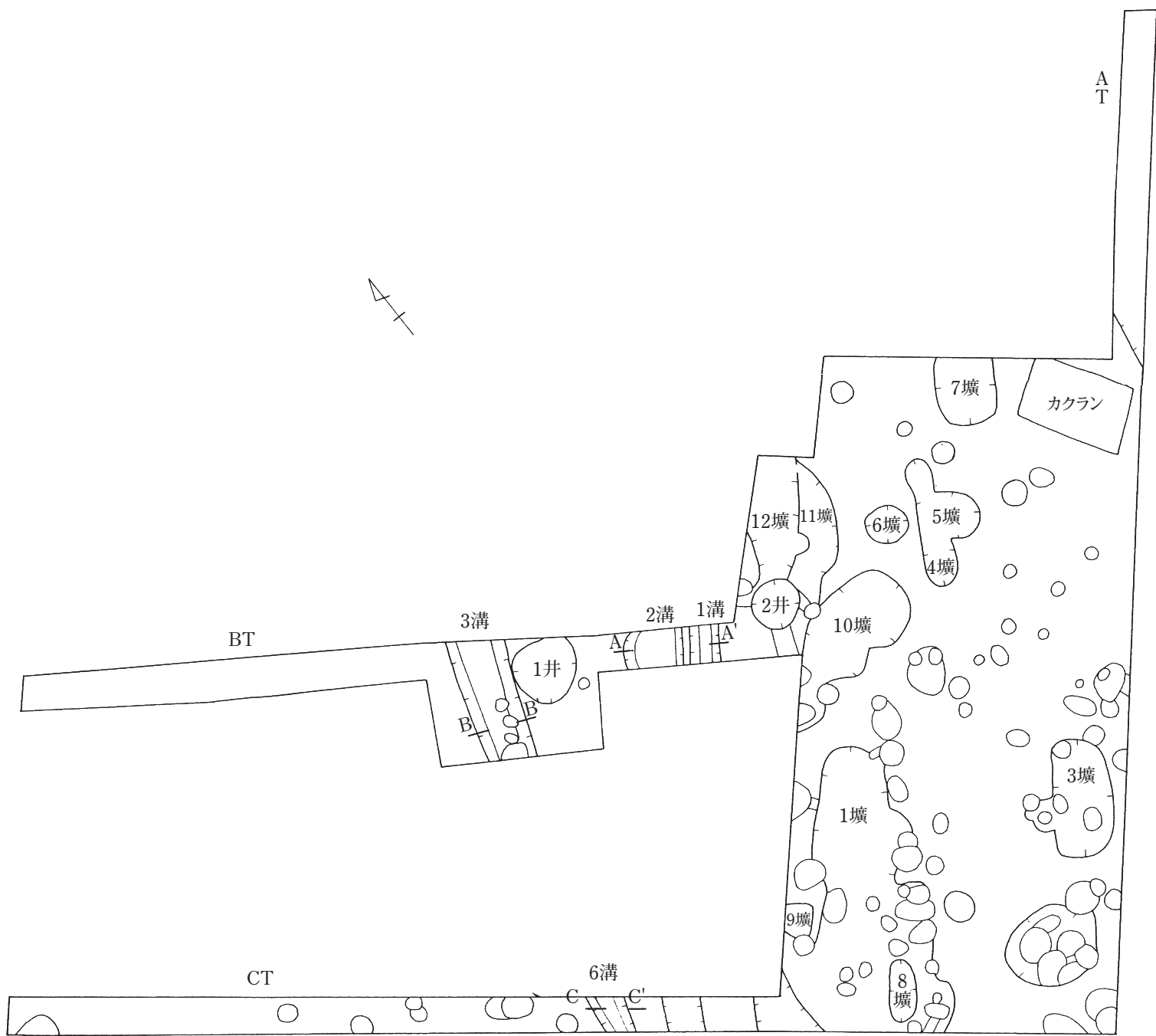
確認面より上位でかわらけ(土-579~583)が出土した。全て完形から1/2以上残るが、10号に北端の落込に伴うものであろう。スラグ50g出土。

遺構外出土遺物

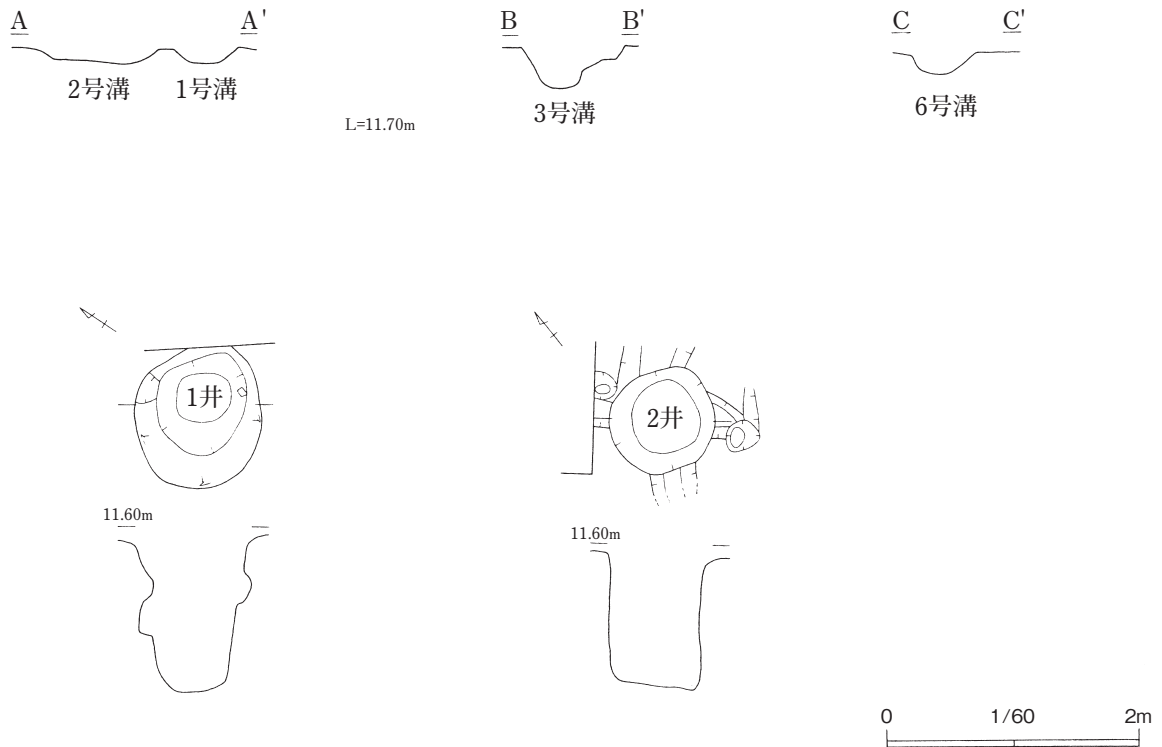
スラグが15g出土している。



調査風景



第31図 第26次遺構位置図

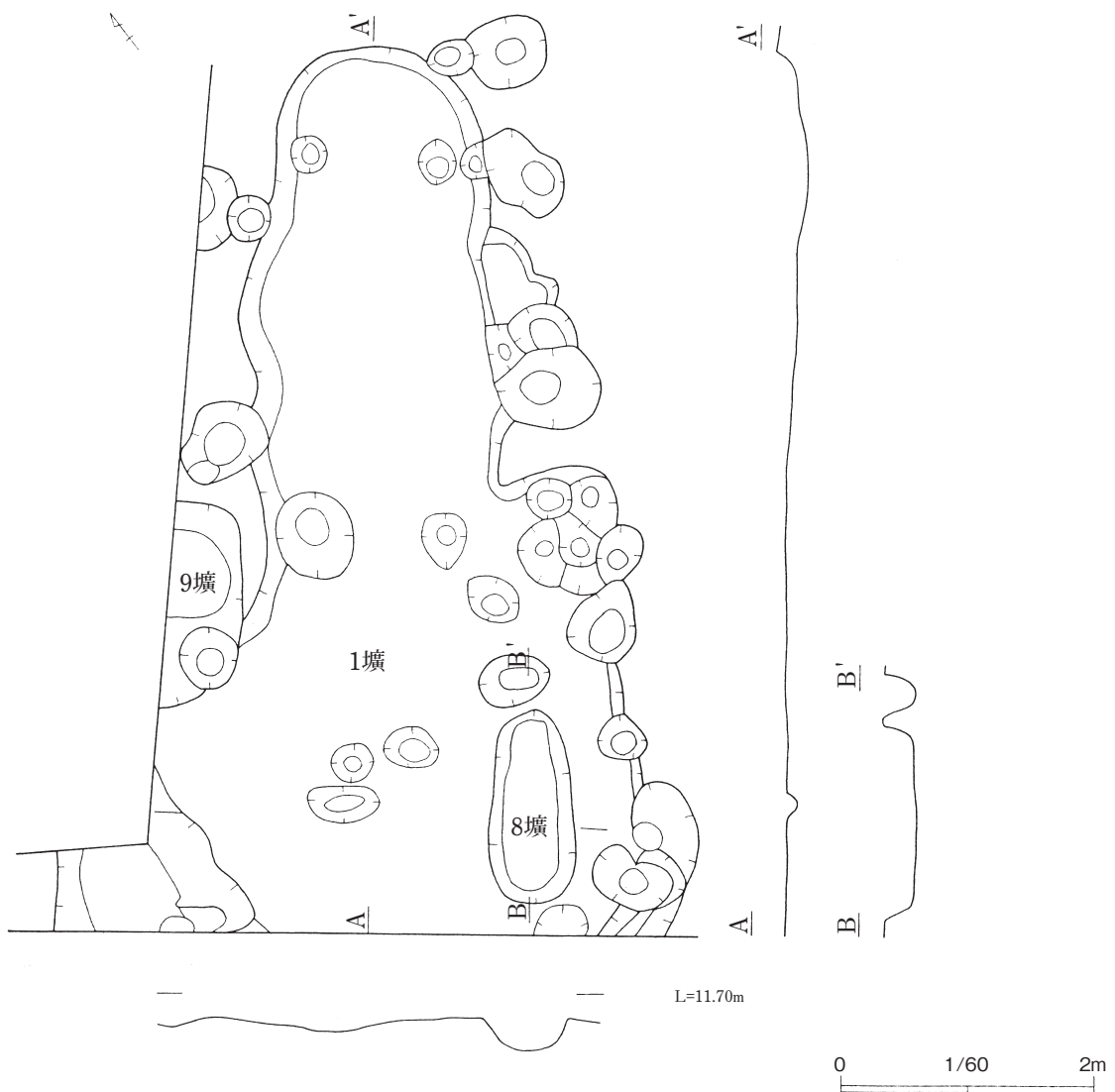
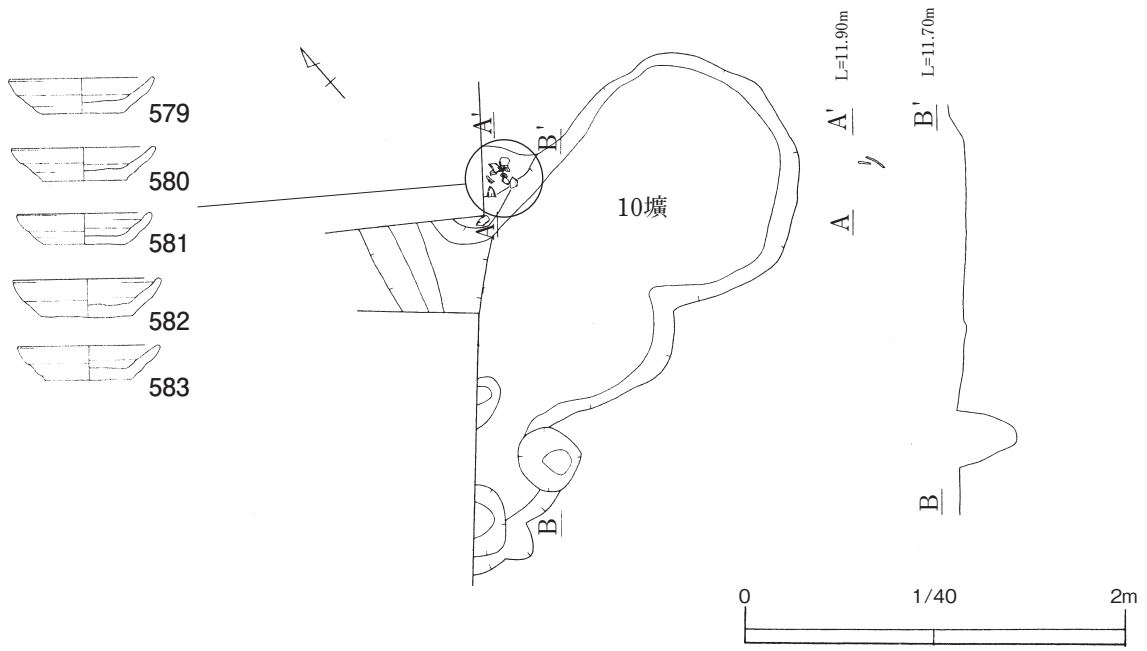


第32図 第26次遺構 1

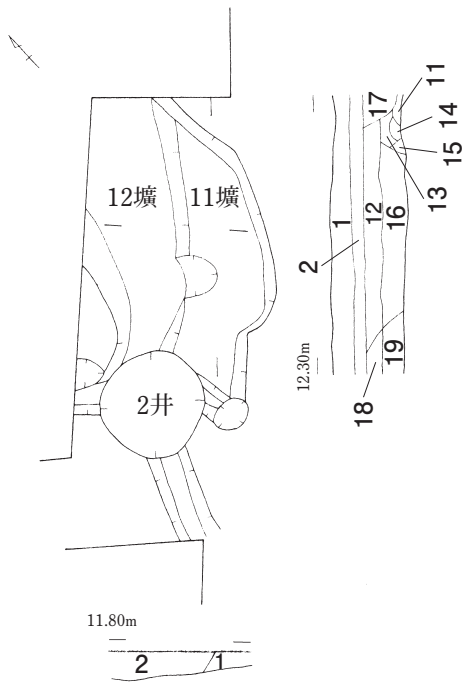
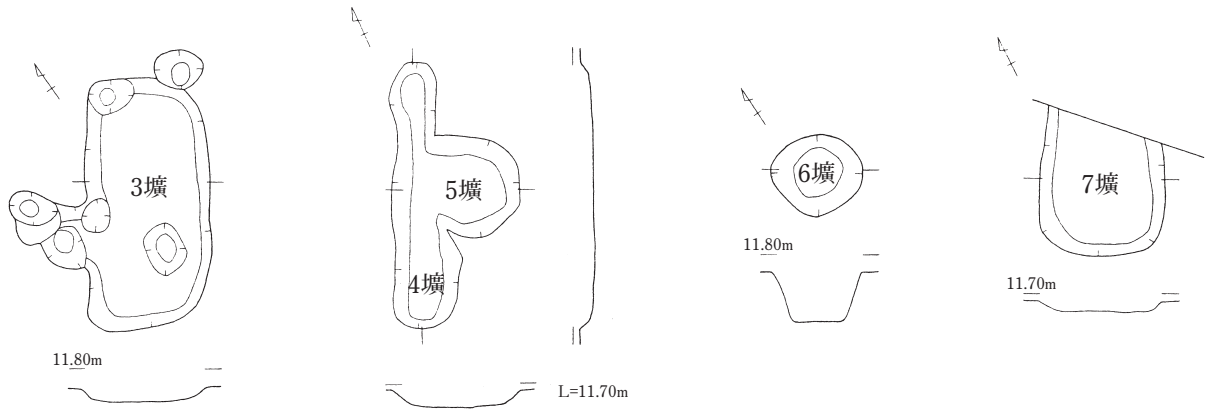
() は残存値、☆はセクション図計測値 ○は当該遺構 覆土 (T=テフラ、L=ローム、S=焼土、C=炭化物、Fe=酸化鉄/B=ブロック、R=粒子)

遺構名	重複	平面形	断面形	規模 (cm)	深さ (cm)	覆土	出土遺物	年代	備考
1号溝	なし	直線	ゆるやか	幅52	12	不明			
2号溝	なし	直線	ゆるやか	幅96	13	不明			
3号溝	なし	直線	ほぼ直上する	幅84	30	不明	肥前磁器 (香炉=17c~)		
4号溝	欠番								
5号溝	欠番								
6号溝	なし	直線	ほぼ直上	幅46	17	不明			
1号井戸	なし	円形	ロート形	115×105	124	不明	桶 (底・側板)/板材/炭化材/粉挽臼/板碑		
2号井戸	11・12壙	円形	直上	88	108	暗灰褐色	在地播鉢/かわらけ/焙烙/板碑/板碑台		
1号土壙	8壙	隅丸長方形	ほぼ直上	(476)×110	12	不明	龍泉 (青磁蓮弁文碗=13c~14c)/瀬美 (丸皿・播鉢=17c~)/銭貨/火打石?		
2号土壙	欠番								
3号土壙	なし	長方形	ゆるやか	204×100	9	暗灰褐色			
4号土壙	5壙→○	隅丸長方形	ほぼ直上	214×50	☆10	暗灰褐色			
5号土壙	○→4壙	円形	ほぼ直上	88	☆12	暗灰褐色			
6号土壙	なし	円形	ほぼ直上	70	40	不明			
7号土壙	なし	長方形	ゆるやか	(120)×100	9	不明			
8号土壙	1壙	隅丸長方形	ほぼ直上	104×45	14	不明			
9号土壙	なし	長方形?	不明	(78)×(38)	8	不明			
10号土壙	-	不整形長方形	ゆるやか	(284)×130	8	暗灰褐色/含C◎	焙烙/磨石/板碑/スラグ50g		土壙重複か
11号土壙	12壙	不整形	ほぼ直上	(230)×(70)	☆30	暗灰褐色	瀬美 (織部徳利)/在地播鉢/かわらけ/焙烙		
12号土壙	11壙	不整形	ほぼ直上	(220)×(70)	☆25	暗灰褐色/含C◎	瀬美 (黄瀬戸皿?・播鉢・織部徳利)/かわらけ/焙烙		

第9表 26次遺構一覧表



第33図 第26次遺構 2



○11壙セクション

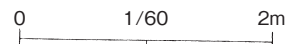
- 1 表土 (盛土)
- 2 暗灰褐色 / 縮良 T◎、LR、LB▲、C、赤色R▲
- 11 L (ソフト)
- 12 暗灰褐色 / 縮良 C△、T▲、赤色R、LRLB▲、白色R◎
- 13 暗灰褐色 / 縮良 LR、LB、白色R▲
- 14 暗灰褐色 / 縮良 LR、LB▲
- 15 暗灰褐色 / 縮良 LR◎、C▲
- 16 暗灰褐色 / (やや灰色) 縮良 C◎、白色R、LR、LB▲、赤色R▲
- 17 記載なし
- 18 暗灰褐色 / 縮良 LR、LB、T、赤色R▲
- 19 暗灰褐色 (黒褐色) / 縮良 赤色R▲、LR◎

○12壙セクション

- 1 暗灰褐色 / 縮良 C◎ (やや灰色) LR、LB▲ →11壙
- 2 暗灰褐色 / 縮良 C△、LR、LB▲、赤色R▲

土層説明凡例
色調 / 含有物

- | | |
|--------|--------------|
| テフラ=T | 非常に多い=☆ |
| ローム=L | 多量=◎ |
| 炭化物=C | 少量=△ |
| 焼土=S | 微量=▲ |
| 酸化鉄=FE | 万遍なく=万 |
| 黒色=B | やや暗い=やや暗 |
| 褐色=Br | 非常にやわらかい=軟度高 |
| | やわらかい=軟質 |
| | やややわらかい=軟度低 |
| 粒子=R | かたい=堅緻 |
| ブロック=B | 縮まり良し=縮良 |
| | 縮まり悪し=縮悪 |
| | 粘性強し=粘強 |
| | 粘性有り=粘有 |



第34図 第26次遺構 3

第IV章 出土した遺物

第1節 土器類

騎西城跡で出土している土器類は大略以下の通りに分類できる。

胎質では磁器・陶器・土器、生産地では国外産である輸入品、国内産に大別できる。また、器種は多様である。

これらの要素により時代等を加味し、掲載順は、輸入品では青磁・白磁・陶器・染付・朝鮮陶磁・その他、国産品では渥美・常滑・瀬戸美濃・肥前系陶器・志戸呂・初山・備前・丹波信楽・京都信楽・ほか・産地不明・肥前系磁器・瀬戸美濃系磁器・在産土器とする。その他で韃の羽口や土製品を扱う。以上、分類・年代等はいずれも暫定的なものでいずれ整理をしたい。さて、今回の調査で報告する土器類は主に以下の通りで細片は省略している。

【輸入陶磁】

〈青磁〉 碗が4区4溝(18)・18井(59)で、蓮弁文皿が4区18井(60)で、鉢が4区5井(37)出土した。

○同安窯系 碗が5区(448)で出土した。

○龍泉窯系 碗が4区2溝(10)・3溝(17)・9溝(26)・1壙(68)・遺構外(207~209)で、5区2溝(346)・3溝(366)・5溝(384)・遺構外(445~447)で、26次1壙(576)で出土した。

〈白磁〉 碗が4区13井(53)で、皿が4区遺構外(210~215)・5区1溝(343)で、小壺が4区遺構外(216)で出土した。

○漳州窯系 碗が4区1壙(69)で出土した。

〈染付〉 碗が4区1壙(70)・52壙(175)・遺構外(217)で、皿が4区22井(67)・1壙(71~73)・55壙(183)・遺構外(218~222)、15次5井(511)で、26次(595)で、鉢が26次(596)で出土した。

○漳州窯系 皿が5区2溝(348)で、大皿が4区遺構外(223)で出土した。

【国産】

〈渥美〉 片口鉢が4区(224)・5区(451)で出土した。

〈常滑〉 片口鉢が4区11溝(32)・遺構外(225~228)、5区2溝(349~351)・4溝(377・378)・5溝(385)・遺構外(452~454)、15次(521)で、甕が4区10溝(29)、5区4溝(379)、15次(522)、26次(598)で、壺が26次(597)で13c頃のものが出土した。

〈瀬戸美濃〉

古瀬戸・大窯・登窯期

出土量が多いため、調査時ごとに記載する。

4区

○古瀬戸前期の卸皿が遺構外(241・242)で出土した。

○古瀬戸中期の底卸目皿が52壙(177)で出土した。

○古瀬戸後期の平碗が68壙(197)・遺構外(229)で、天目茶碗が4溝(19)で、卸皿が11溝(33)で、卸目付大皿が1壙(84)で、腰折皿が1壙(79)・遺構外(243)で、縁釉小皿が10壙(149)・遺構外(251)で、搦鉢が遺構外(273)で出土した。

◎大窯前半の丸皿が2溝(12)・10井(47)・65壙(194)・遺構外(257・260=3/4遺存)で、端反皿が4溝(20)・遺構外(244~248)で、縁釉小皿が52壙(178)・遺構外(249・250)で、稜皿が遺構外(254)で、豆皿が41壙(154=1/2遺存)で、搦鉢が1壙(87)で出土した。

◎大窯後半の丸皿が48壙(169)・55壙(185=完形)・遺構外(255=3/4遺存・256・259・261・262)で、稜皿が5溝(22)・5井(38)・14井(56)・遺構外(252=略完形・253)で、ヒダ皿が遺構外(266)で、折縁皿が遺構外(263~265)で、天目茶碗が6井(39=1/2遺存)・17井(58)・18井(61)・1壙(74)・42壙(166)・52壙(176)・遺構外(230・232・234・235)で、搦鉢が1溝(1)・2溝(13)・5溝(23)・18井(62・63)・1壙(86)・3壙(146)・遺構外(274~276)で、徳利が遺構外(277)で、志野丸皿が7井(43=略完形・底部外面に墨書)・遺構外(269・270)で、志野向付が1壙(88)で、小天目が1壙(76)で出土

した。

●登窯初期の天目茶碗が7井(41=1/2遺存・44=略完形)・1壙(75=3/4遺存)・41壙(153)・65壙(193)・遺構外(231)で、白天目茶碗が2溝(11=1/2遺存)・遺構外(233)で、総織部碗が遺構外(238)で、黄瀬戸茶碗が遺構外(240)で、丸碗が1壙(77・78)・遺構外(239)で、鉄絵碗が遺構外(236・237)で、丸皿が遺構外(258)で、鉄絵皿が1壙(81~83)・遺構外(271・272)で、志野丸皿が5溝+7井(21=3/4遺存)・7井(42・44)・1壙(80)・55壙(184)・遺構外(268)で、志野菊皿が遺構外(267)で、播鉢が1壙・41壙(85)で出土した。

5区

○古瀬戸前期の梅瓶?が8溝(394)で出土した。
○古瀬戸後期の平碗が2溝(352)・3溝(367)で、縁釉小皿が4溝(380)・遺構外(458)で、折縁深皿が遺構外(456・457)で、鉢が2溝(357)で、祖母懷壺が10溝(396)で出土した。
◎大窯前半の天目茶碗が2溝(353)・3溝(368)・遺構外(455)で、端反皿が2溝(355=略完形)で出土した。
◎大窯後半の天目茶碗が14壙(402)で、播鉢が2溝(356)・14壙(406)で、志野丸皿が2溝(354)で、蓋が遺構外(468)で出土した。
●登窯初期の天目茶碗が14壙(401・403)で、織部菊皿が14壙(404)で、菊花皿が17壙(441=3/4遺存)で、志野丸皿が遺構外(459・460)で、三耳壺が遺構外(444)で出土した。

15次

○古瀬戸前期の水注が1溝(499)で出土した。
○古瀬戸中期の水注が遺構外(545)で出土した。
○古瀬戸後期の天目茶碗が遺構外(523~525)で、縁釉小皿が遺構外(531)で、折縁深皿が15壙(518)で出土した。
◎大窯前半の天目茶碗が遺構外(526)で出土した。
◎大窯後半の丸皿が遺構外(533)で、内禿皿が遺構外(532)で、天目茶碗が遺構外(527~529)で、播鉢が1井(503)・遺構外(540)で、厚い長石釉に鉄絵を施した志野向付が4井(510)で出土した。

●登窯初期の志野丸皿が1井(502)・遺構外(534・535)で、黄瀬戸鉢が遺構外(538・539)で、播鉢が1井(504・505)・遺構外(541~543)で出土した。

26次

◎大窯前半の端反皿が遺構外(604)で、天目茶碗が遺構外(599)で、播鉢が遺構外(613・615)で出土した。
◎大窯後半の丸皿が1壙(577)で、播鉢が12壙(590)で、志野丸皿(608)と志野丸碗(601)が遺構外で出土した。
●登窯初期の志野丸皿が遺構外(609)で、鉄絵皿が遺構外(611)で、織部徳利は11・12壙(591)で、向付が遺構外(594)で出土した。

〈肥前系陶器〉 碗が5区7溝(390)・14壙(407~409)で、皿が5区遺構外(475)で出土した。

○唐津 鉄絵碗が4区56壙(188)で、鉄絵皿が4区2溝(14)・56壙(189=3/4遺存)・5区遺構外(473・474)で、碗が4区1壙(89)・5区6溝(387)で、大皿が15次遺構外(547)・26次(618)で出土した。

〈志戸呂〉 筒形碗が5区4溝(381)で、筒碗が4区7井(45)で、香炉が4区1壙(91=1/2遺存・92)・3壙(147=1/2遺存)で、灯明皿が4区遺構外(278)で、大皿が4区77壙(206)で、片口が18井(64)で、徳利が4区41壙(155)で、播鉢が4区1壙(90)・遺構外(280)、5区2溝(358)、15次5井(512)で、蓋が4区遺構外(279)で出土した。

〈初山〉 茶入が4区遺構外(281)で出土した。

〈備前〉 建水が5区遺構外(476)で、徳利が15次5井(513)で出土した。

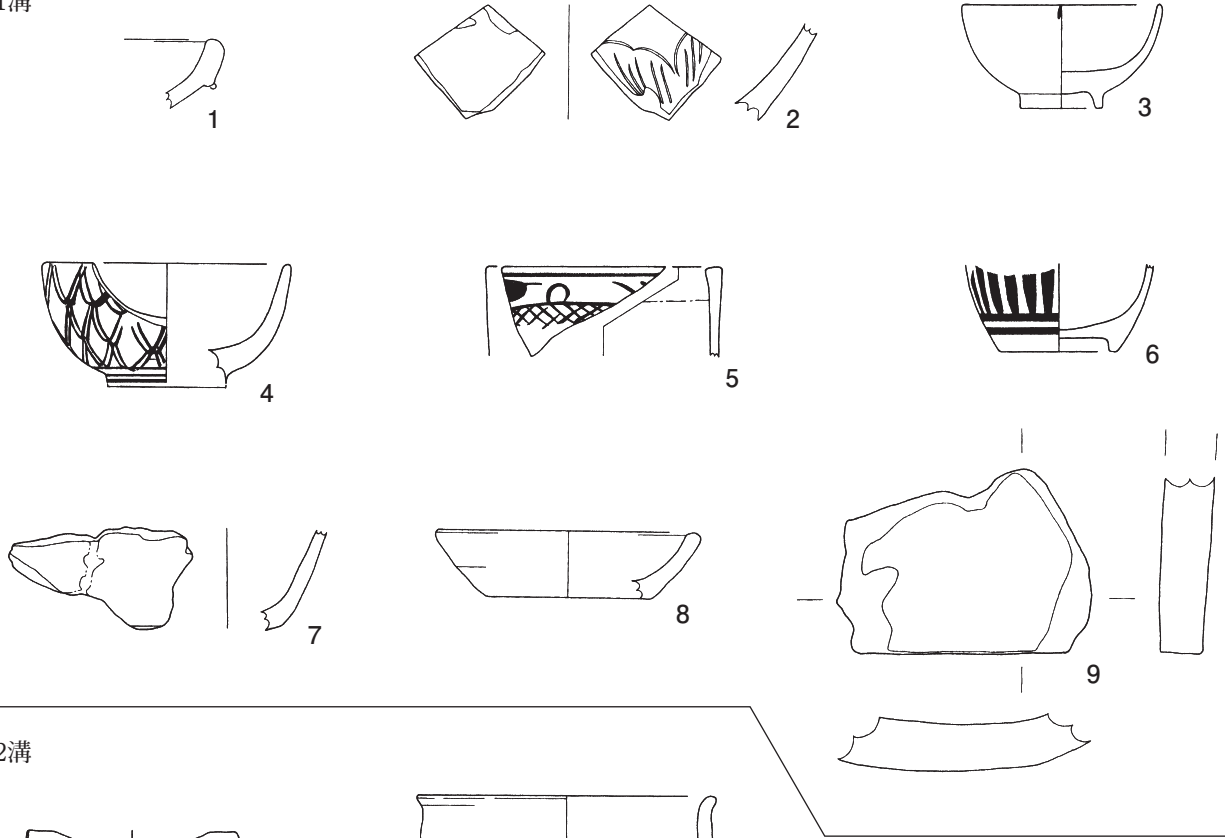
〈丹波信楽〉 遺構外(548~552)で、信楽の播鉢が15次5井(514)で出土した。

〈京都信楽〉 端反碗が5区(477)、15次(553)で出土した。

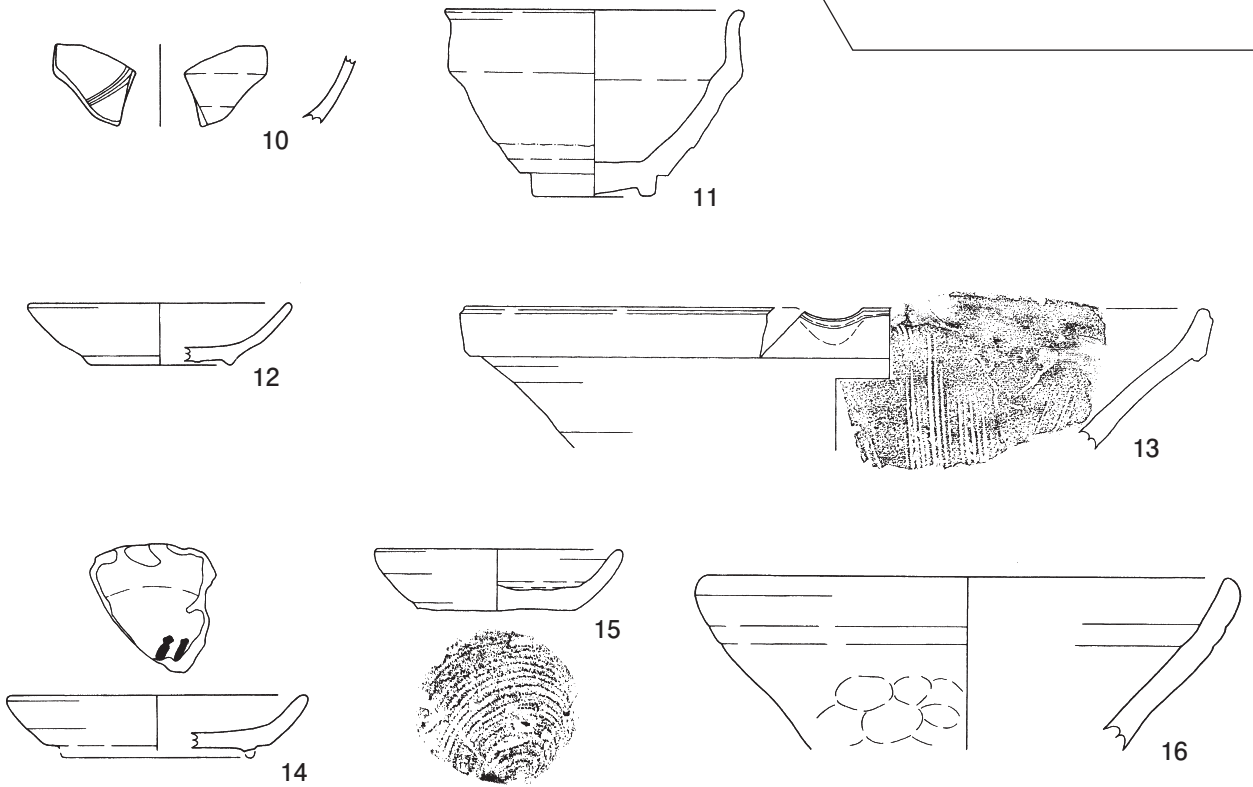
〈肥前系磁器〉 碗が4区1溝(3・4)・遺構外(283)で、5区2溝(360)・3溝(371・372)・7溝(391)・14壙(410~412)・17壙(442)・遺

→91ページへ続く

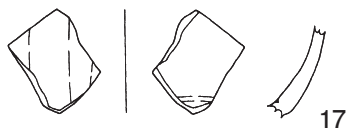
1溝



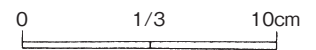
2溝



3溝



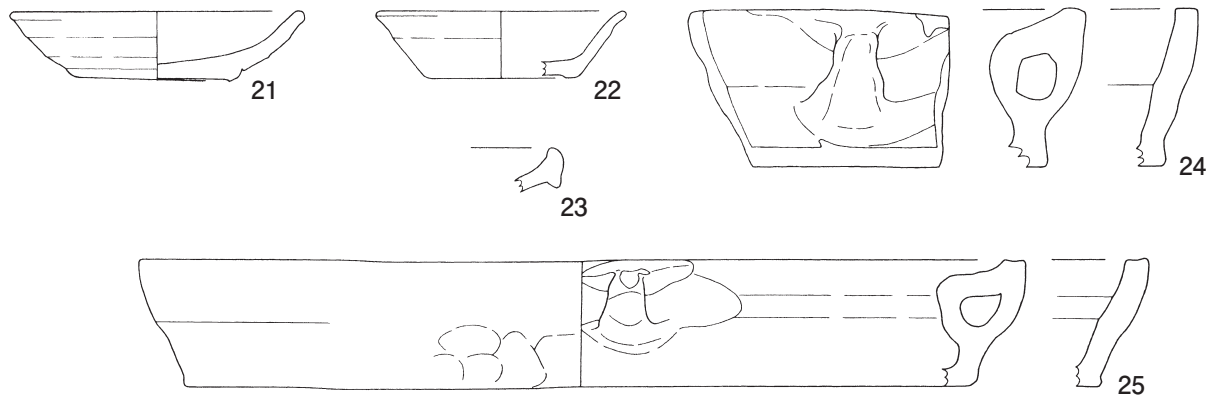
第35図 土器類1 (KB 4)



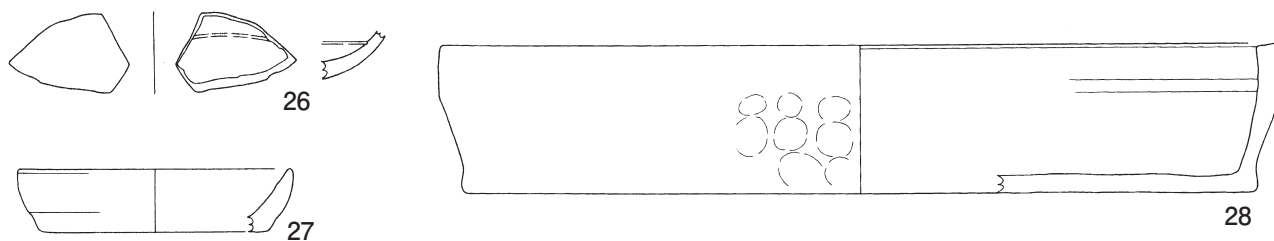
4溝



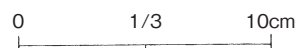
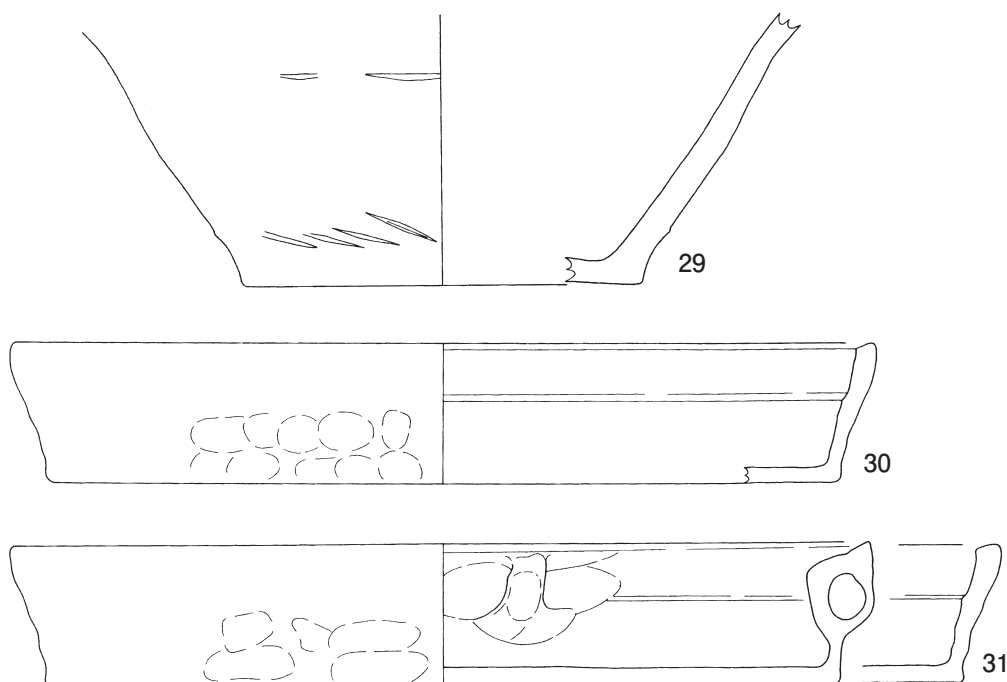
5溝



9溝

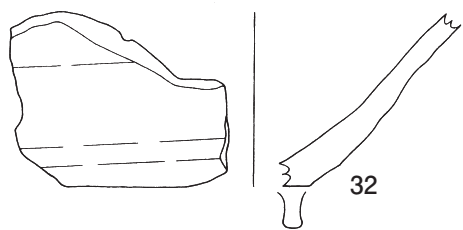


10溝

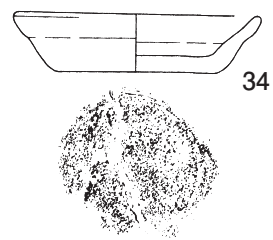


第36図 土器類2 (KB4)

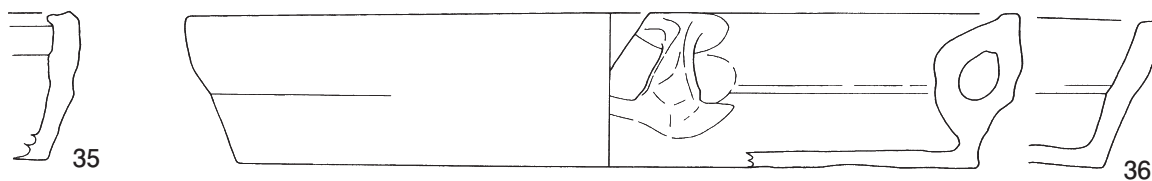
11溝



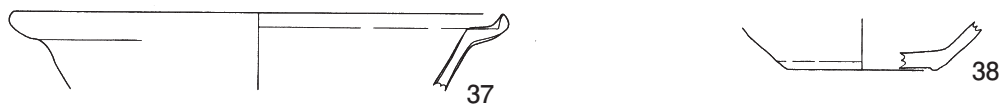
12溝



2井



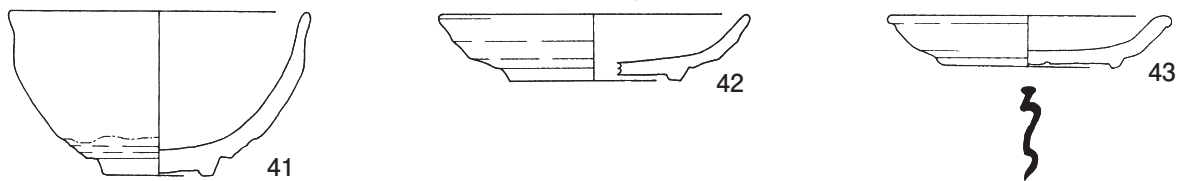
5井



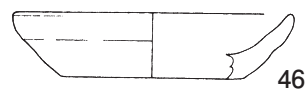
6井



7井



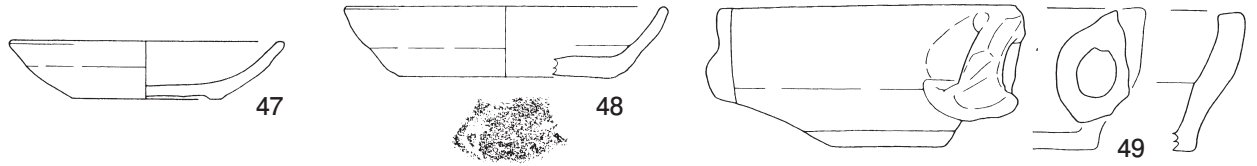
9井



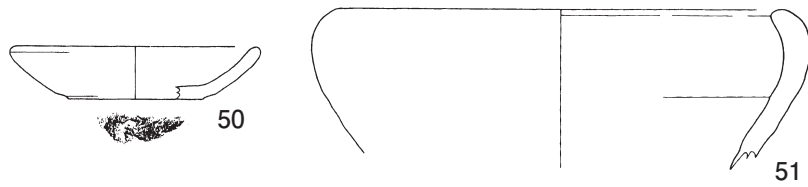
第37図 土器類3 (KB4)

0 1/3 10cm

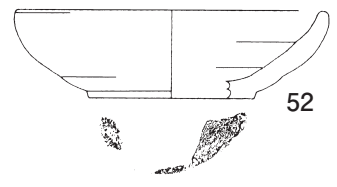
10井



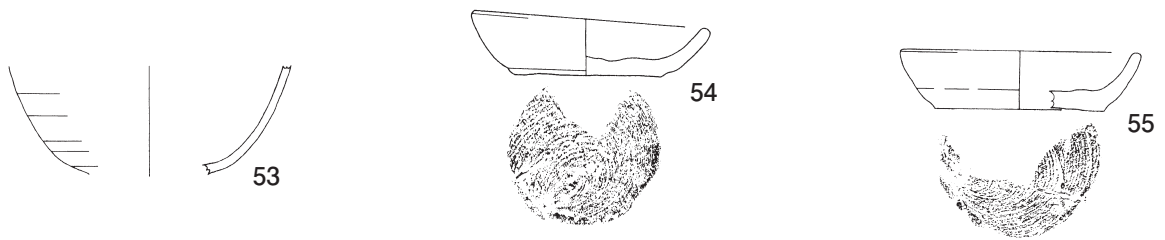
11井



12井



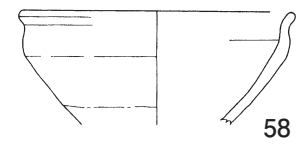
13井



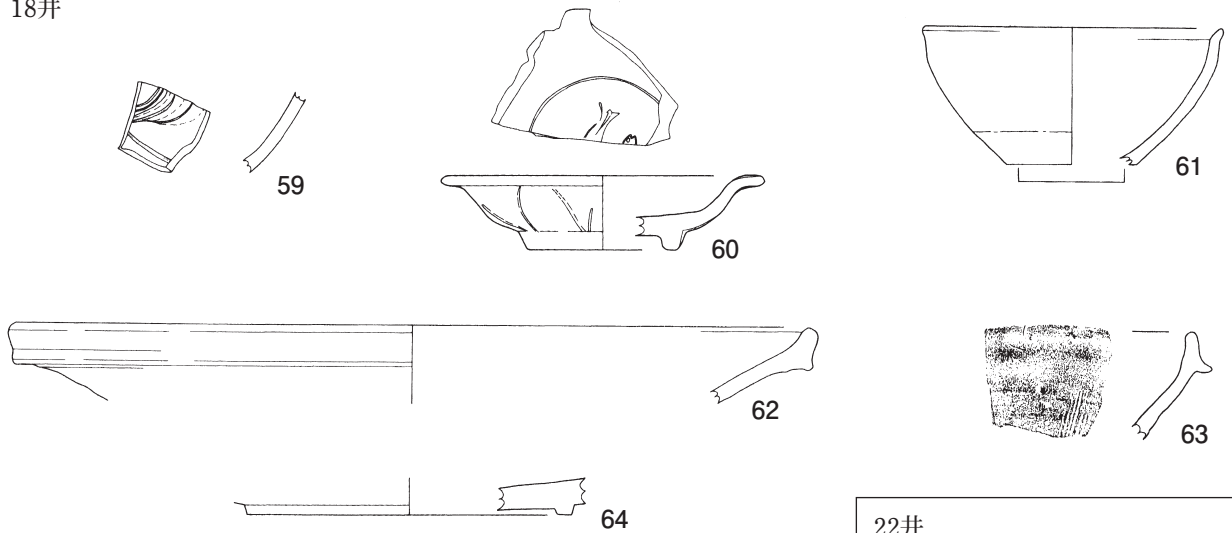
14井



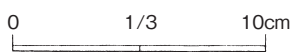
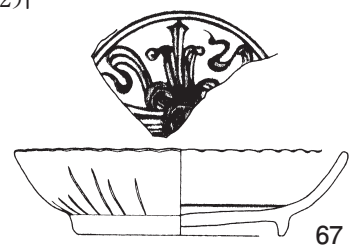
17井



18井

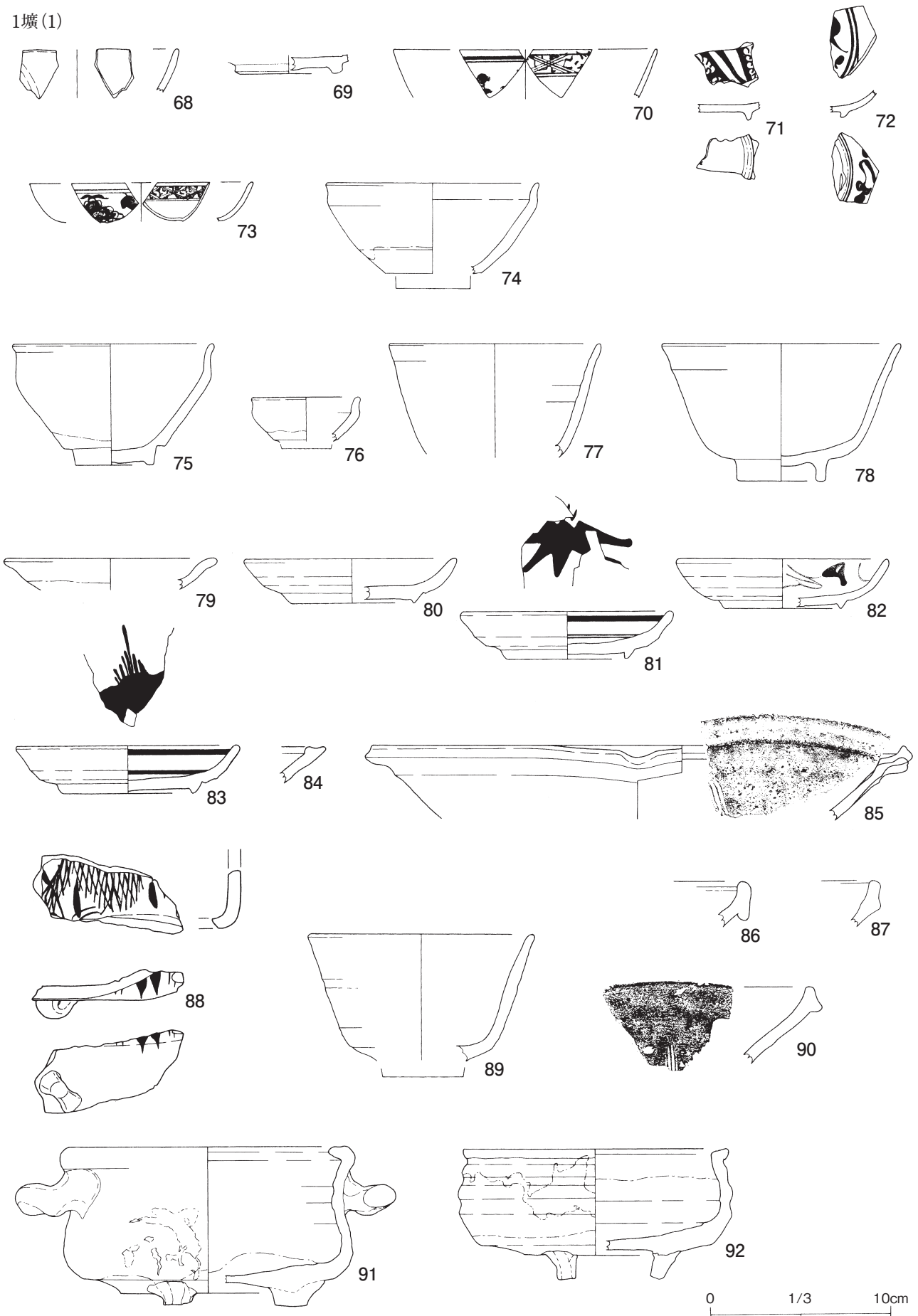


22井



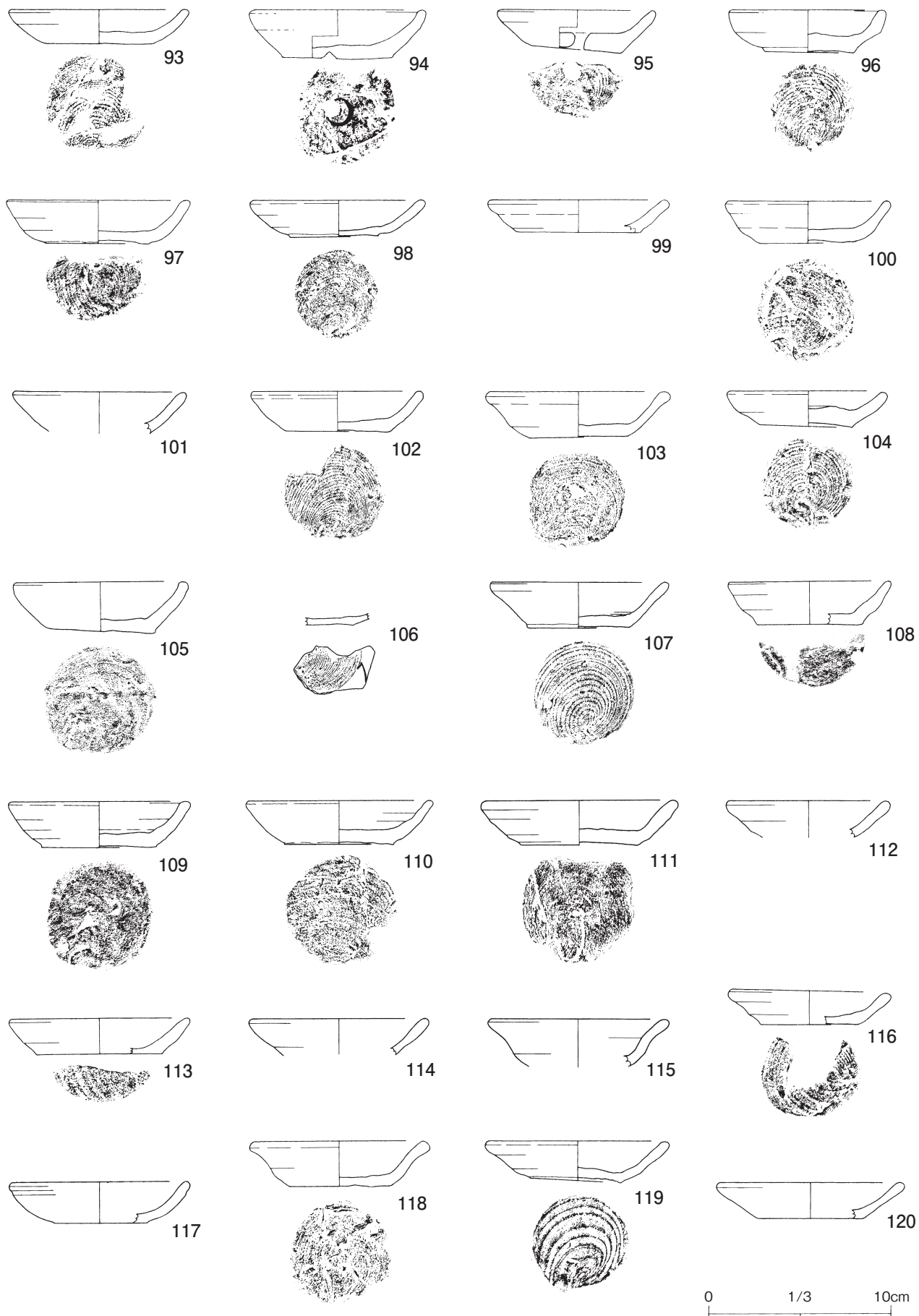
第38図 土器類4 (KB4)

1墳(1)



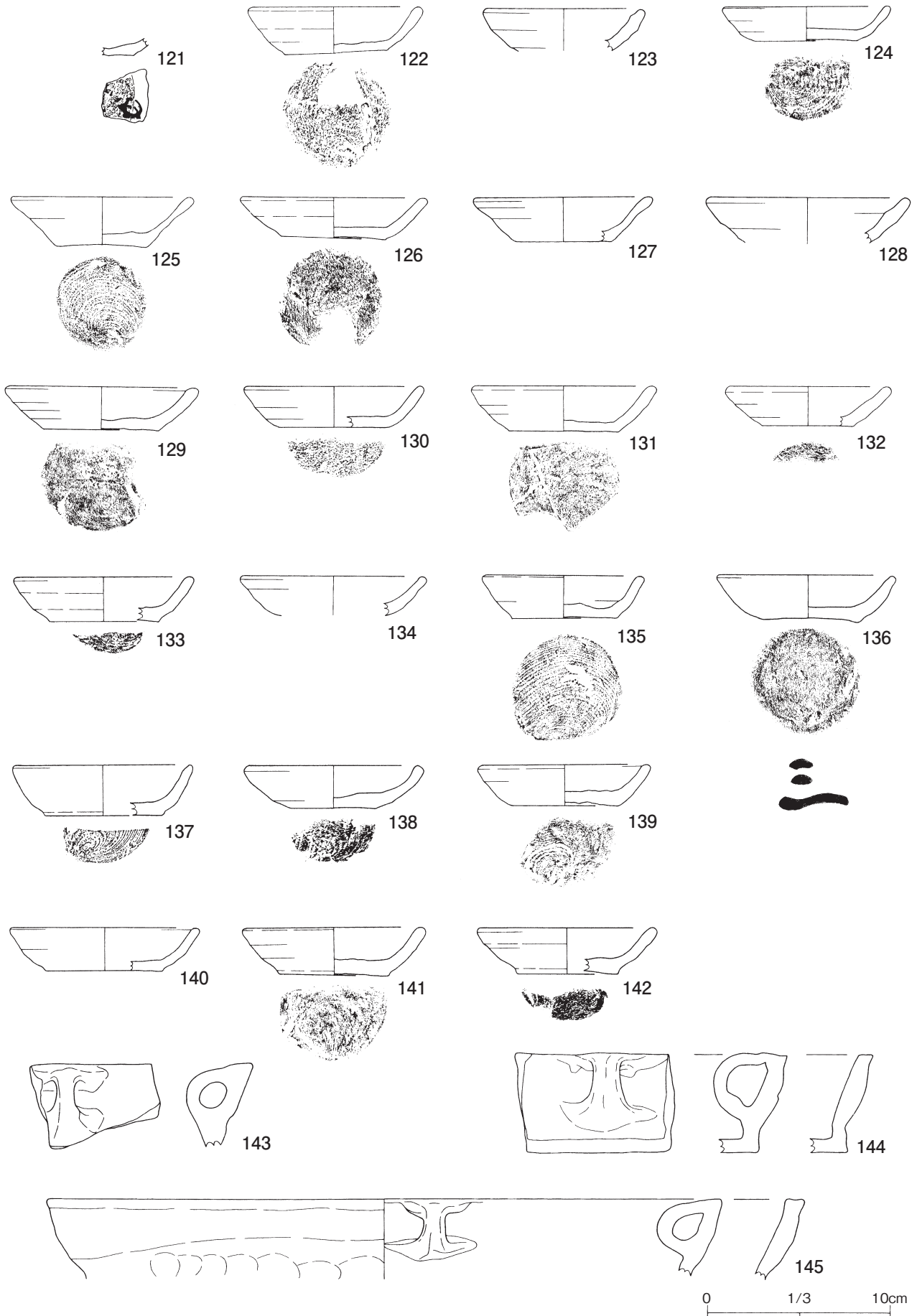
第39図 土器類5 (KB4)

1墳(2)



第40図 土器類6 (KB4)

1壙(3)

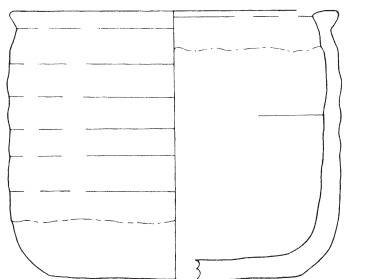


第41図 土器類7 (KB 4)

3墳

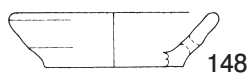


146



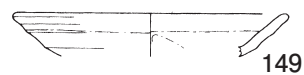
147

4墳



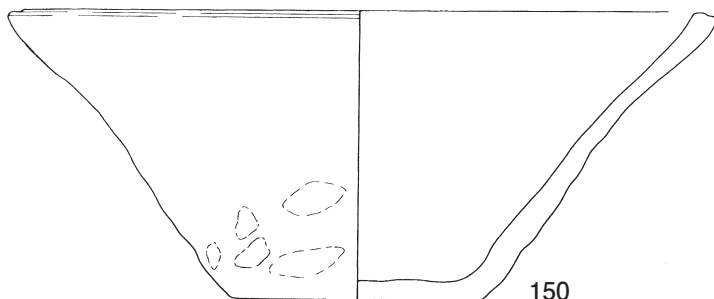
148

10墳



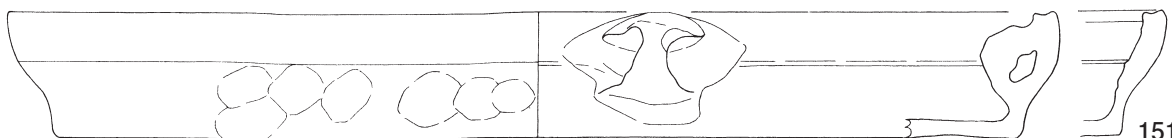
149

14墳



150

26墳



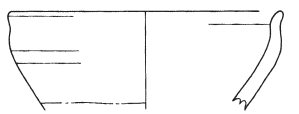
151

34墳

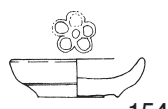


152

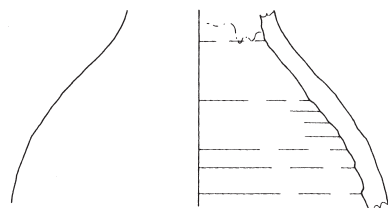
41墳



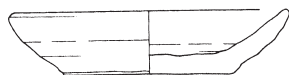
153



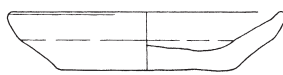
154



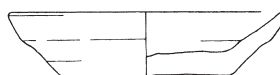
155



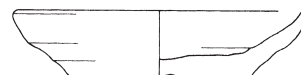
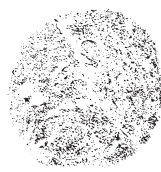
156



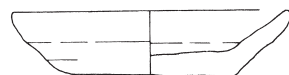
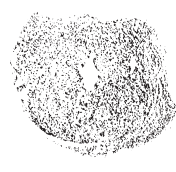
157



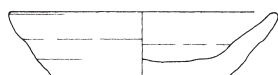
158



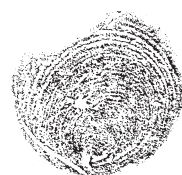
159



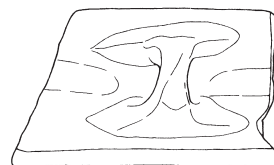
160



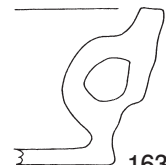
161



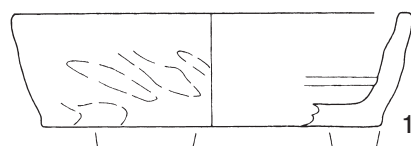
162



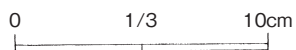
163



164

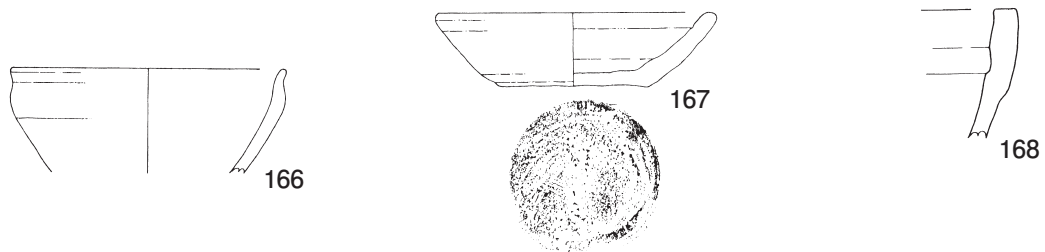


165

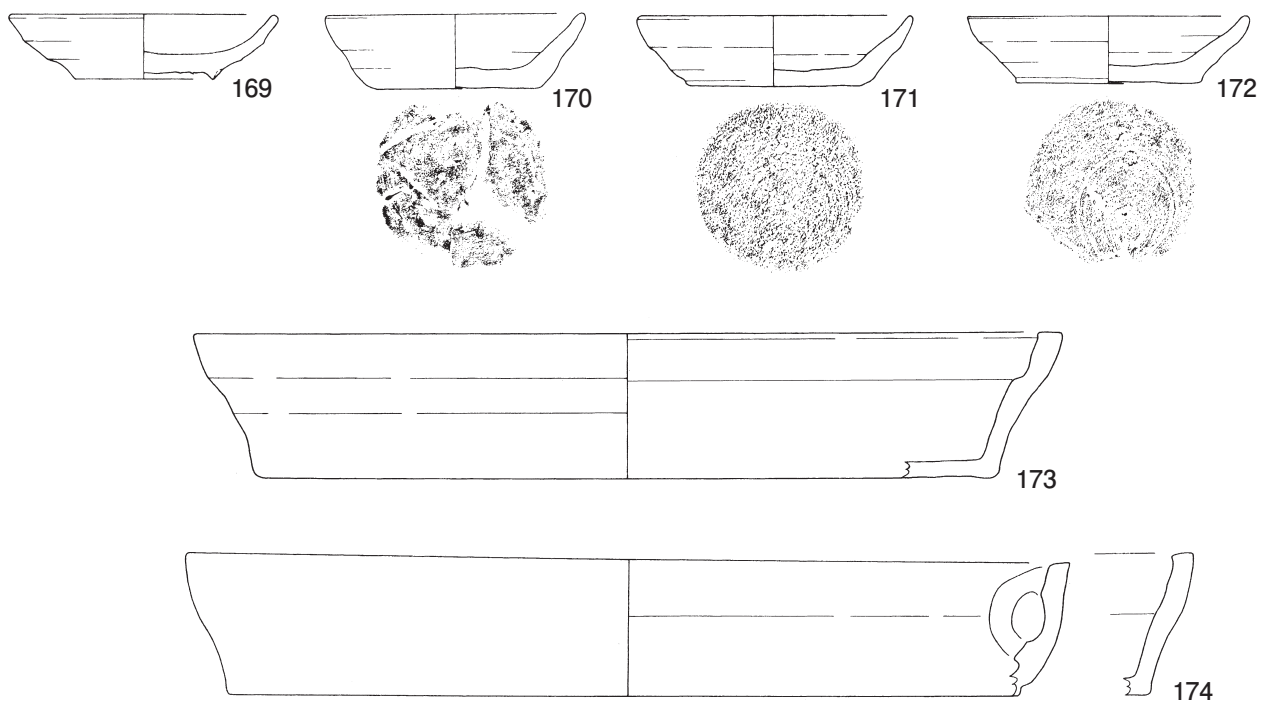


第42図 土器類8 (KB4)

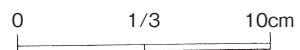
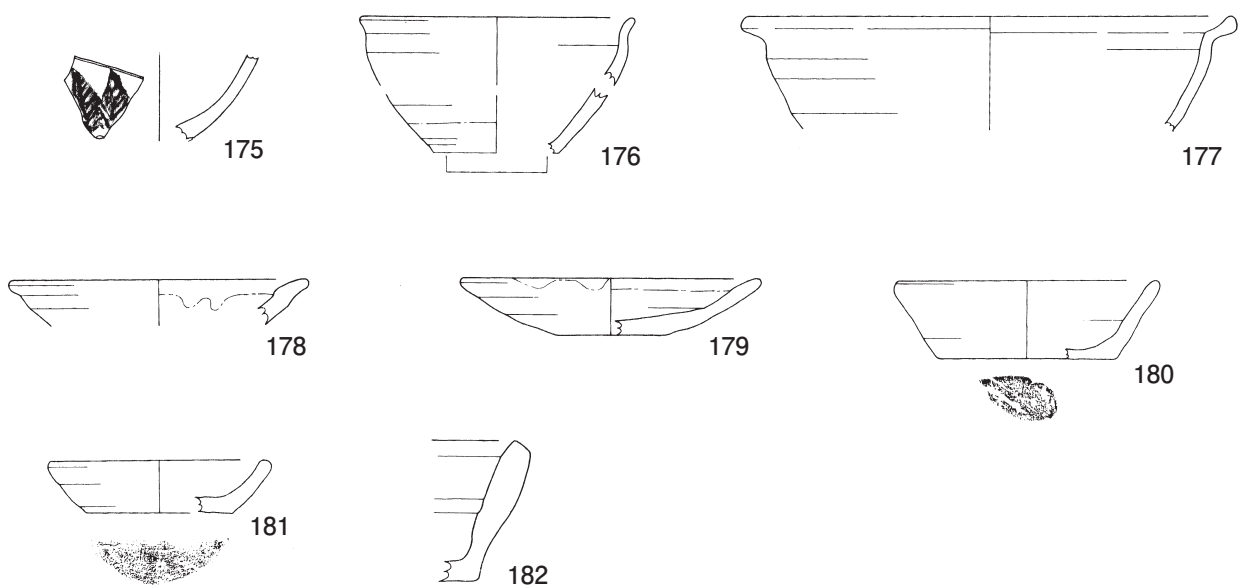
42墳



48墳

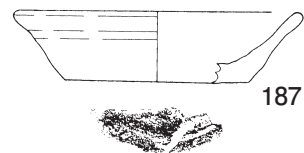
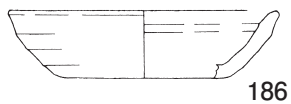
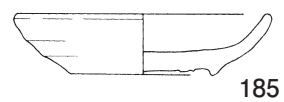
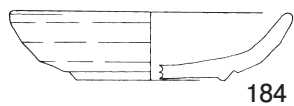


52墳

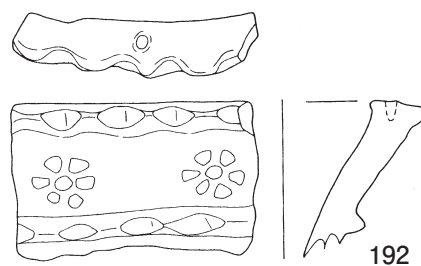
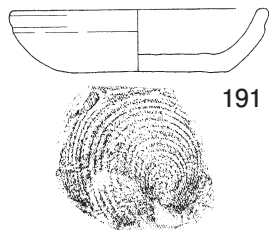
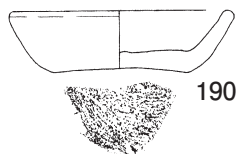
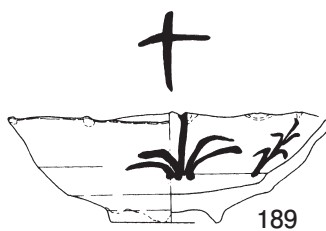
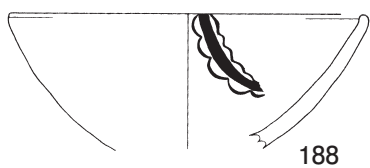


第43図 土器類9 (KB 4)

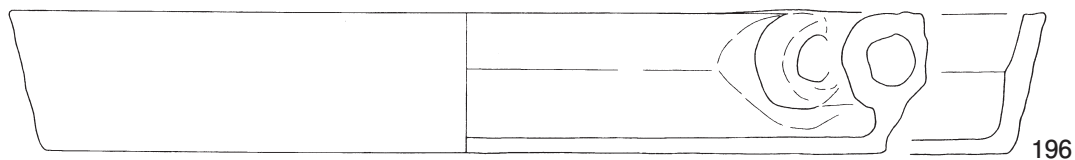
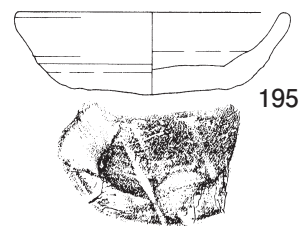
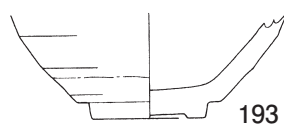
55墳



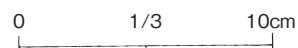
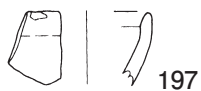
56墳



65墳

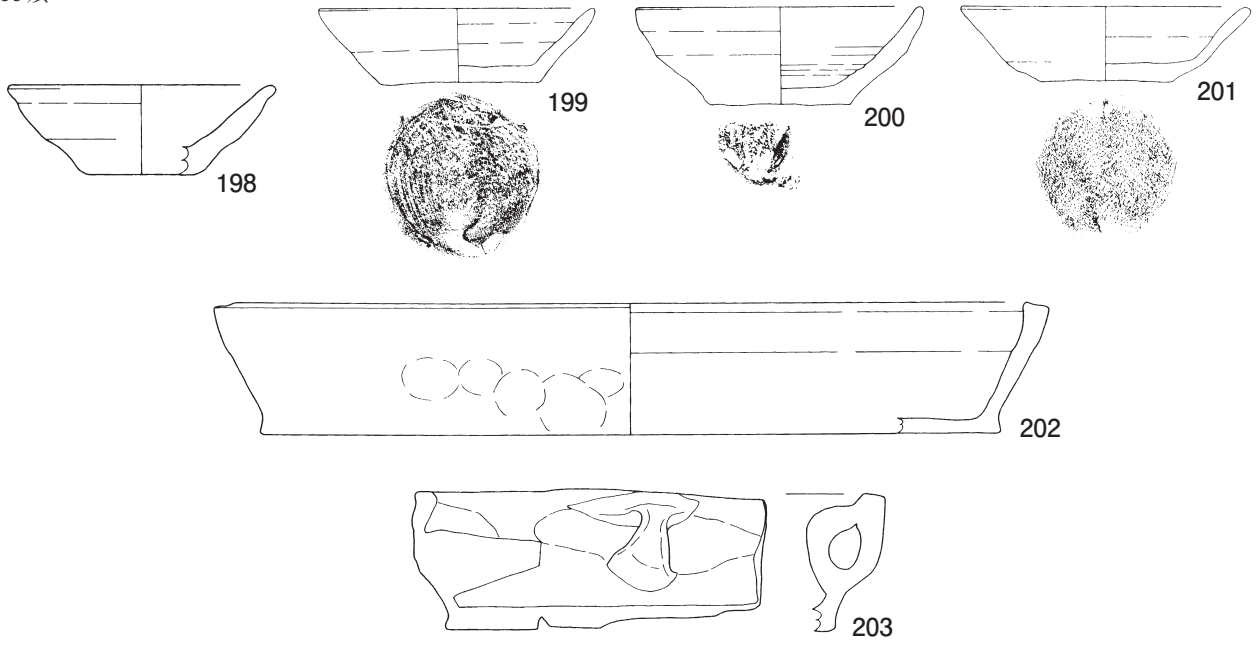


68墳

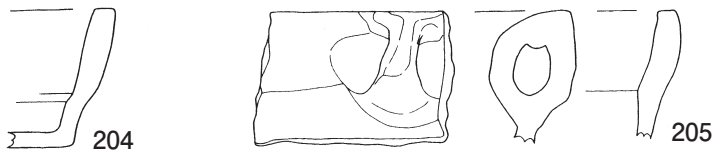


第44図 土器類10 (KB4)

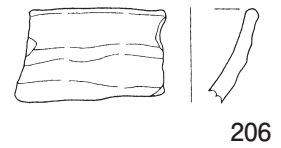
69墳



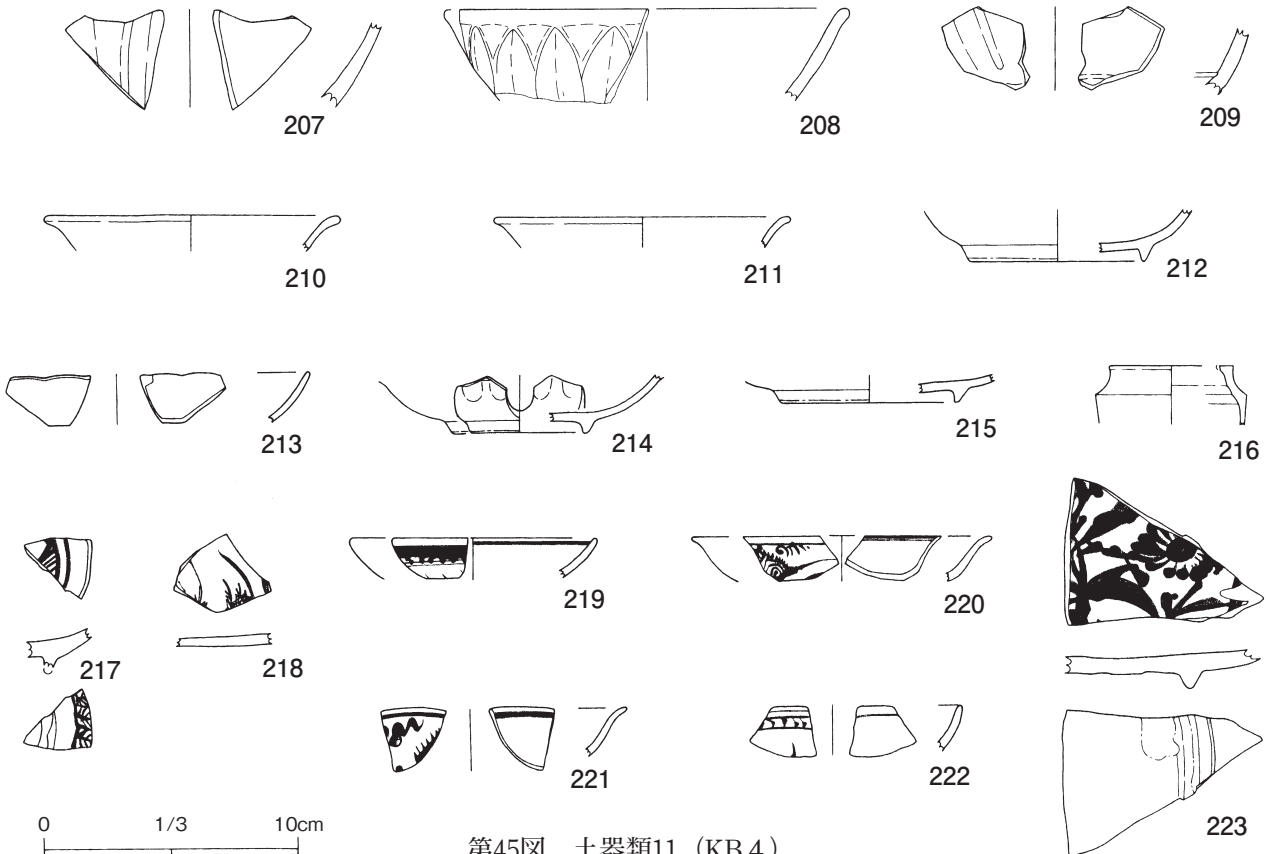
70・72墳



77墳



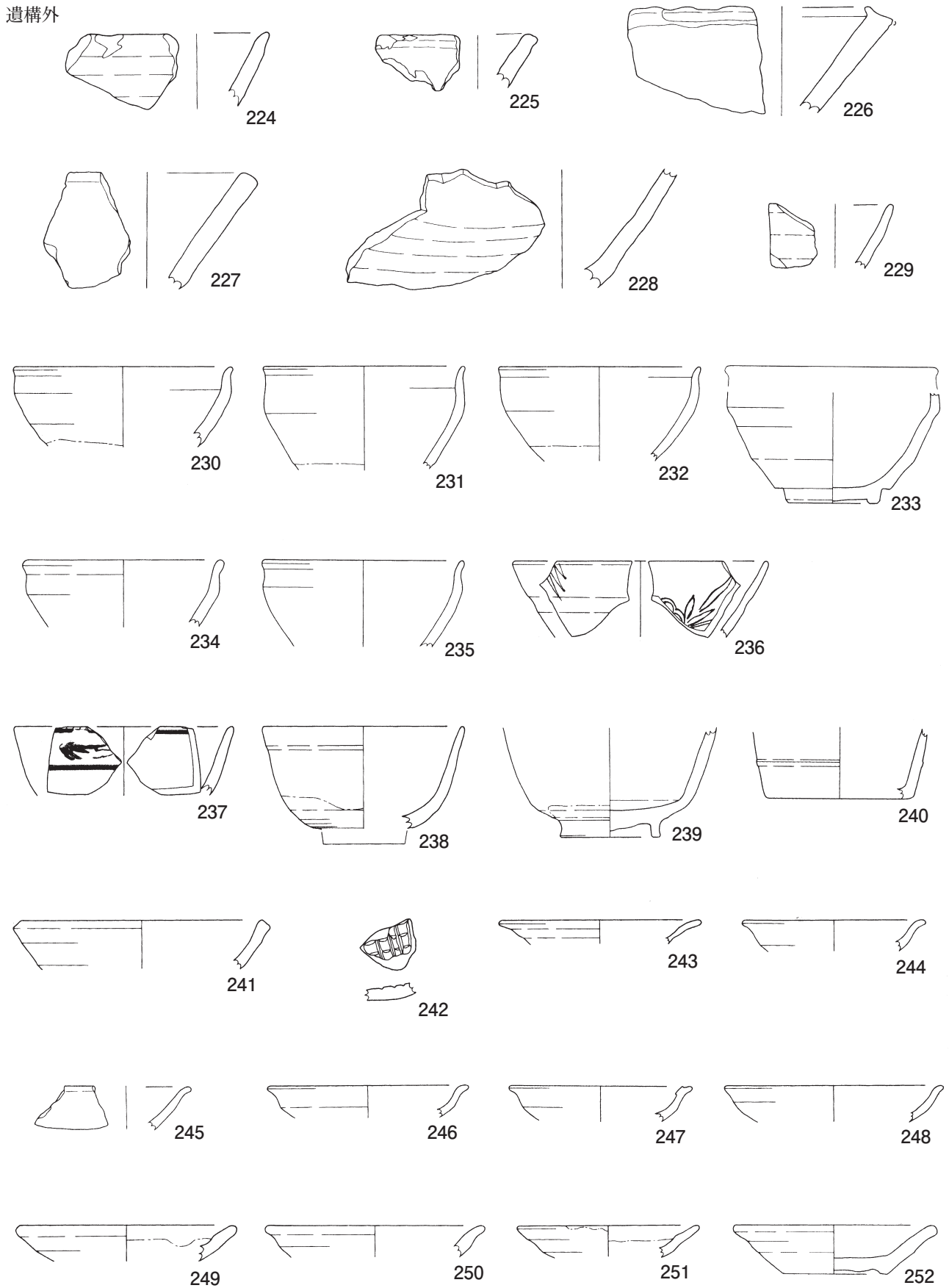
遺構外



0 1/3 10cm

第45図 土器類11 (KB 4)

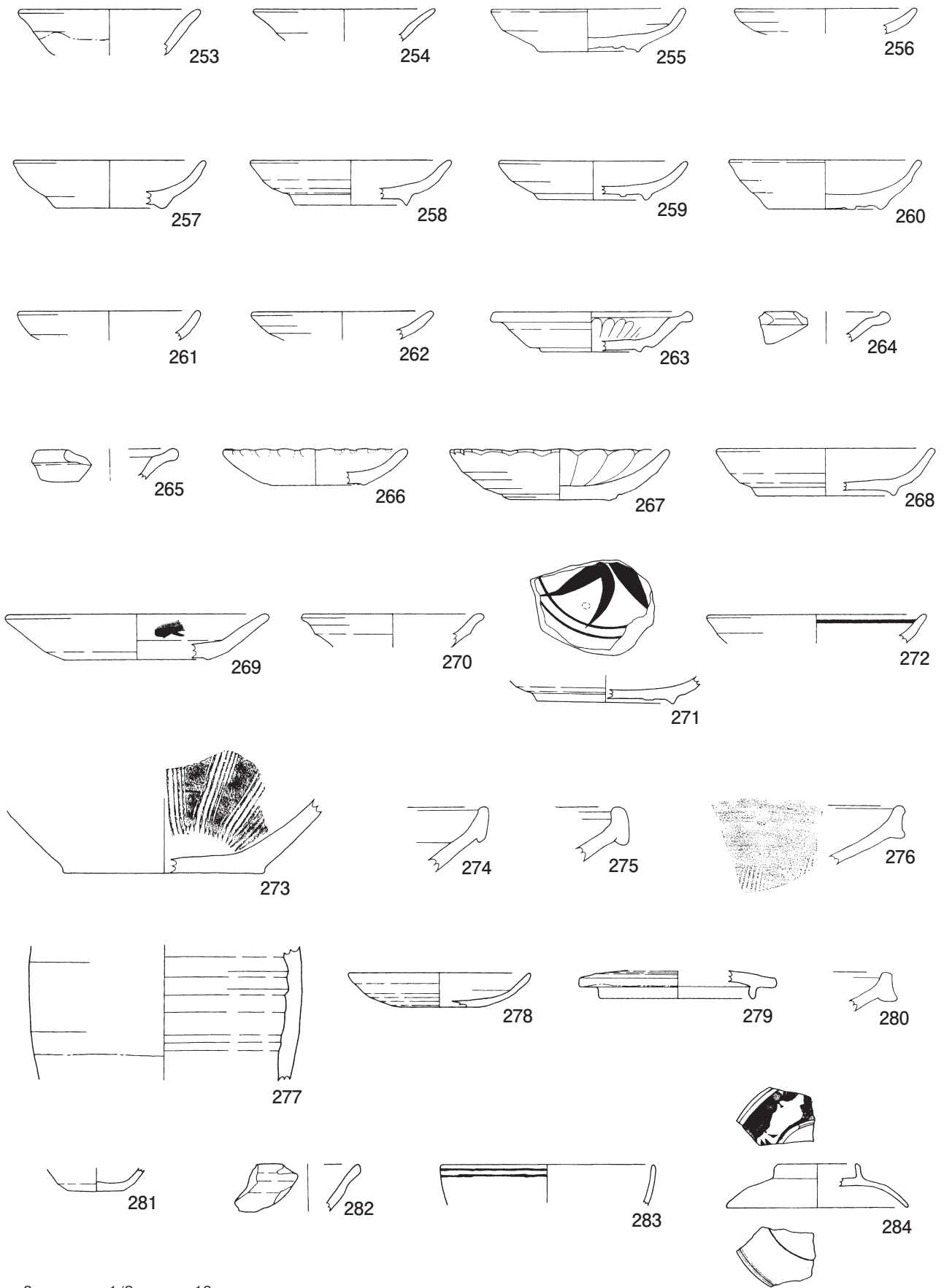
遺構外



0 1/3 10cm

第46図 土器類12 (KB4)

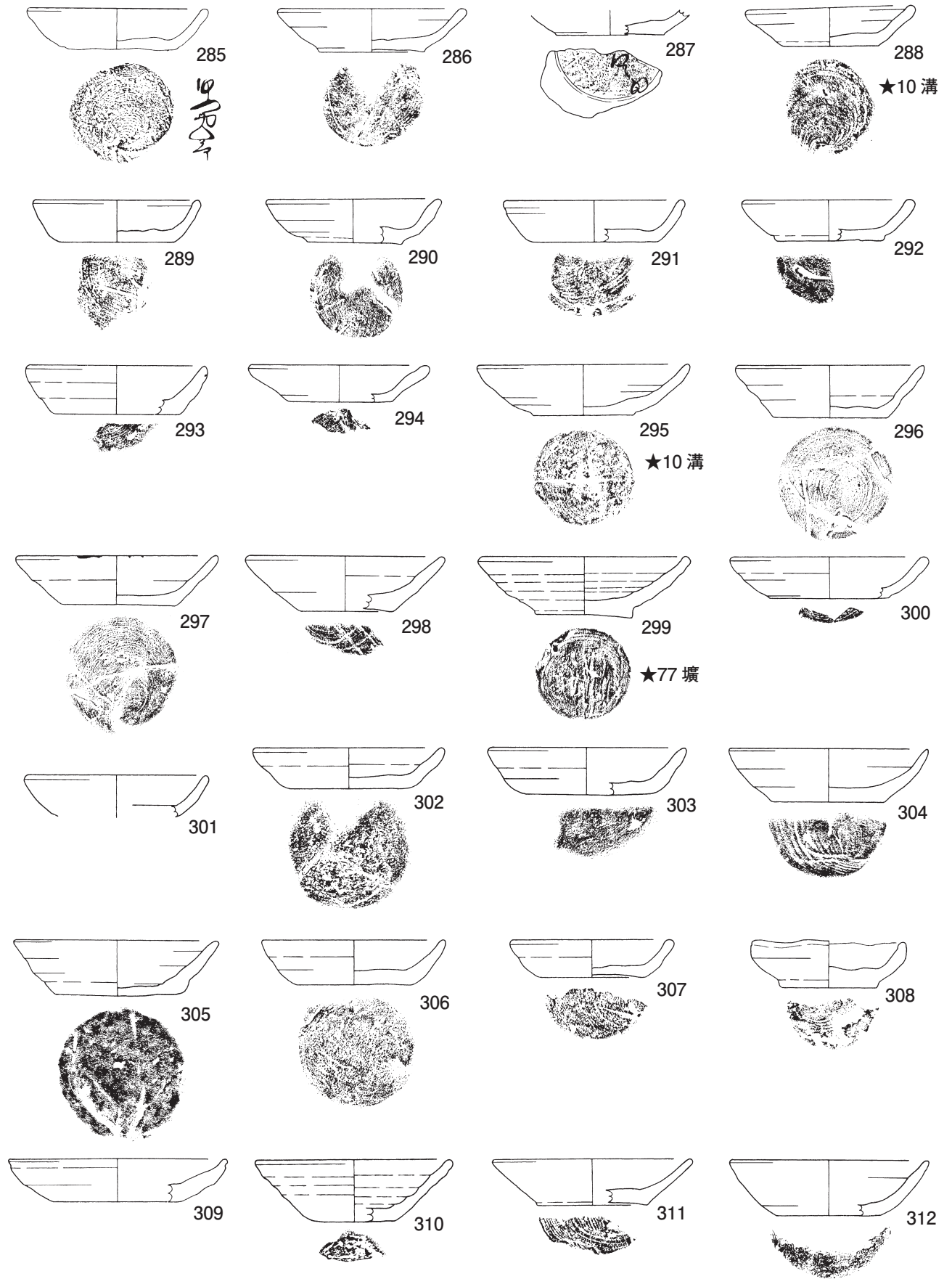
遺構外



0 1/3 10cm

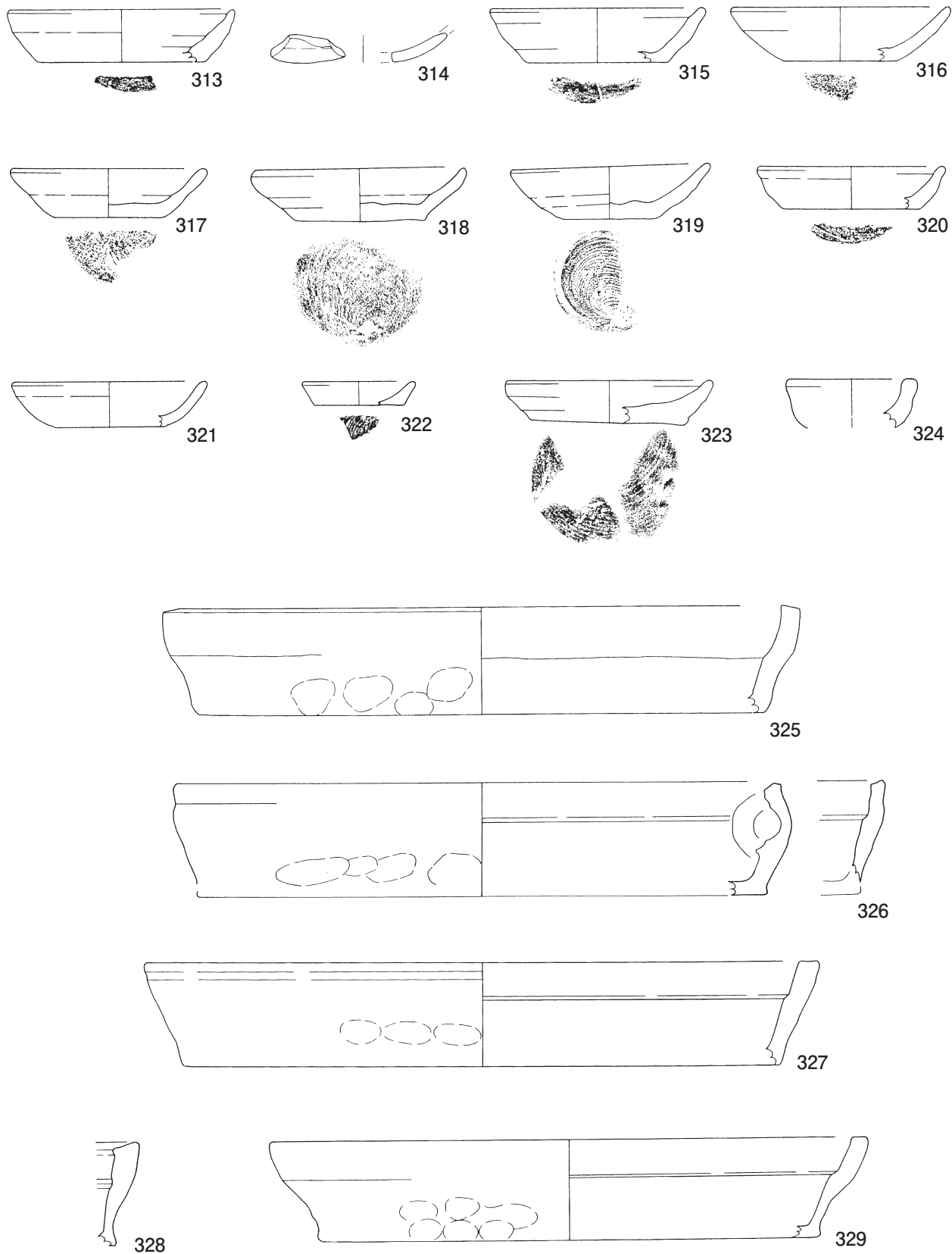
第47図 土器類13 (KB 4)

遺構外



第48図 土器類14 (KB4)

遺構外



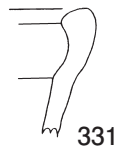
0 1/3 10cm

第49図 土器類15 (KB 4)

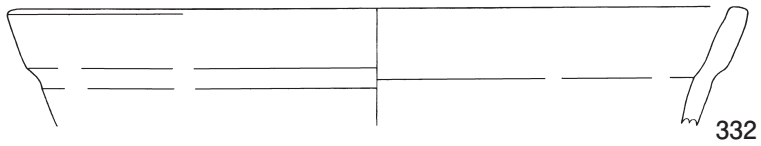
遺構外



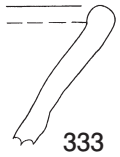
330



331



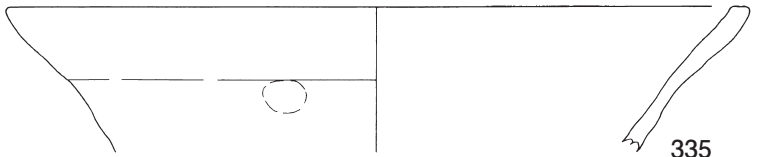
332



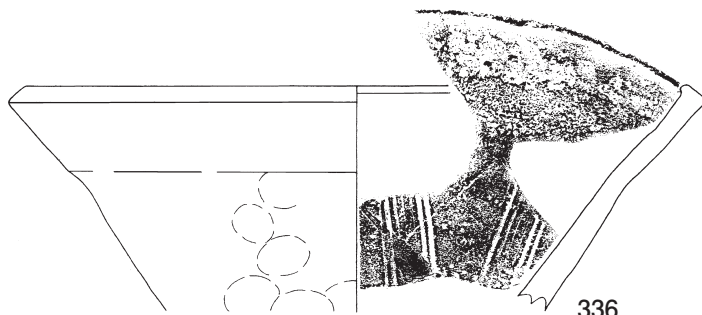
333



334



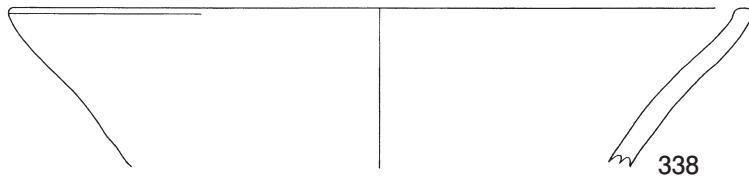
335



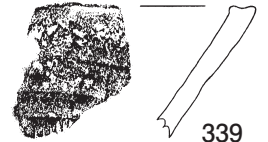
336



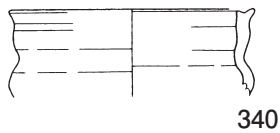
337



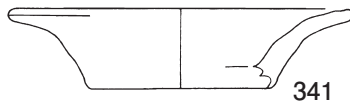
338



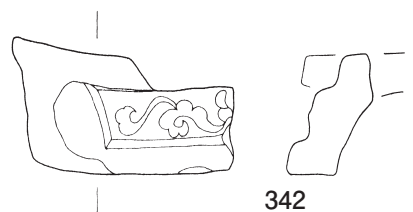
339



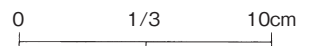
340



341

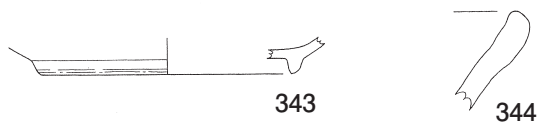


342



第50図 土器類16 (KB4)

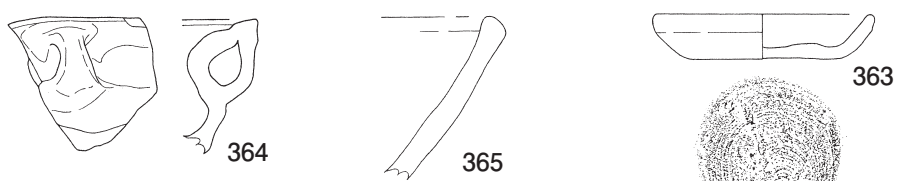
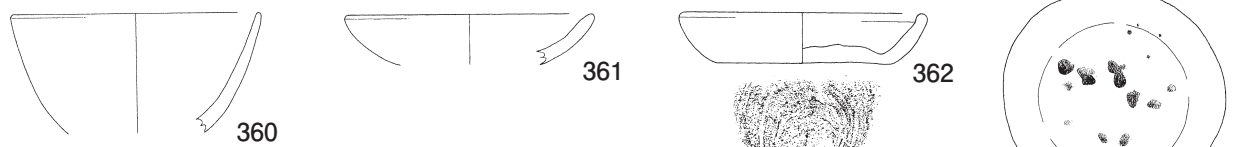
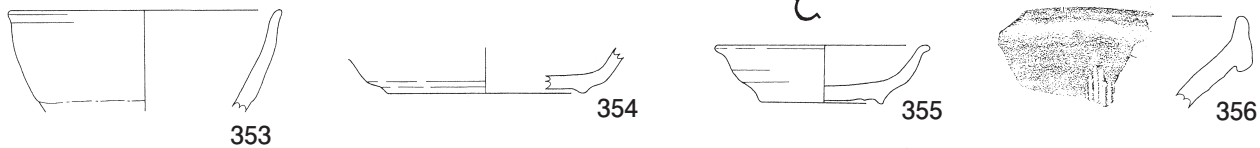
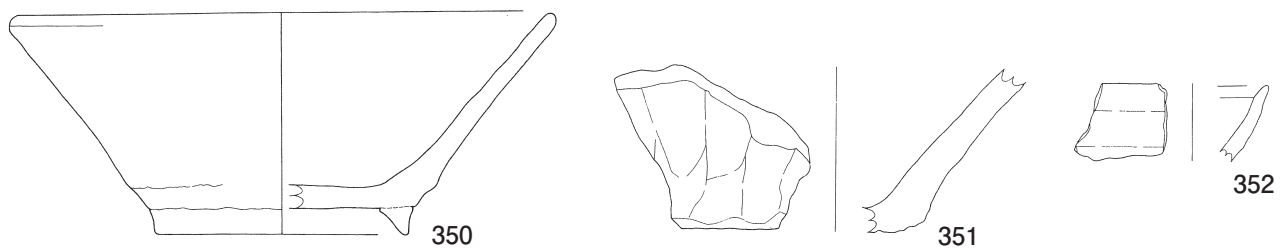
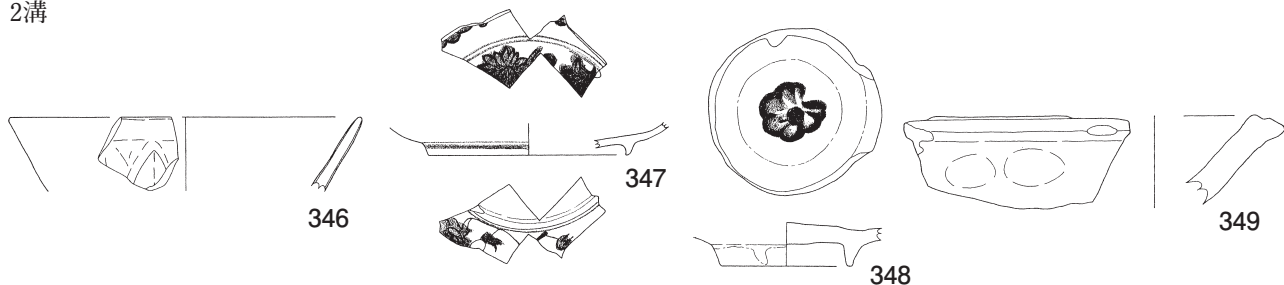
1溝



2・6溝



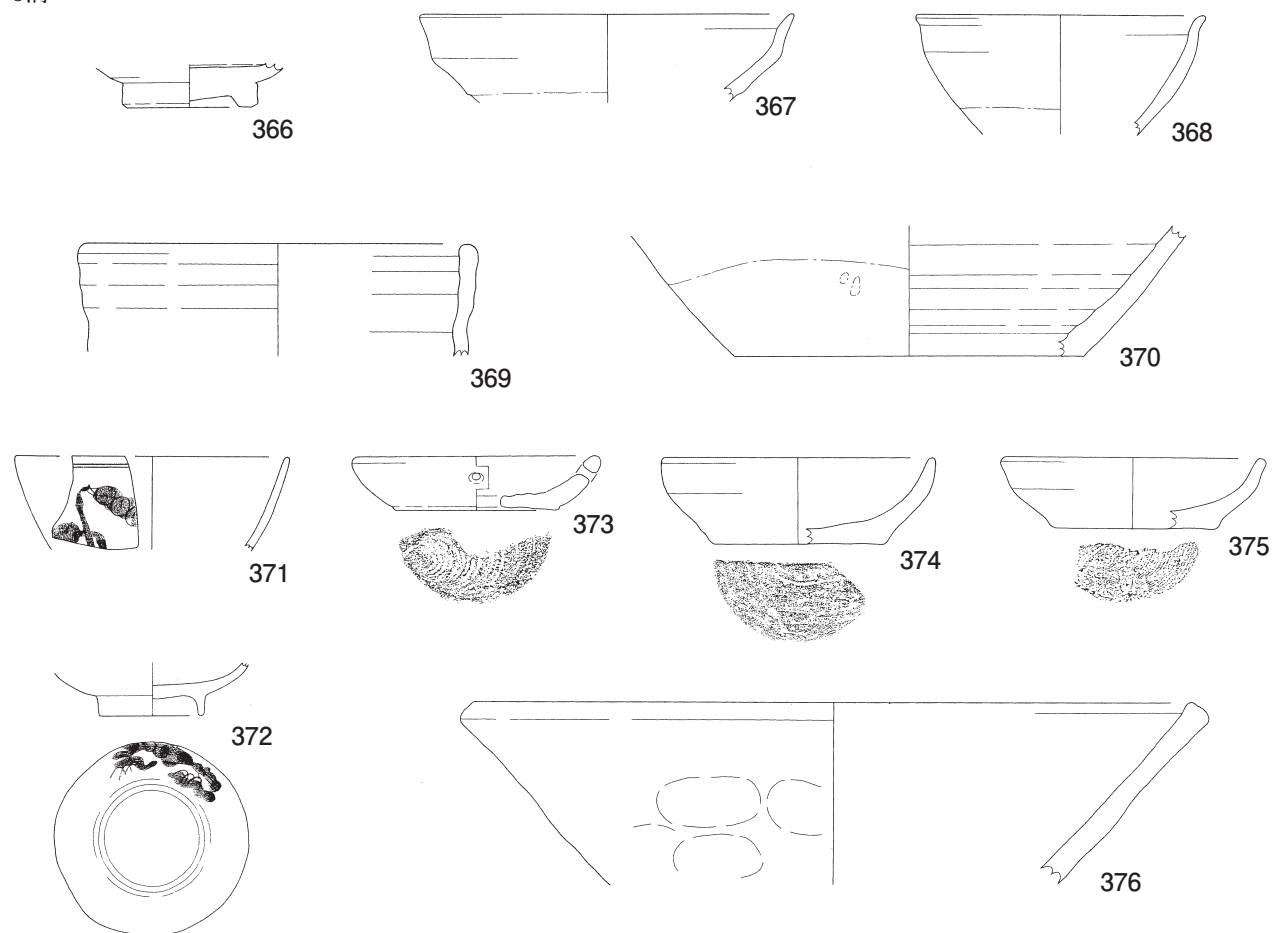
2溝



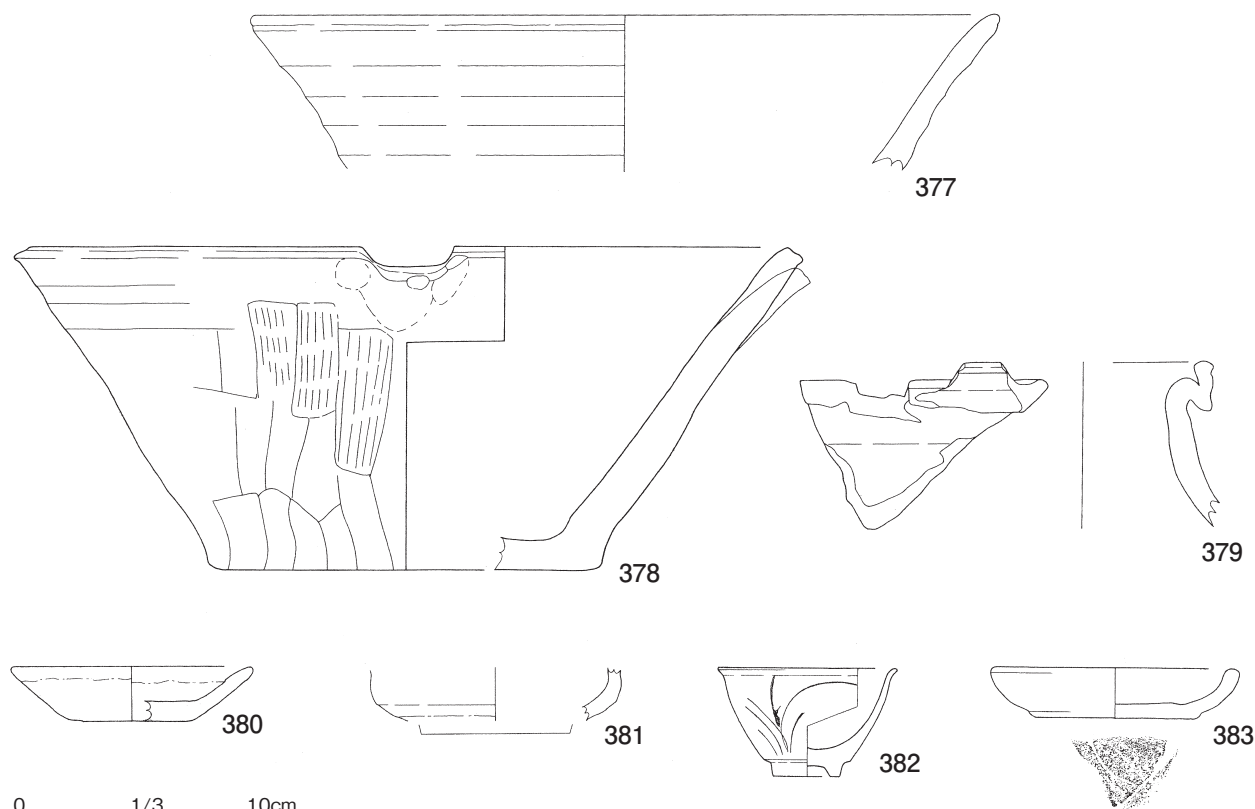
0 1/3 10cm

第51図 土器類17 (KB 5)

3溝



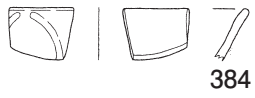
4溝



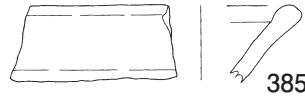
0 1/3 10cm

第52図 土器類18 (KB5)

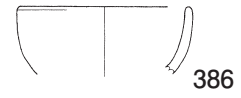
5溝



384



385

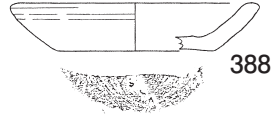


386

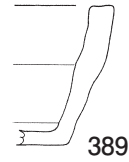
6溝



387

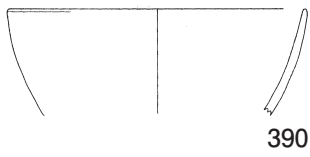


388

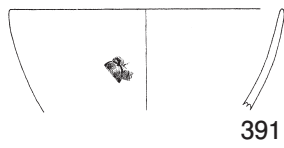


389

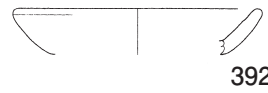
7溝



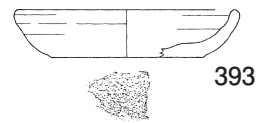
390



391

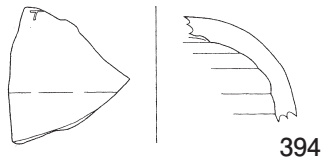


392



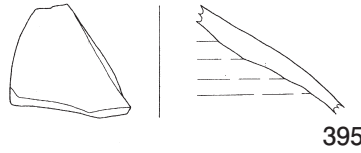
393

8溝

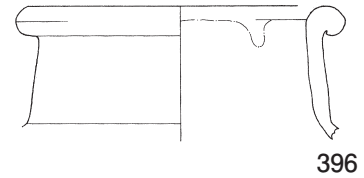


394

10溝



395



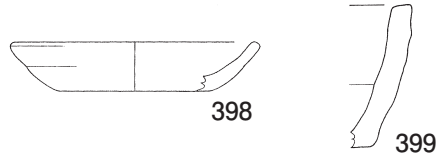
396

1井



397

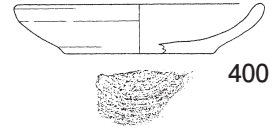
2井



398

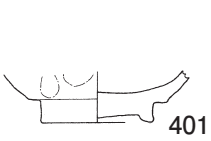
399

13墳

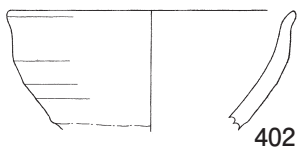


400

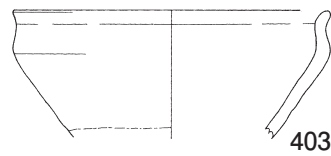
14墳(1)



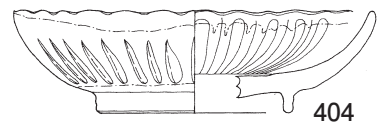
401



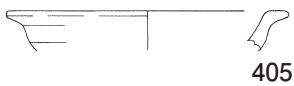
402



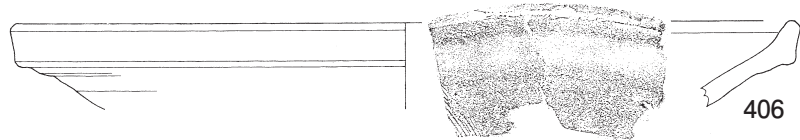
403



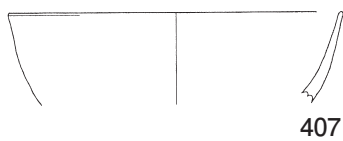
404



405



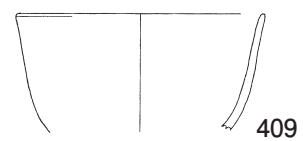
406



407



408

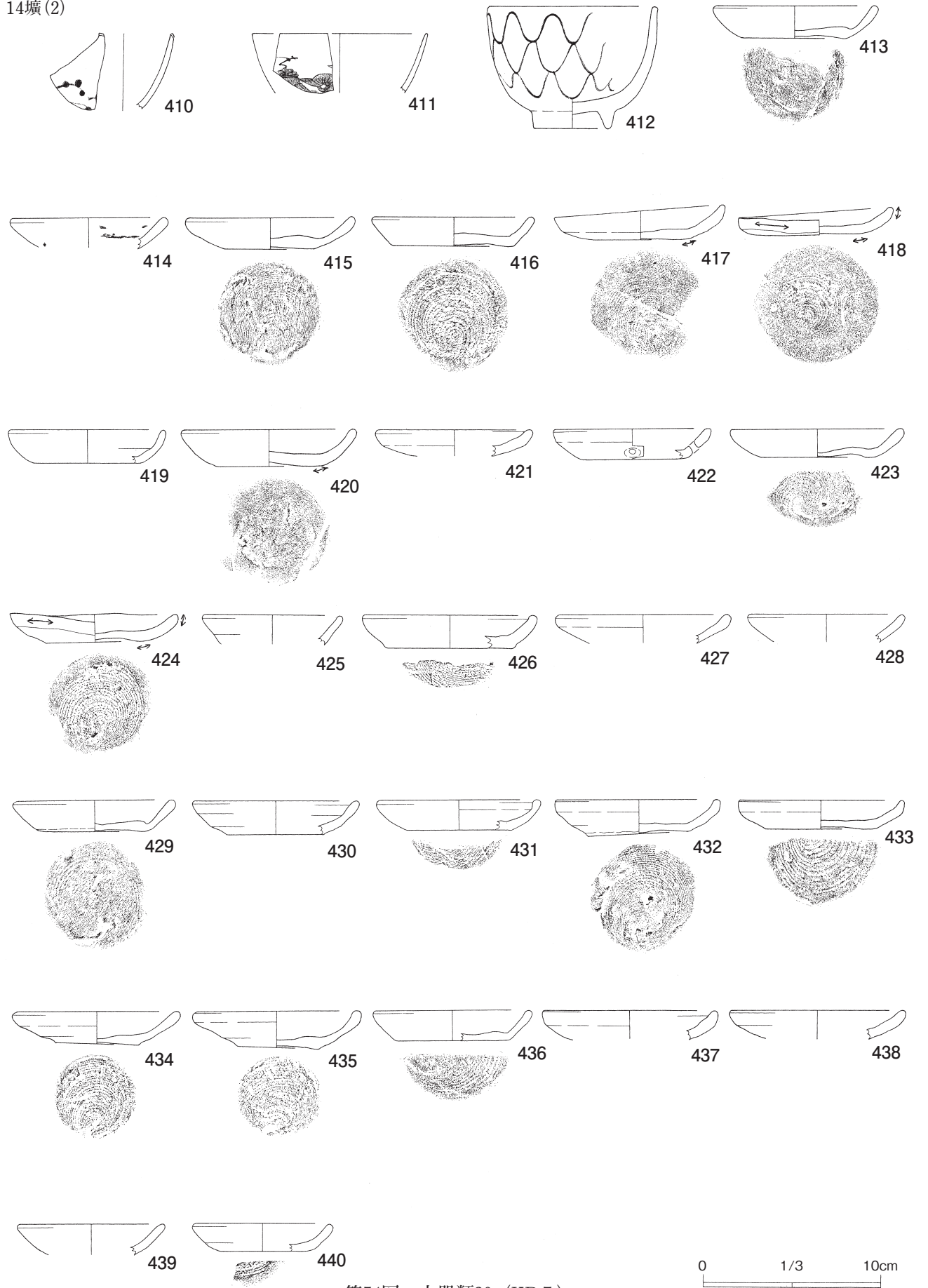


409

第53図 土器類19 (KB 5)

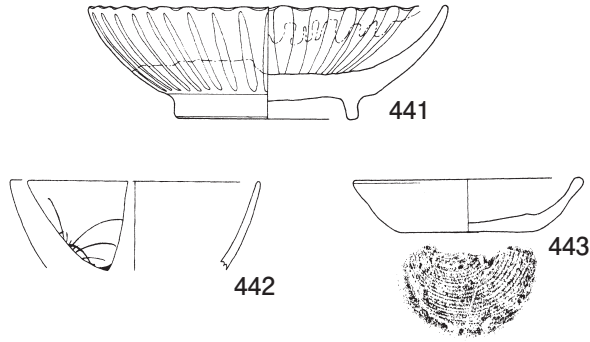
0 1/3 10cm

14墳(2)

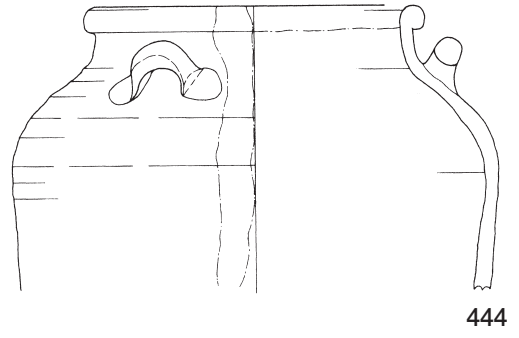


第54図 土器類20 (KB5)

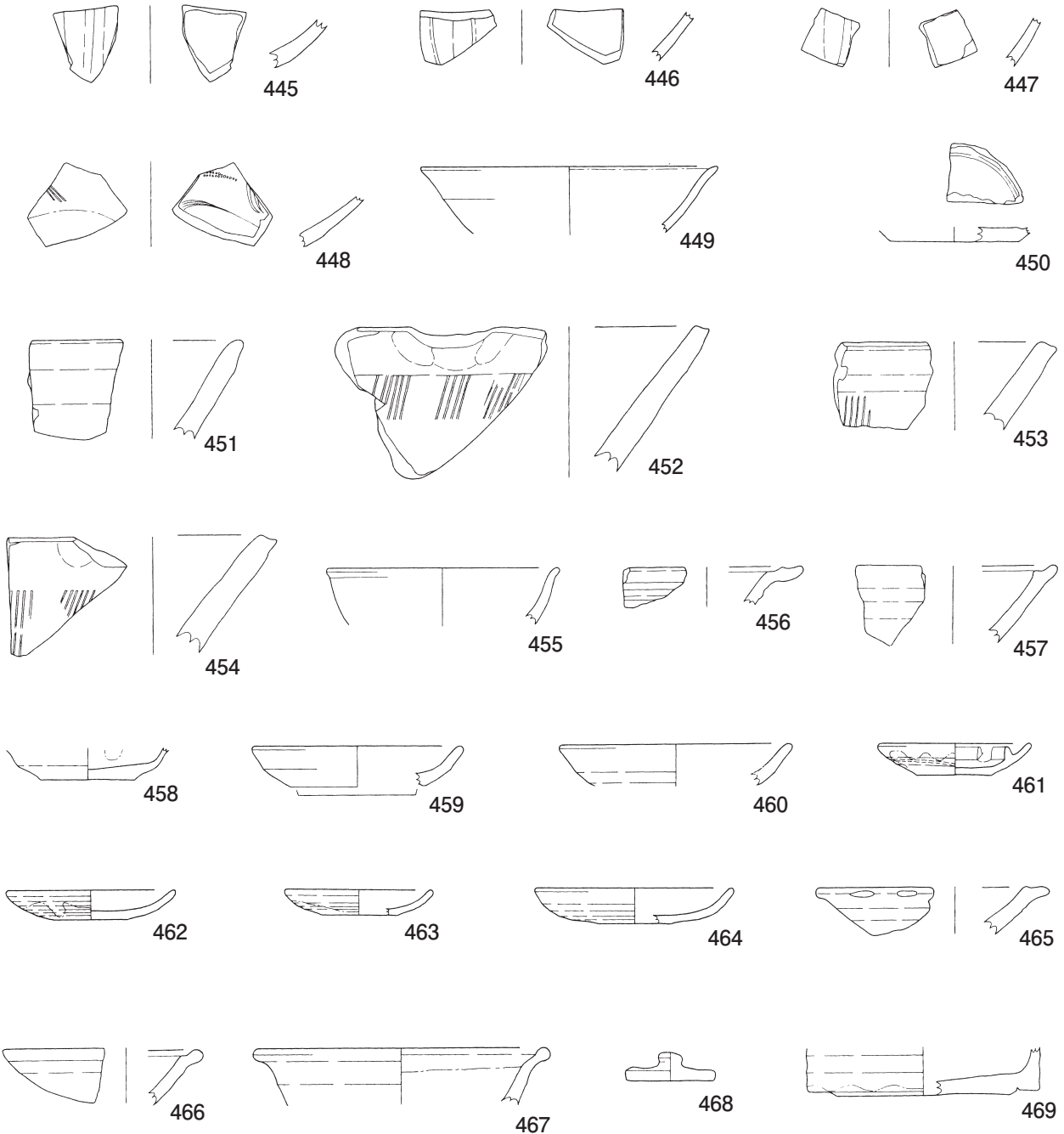
17墳



10P



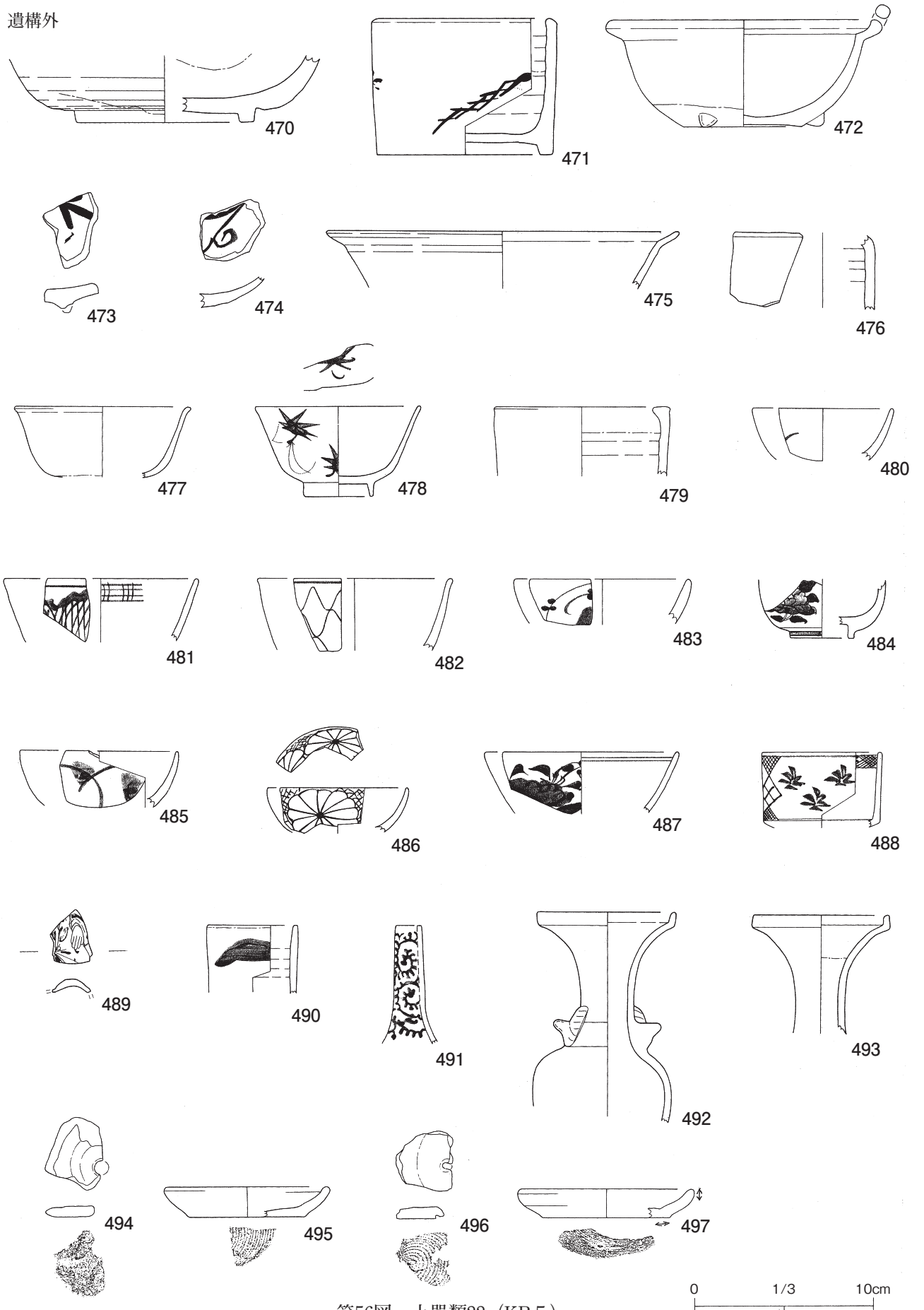
遺構外



第55図 土器類21 (KB 5)

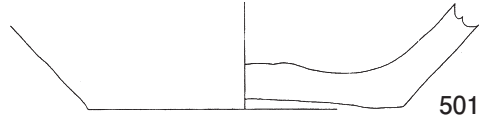
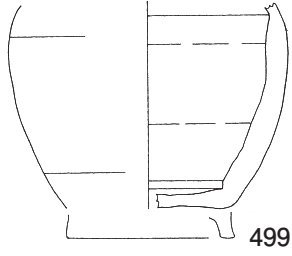
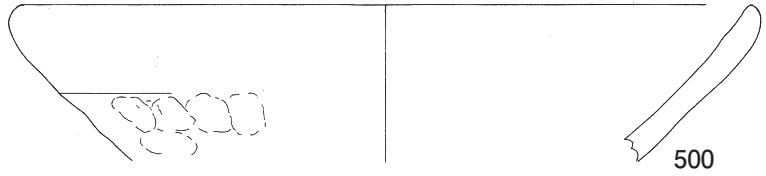
0 1/3 10cm

遺構外

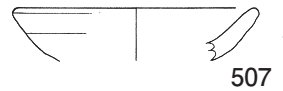
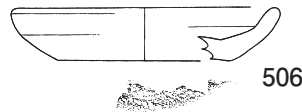
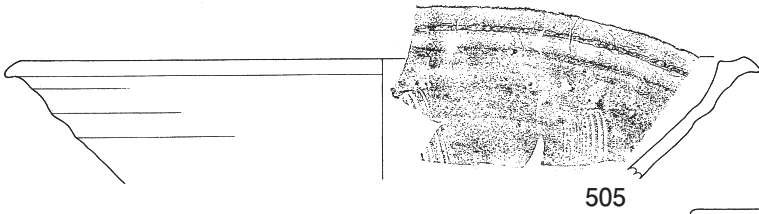
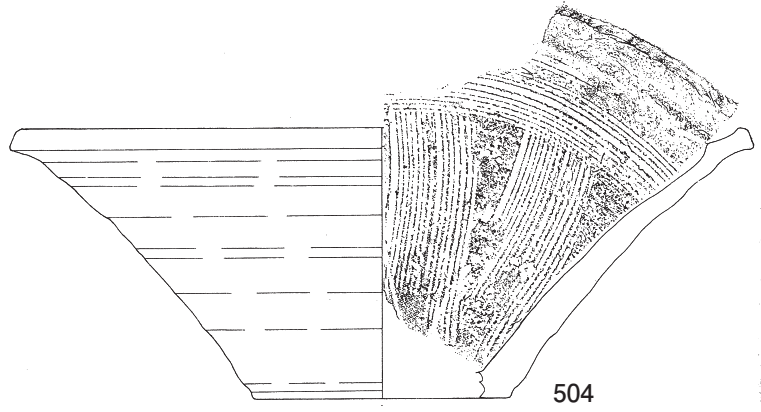
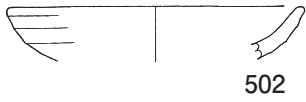


第56図 土器類22 (KB5)

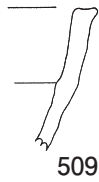
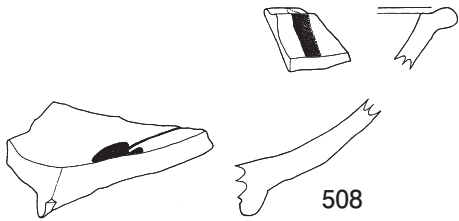
1溝



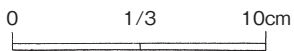
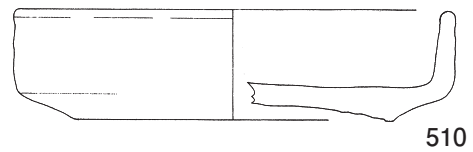
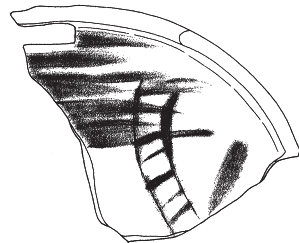
1井



3井

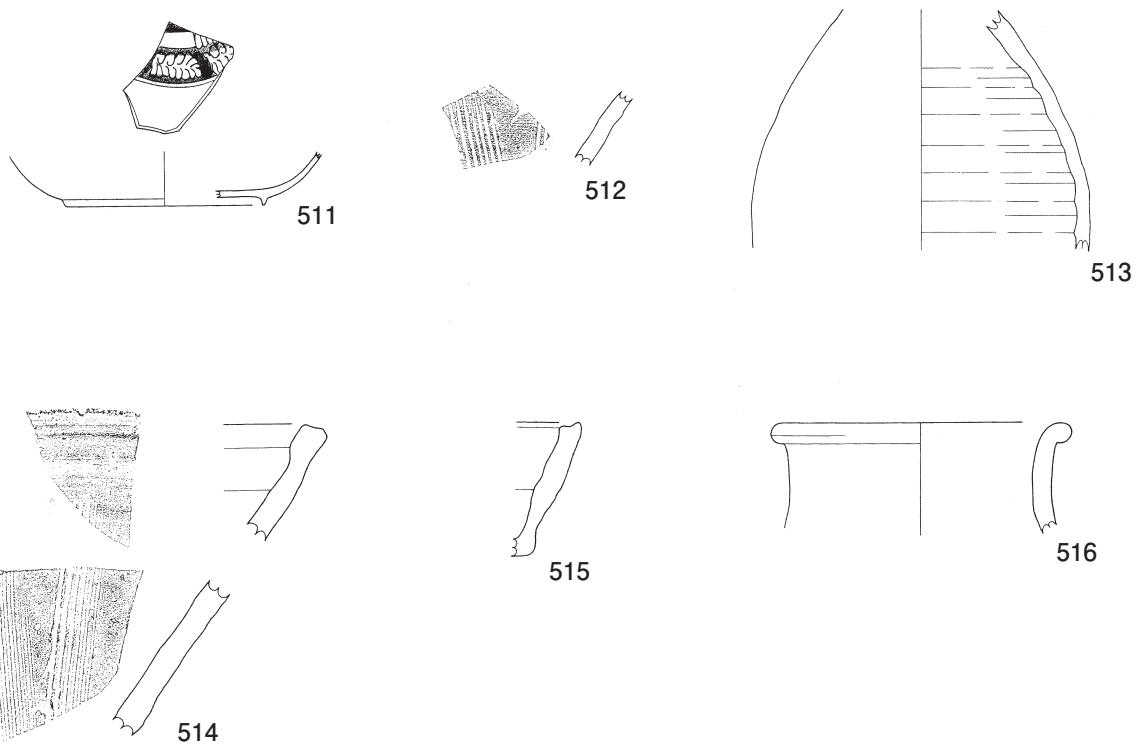


4井

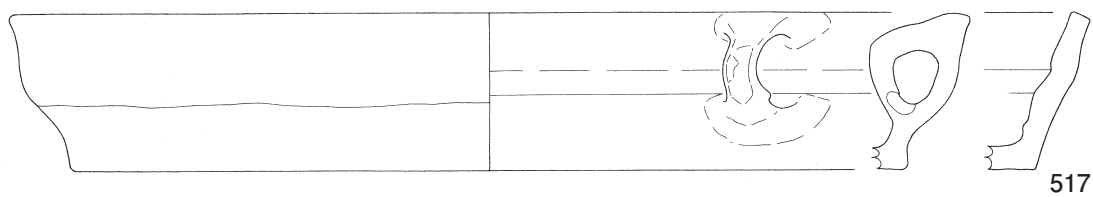


第57図 土器類23 (15次)

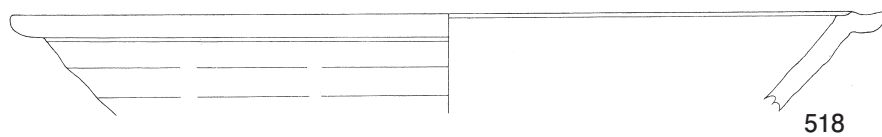
5井



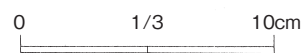
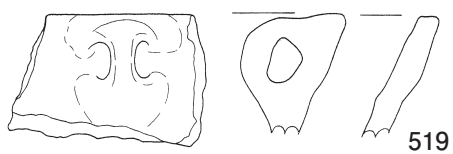
1壙



15壙

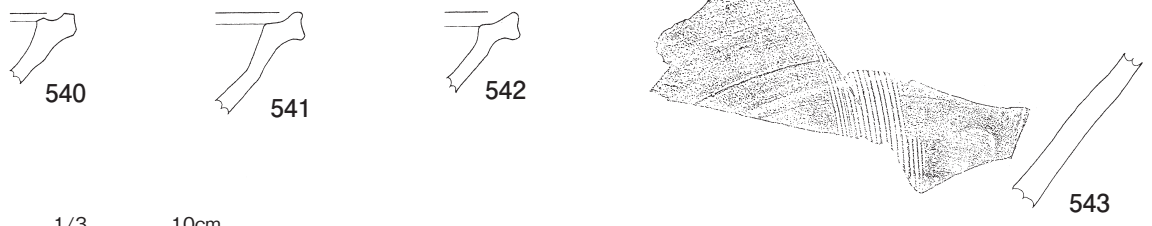
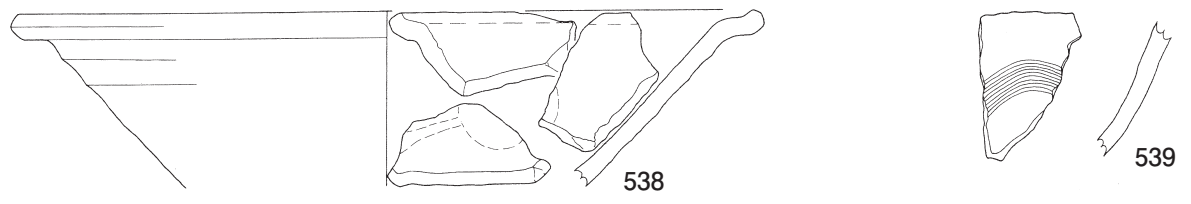
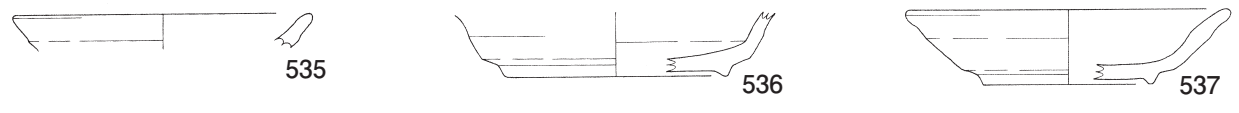
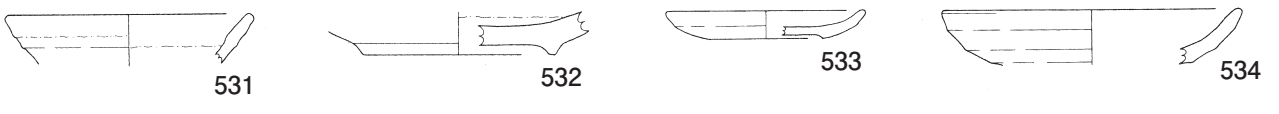
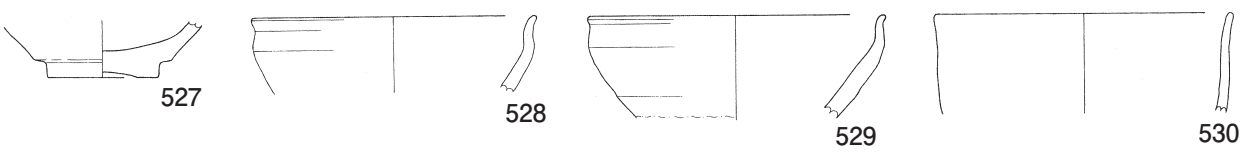
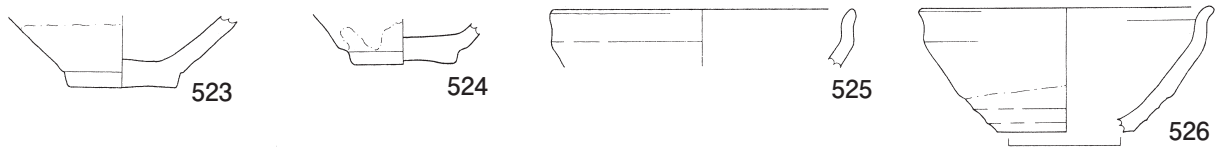
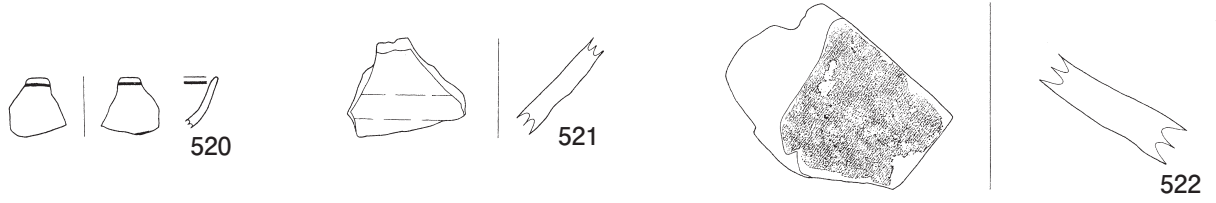


16壙



第58図 土器類24 (15次)

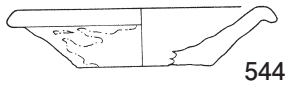
遺構外



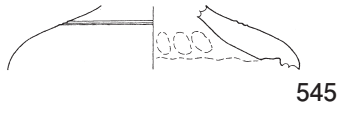
0 1/3 10cm

第59図 土器類25 (15次)

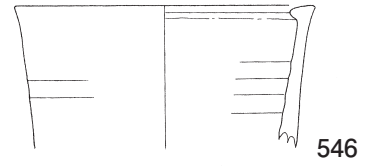
遺構外



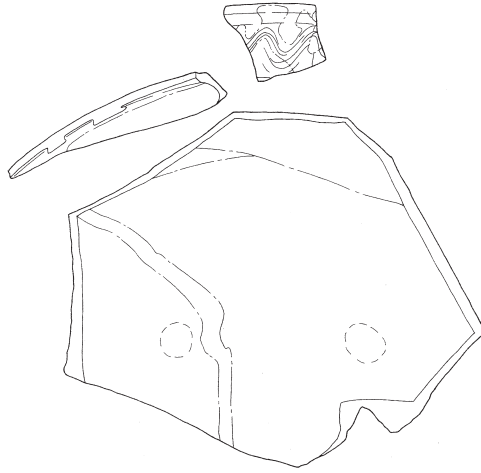
544



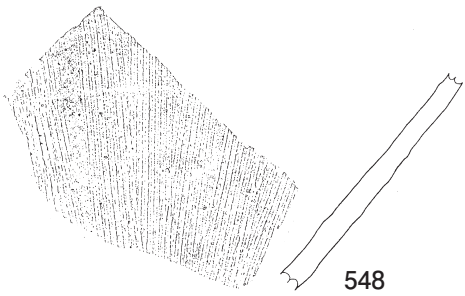
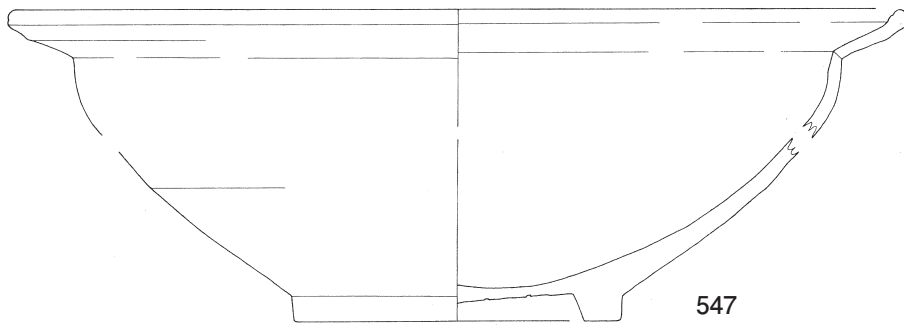
545



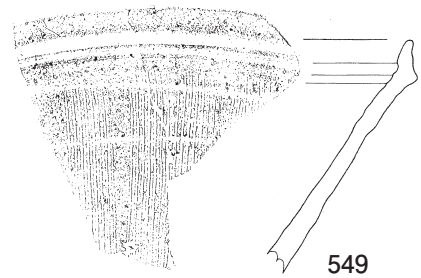
546



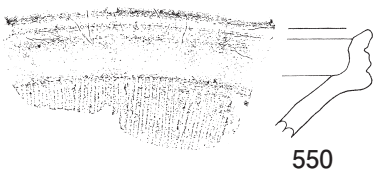
547



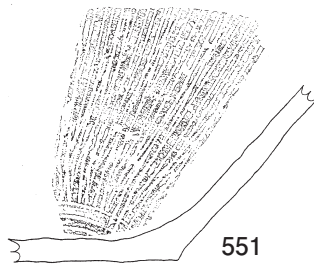
548



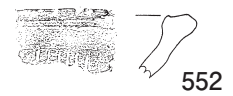
549



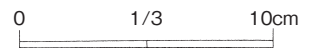
550



551

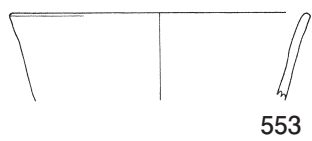


552

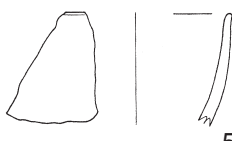


第60図 土器類26 (15次)

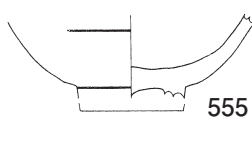
遺構外



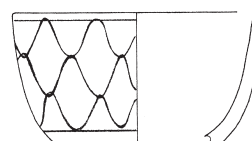
553



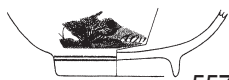
554



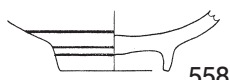
555



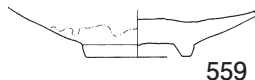
556



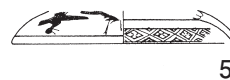
557



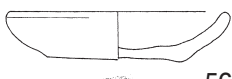
558



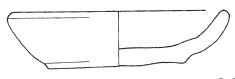
559



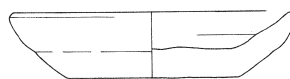
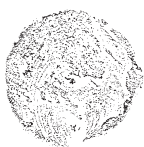
560



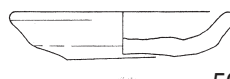
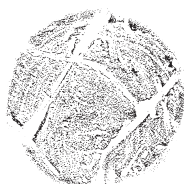
561



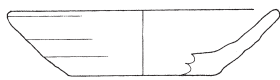
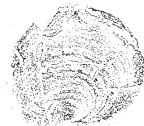
562



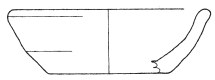
563



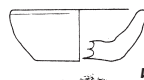
564



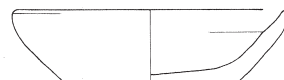
565



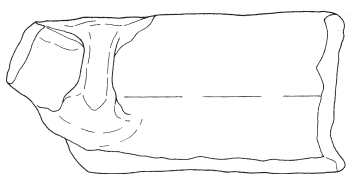
566



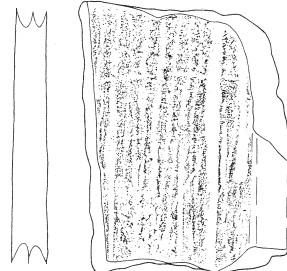
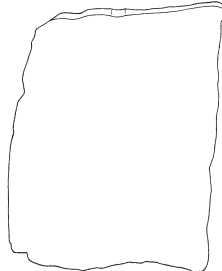
567



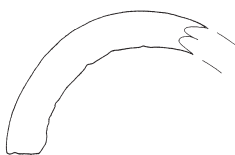
568



569



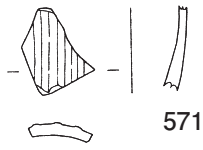
570



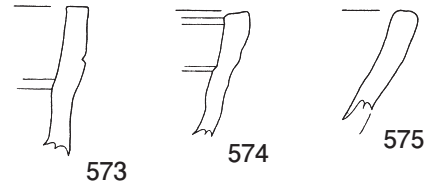
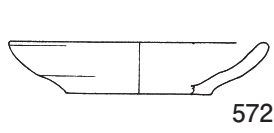
0 1/3 10cm

第61図 土器類27 (15次)

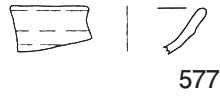
3溝



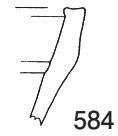
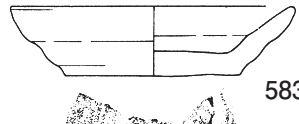
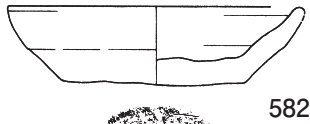
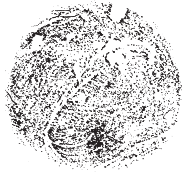
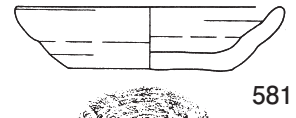
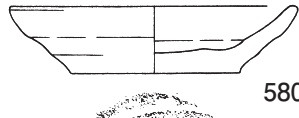
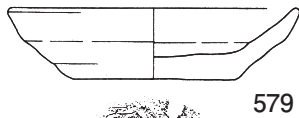
2井



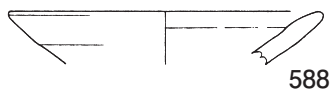
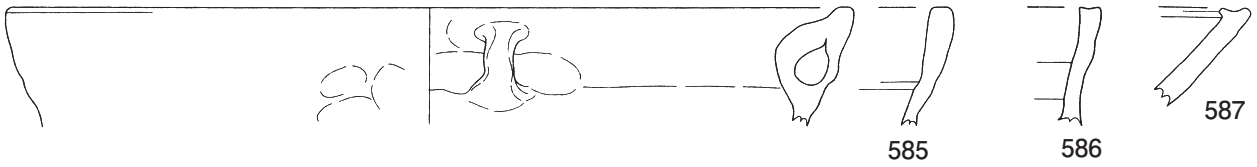
1墳



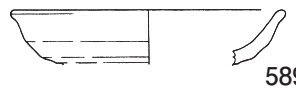
10墳(上位の遺構)



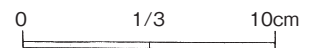
11墳



12墳

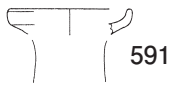


第62図 土器類28 (26次)

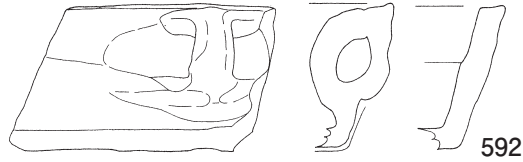


11·12墳

3P

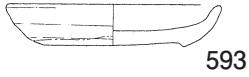


591



592

5P



593



594

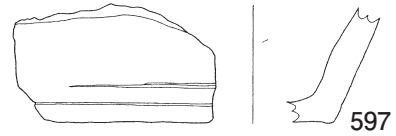
遺構外



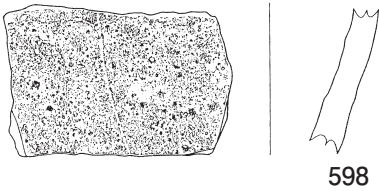
595



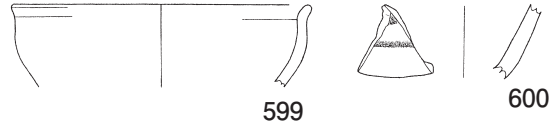
596



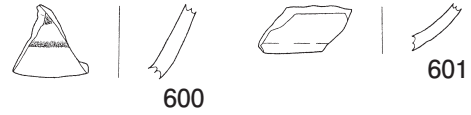
597



598

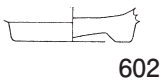


599



600

601



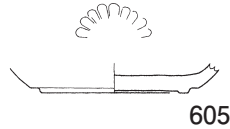
602



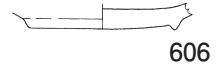
603



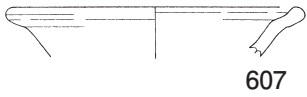
604



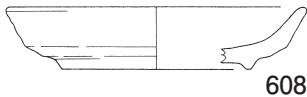
605



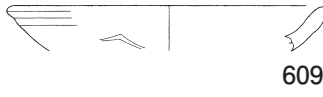
606



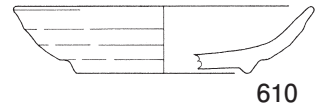
607



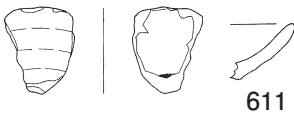
608



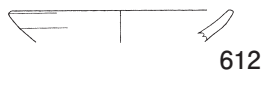
609



610



611



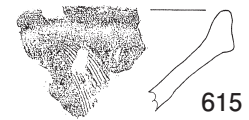
612



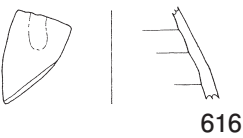
613



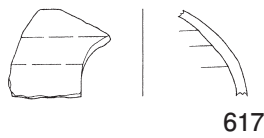
614



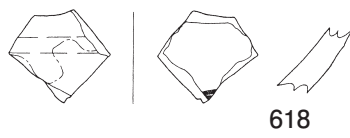
615



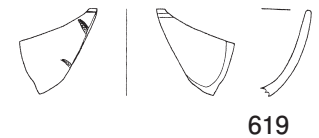
616



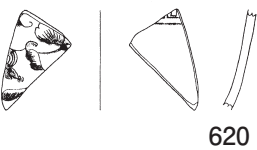
617



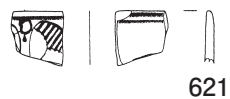
618



619



620

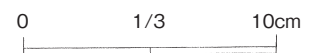


621

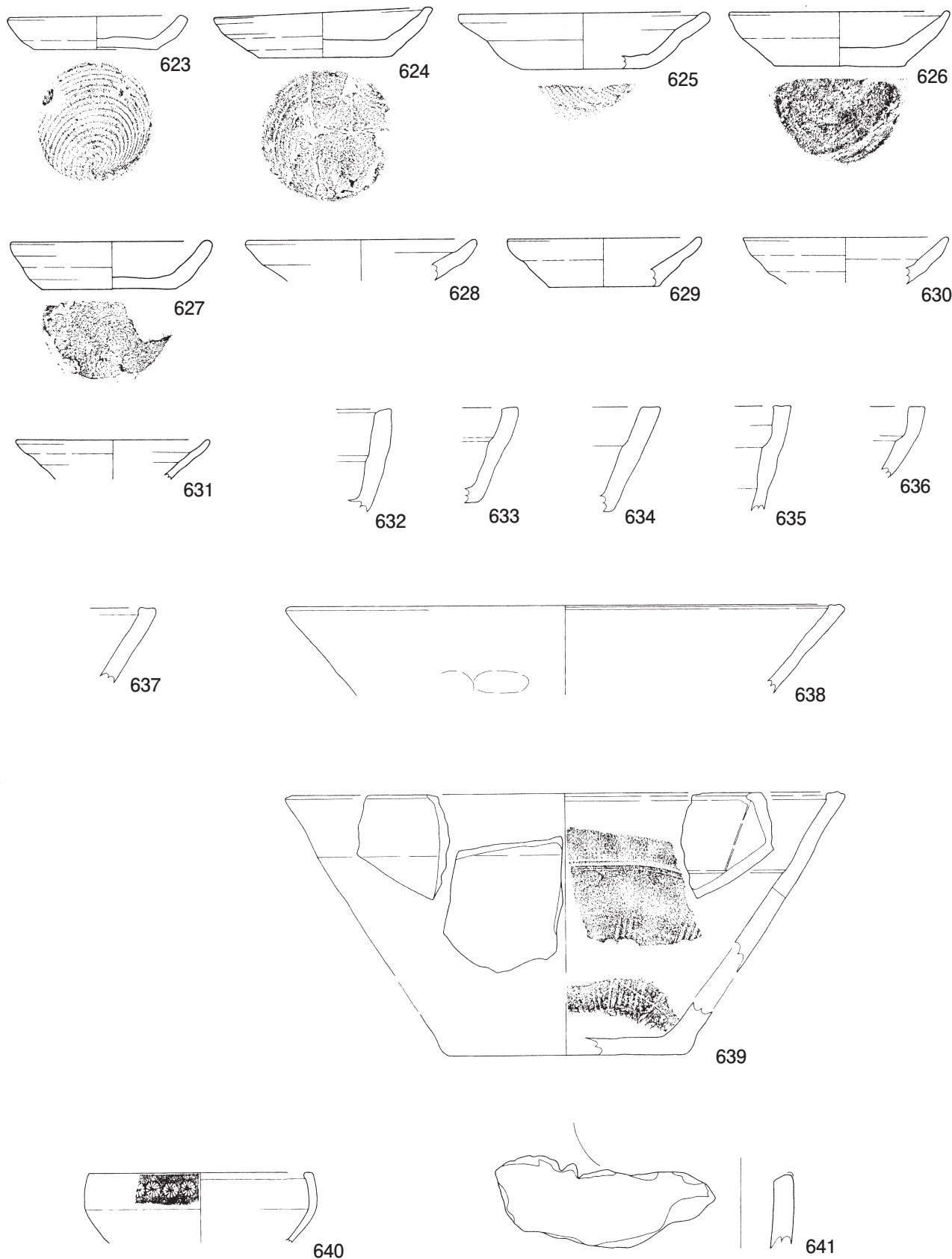


622

第63図 土器類29 (26次)

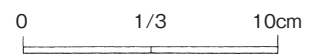
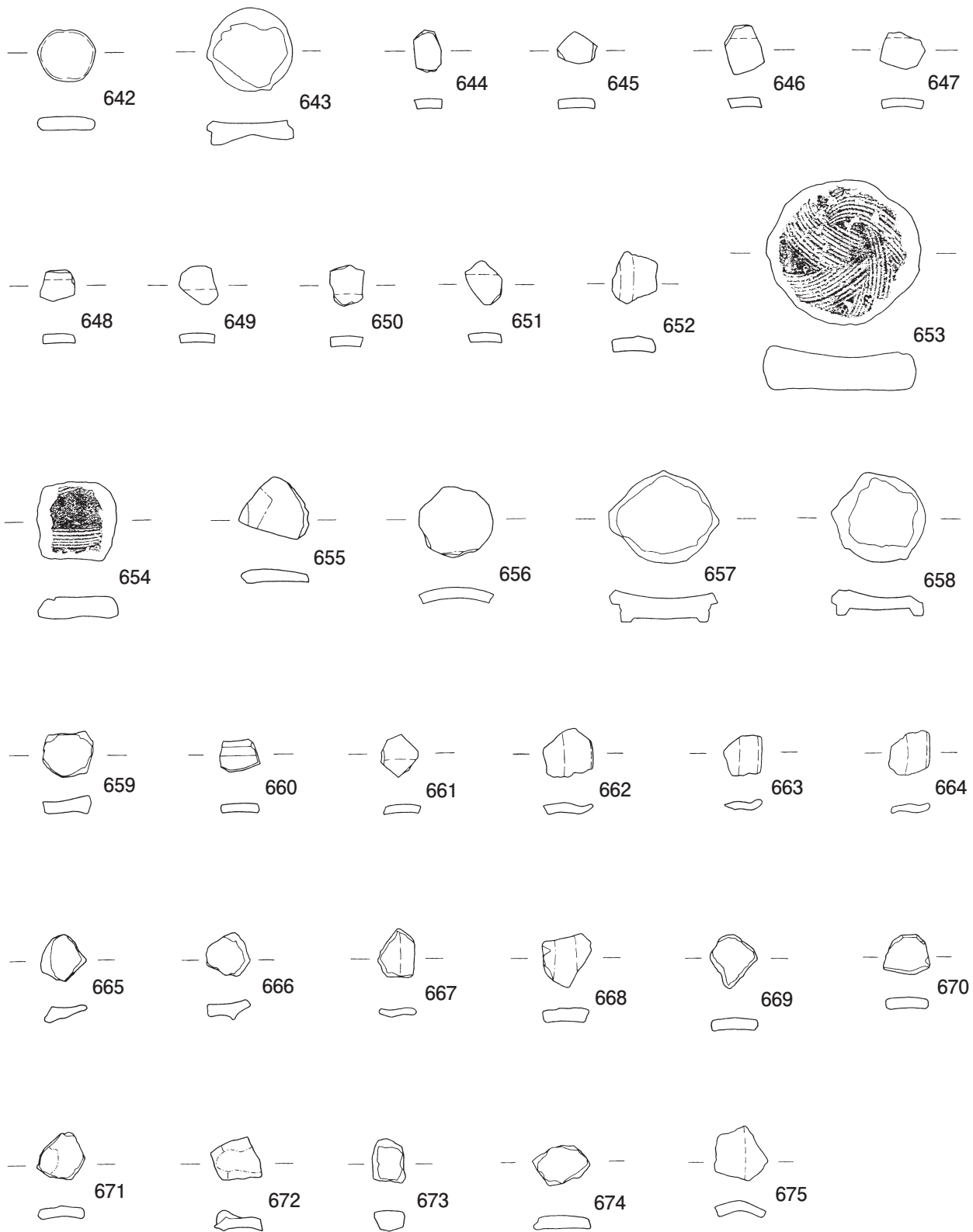


遺構外

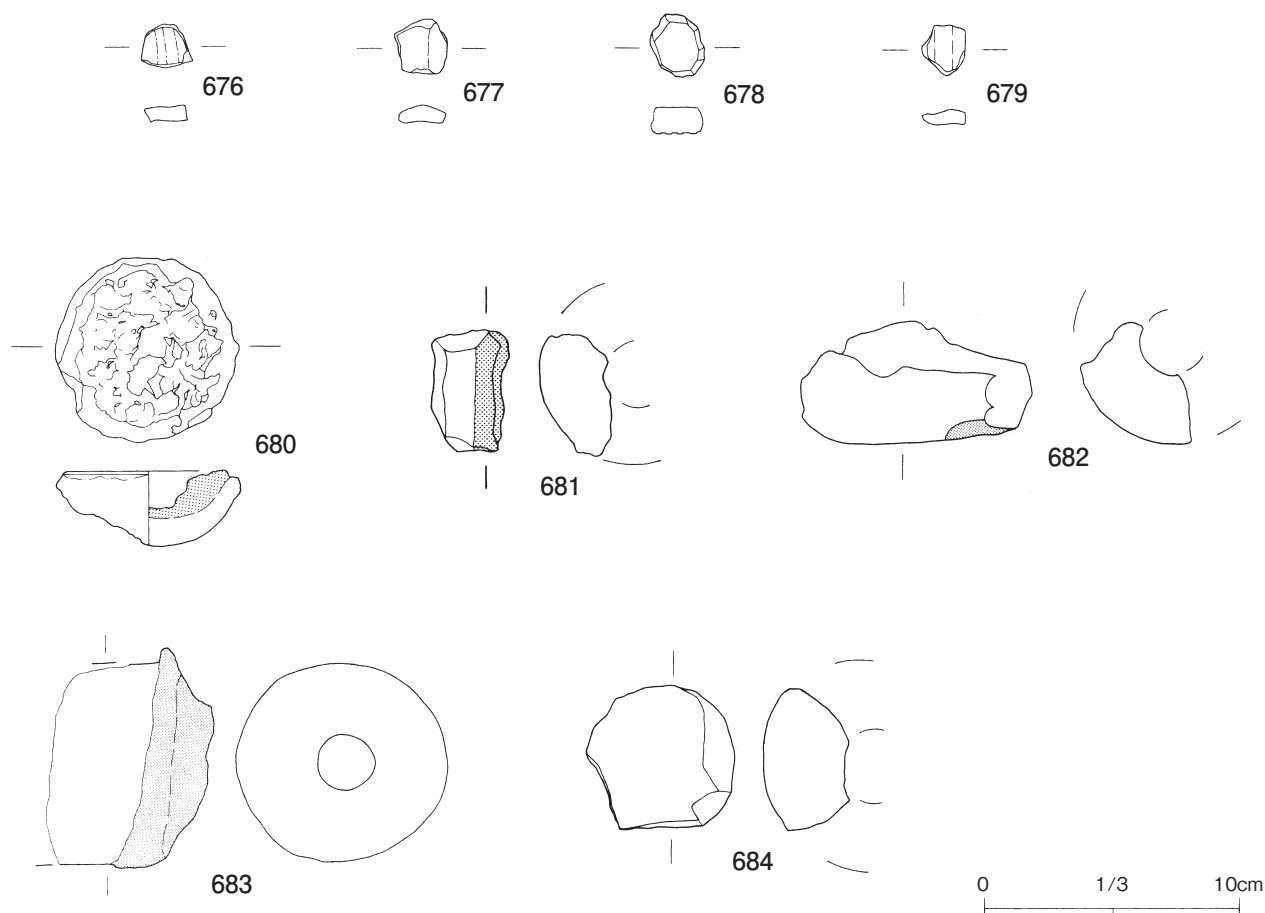


第64図 土器類30 (26次)

0 1/3 10cm



第65図 土器類31 (土製品1)



第66図 土器類32 (土製品2)

構外 (480~488) で、15次遺構外 (555~558) ・26次遺構外 (619~621) で、皿が15次遺構外 (559) ・26次遺構外 (622) で、染付小坏5区4溝 (382) で、青磁香炉が5区遺構外 (479) ・26次3溝 (571) で、染付香炉が4区1溝 (5) ・5区遺構外 (490) で、染付瓶が5区遺構外 (491) で、仏花器4区1溝 (6) で、染付蓋が4区遺構外 (284) ・15次遺構外 (560) で、赤絵人形が5区遺構外 (489) で出土した。

○波佐見 青磁鉢が4区1溝 (2) で、仏花瓶が5区遺構外 (492・493) で出土した。

〈瀬戸美濃系磁器〉 碗が5区遺構外 (478) で出土した。

〈在地産土器〉

○かわらけ ほぼ全ての調査区から出土したが特に4区1壙、5区14壙で多い。

底部外面に磨痕を有するものが5区14壙 (417・418・420・424) ・遺構外 (497)、15次遺構外 (563) で出土している。完形のものが4区10溝 (288) ・12溝 (34) ・1壙 (103・107・119・122・135・136) ・41壙 (158) ・42壙 (167) ・48壙 (171) ・69壙 (199) ・77壙 (299)、5区2溝 (363) ・14壙 (432・434)、15次遺構外 (561~563) で、26次10壙 (579~581) ・遺構外 (623) で出土した。

穿孔しているもので側面は4区4壙 (148) ・5区14壙 (422)、底面側面穿孔は5区3溝 (373)、底面は4区1壙 (95)、5区遺構外 (494・496) で出土した。

刻線されているものは十字状が4区10溝 (295) で、他に41壙 (159) ・69壙 (199) で出土した。

スラグが付着しているものは、付着物はないが高温被熱しているものが4区遺構外で出土しており、

→111ページへ続く

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
1	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	1 溝 F-5 G No. 90	*29.0	-	-	大3 後		町鉢215	内外錆釉	1/2以下
2	磁器・鉢/青磁鉢	肥前(波佐見)	KB 4	1 溝 F-6 G No. 58	-	-	-		17c~	鉢24・町青61	内外青緑色の釉/花文	1/2以下
3	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 4	1 溝 E-6 G No. 6	*8.0	*3.3	4.2		18c	伊04	文様有/高台端部砂付着	1/2以下
4	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 4	1 溝 F-6 G No. 60	*10.0	-	-		18c	伊02	二重網目文	1/2以下
5	磁器・染付香炉	肥前	KB 4	1 溝 F-6 G No. 3	*9.5	-	-		18c~19c	伊01		1/2以下
6	磁器・仏花器	肥前	KB 4	1 溝 F-6 G No. 1、一括	-	4.8	-		19c	伊03	高台端部砂付着	1/2以下
7	陶器・碗/軟質陶器碗	不明	KB 4	1 溝 F-5 G No. 72、一括	-	-	-		17c 前	碗09	内外白色の釉	1/2以下
8	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 溝 F-5 G No. 98、1 壙 F-5 G No. 343	*10.6	*6.5	2.7	騎西城Ⅲ期		町 K143		1/2以下
9	土器・瓦(平瓦)		KB 4	1 溝 F-6 G No. 5	-	-	-		江戸期	瓦01		1/2以下
10	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中国	KB 4	2 溝 E-5 G No. 102	-	-	-	A 2 (I-1)	13c~14c	青05	内外暗緑色の釉/草花文	1/2以下
11	陶器・碗/白天目	瀬戸美濃	KB 4	2 溝 E-5 G No. 43、F-7 G、一括	12.0	4.9	7.5	登2	17c 前~中	町天06	内外長石釉・高台周辺露胎	1/2以上
12	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	2 溝 E-4 G No. 7、一括、東拡	*10.5	*5.6	2.5	大2		皿30	内外灰釉	1/2以下
13	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	2 溝 F-4 G No. 7、F-6 G (No. 14・55)	*30.4	-	-	大3 前		町鉢271	内外錆釉/櫛目15本	1/2以下
14	陶器・皿/鉄絵皿	肥前(唐津)	KB 4	2 溝	*12.0	-	-		17c 前	皿43	内外暗灰色の釉/鉄で文様	1/2以下
15	土器・かわらけ	在地	KB 4	2 溝 E-5 G (No. 24・67)	9.9	6.2	2.5	騎西城Ⅲ期		町 K258		3/4以上
16	土器・片口鉢	在地	KB 4	2 溝 E-5 G No. 109	*22.0	-	-			鉢16		1/2以下
17	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中国	KB 4	3 溝 F-5 G No. 99	-	-	-	B-1	13c~14c	青03	内外暗緑色の釉/片切彫の蓮弁	1/2以下
18	磁器・碗/青磁碗	中国	KB 4	4 溝 F-6 G No. 600	-	*5.6	-	I-5 か 2 か 1		町青68	内外青緑色の釉	1/2以下
19	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	4 溝 F-7 G No. 59	-	-	-	古後Ⅳ(新)		天01	内外鉄釉	1/2以下
20	陶器・皿/端反皿	瀬戸美濃	KB 4	4 溝 F-6 G No. 63	*12.0	-	-	大1		皿10	内外灰釉	1/2以下
21	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 4	5 溝 F-8 G No. 38、7 井 G-7 G No. 105、H-8 G No. 7	11.8	6.6	2.7	登1	17c 初~前	町皿34	内外長石釉/高台内円錐ピン	3/4以上
22	陶器・皿/稜皿	瀬戸美濃	KB 4	5 溝 F-8 G No. 56	*10.0	*6.0	2.7	大3		皿19	内外鉄釉/高台内トチン痕	1/2以下
23	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	5 溝 F-7 G No. 36	-	-	-	大3 後		町鉢228	内外錆釉	1/2以下
24	土器・ほうろく	在地	KB 4	5 溝 F-7 G No. 46、F-7 G No. 5	-	-	6.3			H05	外面スス付着	1/2以下
25	土器・ほうろく	在地	KB 4	5 溝 G-8 G、62 壙 H-9 G No. 500、G-8 G No. 79	*36.0	*32.0	5.1			H24	外面スス付着	1/2以下
26	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中国	KB 4	9 溝 F-6 G No. 798	-	-	-	D-1	15c	青06	内外青緑色の釉	1/2以下
27	土器・かわらけ	在地	KB 4	9 溝 G-6 G No. 257、G-6 G No. 258、68 壙	*11.0	*9.0	2.5			K51		1/2以下
28	土器・ほうろく	在地	KB 4	9 溝 G-6 G No. 258、G-6 G (No. 15 1 T、No. 56・143・162・221・250・296)、1 T、東拡	*34.0	*32.0	5.9			H13	外面スス付着	1/2以下
29	焼締陶器・甕	常滑	KB 4	10 溝 F-6 G No. 657、56 壙 G-6 G No. 102、F-6 G No. 766、G-6 G No. 202・273、1 T	-	*26.0	-			袋02	外面焼き台の痕	1/2以下
30	土器・ほうろく	在地	KB 4	10 溝 F-6 G No. 650、F-6 G (No. 762・766・767)、2 T、G-8 G、一括	*35.0	*32.0	5.6			H07	外面スス付着	1/2以下
31	土器・ほうろく	在地	KB 4	10 溝 F-6 G (No. 648・649・653・844)、64 壙 F-6 G No. 836、F-6 G (No. 763・765)、1 T	*35.0	*32.0	5.6			H08	外面スス付着	1/2以下

第10表 土器類一覧表 1

出土した遺物

*は不確定な推定復元値

分量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
32	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 4	11溝 I-9 G No. 123	-	-	-	I 類	13c	鉢17	内面粗れる	1/2以下
33	陶器・皿/卸皿	瀬戸美濃	KB 4	11溝 F-6 G No. 771	*15.0	-	-	古後 III~IV (古)		皿44	口縁内外灰釉	1/2以下
34	土器・かわらけ	在地	KB 4	12溝 I-9 G No. 118	9.9	6.5	2.3~2.5			K31	底部内面指頭ナデ	完形
35	土器・ほうろく	在地	KB 4	2井 G-7 G No. 6	-	-	5.9			H28		1/2以下
36	土器・ほうろく	在地	KB 4	2井 G-7 G No. 30、 14井最下層	*34.0	*30.0	5.9~6.2			H06	スス付着/底部外面 離れ砂? 付着	1/2以下
37	磁器・鉢/青磁鉢	中国	KB 4	5井 F-8 G No. 26	*20.0	-	-			町青37	内外青緑色の釉	1/2以下
38	陶器・皿/稜皿	瀬戸美濃	KB 4	5井 F-8 G No. 10	-	*6.0	-	大2・3		皿06	内外鉄釉	1/2以下
39	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	6井 G-7 G No. 26	9.4	4.0	5.9	大3 前	16c 中~ 末	町天05	内外鉄釉	1/2以上
40	土器・かわらけ	在地	KB 4	6井 G-7 G No. 24	-	-	-			K63	底部外面墨書 「一」	1/2以下
41	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	7井 H-7 G No. 18	12.0	4.4	6.6	登1	16c 末~ 17c 初	町天10	内外鉄釉	1/2以上
42	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 4	7井 G-7 G No. 37	*12.4	*6.8	2.7	登2	17c 初~ 前	町皿79	内外長石釉	1/2以下
43	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 4	7井 G-7 G (No. 101・ 102)	11.4	7.0	2.1	大4 カ		町皿33	内外長石釉/高台 内墨書/底部内面 円錐ピン	完形
44	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 4	7井 G-7 G (No. 103・ 104)	11.9	6.4	2.5	登3 ?	17c 前~ 中	町皿12	内外長石釉/底部 内面円錐ピン	略完形
45	陶器・碗/筒碗	志戸呂	KB 4	7井 No. 106	-	*5.8	-		16c 末~ 17c 前	碗10	内面鉄釉・高台周 辺露胎	1/2以下
46	土器・かわらけ	在地	KB 4	9井 H-7 G No. 26	*11.3	*7.4	2.7	騎西城 II 期		町 K266		1/2以下
47	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	10井 G-8 G No. 97	*11.0	*6.0	2.3	大2		皿27	内外鉄釉/底部内 面トチン痕/高台 内輪トチン	1/2以下
48	土器・かわらけ	在地	KB 4	10井 G-8 G No. 97	*13.0	*8.8	2.8	騎西城 II 期		町 K265		1/2以下
49	土器・ほうろく	在地	KB 4	10井 G-8 G (No. 98・ 100)	-	-	5.7			H02		1/2以下
50	土器・かわらけ	在地	KB 4	11井 G-8 G (No. 155・ 174)	*10.0	*5.5	2.1			K24	口縁内外黒化	1/2以下
51	土器・火鉢	在地	KB 4	11井 G-8 G No. 196、 14壙 G-8 G No. 136	*20.0	-	-			火鉢01	外面剥落	1/2以下
52	土器・かわらけ	在地	KB 4	12井 G-8 G No. 193、 14壙 G-8 G No. 141、 6井	*12.5	*6.6	3.6			町 K263		1/2以下
53	磁器・碗/白磁碗	中国	KB 4	13井 G-8 G No. 281	-	-	-			町白31	内外白色の釉	1/2以下
54	土器・かわらけ	在地	KB 4	13井 G-8 G (No. 208・ 215・277・278)	9.5	6.0	2.0~2.5			町 K241	口縁内外黒化	1/2以上
55	土器・かわらけ	在地	KB 4	13井 G-8 G (No. 222・ 223・266、一括)	*9.7	*6.7	2.4	騎西城 III 期		町 K261		1/2以下
56	陶器・皿/稜皿	瀬戸美濃	KB 4	14井	*10.0	-	-	大3		皿21	内外鉄釉・腰部露 胎	1/2以下
57	土器・かわらけ	在地	KB 4	14井 (F-8 G No. 87、 一括)	*12.1	*6.2	2.5	騎西城 II 期		町 K268		1/2以下
58	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	17井 F-8 G No. 46	*11.0	-	-	大3		天06	内外鉄釉・腰部錆 釉	1/2以下
59	磁器・碗/青磁碗	中国	KB 4	18井 G-8 G No. 181	-	-	-	I-2 カ		町青89	内外暗緑色の釉/ 片切彫	1/2以下
60	磁器・皿/青磁蓮 弁文皿	中国	KB 4	18井 G-8 G No. 261	*13.0	*6.0	3.0		14~15c?	町青04	内外暗緑色の釉/ 片切彫の蓮弁	1/2以下
61	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	18井、H-9 G No. 31、 一括	*12.0	-	-	大3 カ		天14	内外鉄釉・腰部錆 釉	1/2以下
62	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	KB 4	18井 G-8 G No. 314、 G-8 G No. 82	*32.5	-	-	大3 前		町鉢207	内外錆釉	1/2以下
63	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	KB 4	18井 G-8 G No. 320	-	-	-	大3 前		鉢11	内外錆釉	1/2以下
64	陶器・片口	志戸呂	KB 4	18井 G-8 G No. 187	-	*13.0	-		17c~	鉢23	内面錆釉/底部内 面トチン痕	1/2以下
65	土器・かわらけ	在地	KB 4	18井 G-8 G No. 182、 G-9 G No. 24	*10.4	*5.6	2.9			K32		1/2以下
66	土器・かわらけ	在地	KB 4	18井 G-8 G No. 192	*11.1	7.0	3.1			町 K259		1/2以下

第11表 土器類一覧表 2

*は不確定な推定復元値

量法の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
67	磁器・皿/輪花皿	中国	KB 4	22井 F-7 G No. 62、 1 壙 F-6 G No. 685	13.2	8.2	3.5	E ? (B-1)		町染06	十字花文・線刻文	1/2以下
68	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中国	KB 4	1 壙 F-6 G No. 146	-	-	-	B-1 (I-5)	13c~14c	青04	内外暗緑色の釉/ 片切彫の蓮弁	1/2以下
69	磁器・碗/白磁口 禿碗カ	漳州窯系中国	KB 4	1 壙 F-5 G No. 349	-	*6.0	-	IX ?		町白23	内外白色の釉	1/2以下
70	磁器・碗/染付碗	中国	KB 4	1 壙 F-5 G No. 33	*14.8	-	-	E 群		町染39		1/2以下
71	磁器・皿/染付皿	中国	KB 4	1 壙 F-5 G No. 150、 16P	-	-	-	E 群	16c 末~ 17c 前	染07	大根葉の文様	1/2以下
72	磁器・皿/染付皿	中国	KB 4	1 壙 F-5 G No. 278	-	-	-	B-1	15c 中~ 16c 末	染03	唐草文/高台端部 砂付着	1/2以下
73	磁器・皿/染付皿	中国	KB 4	1 壙 F-6 G No. 305	*12.5	-	-	皿 E 群 ?		町染70	花文	1/2以下
74	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-6 G No. 213、 一括	*12.0	-	-	大 3		天03	内外鉄釉・腰部露 胎	1/2以下
75	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-6 G No. 275	11.4	4.4	6.8	登 1	17c 初~ 前	町天09	内外鉄釉・高台周 辺露胎	3/4以上
76	陶器・碗/小天目	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-6 G No. 520	6.2	-	-	大 4 後		町他04	内外鉄釉	1/2以下
77	陶器・碗/丸碗	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G No. 17	*12.0	-	-	登 1・2	17c 初~ 中	町碗22	内外灰釉	1/2以下
78	陶器・碗/丸碗	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 34・ 142、一括)、1 壙 (F- 6 G No. 403、一括)	*13.4	*5.0	7.8	登 1・2		碗08	内外灰釉・高台周 辺露胎	1/2以下
79	陶器・皿/腰折皿	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G No. 260、 H-8 G、一括	*12.0	-	-	古後IV (新)		皿13	内面・口縁外面灰 釉	1/2以下
80	陶器・皿/志野丸 皿	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 (F-5 G No. 233 ・329、F-6 G No. 309)	*11.2	*7.0	2.5	登 2	17c 前~ 中	町皿20	内外灰色長石釉/ 底部内面内錐ピン	1/2以下
81	陶器・皿/鉄絵皿	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 59・ 282・326)	*12.0	6.8	2.7	登 2	17c 前~ 中	町皿19	内外白色の釉/ 底部内面内錐ピン	1/2以上
82	陶器・皿/鉄絵皿	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 161・ 237・333)	*12.0	*6.6	2.8	登 2		皿42	内外長石釉/鉄で 文様/高台内面内錐 ピン	1/2以下
83	陶器・皿/鉄絵皿	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G No. 320	*12.6	*7.7	2.7	登 2	17c 前~ 中	町皿51	内外長石釉/鉄で 蘭竹文/高台内面 内錐ピン?	1/2以下
84	陶器・鉢/卸目付 大皿	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-6 G No. 805	-	-	-	古後III		鉢02	内外灰釉	1/2以下
85	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 63・ 284)、41 壙 F-5 G No. 49 (1 壙カ)	*31	-	-	登 1		鉢15	櫛目 4 本	1/2以下
86	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G No. 315	-	-	-	大 3 後		町鉢227	内外錆釉	1/2以下
87	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-6 G No. 407	-	-	-	大 1 カ		町鉢240	内外錆釉	1/2以下
88	陶器・志野向付	瀬戸美濃	KB 4	1 壙 F-5 G No. 348、 一括	-	-	-	大 4 後		他04	内外長石釉/鉄で 草文/型打成形	1/2以下
89	陶器・碗	肥前(唐津)	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 211・ 322)	*12.7	-	-		16c 末~ 17c 前	町碗14	内外灰色の釉	1/2以下
90	陶器・播鉢	志戸呂	KB 4	1 壙 F-6 G No. 282	-	-	-	大 4 相当		鉢14		1/2以下
91	陶器・香炉	志戸呂	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 25・ 26)、15 井 F-8 G No. 78、 一括	*16.6	9.8	9.0		17c	町香08	内外鉄釉・灰釉流 し掛け・底部内面 高台周辺露胎	1/2以上
92	陶器・香炉	志戸呂	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 686・ 692)	14.8	-	7.4			町香03	内外鉄釉・底部内 面高台周辺露胎	1/2以下
93	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 14・16 ・20)、一括	*10	6.0	1.9	騎西城III期		K46		1/2以上
94	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 18 ・308)、一括	*9.8	*6.1	2.8	騎西城III期		町 K145	底面刺突(焼成後) /底部外面墨書	1/2以上
95	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 27、 4 壙 F-5 G No. 84、一 括	8.8	5.0	2.0~2.4	騎西城III期		町 K135	底面穿孔(焼成後)	1/2以上
96	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 39、一 括	8.8	5.0	2.5	騎西城III期		町 K128	底部内面中央凸	1/2以上
97	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 57	*10.2	5.8	2.4	騎西城III期		町 K136		1/2以下
98	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 58	9.8	4.9	2.1	騎西城III期		町 K123	口縁内面スス付 着?	1/2以上
99	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 110・ 262)、F-5 G	*10.0	*6.8	2.8	騎西城III期	17c 前	K28		1/2以下

第12表 土器類一覽表 3

出土した遺物

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
100	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 214・216・334・335・383・386)	9.2	5.2	2.3~2.5	騎西城Ⅲ期		町 K132		3/4以上
101	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 254・335)	*9.6	-	-	騎西城Ⅲ期		K39		1/2以下
102	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 261・311)	*9.6	5.8	2.3	騎西城Ⅲ期		町 K118	底部内面渦巻ナデ	1/2以上
103	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 281	10.2	5.4	2.6	騎西城Ⅲ期		町 K133	底部内面渦巻ナデ	略完形
104	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 291・294・369)、1 壙、一括	8.9	5.2	1.9~2.1	騎西城Ⅲ期		町 K125	底部内面中央凹	3/4以上
105	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 305	9.7	6.0	2.6~2.9	騎西城Ⅲ期		町 K120	底部内面渦巻ナデ	3/4以上
106	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 321	-	-	-	騎西城Ⅲ期		K49	外面墨書	1/2以下
107	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 330	9.9	5.7	2.6	騎西城Ⅲ期		町 K119	外面黒色	完形
108	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 337・384)	*9.0	*5.8	2.4	騎西城Ⅲ期		町 K142		1/2以下
109	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 340	10.1	6.4	2.6	騎西城Ⅲ期		町 K131		1/2以上
110	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 (F-5 G No. 346、F-6 G No. 272・278・364)	*10.4	6.1	2.4	騎西城Ⅲ期		町 K130		1/2以上
111	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 (F-5 G No. 354、F-6 G No. 598)	*11.0	6.6	2.5	騎西城Ⅲ期	17c 前	K20	底部内面渦巻ナデ	1/2以下
112	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 380・382)	*9.2	-	-	騎西城Ⅲ期		K40		1/2以下
113	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 393・394)	*10.0	*7.0	2.0	騎西城Ⅲ期		K35		1/2以下
114	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 96・743)、一括	*10.0	-	-	騎西城Ⅲ期		K44		1/2以下
115	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 1■6・276)	*10.0	-	-	騎西城Ⅲ期		K30		1/2以下
116	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 158・290・291・304)	9.1	*5.4	2.0	騎西城Ⅲ期		町 K137		1/2以上
117	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 189・332)	*10.0	*5.2	2.3	騎西城Ⅲ期	17c 前	K27		1/2以下
118	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 194・211・705)、一括	10.0	5.6	2.5	騎西城Ⅲ期		町 K138		1/2以上
119	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 288	10.2	5.0	2.4	騎西城Ⅲ期		町 K122	底部内面渦巻ナデ	完形
120	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 292・341・362)	10.4	*5.8	2.0	騎西城Ⅲ期		K36		1/2以下
121	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 316	-	-	-	騎西城Ⅲ期		K48	底部外面墨書	1/2以下
122	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 328	9.8	5.7	2.7	騎西城Ⅲ期		町 K144	底部内面指頭ナデ	略完形
123	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 340	*9.0	-	-	騎西城Ⅲ期		K38		1/2以下
124	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 348・351・353)、1 壙	*9.4	5.8	1.9	騎西城Ⅲ期		町 K126		1/2以上
125	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 361、52壙 F-6 G No. 610、一括	*10.2	5.0	2.7			町 K260	体部と底部(内面)境にナデ	1/2以上
126	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 371・372)	10.5	5.8	2.4	騎西城Ⅲ期		町 K121	底部内面渦巻ナデ / 底部外面ケズリ	3/4以上
127	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 390	*10.0	*5.4	2.5	騎西城Ⅲ期	17c 前	K52		1/2以下
128	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 391、G-9 G No. 139	*11.4	-	-	騎西城Ⅲ期		K37		1/2以下
129	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 399・737)	*10.8	6.4	2.5	騎西城Ⅲ期		町 K129	底部内面指頭ナデ	1/2以上
130	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 509・727)	*10.0	*6.0	2.3	騎西城Ⅲ期		K41		1/2以下
131	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 518・813)、1 壙、一括	*10.3	6.1	2.6	騎西城Ⅲ期		町 K134	底部内面渦巻ナデ	1/2以下
132	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 522・808)	*9.3	*5.0	2.2	騎西城Ⅲ期		町 K139		1/2以下
133	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 530	*10.0	*6.0	2.5	騎西城Ⅲ期	17c 前	K53		1/2以下
134	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 580・811)	*10.4	-	-	騎西城Ⅲ期		K43	全面黒色	1/2以下
135	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 588	9.1	5.9	2.4	騎西城Ⅲ期		町 K127	底部内面中央凸	完形

第13表 土器類一覧表 4

*は不確定な推定復元値

量法の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
136	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 683	10.0	5.3	2.5	騎西城Ⅲ期		町 K90	底部内面指頭ナデ/底部外面墨書「三」	完形
137	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G (No. 699・736)	*10.0	*6.6	2.8	騎西城Ⅲ期		K47		1/2以下
138	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 (F-6 G No. 732、一括)、F-6 G (No. 127・240) 4 T	*10.0	*4.8	2.4	騎西城Ⅲ期	17c 前	K25		1/2以下
139	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 800	*9.7	6.0	2.3	騎西城Ⅲ期		町 K141		1/2以下
140	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙 F-6 G No. 812、4 T、一括	*10.6	*6.5	2.5	騎西城Ⅲ期		町 K140		1/2以下
141	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙、F-6 G (No. 397・532・735)	*10.2	*6.0	2.6~2.8	騎西城Ⅲ期		町 K124	底部内面渦巻ナデ	1/2以下
142	土器・かわらけ	在地	KB 4	1 壙	*10.0	*5.6	2.6	騎西城Ⅲ期	17c 前	K26		1/2以下
143	土器・土鍋	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 9	-	-	-			D02		1/2以下
144	土器・ほうろく	在地	KB 4	1 壙 F-5 G No. 22	-	-	5.5			H01		1/2以下
145	土器・ほうろく	在地	KB 4	1 壙 F-5 G (No. 37・38・400)	*38.0	-	-			H09	外面スス付着	1/2以下
146	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	3 壙 E-5 G No. 97	-	-	-	大 4 前		鉢01	内外錆釉	1/2以下
147	陶器・香炉	志戸呂	KB 4	3 壙 E-5 G No. 48、64 壙 F-6 G (No. 646、F-6 G (No. 32・54)、G-6 G (No. 225・228・236・252・267・283・290・303)、東カク、側溝、2 T、一括	13.2	10.0	10.6			町香02	外面鉄釉・灰釉流し掛け・肩部周辺露胎	1/2以上
148	土器・かわらけ	在地	KB 4	4 壙 F-5 G (No. 77・88)、一括	8.4	5.6	2.2			K33	側面穿孔	1/2以下
149	陶器・皿/縁釉小皿	瀬戸美濃	KB 4	10 壙	*11.0	-	-	古後Ⅲ		皿31	口縁内外灰釉	1/2以下
150	土器・播鉢	在地	KB 4	14 壙 G-8 G (No. 148、G-9 G (No. 12・15・42)、一括	*28.9	*10.1	11.6			町鉢59	内面剥落顕著	1/2以下
151	土器・ほうろく	在地	KB 4	26 壙 H-8 G (No. 105・106)、H-9 G No. 9	*42.0	*39.0	5.0			H27		1/2以下
152	土器・ほうろく	在地	KB 4	34 壙 I-9 G No. 126	-	-	5.9			H22	外面スス付着	1/2以下
153	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	41 壙 H-9 G (No. 289・349)	*11.0	-	-	登 2		天02	内外鉄釉・腰部露胎	1/2以下
154	陶器・皿/豆皿	瀬戸美濃	KB 4	41 壙 H-9 G (No. 292・一括)、41 壙・42 壙、G-8 G、4 T	5.4	3.2	1.5	大 1	15c 末～16c 初	町皿17	内外灰釉/印花文	1/2以上
155	陶器・徳利	志戸呂	KB 4	41 壙 H-9 G No. 245	-	-	-		16c 中～17c	町袋28	外面鉄釉	1/2以下
156	土器・かわらけ	在地	KB 4	41 壙 H-9 G No. 242	11.3	6.9	2.6	騎西城Ⅱ期		町 K112	体部と底部(内面)境にナデ	3/4以上
157	土器・かわらけ	在地	KB 4	41 壙 H-9 G No. 243、57 壙	11.1	7.1	2.4	騎西城Ⅱ期		町 K113	体部と底部(内面)境にナデ	1/2以下
158	土器・かわらけ	在地	KB 4	41 壙 H-9 G (No. 244・463・464)	11.1	6.6	2.6	騎西城Ⅱ期		町 K110	底部内面指頭ナデ/体部と底部(内面)境にナデ	略完形
159	土器・かわらけ	在地	KB 4	41 壙 H-9 G (No. 342・343)	*11.8	7.0	2.8	騎西城Ⅱ期		町 K116	底部内面指頭ナデ/体部と底部(内面)境にナデ/黒色付着物/底部内面刻傷	1/2以上
160	土器・かわらけ	在地	KB 4	41 壙 H-9 G (No. 426・448)	11.1	6.7	2.7	騎西城Ⅱ期		町 K115	底部内面指頭ナデ/体部と底部(内面)境にナデ	3/4以上
161	土器・かわらけ	在地	KB 4	41 壙 H-9 G No. 487	10.8	6.9	2.7	騎西城Ⅱ期		町 K109	体部と底部(内面)境にナデ/内面黒色	3/4以上
162	土器・ほうろく	在地	KB 4	41 壙 H-9 G No. 296	-	-	-			H11		1/2以下
163	土器・ほうろく	在地	KB 4	41 壙 H-9 G No. 449	-	-	6.3			H19	外面スス付着	1/2以下
164	土器・片口鉢	在地	KB 4	41 壙 H-9 G No. 458	-	-	-			鉢19		1/2以下
165	土器・香炉	在地	KB 4	41 壙 H-9 G No. 227、H-9 G No. 96	*16.0	*13.5	-			素他02	三足の痕	1/2以下

第14表 土器類一覽表 5

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
166	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	42墳 H-9 G No. 268	*11.0	-	-	大3		天07	内外鉄釉	1/2以下
167	土器・かわらけ	在地	KB 4	42墳 H-9 G No. 246	11.3	6.0	3.0			町 K256	底部内面指頭ナデ/体部と底部(内面)境にナデ	完形
168	土器・ほうろく	在地	KB 4	42墳 H-9 G No. 216	-	-	-			H17		1/2以下
169	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	48墳 H-9 G No. 383	*10.8	5.5	2.6	大3	16c 前～中	町皿43	内外灰釉/高台内輪トチン	1/2以下
170	土器・かわらけ	在地	KB 4	48墳 H-9 G (No. 374・375・378・381・439・445)	*10.4	7.0	3.0	騎西城Ⅱ期		町 K117	底部内面指頭ナデ/体部と底部(内面)境にナデ/底部外面板ナデ	1/2以上
171	土器・かわらけ	在地	KB 4	48墳 H-9 G No. 406	11.1	6.9	2.9	騎西城Ⅱ期		町 K111	体部と底部(内面)境にナデ/底部外面スス? 附着/口縁6ヶ所欠	完形
172	土器・かわらけ	在地	KB 4	48墳 H-9 G No. 409	11.3	7.4	2.7	騎西城Ⅱ期		町 K114	体部と底部(内面)境にナデ	3/4以上
173	土器・ほうろく	在地	KB 4	48墳 H-9 G No. 413	*35.2	*30.0	5.8			H16	外面スス附着	1/2以下
174	土器・ほうろく	在地	KB 4	48墳 H-9 G No. 420、G-6 G (No. 160・295)	*36.0	*32.0	5.3-5.7			H20	外面スス附着	1/2以下
175	磁器・碗/染付碗	中国	KB 4	52墳 F-6 G No. 607	-	-	-	C 群		町染73	芭蕉葉文	1/2以下
176	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	52墳 F-6 G No. 618、F-6 G	*11.0	-	-	大3		天05	内外鉄釉・腰部錆釉	1/2以下
177	陶器・皿/底卸目皿	瀬戸美濃	KB 4	52墳 E-6 G (No. 116・117)	*20.0	-	-	古中Ⅱ・Ⅲ		皿02	内外灰釉	1/2以下
178	陶器・皿/縁袖小皿	瀬戸美濃	KB 4	52墳 (F-6 G No. 132・603)	*12.0	-	-	大1		皿38	口縁内面灰釉	1/2以下
179	陶器・皿/縁袖小皿	瀬戸美濃	KB 4	52墳 F-6 G No. 616、F-6 G	*12.0	*4.5	2.3	大窯期		皿14	口縁内面灰釉・内面薄い赤色	1/2以下
180	土器・かわらけ	在地	KB 4	52墳 F-6 G No. 629	*10.6	*7.1	3.2			町 K267	底部内面ナデ	1/2以下
181	土器・かわらけ	在地	KB 4	52墳	*9.0	*5.8	2.1	騎西城Ⅲ期		町 K262		1/2以下
182	土器・ほうろく	在地	KB 4	52墳 E-6 G No. 124	-	-	5.6			H18	外面スス附着	1/2以下
183	磁器・皿/染付皿	中国	KB 4	55墳	-	-	-	B-1	15c 中～16c 末	染05	唐草? 文	1/2以下
184	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 4	55墳 F-6 G No. 671	*11.6	*6.0	2.7	登1	17c 初～前	町皿32・226	内外長石釉/高台内内円錐ピン?	1/2以下
185	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	55墳 G-6 G No. 117、56墳 G-6 G No. 101	10.2	5.7	2.4	大3		町皿31	内外灰釉/高台内輪トチン/外面黒色附着物/口縁2ヶ所欠	完形
186	土器・かわらけ	在地	KB 4	55墳 (G-6 G No. 116、一括)、6 墳 1 T	*10.9	6.6	2.8			町 K222		1/2以下
187	土器・かわらけ	在地	KB 4	55墳、F-6 G No. 101 1 T、2 T	*11.2	7.4	2.9		16c 後～末カ	町 K213	底部外面墨? 附着	1/2以下
188	陶器・碗/鉄絵碗	肥前(唐津)	KB 4	56墳 (F-6 G No. 100 1 T、G-6 G No. 4・82)、G-6 G No. 51・60	14.4	-	-		17c 初～前	町碗03	内外灰色長石釉/鉄で文様	1/2以下
189	陶器・皿/鉄絵皿	肥前(唐津)	KB 4	56墳 G-6 G No. 99、F-6 G No. 116 5 T	12.9	4.4	5.4		16c 末～17c 前	町皿30	内外灰色長石釉・高台周辺露胎/鉄で草文/口縁輪花	3/4以上
190	土器・かわらけ	在地	KB 4	56墳 F-6 G (No. 663・665)、55墳	*9.0	*5.6	2.4	騎西城Ⅲ期		町 K254		1/2以下
191	土器・かわらけ	在地	KB 4	56墳 F-6 G No. 664、F-6 G (No. 252、No. 261) 4 T	10.4	6.8	2.5	騎西城Ⅲ期		町 K242	体部と底部(内面)境にナデ	1/2以下
192	土器・火鉢	在地	KB 4	56墳 G-6 G No. 105	-	-	-			火鉢02	口唇刺突/菊花文	1/2以下
193	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	65墳 F-6 G No. 752	-	*4.6	-	登1		天10	内外鉄釉・高台周辺露胎	1/2以下
194	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	65墳 (E-6 G No. 25・26)	*10.0	-	-	大2		皿32	内外灰釉	1/2以下
195	土器・かわらけ	在地	KB 4	65墳 E-6 G No. 40	*11.0	*6.3	3.3	騎西城Ⅲ期		町 K255	体部と底部(内面)境にナデ/底部外面板ナデ	1/2以下

第15表 土器類一覧表 6

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
196	土器・ほうろく	在地	KB 4	65壙 E-6 G (No. 16・27・33・35・38・42)、65壙 F-6 G (No. 722・724・725・754・760)、F-6 G (No. 114・115、一括) 3 T、	*37.0	*34	5.6			H10	内外スス付着	1/2以上
197	陶器・碗/平碗	瀬戸美濃	KB 4	68壙	-	-	-	古後Ⅳ(古)		碗03	内外灰釉	1/2以下
198	土器・かわらけ	在地	KB 4	69壙 G-10G No. 76、G-10G (No. 60・61・62・?)	10.8	*4.2	3.6	騎西城Ⅰ期カ		K29	内面黒色付着物	1/2以上
199	土器・かわらけ	在地	KB 4	69壙 G-10G (No. 73・74)、G-10G No. 31、一括	11.0	6.4	2.9~3.1	騎西城Ⅰ期カ		町 K252	底部外面刻線	完形
200	土器・かわらけ	在地	KB 4	69壙 H-10G (No. 47・57)	11.7	5.7	3.9	騎西城Ⅰ期		町 K257	底部内面指頭ナデ/底部外面板ナデ	1/2以下
201	土器・かわらけ	在地	KB 4	69壙 H-10G No. 47	*11.6	5.2	3.0	騎西城Ⅰ期カ		町 K253		1/2以上
202	土器・ほうろく	在地	KB 4	69壙 G-10G (No. 83・84・87・92・93・106)、G-10G No. 66	*34.0	*30.0	5.3			H23	内外スス付着	1/2以下
203	土器・ほうろく	在地	KB 4	69壙 H-10G No. 58、G-10G (No. 18・29)	-	-	5.5			H25	外面スス付着	1/2以下
204	土器・ほうろく	在地	KB 4	70・72壙 G-9 G No. 187	-	-	5.5			H15	外面スス付着	1/2以下
205	土器・ほうろく	在地	KB 4	70・72壙 G-9 G No. 191	-	-	-			H14	外面スス付着	1/2以下
206	磁器・鉢/大皿	志戸呂	KB 4	77壙 G-6 G No. 324、G-6 G No. 33	-	-	-		16c 後	鉢20	内外鉄釉	1/2以下
207	磁器・碗/青磁蓮弁文碗	龍泉窯系中国	KB 4	G-9 G No. 122	-	-	-	B-1	13c~14c	青02	内外暗緑色の釉/片切彫の蓮弁	1/2以下
208	磁器・碗/青磁蓮弁文碗	龍泉窯系中国	KB 4	H-9 G No. 108	*16.2	-	-	B-1 (I-5)		町青05	内外暗緑色の釉/蓮弁	1/2以下
209	磁器・碗/青磁蓮弁文碗	龍泉窯系中国	KB 4	一括	-	-	-	B-1 (I-5)	13c~14c	青01	内外暗緑色の釉/片切彫の蓮弁	1/2以下
210	磁器・皿/白磁皿	中国	KB 4	東拓	*12.0	-	-	C-1	15c 中~16c 末	白02	内外灰白色の釉	1/2以下
211	磁器・皿/白磁皿	中国	KB 4	F-6 G	*12.0	-	-	C-1	15c 中~16c 末	白03	内外白色の釉	1/2以下
212	磁器・皿/白磁皿	中国	KB 4	6 T	-	*7.0	-	C-1	15c 中~16c 末	白05	内外白色の釉/高台内側に砂付着	1/2以下
213	磁器・皿/白磁皿(菊皿)	中国	KB 4	F-6 G No. 231 4 T	-	-	-	D 群	16c 末~17c	白07	内外白色の釉/口縁輪花	1/2以下
214	磁器・皿/白磁皿(菊皿)	中国	KB 4	H-8 G No. 54	-	*5.4	-	D 群	16c 末~17c	白04	内外白色の釉/高台端部砂付着	1/2以下
215	磁器・皿/白磁皿	中国	KB 4	H-9 G No. 112	-	*7.0	-	E 群	16c 末~17c 前	白06	内外灰色の釉	1/2以下
216	磁器・白磁小壺(茶入カ)	中国	KB 4	一括	*5.0	-	-			白01	内外灰白色の釉	1/2以下
217	磁器・碗/染付碗	中国	KB 4	一括	-	-	-	C 群	15c 中~16c 後	染04	芭蕉葉文	1/2以下
218	磁器・皿/染付皿	中国	KB 4	E-5 G	-	-	-	E 群	16c 末~17c 前	染01	草花文	1/2以下
219	磁器・皿/染付皿	中国	KB 4	G-8 G	*10.0	-	-	E 群	16c 末~17c 前	染02	文様	1/2以下
220	磁器・皿/端反皿	中国	KB 4	G-9 G No. 40	*12.0	-	-	B-1		町染71	唐草文	1/2以下
221	磁器・皿/染付皿	中国	KB 4	G-9 G No. 95	-	-	-	B-1	15c 中~16c 末	染06	唐草文	1/2以下
222	磁器・皿/染付皿	中国	KB 4	一括	-	-	-	C 群	16c~17c 初	染09		1/2以下
223	磁器・皿/染付大皿	漳州窯系中国	KB 4	G-9 G No. 30	-	-	-		16c 末~17c	染08	草花文/高台内砂付着	1/2以下
224	焼締陶器・片口鉢	渥美	KB 4	E-5 G No. 83	-	-	-		12c 末~13c 前	鉢22		1/2以下
225	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 4	F-6 G	-	-	-	6 a、II	1250~1275	鉢04	内面白色付着物・灰被?	1/2以下
226	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 4	G-9 G No. 89	-	-	-	10、II	1450~1500	鉢03		1/2以下

第16表 土器類一覽表 7

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
227	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 4	西拡張	-	-	-	6 b、II	1275~1300	鉢05		1/2以下
228	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 4	側溝、一括	-	-	-	I	13c	鉢21		1/2以下
229	陶器・碗/平碗	瀬戸美濃	KB 4	F-6 G No. 8	-	-	-	古後Ⅲ		碗05	内外灰釉	1/2以下
230	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	G-6 G No. 2	*12.0	-	-	大 4		天11	内外鉄釉・腰部露胎	1/2以下
231	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	G-9 G (No. 38、一括)	*11.0	-	-	登 2		天13	内外鉄釉・腰部露胎	1/2以下
232	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	G-9 G (No. 115・119)、G-10G No. 8、拡	*11.0	-	-	大 3		天04	内外鉄釉・腰部露胎	1/2以下
233	陶器・碗/白天目	瀬戸美濃	KB 4	G-9 G No. 123、西拡、拡、一括	-	*5.0	-	登 2・3		天12	内外長石釉・高台露胎	1/2以下
234	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G No. 26	*11.0	-	-	大 4		天09	内外鉄釉	1/2以下
235	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 4	表採(側溝)	*11.0	-	-	大 3		天08	内外鉄釉	1/2以下
236	陶器・碗/鉄絵碗	瀬戸美濃	KB 4	F-6 G No. 108 2 T	*14.0	-	-	登 1		碗01	鉄で草花文	1/2以下
237	陶器・碗/鉄絵碗	瀬戸美濃	KB 4	G-6 G No. 12	*12.0	-	-	登 1		碗02	内外長石釉/鉄で草花文	1/2以下
238	陶器・碗/総織部碗	瀬戸美濃	KB 4	G-9 G No. 76、No. 13 P、? G No. 176	*11.0	-	-	登 1		碗04	内外緑色の釉・腰部露胎	1/2以下
239	陶器・碗/丸碗	瀬戸美濃	KB 4	H-10G No. 8	-	5.4	-	登 1		碗06	内外灰釉・底部外面周辺露胎	1/2以上
240	陶器・碗/黄瀬戸茶碗	瀬戸美濃	KB 4	一括	-	*7.8	-	登 1		碗07	内外黄瀬戸釉・底部外面露胎	1/2以下
241	陶器・皿/卸皿	瀬戸美濃	KB 4	G-8 G No. 10	*14.0	-	-	古前Ⅳ		皿36	内外灰釉	1/2以下
242	陶器・皿/卸皿	瀬戸美濃	KB 4	東拡	-	-	-	古前		皿03	底部内面灰釉	1/2以下
243	陶器・皿/腰折皿	瀬戸美濃	KB 4	F-6 G (No. 414・415)、G-6 G No. 311	*11.0	-	-	古後Ⅳ(新)		皿01	内外灰釉	1/2以下
244	陶器・皿/端反皿	瀬戸美濃	KB 4	F-6 G	*10.0	-	-	大 1		皿12	内外灰釉	1/2以下
245	陶器・皿/端反皿	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G No. 205	-	-	-	大 1		皿09	内外灰釉	1/2以下
246	陶器・皿/端反皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	*11.0	-	-	大 1		皿07	内外鉄釉	1/2以下
247	陶器・皿/端反皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	*10.0	-	-	大 1		皿08	内外鉄釉/口縁内面に重焼時の溶着痕	1/2以下
248	陶器・皿/端反皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	*12.0	-	-	大 1		皿11	内外灰釉	1/2以下
249	陶器・皿/縁釉小皿	瀬戸美濃	KB 4	F-6 G No. 562	*12.0	-	-	大 1		皿40	口縁内面灰釉	1/2以下
250	陶器・皿/縁釉小皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	*12.0	-	-	大 1		皿39	口縁内面灰釉	1/2以下
251	陶器・皿/縁釉小皿	瀬戸美濃	KB 4	G-6 G No. 184	*10.0	-	-	古後Ⅳ(古)		皿04	口縁内面灰釉	1/2以下
252	陶器・皿/稜皿	瀬戸美濃	KB 4	G-6 G (No. 243・299)	10.2	5.7	2.7	大 3	16c 前~中	町皿35	内外鉄釉/底部内面トチン痕/高台内輪トチン	略完形
253	陶器・皿/稜皿	瀬戸美濃	KB 4	G-9 G No. 131	*10.0	-	-	大 3		皿20	内外鉄釉・腰部露胎	1/2以下
254	陶器・皿/稜皿	瀬戸美濃	KB 4	No. 20P	*10.0	-	-	大 2		皿05	内外鉄釉	1/2以下
255	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	G-8 G No. 12	*10.7	5.5	2.3	大 3		町皿46	内外灰釉/高台内輪トチン	3/4以上
256	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	G-8 G No. 17	*10.0	-	-	大 3		皿16	内外灰釉	1/2以下
257	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G No. 39、H-10 G No. 14、一括	*10.5	*6.0	2.7	大 2		皿28	内外灰釉	1/2以下
258	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G No. 92	*11.0	*6.2	2.5	登 1		皿29	内外灰釉	1/2以下
259	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G、一括	*10.4	*5.8	2.2	大 3		皿15	内外灰釉/高台内輪トチン	1/2以下
260	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	I-9 G (No. 28、一括)、一括	10.6	6.4	2.7	大 2	16c 前~中	町皿27	内外灰釉/高台内輪トチン	3/4以上
261	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	東拡	*10.0	-	-	大 3		皿18	内外灰釉	1/2以下
262	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	*10.0	-	-	大 3		皿17	内外灰釉	1/2以下
263	陶器・皿/折縁皿	瀬戸美濃	KB 4	G-9 G No. 166	*11.0	*5.6	2.2	大 4 前		皿33	内外灰釉/底部内面トチン痕/高台内輪トチン/丸ノミによるソギ	1/2以下

第17表 土器類一覧表 8

*は不確定な推定復元値

質量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
264	陶器・皿/折縁皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	-	-	-	大4前		Ⅲ25	内外灰釉	1/2以下
265	陶器・皿/折縁皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	-	-	-	大4前		Ⅲ26	内外灰釉	1/2以下
266	陶器・皿/ヒダ皿	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G No. 179	*10.2	*5.0	2.0	大4後		町Ⅲ23	内外灰釉/底部内面・高台内露胎/高台内輪トチン	1/2以下
267	陶器・皿/志野菊皿	瀬戸美濃	KB 4	G-6 G No. 13、一括	*12.0	*6.2	2.9	登1		Ⅲ22	内外長石釉/高台擦痕	1/2以下
268	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 4	G-6 G No. 66	*12.2	*7.4	2.6	登2	17c初～前	Ⅲ24・町Ⅲ21	内外長石釉/底部内面・高台内円錐ピン	1/2以下
269	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 4	I-9 G No. 7	*14.4	*7.8	2.5	大4後		Ⅲ37	内外厚い長石釉/鉄で文様	1/2以下
270	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	*10.0	-	-	大4後		Ⅲ23	内外厚い長石釉	1/2以下
271	陶器・皿/鉄絵皿	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G No. 22	-	*7.5	-	登2		Ⅲ35	内外灰色長石釉/蘭竹文/底部内面・高台内円錐ピン	1/2以下
272	陶器・皿/鉄絵皿	瀬戸美濃	KB 4	一括	*12.0	-	-	登1・2		Ⅲ34	内外長石釉/鉄で文様	1/2以下
273	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G No. 195	-	*11.0	-	古後Ⅳ(新)～大1		鉢08	内外錆釉/櫛目7本	1/2以下
274	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	G-6 G (No. 158・168)	*29.0	-	-	大3前		町鉢214	内外錆釉	1/2以下
275	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	一括	-	-	-	大3前		町鉢222	内外錆釉	1/2以下
276	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 4	H-9 G No. 94	-	-	-	大3後		町鉢217	内外錆釉/櫛目7本	1/2以下
277	陶器・徳利	瀬戸美濃	KB 4	G-9 G No. 112、 H-9 G (No. 25・106)	-	-	-	大4		袋01	外面鉄釉・下方錆釉	1/2以下
278	陶器・皿/灯明皿(油皿)	志戸呂	KB 4	一括	*10.0	*4.2	1.9		18c～	Ⅲ41	内外鉄釉/底部内面重ね焼き痕	1/2以下
279	陶器・蓋	志戸呂	KB 4	括、一括	-	-	-		17c前	他29	外面灰釉	1/2以下
280	陶器・播鉢	志戸呂	KB 4	F-6 G	-	-	-		16c末～17c初	町鉢242	内外錆釉	1/2以下
281	陶器・茶入	初山	KB 4	H-9 G No. 123	-	3.5	-		16c後	他28	内面鉄釉	1/2以下
282	陶器・碗/山茶碗	尾張	KB 4	一括	-	-	-		13c前	碗11		1/2以下
283	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 4	一括	*12.0	-	-		18c	伊05		1/2以下
284	磁器・染付蓋	肥前	KB 4	一括	*10.0	-	2.4		18c	伊06	草花文	1/2以下
285	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-5 G No. 12	10.1	6.2	2.3	騎西城Ⅲ期		町 K240	底部内面指頭ナデ/底部外面墨書	1/2以上
286	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G (No. 51・122 4 T)、1 T、4 T、一括	*10.4	5.8	2.4			K42	底部内面渦巻ナデ	1/2以下
287	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G No. 103 1 T	-	*6.0	-			K07	体部と底部(内面)境にナデ/底部外面墨書「右衛門」	1/2以下
288	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G No. 109 2 T ★10溝	9.4	5.2	2.0～2.5			K15	体部と底部(内面)境にナデ/底部内面中央凹	完形
289	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G No. 118 5 T、 1 T	*9.2	6.6	2.4			K19		1/2以下
290	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G (No. 125 4 T、 一括)、1 T、一括	9.7	5.2	2.5			K17		1/2以上
291	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G (No. 129・133) 4 T、一括	*10.0	*6.8	2.3			K14		1/2以下
292	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G No. 242 4 T	*9.6	*6.0	2.3		17c～	K65		1/2以下
293	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G No. 449	*10.0	*7.0	2.7	騎西城Ⅱ期		K61		1/2以下
294	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G No. 529	*10.0	*5.8	2.0	騎西城Ⅲ期		K55		1/2以下
295	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-6 G (No. 543・544) ★10溝	11.8	5.5	2.7～3.4			K05	底部内面指頭ナデ/焼成後底部外面に「十」字状の刻線	1/2以上
296	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-7 G No. 1	10.4	6.2	2.9			K18	体部と底部(内面)境にナデ	1/2以上
297	土器・かわらけ	在地	KB 4	F-7 G No. 56	11.2	6.4	2.5～2.9			K03	油煙付着	3/4以上
298	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-6 G No. 43	*11.0	*5.0	3.1			K23	底部外面板ナデ	1/2以下
299	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-6 G No. 300 ★77壱	11.8	5.3	3.2～3.4	騎西城Ⅱ期		K09	底部内面指頭ナデ/底部外面板ナデ	完形

第18表 土器類一覧表 9

出土した遺物

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
300	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-8 G No. 19	*11.0	*6.6	2.3	騎西城Ⅲ期		K56		1/2以下
301	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-8 G No. 47	*10.0	-	-			K57		1/2以下
302	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-8 G No. 76、一括	10.6	6.5	2.3	騎西城Ⅲ期		K06	体部と底部(内面)境にナデ	1/2以上
303	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-9 G No. 4、G-9 G	*11.0	*7.0	2.7			K21		1/2以下
304	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-9 G No. 11	*11.0	6.2	3.0			K02		1/2以下
305	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-9 G No. 22	11.5	7.0	3.1		16c 後～末カ	町 K203		3/4以上
306	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-9 G(No. 75・175)、H-9 G	*10.2	6.5	2.5	騎西城Ⅱ期		K01	底部内面指頭ナデ	1/2以下
307	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-9 G No. 125	*9.0	*5.8	2.1	騎西城Ⅲ期		K54	底部内面渦巻ナデ	1/2以下
308	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-9 G No. 135、一括	9.6	5.2	2.4~2.6			K50	底部内面中央凸	1/2以上
309	土器・かわらけ	在地	KB 4	G-10G No. 1	*12.0	*7.0	2.9	騎西城Ⅱ期		K59		1/2以下
310	土器・かわらけ	在地	KB 4	H-8 G No. 50	*11.0	*4.5	3.5			K58	底部内面指頭ナデ	1/2以下
311	土器・かわらけ	在地	KB 4	H-9 G No. 59、I-9 G No. 18	*11.0	*6.0	2.6			K16		1/2以下
312	土器・かわらけ	在地	KB 4	H-9 G No. 121	*11.0	*5.8	3.1			K22		1/2以下
313	土器・かわらけ	在地	KB 4	H-9 G No. 155	*12.0	*8.8	2.8	騎西城Ⅱ期		K60		1/2以下
314	土器・かわらけ	在地	KB 4	H-9 G No. 175	-	-	-			K62	手づくね?	1/2以下
315	土器・かわらけ	在地	KB 4	H-9 G No. 200	*11.4	*7.4	2.9			K12		1/2以下
316	土器・かわらけ	在地	KB 4	H-9 G(No. 156・177、一括)	*11.6	*6.0	2.9			K34		1/2以下
317	土器・かわらけ	在地	KB 4	H-9 G(No. 505・506)	10.4	5.6	2.6			K45	底部鉄製品付着	1/2以上
318	土器・かわらけ	在地	KB 4	I-9 G No. 55	*11.4	6.8	2.7~2.8	騎西城Ⅱ期		K08	体部と底部(内面)境にナデ	1/2以上
319	土器・かわらけ	在地	KB 4	一括	10.6	5.0	2.6~3.0			K04	体部と底部(内面)境にナデ/底部内面中央凹	3/4以上
320	土器・かわらけ	在地	KB 4	一括	*10.0	*7.2	1.8~2.5			K10		1/2以下
321	土器・かわらけ	在地	KB 4	一括	*10.4	*5.8	2.4			K13		1/2以下
322	土器・かわらけ	在地	KB 4	一括	*6.0	*4.8	1.3			K64		1/2以下
323	土器・かわらけ	在地	KB 4	側溝、一括	11.0	8.2	2.1~2.5			K11		3/4以上
324	土器・かわらけ(取瓶)	在地	KB 4	F-6 G	*7.0	-	-			素他04	内面高温被熱	1/2以下
325	土器・ほうろく	在地	KB 4	G-6 G(No. 206・207)、東拵、	*34.0	*30.2	5.6			H12		1/2以下
326	土器・ほうろく	在地	KB 4	G-6 G(No. 209・266)	*33.0	*30.4	6.0			H21	外面スス付着	1/2以下
327	土器・ほうろく	在地	KB 4	H-9 G(No. 79・80・144)	*36.0	*32.0	5.5			H04		1/2以下
328	土器・ほうろく	在地	KB 4	H-9 G No. 145	-	-	5.5			H26		1/2以下
329	土器・ほうろく	在地	KB 4	I-9 G No. 4	*32.0	*26.6	5.3			H03	外面スス付着	1/2以下
330	土器・土鍋	在地	KB 4	G-6 G No. 61、H-9 G(No. 59、一括)、一括	-	-	-			D04	外面スス付着	1/2以下
331	土器・土鍋	在地	KB 4	G-6 G No. 285	-	-	-			D03	厚手鉢?	1/2以下
332	土器・土鍋	在地	KB 4	側溝	*30.0	-	-			D01	外面スス付着	1/2以下
333	土器・片口鉢	在地	KB 4	F-5 G No. 7	-	-	-			鉢18		1/2以下
334	土器・搦鉢	在地	KB 4	F-6 G No. 559	-	-	-			鉢07		1/2以下
335	土器・搦鉢	在地	KB 4	G-9 G No. 9	*30.0	-	-			鉢12		1/2以下
336	土器・搦鉢	在地	KB 4	G-6 G No. 314、一括	*28.0	-	-			鉢13	櫛目7本	1/2以下
337	土器・搦鉢	在地	KB 4	G-10G No. 37	-	-	-			鉢09	櫛目8本	1/2以下
338	土器・搦鉢	在地	KB 4	H-8 G No. 51	*30.0	-	-			鉢06		1/2以下
339	土器・搦鉢	在地	KB 4	I-9 G No. 30	-	-	-			鉢10	櫛目若干	1/2以下
340	土器・香炉	在地	KB 4	G-6 G No. 308	*10.0	-	-			素他05		1/2以下
341	土器・香炉?	在地	KB 4	H-8 G No. 37	-	-	-			素他03		1/2以下
342	土器・瓦(軒瓦)	在地	KB 4	土壇 拡張	-	-	-		江戸期	瓦02		1/2以下
343	磁器・皿/白磁皿	中国	KB 5	1溝 D-4 G No. 27	-	*10.0	-	C-1	15c~16c	白03	内外淡灰白色の釉	1/2以下
344	土器・片口鉢	在地	KB 5	1溝 B-2 G No. 3	-	-	-		13c~14c	鉢21		1/2以下

第19表 土器類一覧表10

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査 区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
345	土器・播鉢	在地	KB 5	2・6溝 合D-4G No.135	-	*10.0	-			鉢17		1/2以下
346	磁器・碗/青磁蓮 弁文碗	龍泉窯系中 国	KB 5	2溝 C-3G No.152(4溝かも)	*14.0	-	-	I-5		町青65	内外深緑色の釉/ 片切彫の蓮弁	1/2以下
347	磁器・皿/染付皿	中国	KB 5	2溝、3溝 B-2G No.45	-	*8.0	-	E群	16c後～ 17c	染02	花文・唐草文	1/2以下
348	磁器・皿/染付皿	漳州窯系中 国	KB 5	2溝 C-3G No.162	-	5.4	-	E群	16c末～ 17c	染01	ドーナツ状に釉ハ ギ/高台内露胎/花 文	1/2以下
349	焼締陶器・片口 鉢	常滑	KB 5	2溝 B-2G No.60	-	-	-	II	15c前	鉢09		1/2以下
350	焼締陶器・片口 鉢	常滑	KB 5	2溝 D-3G (No.205・ 206)、4溝 C-3G (No.103・133)、D-2 G No.66、KB4 2溝 E-4G No.8	*22.0	*10.2	8.7	5形式		町鉢10	底部外面摩耗	1/2以下
351	焼締陶器・片口 鉢	常滑	KB 5	2溝 D-4G No.106	-	-	-	II	14c～15c	鉢16		1/2以下
352	陶器・碗/平碗	瀬戸美濃	KB 5	2溝 C-3G No.163	-	-	-	古後Ⅲカ		碗02	内外灰釉	1/2以下
353	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 5	2溝 B-2G No.66	*11.0	-	-	大1		天02	内外鉄釉・腰部錆 釉	1/2以下
354	陶器・皿/志野丸 皿	瀬戸美濃	KB 5	2溝 B-2G No.69	-	*7.8	-	大4後		皿02	内外厚い長石釉	1/2以下
355	陶器・皿/端反皿	瀬戸美濃	KB 5	2溝 C-3G No.85 3T	8.6	4.8	2.2	大1	15c末～ 16c初	町皿28	内外淡緑色の釉/ 高台内輪トチン	略完形
356	陶器・播鉢	瀬戸美濃	KB 5	2溝 B-2G No.62	-	-	-	大3前		鉢02	内外錆釉	1/2以下
357	陶器・鉢類	瀬戸美濃	KB 5	2溝 C-3G No.142	-	*12	-	古後Ⅲ		鉢01	内面灰釉ハケ塗/ 重ね焼きの砂落 着?	1/2以下
358	陶器・播鉢	志戸呂	KB 5	2溝 D-4G No.87	-	-	-		16c	鉢22	錆釉/櫛目6本	1/2以下
359	陶器・皿/小皿	静岡	KB 5	2溝 B-2G No.57	-	4.4	-	東遠州型 6	13c前	皿12		1/2以下
360	磁器・碗/白磁丸 碗	肥前	KB 5	2溝 C-3G No.115	*10.0	-	-		18c	伊19	内外淡青白色の釉	1/2以下
361	土器・かわらけ	在地	KB 5	2溝 C-3G No.90 3T	*10.0	-	-			K23		1/2以下
362	土器・かわらけ	在地	KB 5	2溝(C-3G No.147 ・158・159、一括)	*10.0	7.0	2.0	騎西城Ⅳ期	17c～	K15	体部と底部(内面) 境に深いナデ	1/2以下
363	土器・かわらけ	在地	KB 5	2溝 D-3G No.190	8.9	6.0	1.8	騎西城Ⅳ期	17c～	K14	体部と底部(内面) 境にナデ/底部内 面墨で烈点	完形
364	土器・ほうろく	在地	KB 5	2溝 D-3G No.238	-	-	-			H04		1/2以下
365	土器・片口鉢	在地	KB 5	2溝 B-2G No.75	-	-	-			鉢06		1/2以下
366	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中 国	KB 5	3溝 B-2G No.11	-	*5.4	-	B-1 (I-5)	13c	青05	内外淡青緑色の釉 ・高台内露胎	1/2以下
367	陶器・碗/平碗	瀬戸美濃	KB 5	3溝 C-1G No.85	*15	-	-	古後Ⅲ		碗01	内外灰釉・腰部露 胎	1/2以下
368	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 5	3溝 C-1G No.23	*11.6	-	-	大1		天01	内外鉄釉・腰部錆 釉	1/2以下
369	陶器・片口鉢	瀬戸美濃	KB 5	3溝 B-2G No.29	*16.0	-	-		17c後	鉢19	内外鉄釉	1/2以下
370	陶器・壺/祖母懷 壺	瀬戸美濃	KB 5	3溝 C-1G No.8、 5溝 D-4G No.140	-	*14.0	-	大1～4		袋01	外面上方鉄釉・他 露胎	1/2以下
371	磁器・碗/染付丸 碗	肥前	KB 5	3溝 C-1G No.1	*11.0	-	-		18c	伊04	草花文	1/2以下
372	磁器・碗/染付丸 碗	肥前	KB 5	3溝 C-1G No.4	-	4.2	-		18c	伊06	草花文	1/2以下
373	土器・かわらけ	在地	KB 5	3溝 B-2G No.12	*10.0	*6.6	2.1	騎西城Ⅳ期	17c～	K16	底面・側面穿孔(焼 成後)	1/2以下
374	土器・かわらけ	在地	KB 5	3溝 C-1G (No.46・ 83)	*11.0	*7.0	3.4			K01		1/2以下
375	土器・かわらけ	在地	KB 5	3溝 C-2G No.32	*10.6	*6.6	2.8			K19	被熱剥落	1/2以下
376	土器・片口鉢	在地	KB 5	3溝 C-1G No.89	*30.0	-	-			鉢05		1/2以下
377	焼締陶器・片口 鉢	常滑	KB 5	4溝 C-3G No.111	*30.0	-	-	4、I	12c中～ 13c初	鉢07		1/2以下

第20表 土器類一覽表11

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査 区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
378	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 5	4溝 C-3 G No. 129、B-3 G No. 131 7 P、KB 1 C-19G No. 50、KB 4 G-6 G No. 174 東カク	*32.0	*16.0	12.8	7、II		町鉢64		1/2以下
379	焼締陶器・甕	常滑	KB 5	4溝 C-3 G No. 94、 KB 1 C-20G No. 6	-	-	-	6 a	1250~ 1275	袋03		1/2以下
380	陶器・皿/縁釉小皿	瀬戸美濃	KB 5	4溝 C-3 G No. 101	*9.8	4.7	2.2	古後IV(新)	15c 末~ 16c 初	町皿53	口縁内外灰釉	1/2以下
381	陶器・碗/筒形碗	志戸呂	KB 5	4溝 C-3 G No. 107、C-3 G No. 65	-	-	-		17c~	碗07	内外鉄釉・腰部露胎	1/2以下
382	磁器・染付小坏	肥前	KB 5	4溝 C-3 G No. 99、 西拵、一括	7.2	2.7	4.3		17c 中	伊16	内外淡青灰色の釉/ 草文/高台端部砂 付着	1/2以下
383	土器・かわらけ	在地	KB 5	4溝 C-3 G No. 132、一括	*10.0	*6.5	2.0	騎西城IV期	17c~	K24		1/2以下
384	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中国	KB 5	5溝 D-4 G No. 127	-	-	-	B-1 (I-5)	13c	青06	内外鉛色の釉/片 切彫の蓮弁	1/2以下
385	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 5	5溝 D-4 G No. 128	-	-	-	6 a、I	13c	鉢12		1/2以下
386	陶器・碗/小碗	瀬戸美濃	KB 5	5溝 D-4 G No. 95	*7.0	-	-		19c	碗05		1/2以下
387	陶器・碗/丸碗	肥前(唐津)	KB 5	6溝 E-3 G No. 49	*11.0	-	-		16c 末~ 17c 前	碗03	内外灰釉?	1/2以下
388	土器・かわらけ	在地	KB 5	6溝 E-3 G No. 48	*10.0	*6.0	1.9	騎西城IV期	17c~	K22		1/2以下
389	土器・ほうろく	在地	KB 5	6溝 D-4 G No. 138	-	-	5.6			H02		1/2以下
390	陶器・碗/丸碗	肥前	KB 5	7溝 D-4 G No. 118	*12.0	-	-		18c	碗04		1/2以下
391	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	7溝 D-4 G No. 121、一括	*11.0	-	-		18c~19c	伊07	花文?	1/2以下
392	土器・かわらけ	在地	KB 5	7溝 D-4 G No. 119	*10.0	-	-			K26		1/2以下
393	土器・かわらけ	在地	KB 5	7溝 D-4 G No. 124	*9.0	*6.0	1.9	騎西城IV期		K28		1/2以下
394	陶器・瓶/梅瓶又は 瓶子	瀬戸美濃	KB 5	8溝 C-1 G No. 99	-	-	-	古前 I・II		袋04	外面灰釉/沈線で 文様?	1/2以下
395	陶器・壺/祖母懷 壺	瀬戸美濃	KB 5	10溝 B-1 G No. 10	-	-	-	大1~4		袋02	外面鉄釉	1/2以下
396	陶器・壺/祖母懷 壺	瀬戸美濃	KB 5	10溝 B-1 G (No. 11・ 12・13・16)	*13.2	-	-	古後	15c 前	町袋09	外面鉄釉	1/2以下
397	土器・ほうろく	在地	KB 5	1井	-	-	6.0			H01		1/2以下
398	土器・かわらけ	在地	KB 5	2井 D-3 G	*10.0	*6.0	2.0	騎西城IV期	17c~	K25		1/2以下
399	土器・ほうろく	在地	KB 5	2井 D-3 G No. 210	-	-	5.7			H03	外面スス付着	1/2以下
400	土器・かわらけ	在地	KB 5	13壇(D-3 G No. 179 ・180)	*10.0	*6.0	2.0	騎西城IV期	17c~	K27		1/2以下
401	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 5	14壇 D-3 G No. 8	-	4.6	-	登2~	17c 初~ 前	町天47	内面鉄釉	1/2以下
402	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 5	14壇 D-3 G No. 52	*11.3	-	-	大3 前	16c 中~ 末	町天48	内外鉄釉・腰部錆 釉	1/2以下
403	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 5	14壇 D-3 G No. 55	*12.6	-	-	登1カ	17c 初~ 前	町天46	内外鉄釉	1/2以下
404	陶器・皿/織部菊 皿	瀬戸美濃	KB 5	14壇 D-3 G No. 152	*14.4	*7.8	4.1	登3	17c 中~ 後	町皿169	内外御深井釉・口 縁織部釉/型打成 形/底部内面トチ ン痕	1/2以下
405	陶器・蓋?	瀬戸美濃	KB 5	14壇 D-3 G No. 84	*11.4	-	-			町他21	内面鉄釉	1/2以下
406	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	KB 5	14壇 D-3 G No. 149	*33.0	-	-	大3 前、I		町鉢162	内外鉄釉/櫛目4 本	1/2以下
407	陶器・碗/丸碗	肥前	KB 5	14壇 D-3 G (No. 29・ 31~34、一括)	*13.4	-	-		18c 前	町碗26	外面ルリ釉	1/2以下
408	陶器・碗/丸碗	肥前	KB 5	14壇 D-3 G No. 60	*10.3	-	-		18c 前	町碗27	鉄で文様	1/2以下
409	陶器・碗/丸碗	肥前	KB 5	14壇 D-3 G No. 169	*10.0	-	-		18c 前	町碗28		1/2以下

第21表 土器類一覧表12

*は不確定な推定復元値

質量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
410	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	14墳 D-3 G No. 10	-	-	-		17c 後～18c	町伊12	文様	1/2以下
411	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	14墳 D-3 G No. 39	*10.0	-	-		17c 後～18c	町伊11	松の文様	1/2以下
412	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	14墳 D-3 G No. 76	9.8	4.4	7.0		17c 後	町伊01	網目文	1/2以下
413	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 2	*9.4	*5.8	1.9	騎西城IV期		町 K102	内面黒色	1/2以上
414	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G (No. 2・80)	*9.0	-	-	騎西城IV期	17c～	K08	415と同一個体カ	1/2以下
415	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 4	*9.6	*5.2	1.8	騎西城IV期		町 K106		1/2以上
416	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 5	*9.3	*7.0	1.7	騎西城IV期		町 K101		3/4以上
417	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G (No. 6・129)	9.7	5.5	1.3-2.0	騎西城IV期		町 K98	底部外面周縁磨痕	3/4以上
418	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 7	8.8	6.5	1.1-1.4	騎西城IV期		町 K99	底部外面周縁・体部磨痕	1/2以上
419	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 12	*9.0	*6.0	1.9	騎西城IV期	17c～	K11	油煙付着	1/2以下
420	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G (No. 19・21・77・154)	*10.0	*6.2	2.1	騎西城IV期		町 K108	底部外面周縁磨痕	3/4以上
421	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 25	*9.0	-	-	騎西城IV期	17c～	K04		1/2以下
422	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 56	*9.0	*6.0	1.8	騎西城IV期	17c～	K06	側面穿孔(焼成後)	1/2以下
423	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 57	*9.9	*6.6	1.6	騎西城IV期		町 K100	油煙付着	1/2以下
424	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 70	9.5	5.8	1.5-1.8	騎西城IV期		町 K97	底部外面周縁・口縁部磨痕	3/4以上
425	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 71	*8.0	-	-	騎西城IV期	17c～	K02		1/2以下
426	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 79	*10.0	*7.2	1.9	騎西城IV期	17c～	K13	外面スス付着	1/2以下
427	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳(D-3 G No. 86、一括)	*10.0	-	-	騎西城IV期	17c～	K09		1/2以下
428	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 87	*9.0	-	-	騎西城IV期	17c～	K03		1/2以下
429	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 90	9.2	6.3	1.8	騎西城IV期		町 K105	油煙付着	1/2以上
430	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 127	*9.5	*5.5	1.9	騎西城IV期	17c～	K12		1/2以下
431	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G (No. 128・162)、一括	*9.6	*6.0	1.7	騎西城IV期	17c～	K05		1/2以下
432	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 147	9.4	5.9	2.1	騎西城IV期		町 K93	底部内面鉄付着	完形
433	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 148	9.5	6.3	1.6	騎西城IV期		町 K95		1/2以上
434	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 150	9.5	4.6	1.9	騎西城IV期		町 K92	底部内面中央凹	完形
435	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 151	9.5	4.6	2.1	騎西城IV期		町 K94	底部内面中央凹	3/4以上
436	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 153	*9.1	*6.5	1.8	騎西城IV期		町 K104		1/2以下
437	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G (No. 156・157・160・161)	10.0	-	-	騎西城IV期		町 K96		1/2以下
438	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳(D-3 G No. 158・162、一括)	*10.0	-	-	騎西城IV期		町 K107		1/2以下
439	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 165	*8.4	-	-	騎西城IV期	17c～	K07		1/2以下
440	土器・かわらけ	在地	KB 5	14墳 D-3 G No. 175	*8.0	*4.8	1.6	騎西城IV期	17c～	K10		1/2以下
441	陶器・皿/菊花皿	瀬戸美濃	KB 5	17墳 D-2 G No. 25	*14.4	7.3	4.5	登3	17c 後～末	町皿168	内外灰釉・口縁内面緑釉流し掛け/型打成形/底部内面トチン痕	3/4以上
442	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	17墳 D-2 G No. 38	*10.0	-	-		18c	伊05	草文	1/2以下
443	土器・かわらけ	在地	KB 5	17墳 D-2 G (No. 37・39)、D-2 G No. 65	*9.3	*5.8	2.1	騎西城IV期		町 K103		1/2以下
444	陶器・壺/三耳壺	瀬戸美濃	KB 5	10P D-3 G (No. 222・223・227・229・231・235)、C-4 G No. 11	13.6	-	-	登3		町袋36	外面鉄釉・灰釉流し掛け	1/2以上
445	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中国	KB 5	D-2 G No. 3	-	-	-	B-1 (I-5)	13c	青01	内外暗青緑色の釉/片切彫の蓮弁	1/2以下
446	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中国	KB 5	D-4 G No. 70	-	-	-	B-1 (I-5)	13c	青02	内外淡青緑色の釉/片切彫の蓮弁	1/2以下

第22表 土器類一覽表13

*は不確定な推定復元値

分量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査 区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
447	磁器・碗/青磁碗	龍泉窯系中国	KB 5	一括	-	-	-	B-1 (I-5)	13c	青03	内外淡青緑色の釉/片切彫の鎊蓮弁	1/2以下
448	磁器・碗/青磁碗	同安窯中国	KB 5	一括	-	-	-	I類	12c 中~ 13c	青04	内外淡緑色の釉/櫛で文様	1/2以下
449	磁器・皿/白磁皿	中国	KB 5	一括	*14.0	-	-	IX類	13c~14c	白01	内外淡灰白色の釉/口禿皿	1/2以下
450	磁器・皿/白磁皿	中国	KB 5	一括	-	*6.0	-	IX類	13c~14c	白02	淡青白色の釉	1/2以下
451	焼締陶器・片口鉢	渥美	KB 5	D-4 G No. 114	-	-	-		12c	鉢13		1/2以下
452	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 5	一括	-	-	-	6 b、II	13c 後	鉢11	割れ口磨痕	1/2以下
453	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 5	D-3 G No. 124	-	-	-	6 b、II	13c 後	鉢08		1/2以下
454	焼締陶器・片口鉢	常滑	KB 5	用水	-	-	-	6 b、II	13c 後	鉢10		1/2以下
455	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	KB 5	2 T	*11.0	-	-	大 1		天03	内外鉄釉	1/2以下
456	陶器・鉢/折縁深皿	瀬戸美濃	KB 5	C-3 G No. 11	-	-	-	古後 II		鉢04	内外灰釉	1/2以下
457	陶器・鉢/折縁深皿	瀬戸美濃	KB 5	用水	-	-	-	古後 IV (新)		鉢03	内外灰釉	1/2以下
458	陶器・皿/縁釉小皿カ	瀬戸美濃	KB 5	一括	-	4.4	-	古後 III IV		皿04	内面灰釉流れ落ち	1/2以下
459	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 5	一括	*10.0	-	-	登 1・2		皿05	内外長石釉	1/2以下
460	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	KB 5	一括	*11.0	-	-	登 1・2		皿09	内外灰色長石釉	1/2以下
461	陶器・皿/灯明皿(受皿)	瀬戸美濃	KB 5	一括	7.3	3.5	1.5		18c	皿06	内面・口縁外面鉄釉/外面重ね焼き痕	完形
462	陶器・皿/灯明皿(油皿)	瀬戸美濃	KB 5	B-1 G No. 1	*8.0	*3.5	1.4		18c~19c	皿08	内面・口縁外面鉄釉	1/2以下
463	陶器・皿/灯明皿(油皿)	瀬戸美濃	KB 5	一括	*7.0	*3.6	1.2		18c~19c	皿11	内面・口縁外面鉄釉/底部内面重ね焼き痕	1/2以下
464	陶器・皿/灯明皿(油皿)	瀬戸美濃	KB 5	用水、一括	9.4	3.4	1.7		18c~19c	皿07	内面・口縁外面鉄釉/底部内面重ね焼き痕	1/2以下
465	陶器・鉢/黄瀬戸鉢	瀬戸美濃	KB 5	西拵	-	-	-		17c	鉢14	内外薄黄緑色の釉・内面緑釉流し掛け	1/2以下
466	陶器・鉢/黄瀬戸鉢	瀬戸美濃	KB 5	D-3 G No. 112	-	-	-		17c	鉢15	内外薄黄緑色の釉/鉄分吹き出し	1/2以下
467	陶器・鉢/煙硝搦	瀬戸美濃	KB 5	一括	*14.0	-	-		17c 後	鉢20	口縁内面・外面鉄釉	1/2以下
468	陶器・蓋	瀬戸美濃	KB 5	一括	4.3	-	-	大 4 末カ		他01	上面長石釉	完形
469	陶器・香炉	瀬戸美濃	KB 5	一括	-	*8.0	-		17c~18c	香01	内面錆釉・外面灰釉・底部外面露胎	1/2以下
470	陶器・片口	瀬戸美濃	KB 5	B-1 No. 8	-	*10.0	-		17c~18c	鉢18	内外種釉・灰釉流し掛け・高台周辺露胎/内面円錐ビン	1/2以下
471	陶器・灰落とし	瀬戸美濃	KB 5	用水、一括	10.5	10.0	7.7		19c	他03	口縁内面・外面長石釉/鉄で松葉文/口唇部剥落	1/2以下
472	陶器・土鍋	瀬戸美濃	KB 5	ナカ用、用水、一括	15.6	6.6	6.0		18c	D01	内外鉄釉・高台周辺露胎/内面円錐ビン	1/2以上
473	陶器・皿/鉄絵皿	肥前(唐津)	KB 5	一括	-	-	-		16c 末~ 17c 前	皿01	内外灰釉・高台露胎/鉄で草花文	1/2以下
474	陶器・皿/鉄絵皿	肥前(唐津)	KB 5	一括	-	-	-		16c 末~ 17c 前	皿03	内外灰釉/鉄で草花文	1/2以下
475	陶器・皿	肥前	KB 5	一括	*20.0	-	-		17c 末~ 18c	皿10	内面ルリ釉	1/2以下
476	陶器・建水	備前	KB 5	C-3 G No. 68	-	-	-		16c 末~ 17c	他09	外面自然釉	1/2以下
477	陶器・碗/端反碗	信楽	KB 5	一括	*10.0	-	-		19c	碗06		1/2以下

第23表 土器類一覧表14

*は不確定な推定復元値

質量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
478	磁器・碗/染付端反碗	瀬戸美濃	KB 5	一括	*9.4	*4.0	5.1		19c	瀬・美01	花文?	1/2以下
479	磁器・青磁香炉	肥前	KB 5	一括	*10.0	-	-		17c 後～18c	伊18	口縁内面・外面淡青緑色の釉	1/2以下
480	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	一括	*8.0	-	-		18c	伊09	草花文?	1/2以下
481	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	一括	*11.0	-	-		19c	伊10	網目文?	1/2以下
482	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	一括	*11.0	-	-		17c 中	伊11	網目文	1/2以下
483	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	一括	*10.0	-	-		18c	伊12	草花文	1/2以下
484	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	一括	-	*3.6	-		18c～19c	伊13	花文	1/2以下
485	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	一括	*9.0	-	-		18c	伊14	草花文?	1/2以下
486	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	一括	*8.0	-	-		19c	伊15	菊花文	1/2以下
487	磁器・碗/染付碗	肥前	KB 5	用水	*11	-	-		18c	伊01	花文	1/2以下
488	磁器・碗/染付筒形碗	肥前	KB 5	用水	*6.8	-	-		18c 中～後	伊08	四方襷・花文	1/2以下
489	磁器・赤絵人形	肥前	KB 5	D-4 G No. 80	0	-	-		18c カ	伊17	赤絵・型打成形	1/2以下
490	磁器・染付香炉	肥前	KB 5	用水	*5.2	-	-		18c～19c	伊02	文様	1/2以下
491	磁器・染付瓶	肥前	KB 5	用水	1.5	-	-		19c	伊03	タコ唐草文	1/2以下
492	磁器・仏花瓶	肥前(波佐見)	KB 5	用水	7.9	-	-		18c～19c	他02	内外青磁釉	1/2以上
493	磁器・仏花瓶	肥前(波佐見)	KB 5	用水	7.7	-	-		18c～19c	他04	内外青磁釉	1/2以下
494	土器・かわらけ	在地	KB 5	一括	-	-	-	騎西城IV期	17c～	K17	底面穿孔(焼成後)	1/2以下
495	土器・かわらけ	在地	KB 5	一括	*9.4	*6.4	1.7			K18		1/2以下
496	土器・かわらけ	在地	KB 5	C-3 G No. 75	-	-	-			K20	底面穿孔(焼成後)	1/2以下
497	土器・かわらけ	在地	KB 5	D-2 G No. 7	*10.0	*7.0	1.6	騎西城IV期	17c～	K21	底部外面周縁・口縁部磨痕	1/2以下
498	陶器・皿/菊皿	瀬戸美濃	第15次	1 溝 No. 34、一括	*13.0	-	-		17c 後	皿08	内外黄瀬戸釉/型打成形	1/2以下
499	陶器・水注	瀬戸美濃	第15次	1 溝 No. 30				古前 II		町他41	外面灰釉	1/2以下
500	土器・片口鉢	在地	第15次	1 溝 No. 28					13c 後	町鉢286	須恵質/内面磨痕	1/2以下
501	土器・片口鉢カ	在地	第15次	1 溝 No. 33						町鉢295	須恵質/内面磨痕/底部外面板ナデ	1/2以下
502	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	第15次	1 井	*12.0	-	-	登1・2		皿09	内外長石釉	1/2以下
503	陶器・播鉢	瀬戸美濃	第15次	1 井	-	-	-	大4 後、II		鉢01	内外錆釉/内外トチン痕	1/2以下
504	陶器・播鉢	瀬戸美濃	第15次	1 井				登1		町鉢296	内外錆釉/櫛目14本	1/2以下
505	陶器・播鉢	瀬戸美濃	第15次	1 井、一括	*30.0	-	-	登1		鉢03	内外錆釉/櫛目9本	1/2以下
506	土器・かわらけ	在地	第15次	1 井	*10.8	*7.0	2.1			K05		1/2以下
507	土器・かわらけ	在地	第15次	1 井、No. 23	*9.8	-	-			K09		1/2以下
508	陶器・鉢/鉄絵鉢	瀬戸美濃	第15次	3 井、一括	-	-	-		17c 後	鉢15	口縁内面緑釉流し掛け/鉄で草花文	1/2以下
509	土器・ほうろく	在地	第15次	3 井	-	-	-			H02		1/2以下
510	陶器・志野向付	瀬戸美濃	第15次	4 井 No. 1				大4 後		町鉢279	内外長石釉/鉄で文様/漆継ぎ痕/底部外面トチン痕	1/2以下
511	磁器・皿/染付皿	中国	第15次	5 井	-	*8.0	-	E 群	16c 末～17c	染01	獅子の図	1/2以下
512	陶器・播鉢	志戸呂	第15次	5 井	-	-	-		16c 中～17c	鉢17	内外錆釉/櫛目7本	1/2以下
513	陶器・德利	備前	第15次	5 井 No. 11	-	-	-		16c	袋02		1/2以下
514	焼締陶器・播鉢	丹波・信楽	第15次	5 井 (No. 10、一括)、一括	-	-	-		17c 中	鉢10	内面錆釉/櫛目8本	1/2以下
515	土器・ほうろく	在地	第15次	5 井 No. 4	-	-	5.4			H01		1/2以下
516	土器・壺	在地	第15次	□□5 井	*12.0	-	-		不明	袋01	金雲母含む	1/2以下
517	土器・ほうろく	在地	第15次	1 壙 No. 1・4	*38.3	*33.2	6.3			H04	外面ス付着	1/2以下
518	陶器・鉢/折縁深皿	瀬戸美濃	第15次	15 壙				古後 III		町鉢297	内外灰釉	1/2以下
519	土器・土鍋	在地	第15次	16 壙	-	-	-			D01		1/2以下
520	磁器・皿/染付皿	中国	第15次	B 区	-	-	-	E 群	16c 末～17c	染02	圈線	1/2以下
521	焼締陶器・片口鉢	常滑	第15次	一括	-	-	-	I 類	13c 末以前	鉢18	内面自然釉	1/2以下
522	焼締陶器・甕	常滑	第15次	一括	-	-	-		不明	袋03	外面自然釉/漆継ぎ?痕	1/2以下

第24表 土器類一覽表15

出土した遺物

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
523	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	第15次	一括	-	*4.4	-	古後Ⅱ		天01	内外鉄釉・腰部錆釉	1/2以下
524	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	第15次	B区	-	*4.0	-	古後Ⅱ		天03	内外鉄釉・腰部錆釉/底部外面トチン痕	1/2以下
525	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	第15次	B区	*12.2	-	-	古後Ⅲ		天02	内外鉄釉	1/2以下
526	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	第15次	一括	*11.8	-	-	大2		天04	内外鉄釉・腰部錆釉	1/2以下
527	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	第15次	B区	-	*4.5	-	大3		天05	内外鉄釉・腰部錆釉	1/2以下
528	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	第15次	一括	*11.4	-	-	大3		天07	内外鉄釉	1/2以下
529	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	第15次	B区	*11.8	-	-	大4		天06	内外鉄釉	1/2以下
530	陶器・碗/端反碗	瀬戸美濃	第15次	一括	*11.0	-	-		17c 後	碗03		1/2以下
531	陶器・皿/緑釉小皿	瀬戸美濃	第15次	B区	*10.0	-	-	古後Ⅲ		皿03	口縁内外灰釉	1/2以下
532	陶器・皿/内禿皿	瀬戸美濃	第15次	No. 35	-	*7.7	-	大3		皿02	高台灰釉/体部内面・高台内露胎	1/2以下
533	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	第15次	一括	*8.0	*4.5	1.1	大4		皿01	内外灰釉	1/2以下
534	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	第15次	B区	*12.0	-	-	登1カ		皿04	内外長石釉	1/2以下
535	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	第15次	B区	*12.0	-	-	登1・2カ		皿05	内外長石釉	1/2以下
536	陶器・皿/反皿	瀬戸美濃	第15次	B区	-	*9.0	-		17c 後	皿06	内外長石釉/高台内円錐ピン	1/2以下
537	陶器・皿/反皿	瀬戸美濃	第15次	一括	*13.0	*6.8	3.0		17c 後	皿07	内外灰釉/底部内面・高台内円錐ピン	1/2以下
538	陶器・鉢/黄瀬戸鉢	瀬戸美濃	第15次	B区、一括	*30.0	-	-	登1・2		鉢07	内外黄瀬戸釉・内面緑釉流し掛け	1/2以下
539	陶器・鉢/黄瀬戸鉢	瀬戸美濃	第15次	一括	-	-	-	登1カ		鉢14	内外黄瀬戸釉/波状櫛目10本	1/2以下
540	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	第15次	一括	-	-	-	大4後、Ⅱ		鉢02	内外錆釉	1/2以下
541	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	第15次	一括	-	-	-	登1、Ⅱ		鉢04	内外錆釉	1/2以下
542	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	第15次	一括	-	-	-	登1、Ⅱ		鉢05	内外錆釉	1/2以下
543	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	第15次	No. 25、一括	-	-	-	登1・2		鉢06	内外錆釉/櫛目19本	1/2以下
544	陶器・蓋	瀬戸美濃	第15次	No. 19	*10.8	*5.6	2.3		16c 末～17c	他02	内面・口縁外面鉄釉	1/2以下
545	陶器・水注	瀬戸美濃	第15次	B区	-	-	-	古中Ⅰ・Ⅱ		他01	外面灰釉	1/2以下
546	陶器・半胴	瀬戸美濃	第15次	一括	*12.0	-	-		19c?	他03	口縁内面・外面鉄釉/胎土祖母懷壺に似る	1/2以下
547	陶器・鉢/大皿	肥前(唐津)	第15次	No. 1・2、一括	*36.0	*13.0	-		17c 前	鉢16	内面鉄泥・内面上方白土+銅緑釉流し掛け/内面・高台胎土目痕	1/2以下
548	焼締陶器・搦鉢	丹波・信楽	第15次	一括	-	-	-			鉢08	内外錆釉/櫛目8本	1/2以下
549	焼締陶器・搦鉢	丹波・信楽	第15次	一括	-	-	-		17c 後	鉢09	内外錆釉/櫛目8本	1/2以下
550	焼締陶器・搦鉢	丹波・信楽	第15次	一括	-	-	-		17c 後～末	鉢11	内外錆釉/櫛目7本	1/2以下
551	焼締陶器・搦鉢	丹波・信楽	第15次	一括	-	-	-		不明	鉢12	内外錆釉/櫛目7本/内面磨痕	1/2以下
552	焼締陶器・搦鉢	丹波・信楽	第15次	一括	-	-	-		17c 後	鉢13	内外錆釉/櫛目6本	1/2以下
553	陶器・碗/端反碗	京都・信楽	第15次	一括	*12.0	-	-		18c 末～19c 初	碗02		1/2以下
554	陶器・碗/丸碗	不明	第15次	一括	-	-	-		16c 末～17c	碗01	軟質陶器	1/2以下
555	磁器・碗/染付碗	肥前	第15次	No. 24	-	-	-		17c 中	伊05	圈線	1/2以下
556	磁器・碗/染付碗	肥前	第15次	一括	*10.0	-	-		17c 後	伊02	網目文	1/2以下
557	磁器・碗/染付碗	肥前	第15次	一括	-	*4.8	-		17c 後	伊03	樹木文	1/2以下
558	磁器・碗/染付碗	肥前	第15次	一括	-	*4.5	-		18c～	伊06	圈線/高台端部砂付着/くらわんか碗カ	1/2以下
559	磁器・皿/丸皿	肥前	第15次	一括	-	*4.3	-		17c 末～18c 中	伊01	内外灰白色の釉・底部内面蛇の目釉ハギ/釉ハギに重ね焼き痕	1/2以下
560	磁器・染付蓋	肥前	第15次	B区	*9.0	-	-		18c	伊04	鶴文	1/2以下
561	土器・かわらけ	在地	第15次	No. 5、一括	9.0	5.4	1.9~2.0			K03	外面スス付着	略完形
562	土器・かわらけ	在地	第15次	No. 11	9.0	5.6	2.1~2.2			K02		略完形
563	土器・かわらけ	在地	第15次	No. 22・23・26・36	11.5	6.9	2.6			K04	底部外面擦痕	略完形

第25表 土器類一覧表16

*は不確定な推定復元値

質量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
564	土器・かわらけ	在地	第15次	一括	9.0	4.2	1.7~1.9			K01		3/4以上
565	土器・かわらけ	在地	第15次	一括	*10.9	*6.0	2.6			K06		1/2以下
566	土器・かわらけ	在地	第15次	一括	*8.0	*4.8	2.5			K07		1/2以下
567	土器・かわらけ	在地	第15次	一括	*5.5	*3.5	2.0			K08	底部内面指頭ナデ	1/2以下
568	土器・かわらけ	在地	第15次	B区	*11.0	6.4	3.4			K10		1/2以下
569	土器・ほうろく	在地	第15次	B区、一括	-	-	6.2~6.6			H03	外面スス付着	1/2以下
570	土器・丸瓦	在地	第15次	一括	-	-	-			瓦01		1/2以下
571	磁器・香炉	肥前	第26次	3溝	-	-	-		17c~	伊05	外面青磁釉/鍋が彫られる	1/2以下
572	土器・かわらけ	在地	第26次	2井	*10.4	*5.8	2.1			K09		1/2以下
573	土器・ほうろく	在地	第26次	2井 No. 92	-	-	-			H02	外面スス付着	1/2以下
574	土器・ほうろく	在地	第26次	2井 西P	-	-	-			H03	外面スス付着	1/2以下
575	土器・播鉢	在地	第26次	2井 No. 80	-	-	-			鉢05		1/2以下
576	磁器・碗/青磁蓮弁文碗	龍泉窯系中国	第26次	1壙	-	-	-		13c~14c	青01	内外淡青緑色の釉/片切彫の蓮弁	1/2以下
577	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	第26次	1壙	-	-	-	大3		皿02	内外鉄釉	1/2以下
578	陶器・播鉢	瀬戸美濃	第26次	1壙 No. 14	-	-	-		17c~	鉢01	内外錆釉/櫛目12本	1/2以下
579	土器・かわらけ	在地	第26次	10壙 (No. 44・50)	11.7	6.6	2.9	騎西城Ⅱ期		K05	底部内面指頭ナデ/底部外面板ナデ/体部と底部(内面)境にナデ	完形
580	土器・かわらけ	在地	第26次	10壙 (No. 45・49・65)、10・11壙拡張、一括	11.5	6.8	2.7	騎西城Ⅱ期		K06	底部内面指頭ナデ/体部と底部(内面)境にナデ	略完形
581	土器・かわらけ	在地	第26次	10壙 (No. 46・47・48・65)、一括	11.8	7.4	3.1	騎西城Ⅱ期		K08	底部内面指頭ナデ/底部外面板ナデ/体部と底部(内面)境にナデ	完形
582	土器・かわらけ	在地	第26次	10壙 (No. 47・65)、一括	10.8	6.7	2.5	騎西城Ⅱ期		K03	体部と底部(内面)境にナデ	3/4以上
583	土器・かわらけ	在地	第26次	10壙 No. 51、一括	11.4	7.0	2.3	騎西城Ⅱ期		K04	底部内面指頭ナデ/体部と底部(内面)境にナデ	1/2以上
584	土器・ほうろく	在地	第26次	10壙 No. 42	-	-	-			H09		1/2以下
585	土器・ほうろく	在地	第26次	11壙 (No. 72・88・89)、11・12壙	*34.0	-	-			H08	外面スス付着	1/2以下
586	土器・ほうろく	在地	第26次	11壙 No. 77	-	-	-			H05	外面スス付着	1/2以下
587	土器・播鉢	在地	第26次	11壙 No. 90	-	-	-			鉢06		1/2以下
588	土器・かわらけ	在地	第26次	11壙 No. 76、11・12壙	*12.6	-	-			K12		1/2以下
589	陶器・皿/黄瀬戸皿?	瀬戸美濃	第26次	12壙 No. 69	*11.0	-	-			皿08	内外黄瀬戸釉	1/2以下
590	陶器・播鉢	瀬戸美濃	第26次	12壙 No. 68	-	-	-	大4, II類A系		鉢09	内外青灰色の錆釉	1/2以下
591	陶器・織部徳利	瀬戸美濃	第26次	11・12壙	-	-	-	登1		袋02	内外暗緑色の釉	1/2以下
592	土器・ほうろく	在地	第26次	3P No. 22	-	-	5.8			H07		1/2以下
593	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	第26次	5P No. 9	9.6	5.7	1.6		16c末~17c前	皿01	内外灰釉・底部外面周辺露胎	1/2以下
594	陶器・鉢/割山椒・向付カ	瀬戸美濃	第26次	5P No. 8、BT	-	-	-	登1		他01	内外長石釉/鉄で文様	1/2以下
595	磁器・皿/染付皿	中国	第26次	P	-	-	-	B-1	15c中~16c末	染01	文様	1/2以下
596	磁器・鉢/染付鉢	中国	第26次	BT	-	-	-		16c末~17c	染02	文様	1/2以下
597	焼締陶器・壺/三筋壺カ	常滑	第26次	P	-	-	-		~13c	袋03	外面工具痕	1/2以下
598	焼締陶器・甕	常滑	第26次	P	-	-	-		~16c	袋04	外面工具痕	1/2以下

第26表 土器類一覧表17

*は不確定な推定復元値

分量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
599	陶器・碗/天目	瀬戸美濃	第26次	BT	*12.0	-	-	大1~3		天01	内外鉄釉	1/2以下
600	陶器・碗/丸碗	瀬戸美濃	第26次	一括	-	-	-	大		碗01	内外淡灰緑色の釉・ガラス質なし	1/2以下
601	陶器・碗/志野丸碗	瀬戸美濃	第26次	一括	-	-	-	大4		碗02	内外長石釉/鉄で文様	1/2以下
602	陶器・碗	瀬戸美濃	第26次	BT	-	5.0	-	登?		鉢08	内面鉄釉・高台露胎/胎土不良	1/2以下
603	陶器・皿/入子カ	瀬戸美濃	第26次	BT	-	-	-	古前?		皿13	内外鉄釉	1/2以下
604	陶器・皿/端反皿	瀬戸美濃	第26次	BT	-	-	-	大1		皿04	内外灰釉	1/2以下
605	陶器・皿/反皿カ	瀬戸美濃	第26次	一括	-	6.0	-	大1・2		皿10	内外灰釉/印花/高台内トチン痕/削出高台で幅広い	1/2以下
606	陶器・皿/丸皿カ 端反皿	瀬戸美濃	第26次	一括	-	6.0	-	大1~3		皿11	内外灰釉・底部内面拭う・高台内無釉/高台内トチン痕/付高台	1/2以下
607	陶器・皿/折縁皿	瀬戸美濃	第26次	井戸拡張	*12.0	-	-	大3カ		皿12	内外灰釉	1/2以下
608	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	第26次	No.5 P	*12.0	*7.6	2.5	大4		皿07	内外厚い長石釉	1/2以下
609	陶器・皿/志野丸皿	瀬戸美濃	第26次	一括	*13.0	-	-	登		皿06	内外長石釉/ヘラによる弧状文	1/2以下
610	陶器・皿/丸皿	瀬戸美濃	第26次	一括	*12.0	*7.0	2.7	登1?		皿09	内外灰釉・高台内露胎/底部内面円錐ピン	1/2以下
611	陶器・皿/鉄絵皿	瀬戸美濃	第26次	一括	-	-	-	登2		皿05	内外長石釉/鉄で文様	1/2以下
612	陶器・皿/灯明皿 (油皿)	瀬戸美濃	第26次	一括	*9.0	-	-		18c~19c	皿03	内外灰白色の釉	1/2以下
613	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	第26次	井戸拡張	-	-	-	大2, I類A系		鉢10	内外錆釉	1/2以下
614	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	第26次	P	-	-	-	大2~4, I類B系		鉢11	内外錆釉	1/2以下
615	陶器・搦鉢	瀬戸美濃	第26次	一括	-	-	-	大2前, I類A系		鉢12	内外錆釉	1/2以下
616	陶器・德利	瀬戸美濃	第26次	P	-	-	-		18c~19c	袋05	外面鉛釉・灰釉流し掛け	1/2以下
617	陶器・德利	不明	第26次	一括	-	-	-		17c~19c	袋01	内面錆釉・外面水色の釉	1/2以下
618	陶器・鉢/鉄絵大皿	肥前(唐津)	第26次	P	-	-	-		17c前	鉢07	内外淡灰褐色の釉/鉄で文様	1/2以下
619	磁器・碗/染付碗	肥前	第26次	No.28 CT	-	-	-		18c	伊01	草花文	1/2以下
620	磁器・碗/染付碗	肥前	第26次	カクラン	-	-	-			伊02	花文	1/2以下
621	磁器・碗/染付湯呑	肥前	第26次	井戸拡張	-	-	-			伊03	草花文	1/2以下
622	磁器・皿/染付皿	肥前	第26次	BT	-	-	-		17c後~	伊04	墨弾技法による花文	1/2以下
623	土器・かわらけ	在地	第26次	一括	9.7	6.6	1.7		17c~	K01		完形
624	土器・かわらけ	在地	第26次	一括	11.7	7.0	2.4			K02		3/4以上
625	土器・かわらけ	在地	第26次	一括、BT	*13.4	*6.5	3.0			K07		1/2以下
626	土器・かわらけ	在地	第26次	一括、BT	*11.8	7.0	2.9			K10		1/2以下
627	土器・かわらけ	在地	第26次	一括	10.8	7.6	2.6			K11		1/2以上
628	土器・かわらけ	在地	第26次	一括	*12.4	-	-			K13		1/2以下
629	土器・かわらけ	在地	第26次	BT	*10.4	*5.8	*2.6			K14		1/2以下

第27表 土器類一覧表18

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
630	土器・かわらけ	在地	第26次	一括	*11.0	-	-			K15		1/2以下
631	土器・かわらけ	在地	第26次	一括	*10.4	-	-			K16		1/2以下
632	土器・ほうろく	在地	第26次	一括	-	-	-			H01	外面スス付着	1/2以下
633	土器・ほうろく	在地	第26次	一括	-	-	5.1			H04		1/2以下
634	土器・ほうろく	在地	第26次	一括	-	-	5.6			H06		1/2以下
635	土器・土鍋	在地	第26次	BT	-	-	-			D01	外面スス付着	1/2以下
636	土器・土鍋	在地	第26次	BT	-	-	-			D02		1/2以下
637	土器・播鉢	在地	第26次	一括	-	-	-			鉢02		1/2以下
638	土器・播鉢	在地	第26次	BT	*30.0	-	-			鉢03		1/2以下
639	土器・播鉢	在地	第26次	BT	*30.0	*13.0	-			鉢04	櫛目6本	1/2以下
640	土器・香炉	在地	第26次	No. 60 P	*12.0	-	-			香01	印花文	1/2以下
641	土器・手焙り	在地	第26次	一括	-	-	-			素他01		1/2以下
642	土器/土製円盤	在地	KB 4	1 塚 F-6 G No. 579	3.0	-	0.7			つぶて 石 8		
643	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚 F-6 G No. 679	4.3	-	1.2	大 3		つぶて 石 7	鉄釉	
644	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚 F-5 G	2.1	-	0.5	登 1・2		他07	灰釉	
645	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚 F-6 G No. 64	2.0	-	0.5	登 1・2		他05	灰釉	
646	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚 F-6 G No. 66	2.5	-	0.5	登 1・2		他08	灰釉	
647	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚 F-6 G No. 179	2.1	-	0.4	登 1・2		他11	灰釉	
648	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚 F-6 G No. 180	1.8	-	0.5	登 1・2		他09	灰釉	
649	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚 F-6 G No. 186	2.0	-	0.4	登 1・2		他06	灰釉	
650	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚	2.0	-	0.5	登 1・2		他10	灰釉	
651	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	1 塚	2.2	-	0.4	登 1・2		他12	灰釉	
652	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	55 塚	2.6	-	0.7	大		他23	鉄釉・錆釉(腰部)	
653	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	E-4 G No. 21	8.0	-	2.3	大 2～4		つぶて 石 1	錆釉	
654	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	側溝	4.0	-	1.1	大 2～4		つぶて 石 2	錆釉	
655	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	3.5	-	0.6	登 1		つぶて 石 3	緑色の釉	
656	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	G-9 G カク No. 120	3.8	-	0.5	登 1		つぶて 石 4	緑色の釉	
657	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	拡	5.5	-	1.4	登 2～		つぶて 石 5	鉄釉	
658	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	4.5	-	1.3	登 2～		つぶて 石 6	鉄釉	
659	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.5	-	0.9	登 1～		他01	鉄釉	
660	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	側溝	2.0	-	0.4		17c～	他02	灰釉	
661	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.1	-	0.4		17c～	他03	灰釉	
662	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	64 塚	2.6	-	0.5	大 1		他19	灰釉	
663	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	I-9 G	2.1	-	0.4	大 1		他20	灰釉	
664	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.1	-	0.4	大 1		他21	灰釉	
665	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.4	-	0.8	大 1・2		他17	灰釉	
666	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.3	-	0.8	大 1・2		他18	灰釉	
667	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.5	-	0.3	大 2・3		他14	鉄釉	
668	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	F-6 G No. 43	2.5	-	0.7	大		他22	鉄釉・錆釉(腰部)	
669	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.7	-	0.6	登 1・2		他15	黒色の釉	

第28表 土器類一覧表19

*は不確定な推定復元値

法量の単位は cm

図 No.	器種	産地	調査区	出土地点	口径	底径	器高	形式	年代	遺物 ID	備考	残存率
670	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.4	-	0.5	登 1・2		他16	灰釉	
671	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.4	-	0.5	登		他24	鉄釉	
672	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	東拵	2.5	-	0.6	登		他25	鉄釉	
673	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.1	-	1.0			他13	鉄釉	
674	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.9	-	0.7			他26	鉄釉	
675	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 4	一括	2.7	-	0.5			他27	鉄釉	
676	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 5	2 溝	2.0	-	0.6	大 1		他05	灰釉	
677	陶器/土製円盤	瀬戸美濃	KB 5	一括	2.1	-	0.6	登 2・3		他06	長石釉	
678	陶器/土製円盤	常滑	KB 5	一括	2.5	-	1.1			他07		
679	陶器/土製円盤	肥前(唐津)	KB 5	一括	2.0	-	0.6			他08	白土化粧	
680	土器/取瓶	在地	KB 4	2 溝 E-5 G No. 46	*7.2	-	3.0			町鑄34	スラグ付着	1/2以下
681	土器/ふいごの羽口	在地	KB 4	5 溝 F-7 G No. 34	残存値 4.5	-	残存 値9.2			素他06	スラグ付着	1/2以下
682	土器/ふいごの羽口	在地	KB 4	3 壙 F-5 G No. 94	残存値 2.5	-	残存 値4.7			素他01		1/2以下
683	土器/ふいごの羽口	在地	KB 4	41 壙 H-9 G No. 314	残存値 6.2	-	8.0			素他08	スラグ付着	3/4以上
684	土器/ふいごの羽口	在地	KB 4	H-8 G No. 62	残存値 5.9	-	残存 値5.7			素他07		1/2以下

第29表 土器類一覧表20

取瓶 (324) と思われる。

墨書しているものは、外面にあるものが4区1壙 (106)、底部外面に「一」が4区6井 (40) ・「三」が4区1壙 (136) ・「黒やなぎ?」(285) ・「右衛門」が4区遺構外 (287) ・列点が5区2溝 (363) ・不明が4区1壙 (94・121) で出土している。手づくねの可能性のあるものが4区遺構外 (314) で出土した。

油煙付着は4区遺構外 (297) ・5区14壙 (419・423・429) ・スス付着は外面に5区14壙 (426) ・15次遺構外 (561) で出土している。

黒色付着物が内面にあるものは4区69壙 (198) で出土している。

意図的な破損か?、4区48壙 (171) は口縁を6箇所欠損している。

○ほうろく 各地区で破片が出土している。内耳が残るものはいずれも底面まで掛かるものではなく体部に収まるものである。

○香炉 4区41壙 (165) ・遺構外 (340)、印花文が施されるものが26次遺構外 (640) で出土した。

○火鉢 4区11井 (51) ・粘土紐が貼り付けられるタイプが56壙 (192) で出土した。手焙りは26次

遺構外 (641) で出土した。

○播鉢 4区14壙 (150) ・遺構外 (334~339)、5区2・6溝 (345)、26次2井 (575) ・11壙 (587) ・遺構外 (637~639) で出土。336・337・339・639は櫛目有り。

○土鍋 4区1壙 (143) ・遺構外 (330~332)、15次16壙 (519)、26次遺構外 (635・636) で出土した。

○片口鉢 4区2溝 (16) ・41壙 (164) ・遺構外 (333)、5区1溝 (344) ・2溝 (365) ・3溝 (376) で、15次1溝 (500) で出土した。

○壺 胎土に金雲母を含むものが15次5井 (516) で出土した。

【その他】

取瓶が4区2溝 (680) で出土している。詳細は第IV章第5節科学調査を記載した。瓦は4区1溝 (9) ・遺構外 (342)、15次遺構外 (570) で出土した。

轆の羽口が4区5溝 (681) ・3壙 (682) ・41壙 (683) ・遺構外 (684) で、土製円盤は瀬戸美濃の陶片を加工したものが4・5区 (643~677) で出土した。

第2節 木製品類

(1) 概要

本報告のKB4・5区・第26次の調査では生活用品、生業の道具、信仰に関わるもの、いくさ関係のもの、他に加工材など広範囲な遺物が出土している。

【図化木製品】

○生活に関するもの

「衣」では下駄が1点出土している。

1はKB4区55・56号土壙出土で、板目取りの連歯下駄である。歯はひどく摩耗している。また、前緒穴が2箇所空けられており手直しをしようとしたものか。

「貯蔵」では曲物と桶が出土している。

2はKB4区55・56号土壙出土で曲物の側板である。かつては櫻皮で綴じられていた事が出土写真から判明している。

3はKB4区1号井戸出土の板目取りのしっかりとした底板である。木釘が使われている。

4はKB4区55・56号土壙出土で、非常に薄いことと中央に穿孔が見られる事から底板ではなく蓋板として扱った。表面の一部に炭化が見受けられる。

5はKB4区2号溝出土の柾目取りの底板である。表面の一部に炭化が見受けられる。かなり小型である。

6はKB5区6号溝から出土。側板であると考えているが、含水率が非常に高く詳細は不明であった。

7は第26次1号井戸から出土の板目取りの側板であるが、先端に縮みが見受けられ一度乾燥した可能性が考えられる。

8も7と同様に第26次1号井戸出土の板目取りの底板である。やはり縮みが見受けられ一度乾燥した可能性が考えられる。

「食膳」では白木碗、漆碗、折敷、杓子、箸が出土している。

9はKB5区7号溝から出土している白木碗で、樹種はクリである。内面にかすかにロクロ痕らしき物が見受けられるが、含水率が非常に高かったため

形状が大きく崩れてしまった。皿の可能性もある。

10はKB5区3号溝出土の内面赤色外面黒色漆塗りの碗である。腰部から高台脇のかけてのみ残存し、全体の形は明らかでは無い。胴部外面に赤色の施文の一部が残る。文様の意匠は不明。劣化がかなり進行中。

11はKB5区3号溝出土。折敷の底板か。非常に薄い。柾目取り。小破片の為詳細は不明。

12はKB4区55・56号土壙出土の黒漆塗り杓子である。三箇所施文されているが、漆の状態が悪いため1箇所には”丸に植物文”が確認出来るが、他2箇所の文様の意匠は不明。唐津鉄絵皿と同伴。16c末から17c初めか。

13はKB4区13号井戸出土。箸か。樹種はウツギ属。表面に付着物があるが肉眼観察のみで詳細は不明。小破片のため全体の形は明らかになっていない。

「灯り」では火打石入筒が出土している。

14はKB4区出土。遺構等は不明な為一括取り上げ遺物として扱っている。竹筒の中に火打石が入っており、火打石には使用痕が見受けられる。

○生業に関するもの

「加工」では座繰りの部材と思われるもの、木槌が出土している。

15はKB4区1号井戸出土の座繰りの部材である。樹種はヒノキ。

16もKB4区1号井戸出土の横槌である。柄の部分を丁寧に整形している。碇打ちに使用されていたものか。

17もKB4区55・56号土壙出土の木槌と考えている。器面を丁寧に整形。一部炭化。

○信仰に関するもの

「まじない」では陽物形と護符が出土している。

18はKB4区22号井戸の最下層出土の陽物形製品である。

19はKB4区6号井戸出土の蘇民将来符である。小型の四角柱で頂部より≒1mmの穴が縦に穿孔。表面には赤と黒で彩色しており、四角錐部分は各面ご

とに交互に塗り分け、四角柱部は区画内を上段は斜めに下段は縦に塗り分ける。「蘇民／将来」の文字を確認。

○いくさに関するもの

「刀類」が出土している。

20はKB4区15号井戸出土の小柄の柄である。茎に蒲のような物が巻いてある状態か。2点の接合箇所は確認出来なかったが同一個体と考えている。小破片のため全体像は明らかではない。

○その他

21はKB5区3号溝出土のホゾ付き板材で両端に穿孔有り。柁目取り。何かの部品であると考えられるが、用途不明。

22はKB4区東拡張部出土のホゾ穴付き角材である。中央にホゾ穴を持つが、含水率が高く崩壊寸前で加工痕等は観察出来なかった。用途不明。

23はKB4区55・56号土壙出土。片側の厚みが薄く作られており杓子片の可能性もあるが、含水率が非常に高く、加工痕等の確認は出来なかった。

24はKB4区21号井戸出土の棒状製品である。両端を欠損しているため全体の形は明らかではない。用途不明。

【未図化木製品】

他に遺物の状態が悪く図化出来なかった木製品も多数存在した。それらについては以下の通りである。

生活に関する物では「衣」で下駄と推測できるものがKB4区から出土している。含水率が高く詳細は不明であるが後緒穴の痕跡が認められることから下駄の可能性が高い。

「貯蔵」では柁目取りで非常に薄い柄杓の底板と、桶の側板と思われるものがKB4区から1点出土している。

「食膳」では、状態が悪く計測出来なかったが、底部破片の加工痕から白木皿と推定出来たものがKB4区から1点出土している。

漆椀は破片を含めて5点で、KB4・5区から出土。いずれも含水率が高く破片化しているため詳細

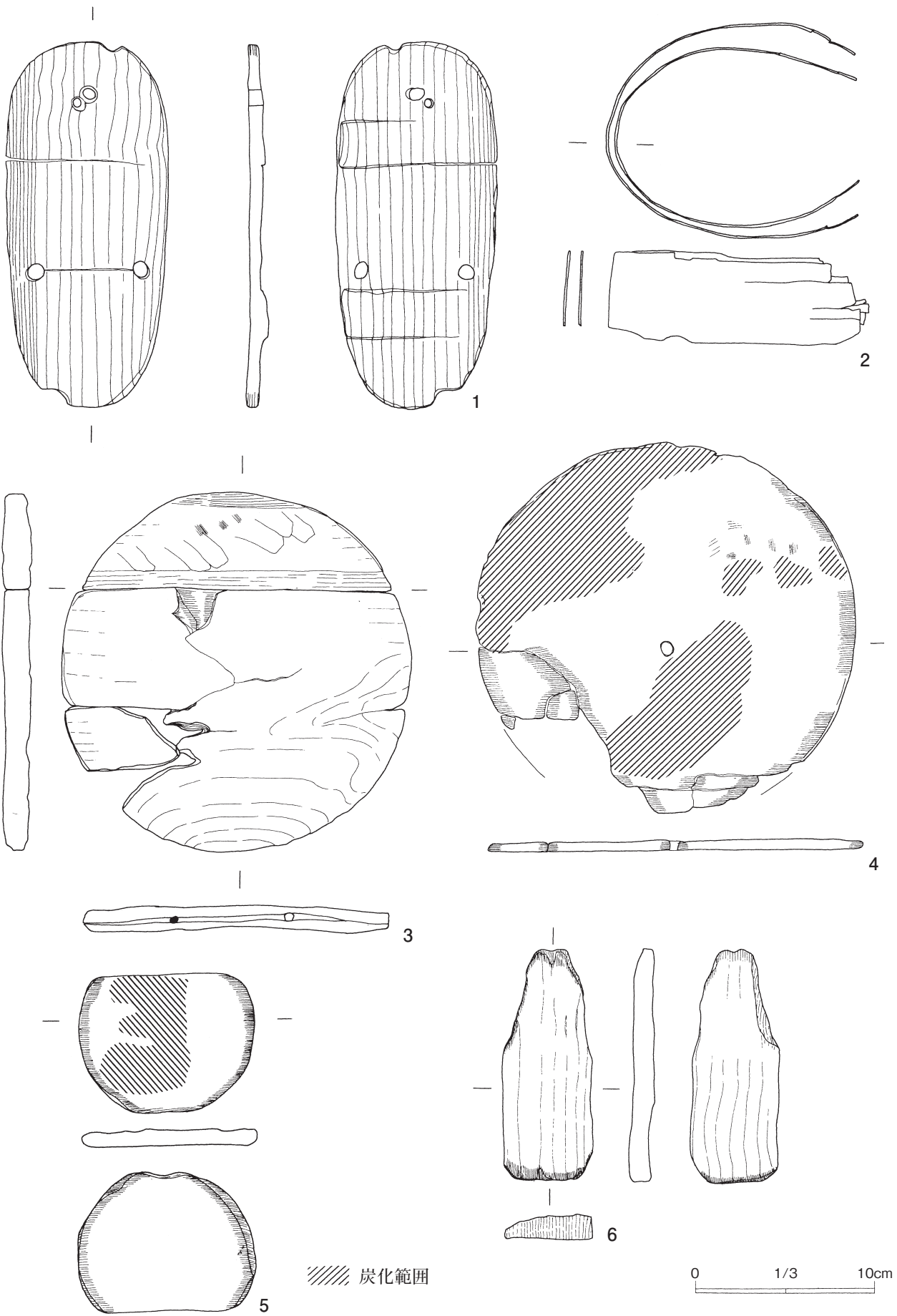
は不明であるが、内外面とも黒色漆塗りのものと内面が赤色漆塗りの物がある。内面黒色の物には赤色で施文の痕跡もあるが詳細は不明。

その他では板材のような加工材も多く見受けられるが、いずれも遺物の状態が悪く詳細は不明である。特にKB5区3号溝から多く出土している。

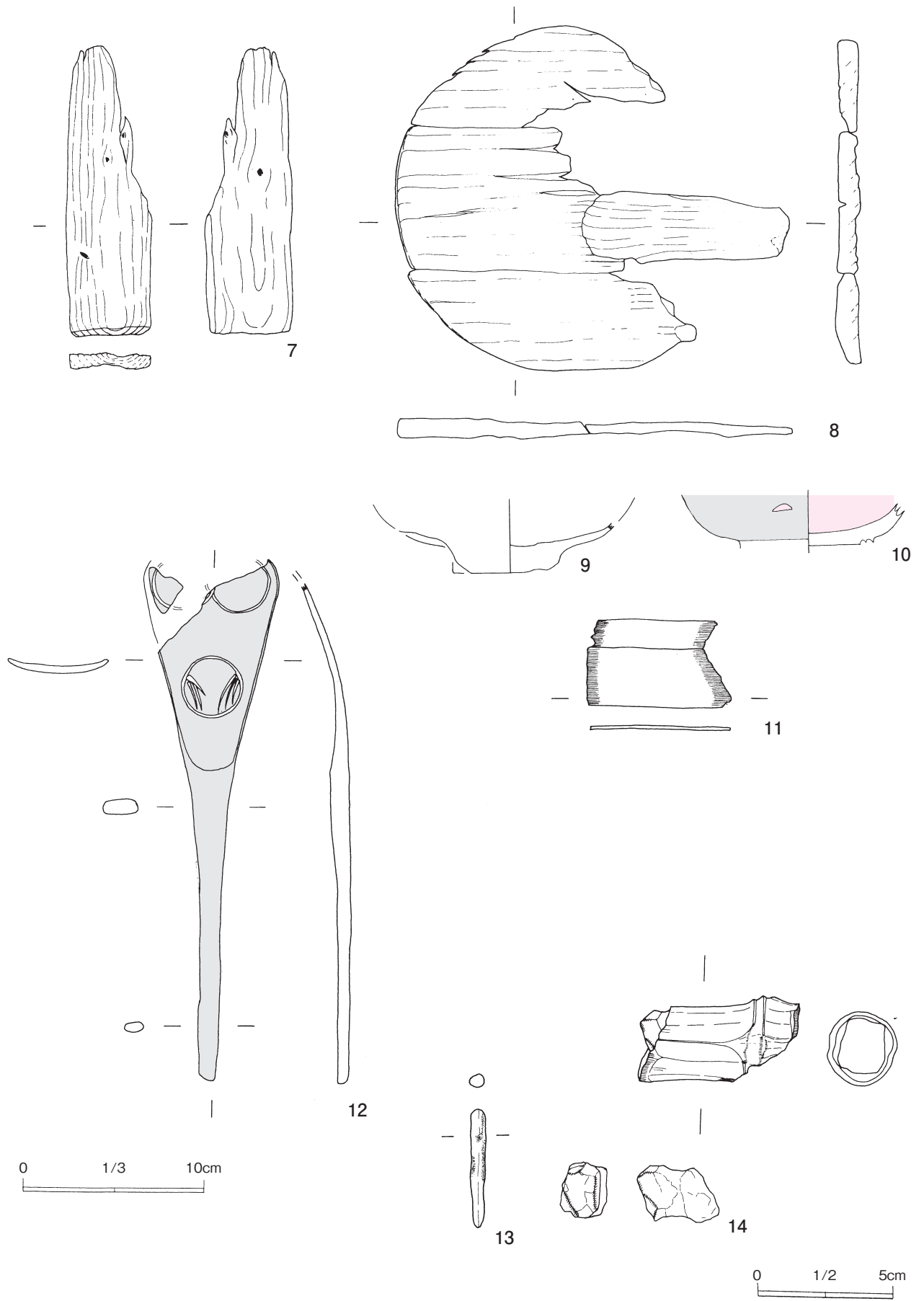
他には竹が見つまっている。

このように図化出来なかった木製品についても計測出来た法量や特徴等のデータは一覧表に掲載した。

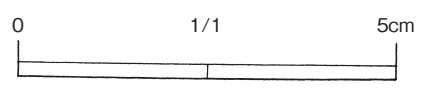
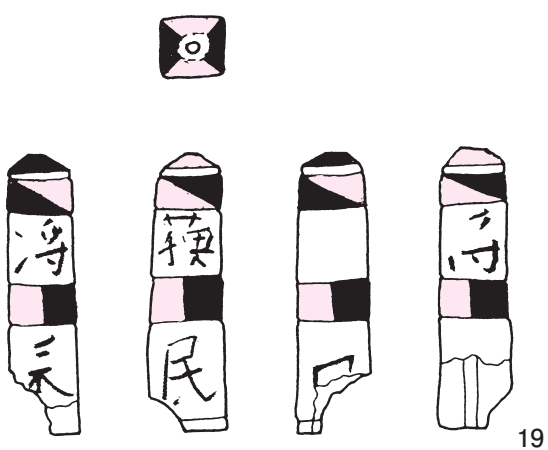
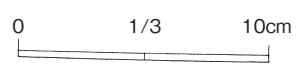
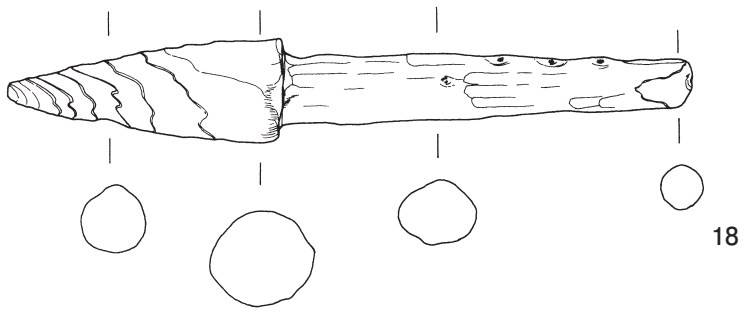
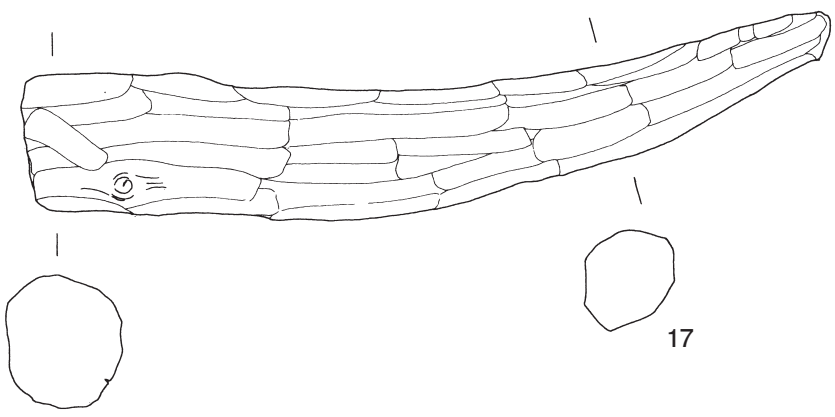
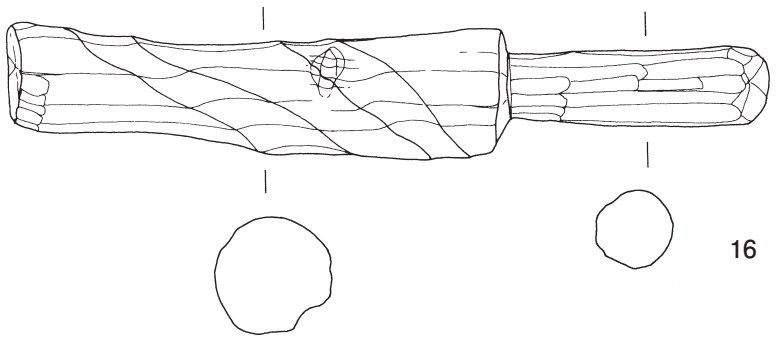
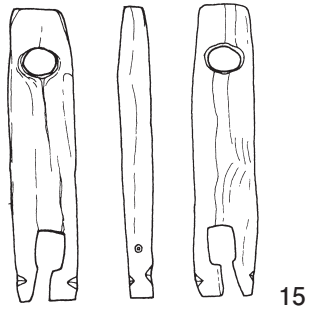
さらに、木製品ではないが種子、葉、貝、馬の歯なども出土している。科学的な検討をしていないため詳細不明。



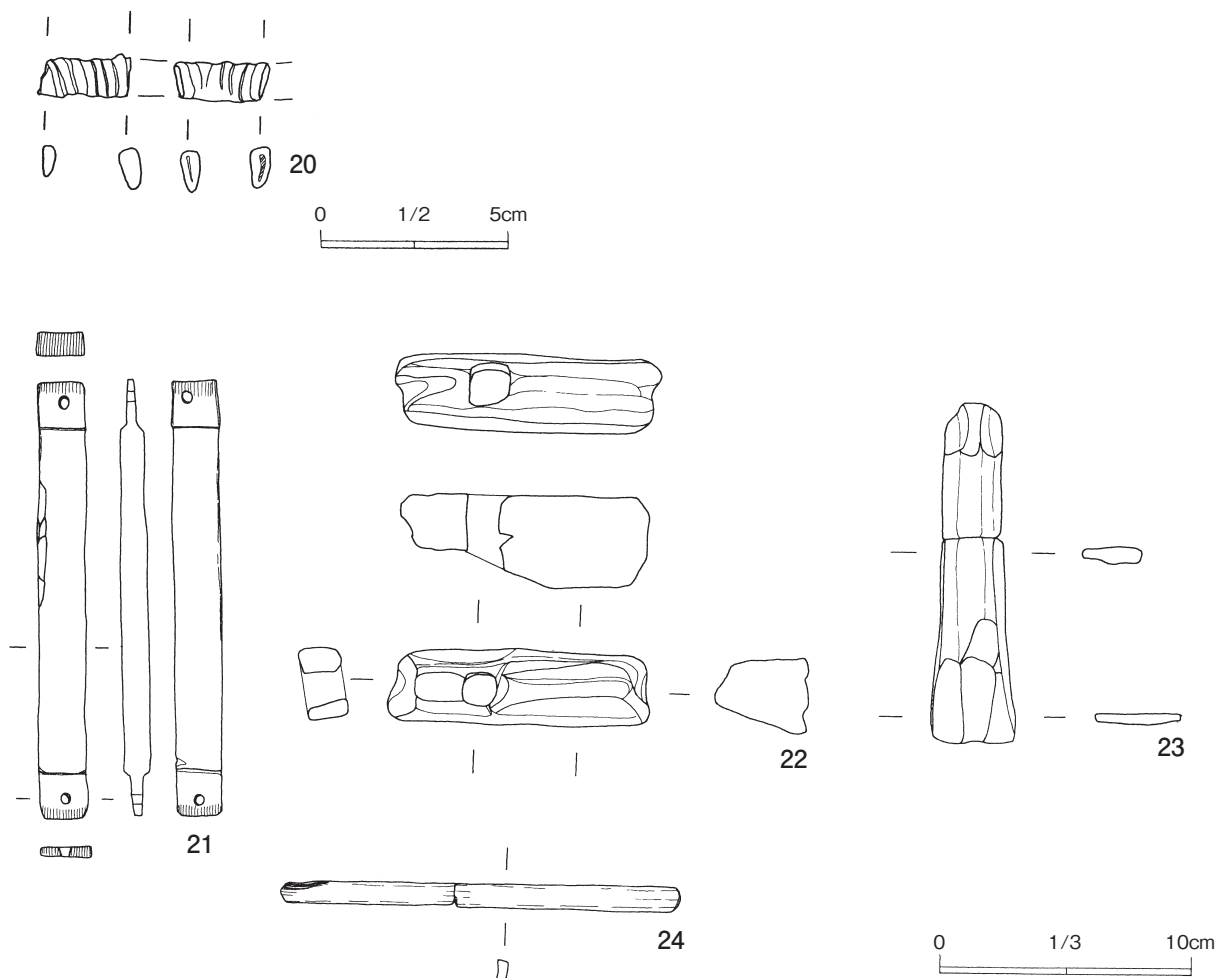
第67図 木製品 1



第68図 木製品 2



第69図 木製品 3



第70図 木製品 4

() は残存値

法量の単位は cm

図 No.	遺物名	出土地点	法量	特徴	備考	遺物 ID
1	下駄	KB 4 56号土壌 F-6 G No585(55号土壌か)	長さ20.2/幅8.8/厚さ(1.6)	板目取り。前緒穴が2箇所ある。開け直し	歯がひどく摩耗	661-0705-0004-0022
2	曲物-側板	KB 4 55号土壌 (F-6 G No707)	径≒11.8/高さ5.0/厚さ0.1		出土当時は櫻皮が存在	661-0705-0004-0017
3	桶-底板	KB 4 1号井戸 (G-7 G No73)	径19.4/厚さ1.5	板目取り。木釘痕あり		661-0705-0004-0003
4	桶-蓋板	KB 4 56号土壌 F-6 G No264(55号土壌か)	径20.8/厚さ0.5	中央に穿孔。非常に薄い	一部炭化	661-0705-0004-0024
5	桶-底板	KB 4 2号溝 (E-5 G No63)	径10.0/厚さ0.9	柁目取り	一部炭化	661-0705-0004-0030
6	桶-側板	KB 5 6号溝 (E-3 G No44)	長さ(12.8)/幅4.8/厚さ0.8		含水率高く詳細不明	661-0705-0005-0023
7	桶-側板	第26次 1号井戸	長さ(16.0)/幅4.5/厚さ0.75	板目取り	一度乾燥か?	661-0704-0026-0002
8	桶-底板	第26次 1号井戸	径≒21.0/厚さ0.9	板目取り	一度乾燥か?	661-0704-0026-0002
9	白木椀	KB 5 7号溝 (D-42G No133)	口径不明/器高(2.5)/底径≒6.0	樹種はクリ。内面にかすかにロクロ痕あり	含水率が高く形状が崩れる	661-0705-0005-0024
10	漆椀	KB 5 3号溝 (C-1 G No65)	口径不明/器高(2.5)/底径7.8	内面赤色外面黒色漆塗。胴部外面に赤色施文の痕跡あり	劣化が進行中。含水率高い	661-0705-0005-0006

第30表 木製品一覧表 1

()は残存値

法量の単位は cm

図No.	遺物名	出土地点	法量	特徴	備考	遺物 ID
11	折敷か	KB 5 3号溝 (C-1 G No81)	長さ(4.8)/幅(7.8)/ 厚さ0.2	柾目取り。非常に薄 い	小破片のため詳細不明	661-0705- 0005-0026
12	杓子	KB 4 55号土壙 (G-6 G No98)	長さ(28.5)/幅7.4/ 厚さ1.0	黒色漆塗。文様があ るが不鮮明		661-0705- 0004-0014
13	箸	KB 4 13号井戸	長さ(4.3)/径0.5	樹種はウツギ属		661-0705- 0004-0007
14	火打石入筒	KB 4	長さ(5.8)/径2.8	竹筒の中に石が入っ ている	出土地点等の詳細は不明	661-0705- 0004-0038
15	座繰部材 か	KB 4 1号井戸 (G-7 G No74)	長さ(11.5)/幅2.5/ 厚さ1.1	樹種はヒノキ		661-0705- 0004-0004
16	横槌	KB 4 1号井戸 (F-7 G No29)	長さ(29.8)/槌部径 4.5/柄径 3.0	柄の部分を丁寧に加 工		661-0705- 0004-0002
17	槌	KB 4 56号土壙(F-6 G No708) (55号土壙か)-	長さ32.0/最大径5.0	一部炭化		661-0705- 0004-0021
18	陽物形製 品	KB 4 22号井戸最下層	長さ27.0/最大径4.2/ 柄の径1.8			661-0705- 0004-0013
19	蘇民将来 符	KB 4 6号井戸	長さ3.7/幅1.0/ 厚さ1.0	赤と黒の彩色	下部の一部が欠損	661-0705- 0004-0005
20	小柄-柄	KB 4 15号井戸	長さ(2.5・2.3)/ 幅1.0/厚さ0.5・0.3	茎+蒲	小破片のため詳細は不明	661-0705- 0004-0008
21	部材(ホゾ 付き板材)	KB 5 3号溝 (B-2 G No55)	長さ17.3/幅2.0/ 厚さ1.0	ホゾ有り、ホゾの部分 に穿孔もあり	用途不明	661-0705- 0005-0003
22	部材 (ホゾ穴)	KB 4 東拡張	長さ10.4/幅3.0/ 高さ3.5	ホゾ穴あり	含水率高く詳細不明。用途不 明	661-0705- 0004-0037
23	加工材	KB 4 55号土壙 (F-6 G No708)重複、錯誤か	長さ(13.4)/幅3.4/ 厚さ0.4	杓子片か	含水率高く詳細不明。端部欠 損	661-0705- 0004-0018
24	棒状製品	KB 4 21号井戸	長さ(15.8)/幅1.0/ 厚さ0.4		用途不明。両端欠損か	661-0705- 0004-0010
-	下駄片か	KB 4 (E-5 G No64)	長さ(12.5)/幅(8.2)/ 厚さ(3.0)	後緒穴の痕跡か	一部炭化。含水率高く状態非 常に悪し	661-0705- 0004-0031
-	桶-側板か	KB 4 (G-6 G No287)	長さ9.4/幅1.2/ 厚さ0.6	板目取り	側板としては小ぶり過ぎるか	661-0705- 0004-0034
-	柄杓-底板 か	KB 4 (G-6 G No196)	径≒8.2/厚さ0.3	柾目取り。非常に薄 い	破片化が進む	661-0705- 0004-0027
-	白木皿	KB 4 (F-6 G No287)	計測出来ず		破片化が進み詳細不明。底部 と思われる破片から白木皿と 判明	661-0705- 0004-0035
-	漆碗	KB 4 10号溝 (G-6 G No274)	計測出来ず	内外面ともに黒漆塗。 内面に赤色で施文。外 面の施文は不明	漆の被膜のみ残り、計測出来ず。 詳細は不明	661-0705- 0004-0032
-	漆碗片	KB 4 2号溝	口径、器高等不明/ 厚さ0.4	内面赤色漆塗。外面 は不明	破片化していて詳細は不明	661-0705- 0004-0001
-	漆碗片	KB 4 (E-4 G No26)	計測出来ず	内外面黒漆塗。内面 に赤色で施文の痕跡 あり	遺物の状態悪く実測出来ず	661-0705- 0004-0029
-	漆碗片	KB 4 (G-6 G No280)	口径、器高等不明。 底径6.0/高台高1.5	内外面黒漆塗。胴部 外面に赤色で施文、意 匠は不明	遺物の状態悪く実測出来ず	661-0705- 0004-0033
-	漆碗片	KB 5 6号溝 (E-3 G No40)	長さ(3.0)/幅(1.6)/ 厚さ(0.5)	内外面黒色漆塗。赤 色の施文の痕跡あり	破片化して小破片が残るのみ。 その中の1点を計測。漆は剥落	661-0705- 0005-0022
-	ヘラ状製 品か	KB 5 (C-1 G No75)	長さ(6.5)/幅3.2/ 厚さ1.2	詳細不明	含水率高く、扱い困難	661-0705- 0005-0025
-	材/把手状 加工品	KB 4 55号土壙 (F-6 G No668)	長さ(8.7)/幅≒3.0/ 厚さ1.5	四角い孔あり	含水率高く崩壊	661-0705- 0004-0016
-	材/丸棒材	KB 4 55号土壙 (G-6 G No265)	長さ(7.8)/径1.2/ 穿孔径0.5	竪穴穿孔		661-0705- 0004-0015
-	材/丸棒材	KB 5 3号溝 (C-1 G No71)	長さ(9.0)/径3.0	炭化		661-0705- 0005-0010
-	材/丸棒材	KB 5 一括	長さ(10.6)/径1.3		含水率高く劣化進行中	661-0705- 0005-0027
-	材/板材	KB 4 9号井戸	長さ(8.2)/幅(2.3)/ 厚さ0.9	一部炭化		661-0705- 0004-0006

第31表 木製品一覧表 2

() は残存値

法量の単位は cm

図 No.	遺物名	出土地点	法量	特徴	備考	遺物 ID
-	材/板材	KB 4 22号井戸	長さ(12.5)/幅(1.4)/ 厚さ0.8	一部炭化	劣化が進み含水率高	661-0705- 0004-0011
-	材/板材	KB 4 77号土壌	長さ(19.0)/幅(4.4)/ 厚さ0.5	板目取り	劣化が進み含水率高	661-0705- 0004-0028
-	材/板材片	KB 4 東拡張77号土壌 (G-6 G No353)	長さ(7.9)/幅(4.2) 厚さ1.1	片面炭化		661-0705- 0004-0036
-	材/板材片	KB 4 6号井戸	長さ(11.0)/幅(4.7)/ 厚さ0.7		破片化が進み詳細不明	661-0705- 0004-0039
-	材/板材	KB 5 3号溝 (C-1 G No63)	長さ(11.0)/幅(4.4)/ 厚さ0.6			661-0705- 0005-0005
-	材/板材	KB 5 3号溝 (C-1 G No68)	長さ(9.6)/幅(4.5)/ 厚さ1.6		破片化。その中の1点のみ計測	661-0705- 0005-0008
-	材/板材	KB 5 3号溝 (C-1 G No74)	長さ(9.7)/幅(4.2)/ 厚さ1.3		含水率高く取り扱い困難。その中の1点のみ計測	661-0705- 0005-0011
-	材/板材片	KB 5 3号溝 (C-1 G No66)	長さ(7.0)/幅(3.3)/ 厚さ1.0		含水率高く劣化進行中	661-0705- 0005-0007
-	材/板材片	KB 5 3号溝 (C-1 G No82)	長さ(8.5)/幅(2.5)/ 厚さ0.6			661-0705- 0005-0013
-	材/板材片	KB 5 3号溝(C-1 G)	長さ(13.0)/幅(6.9)/ 厚さ1.8		含水率高く劣化進行中	661-0705- 0005-0019
-	材/板材片	KB 5 3号溝(C-1 G)	長さ(13.0)/幅(6.2)/ 厚さ2.0	桶-底板の可能性あり	含水率高く劣化進行中	661-0705- 0005-0020
-	材/板材片	KB 5 3号溝(C-1 G)	長さ(12.8)/幅(4.8)/ 厚さ1.8		含水率が高く取り扱い困難	661-0705- 0005-0021
-	材/板材片	KB 5 2号溝	長さ(5.8)/幅(4.0)/ 厚さ1.0		破片化。その中の1点のみ計測	661-0705- 0005-0002
-	材/板材	第26次 1号井戸	長さ(11.8)/幅(6.0)/ 厚さ0.5	板目取り	含水率高く劣化進行中・ぼろぼろ	661-0704- 0026-0001
-	材/板材片	第26次 1号井戸	長さ(15.9)/幅(2.8)/ 厚さ0.5	板目取り		661-0704- 0026-0002
-	材/加工木	KB 5 3号溝 (C-1 G No90,91)	長さ(39.0)/径1.3	先端を斜めに加工。 全体に面取り。枝が残る	用途は不明	661-0705- 0005-0015
-	材/木片	KB 5 3号溝 (C-1 G No69)	長さ(10.5)/幅(4.2)/ 厚さ1.6		含水率高く劣化進行中	661-0705- 0005-0009
-	材/木片	KB 5 3号溝 (C-1 G No80)	長さ(9.6)/幅(4.6)/ 厚さ2.5		含水率高く破片化。その中の1点のみ計測	661-0705- 0005-0011
-	材/木片	KB 5 3号溝(C-1 G)	長さ(7.1)/幅(5.4)/ 厚さ1.2			661-0705- 0005-0016
-	材/木片	KB 4 22号井戸	長さ(4.2)/幅(1.0)/ 厚さ0.1	非常に薄い。一部炭化	破片化していた中の一点のみ計測	661-0705- 0004-0012
-	炭化木片	KB 5 3号溝 (C-1 G No61)	長さ(10.5)/幅(5.6)/ 厚さ0.6	炭化。形状の詳細は不明		661-0705- 0005-0004
-	木片	KB 5 2号溝	長さ(9.0)/幅(4.3) 厚さ2.5	片面炭化。形状の詳細は不明		661-0705- 0005-0001
-	竹	KB 4 17号井戸	長さ(9.4)/径1.7	加工痕は特になし	劣化が進み崩壊。用途不明	661-0705- 0004-0009
-	竹	KB 4 64号土壌 (F-6 G No778)	長さ(15.1)/径1.6	加工痕は特になし	劣化が進み崩壊。用途不明	661-0705- 0004-0026
-	竹片	KB 4 64号土壌 (F-6 G No777)	長さ(7.7)/径2.7	加工痕は特になし	破片化し、崩壊。用途不明	661-0705- 0004-0025
-	種子	KB 5 3号溝	未計測	詳細不明		661-0705- 0005-0017
-	クリのイガカ	KB 5 3号溝	未計測	詳細不明		661-0705- 0005-0018
-	葉	KB 4 55号土壌	計測出来ず	詳細不明	粉碎状態	661-0705- 0004-0020
-	貝	KB 4 55号土壌	長さ2.8/幅0.65	巻き貝	詳細不明	661-0705- 0004-0019
-	貝	KB 4 56号土壌 (1トレンチ内)	長さ(5.7)/幅(3.7)/ 厚さ0.6	巻き貝	詳細不明	661-0705- 0004-0023

第32表 木製品一覧表 3

(2) 自然科学分析 パリノサーヴェイ(株)

1. 試料

分析した試料はKB4・5区出土の木製品6点である。詳細は第33表に樹種同定結果と共に記載した。

2. 方法

剃刀の刃を用いて木口(横断面)・柾目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の徒手切断を作成し、ガム・クロラル(抱水クロラル、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で封入し、プレパラートを作製する。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で観察、同定する。

3. 結果

樹種同定の結果を第33表に示す。KB4・5区の木製品は針葉樹2種類(ヒノキ・スギ)、広葉樹2種類(ウツギ属・クリ)に分類された。主な解剖学的特徴を以下に記す。

ヒノキ (*chamaecyparis obtusa*) (Sieb.et Zucc.)
Endlicher) ヒノキ科ヒノキ属

仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞が晩材部付近に認められるが、顕著ではない。放射組織は柔細胞壁のみで構成され、柔細胞壁は滑らか。分野壁孔はヒノキ型～トウヒ型で、1分野に1～3個。放射組織は単列、1～15細胞高。

ウツギ (*Deutzia*) ユキノシタ科

散孔材で、小径の道管がほぼ単独で散在する。道管は階段穿孔を有する。放射組織は大型の異性で、1～4細胞幅、鞘細胞が認められる。

クリ (*Castanea crenata* Sieb.et Zucc.)

環孔材、孔圏部は1～2列、孔圏外でやや緩やかに管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～15細胞高。

騎西城武家屋敷跡出土の木製品樹種同定結果

試料 No	遺物名	樹種	遺物 ID
1	座繰部材か	ヒノキ	661-0705-0004-0004
2	箸	ウツギ属	661-0705-0004-0007
3	小柄-柄	木製品+鉄(樹種は採取できず不明)	661-0705-0004-0008
4	陽物形製品	ヒノキ	661-0705-0004-0013
5	曲物	スギ	661-0705-0004-0017
6	白木椀	クリ	661-0705-0005-0024

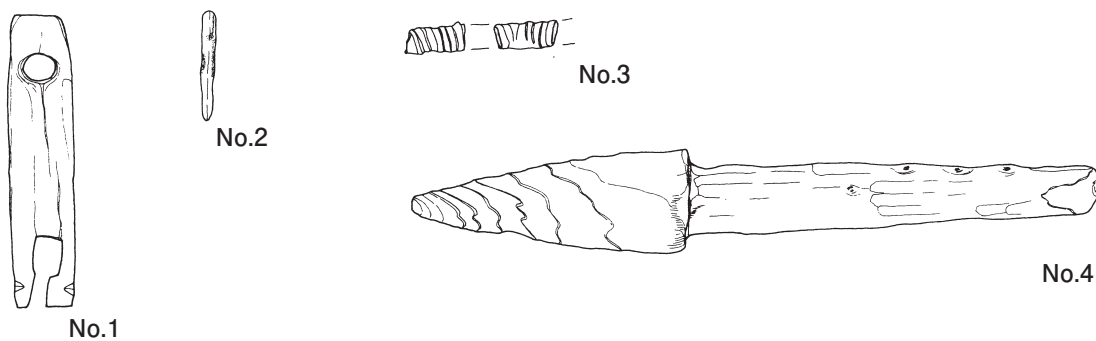
第33表 木製品一覧表 4



ウツギ属 (試料No2)

a: 木口, b: 柃目, c: 板目

200 μ m: a
200 μ m: b, c

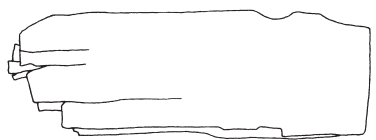


No.1

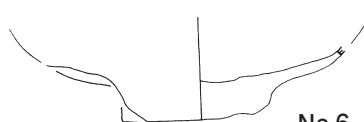
No.2

No.3

No.4



No.5



No.6

(S=1/3)

第71図 木製品5

第3節 金属製品

金属製品は鉄製品と銅製品がある。それぞれ用途別に記述するが、銭貨は別に扱う。

(1) 鉄製品

○生活に関するもの

衣・化粧の毛抜き(1)は先端が幅狭形でつまみ部分が屈曲する。片側1/2程遺存する。

2は2つの部品が組み合わされ継手状になる。

灯りの火打金(4~7)は山形に分類され、全形がほぼ三角形である。4は厚さ3mmで小型ながら遺存状況は良い。5の頂部には孔を有する。

住の釘(8~13)は断面角形のものを選んだ。8は頭部が無く、10は上端を潰した後折り曲げて頭部を形成している。

調理の刀子(15~18)で小型のもの(15~17)と大型のもの(18)の別がある。16は切っ先で先端が鋭く小柄の可能性はある。18は先端と茎を欠損しているが刃渡り19cmである。

○いくさに関するもの

小柄(19)は刀身部のみで茎を欠損しているがほぼ遺存する。

筭?(20)は上半部で耳かき部を一部残す。鉄製は本遺跡唯一である。

小札(21~23)は22のみ完形。威し孔2列で小型。22は幅狭で頭部が斜めである。23は2列に並んだ6穴が確認できる。断面弧状である。いずれもKB4北側に分布していた。

弾丸(24)は、直径2.2cmで大型である。

鉄鎌(25~28)は多様な形態で、25は鎌身が方形で先端が尖る。26は扁平で先端がやや鈍角である。28は雁股である。

(2) 銅製品

○生活に関するもの

鋌(38)には鉄が付着している。割足(39)は小さい。端金物(40)は内径5mmの小さなもので筒状で片側が閉じている。飾り金具(41・42)は同一個体と思われ透かし整形で、笹の葉に露か。釘(43

~45)は断面円形(43・44)と方形(45)があり、43は頭部を折り曲げ成形する。

嗜好・遊びの煙管(46~74)は雁首と吸口がある。雁首は火皿・首の形態が個体ごとに異なるが、大略46~48・50・56・57・69は首が細長く、52・53・64~67は短いものと思われる。火皿に刻目(49)・沈線(58)、小口側が有段や櫛目条線(52・62・64・67)が施される。66は小口が極端に膨らむ(現用水出土—新しい?)。吸口は73が地金が厚く(0.08mm)丁寧に作られている。

○いくさに関するもの

柄頭(75)は側面に固定用の穿孔を有し内面に2条のタガネ痕が横位に並行する。縁金具(76)は周縁が剥落している。切羽(77)は刀身挿入孔の縁がやや厚くなる。78は鍔状であるが薄く外側片面に銀箔が貼られている?。刀装具としておく。

弾丸(79~90)は各所で出土し、79は両側面が平坦で俵状。80は中央に平坦面が巡り発射時の擦痕か。81・83・88・90は中央にずれによる鑄型合わせ目の稜が、81はバリが残り整形が粗雑である。82・85は多面体。84亀裂。鉛製は80・88・89で他は銅製。

91は弾金(はじきがね)か。火縄銃のからくりの一部で火挟火皿に打ちつけるためのバネである。毛抜きバネともいい、本来はU字状であったと思われる。頭部に固定用の穴がある。

94は口金で中央に身が出る円形の穴が両脇に固定の為の小穴が2箇所ある。

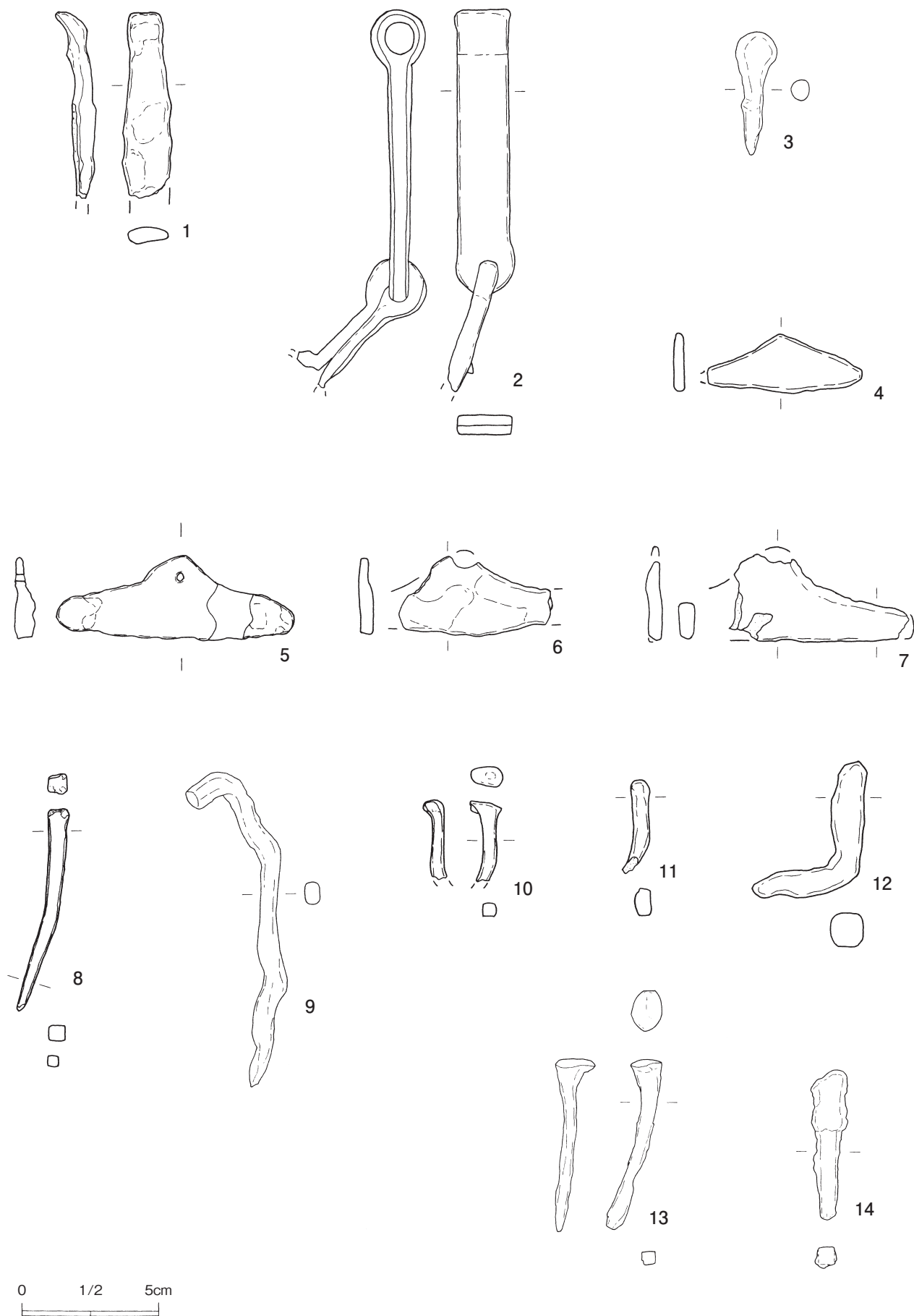
小柄(95~97)は3点ある。95は折り曲がり、銅製の柄部と鉄製も茎部からなる。片面に不規則な間隔で並行する沈線が刻まれる。96は柄部と刀身部が残る。柄上部中央あたりがへこむ。片面に銀により「円形」「桐状」の文様を描く。97は小柄柄部で、裏面は欠損し鉄の棒に銅板を巻いているのが観察できる。

○ほか

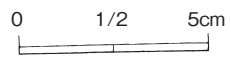
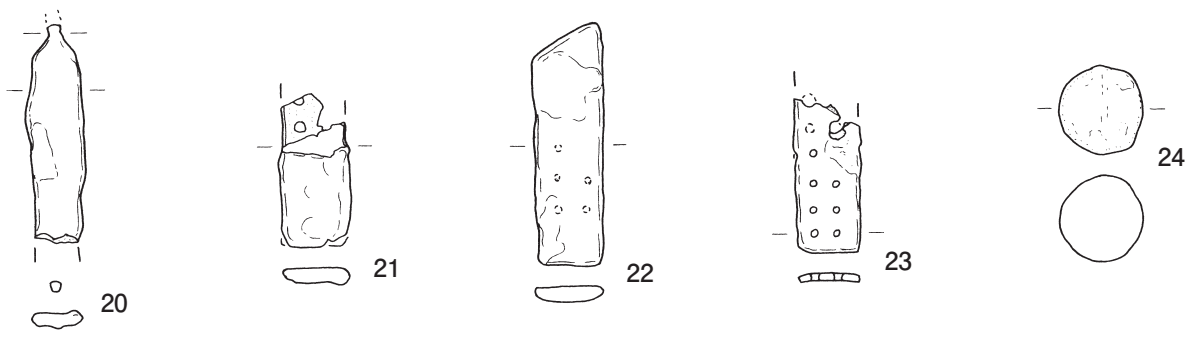
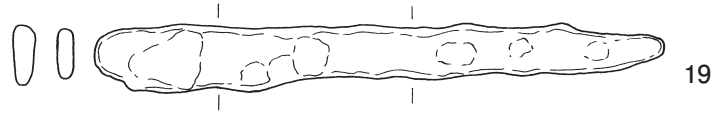
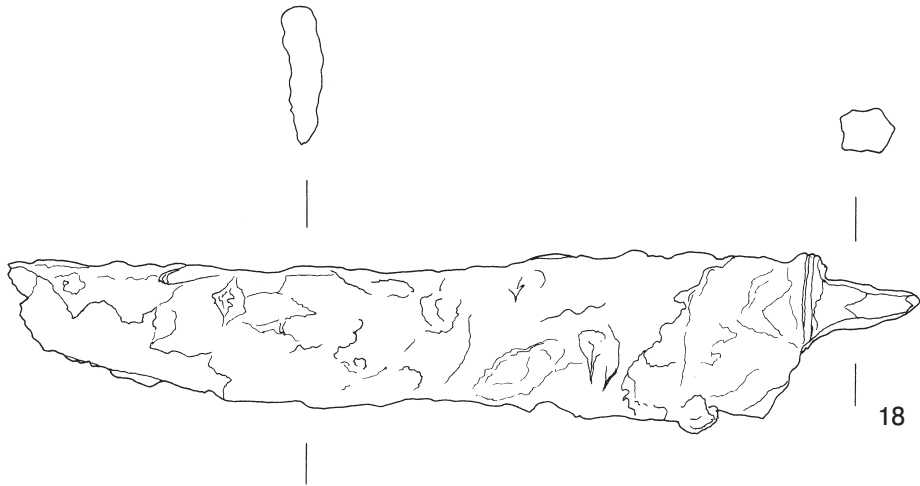
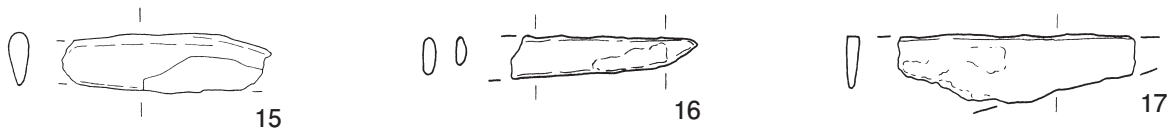
98は板状製品で金箔が貼られている。99は本来は、薄い板を透かし彫りにし、断面方形の軸に巻きつけ抜けたものである。表面に金箔が残る。

(3) 銭貨

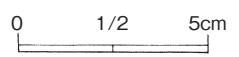
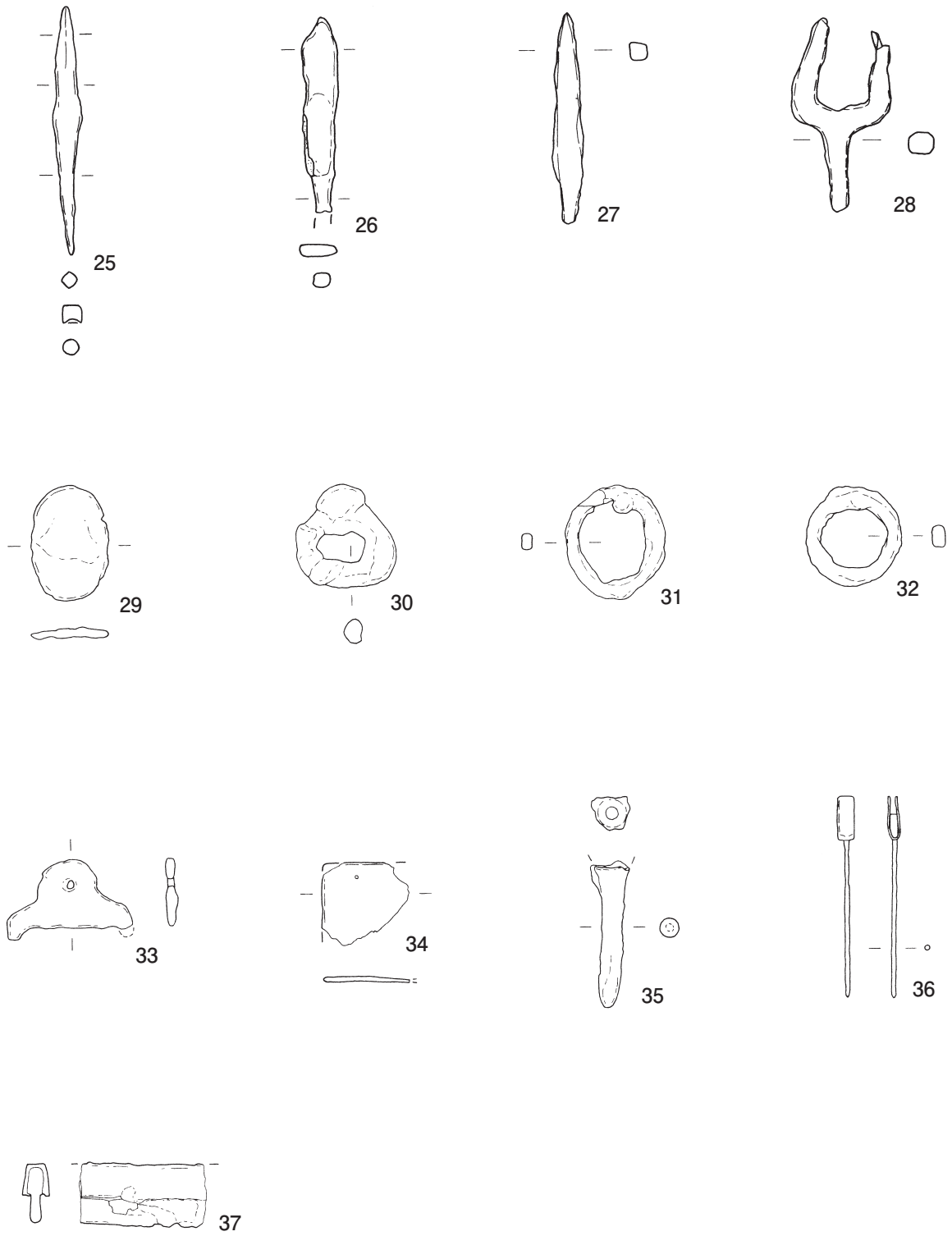
総数86枚が確認されている。うち近世の寛永通宝



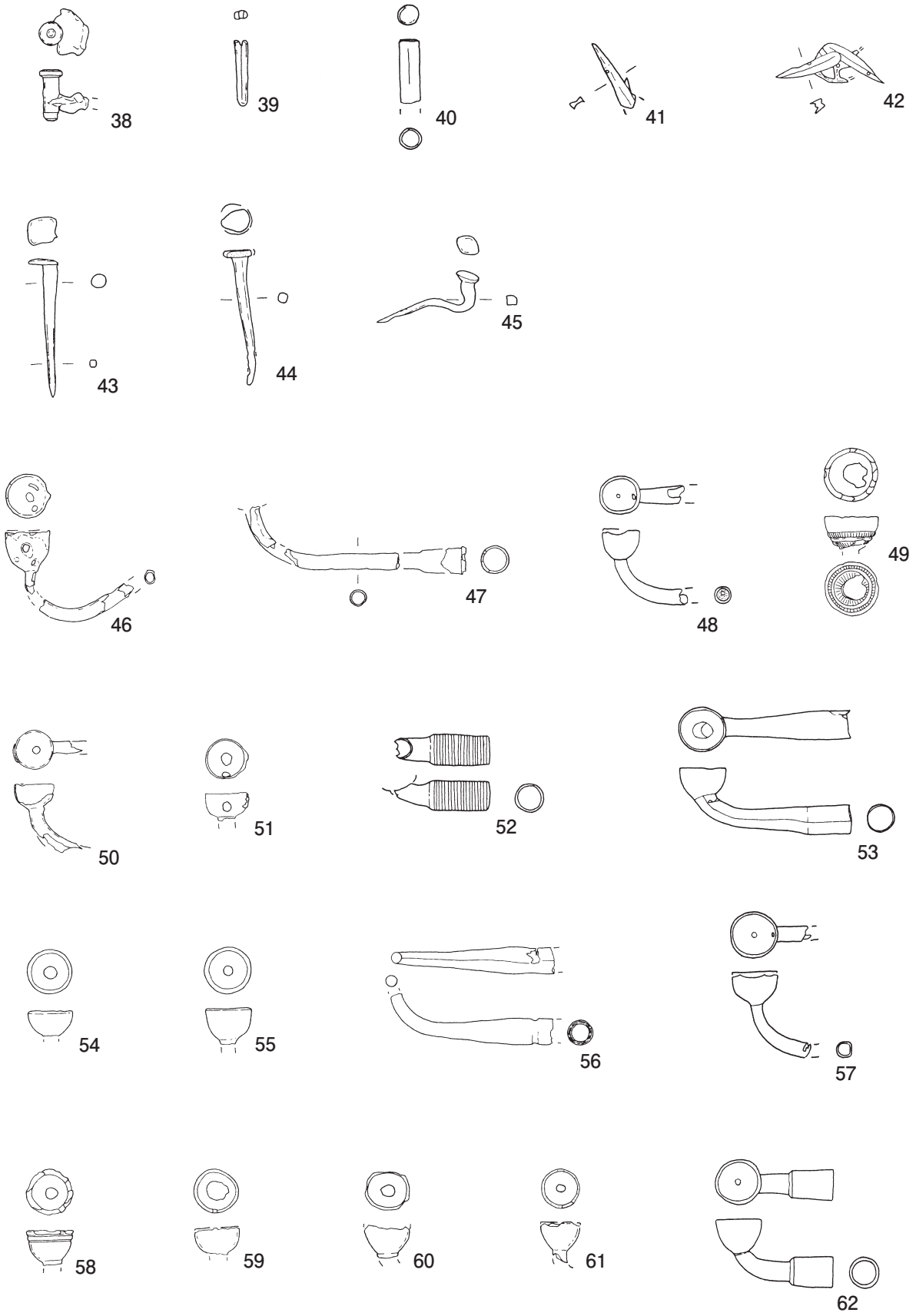
第72図 金属製品1 (鉄1)



第73図 金属製品2 (鉄2)

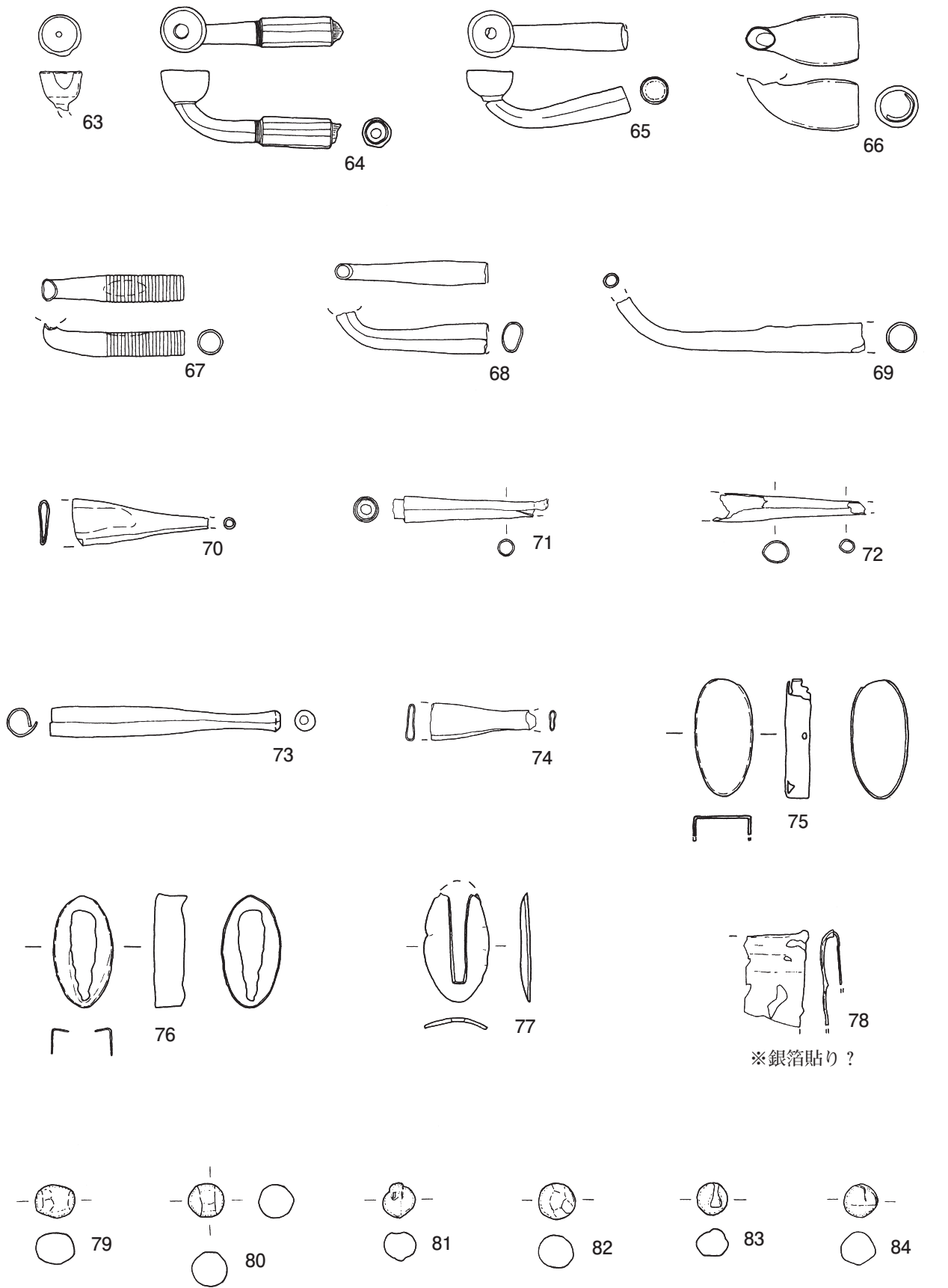


第74図 金属製品3 (鉄3)



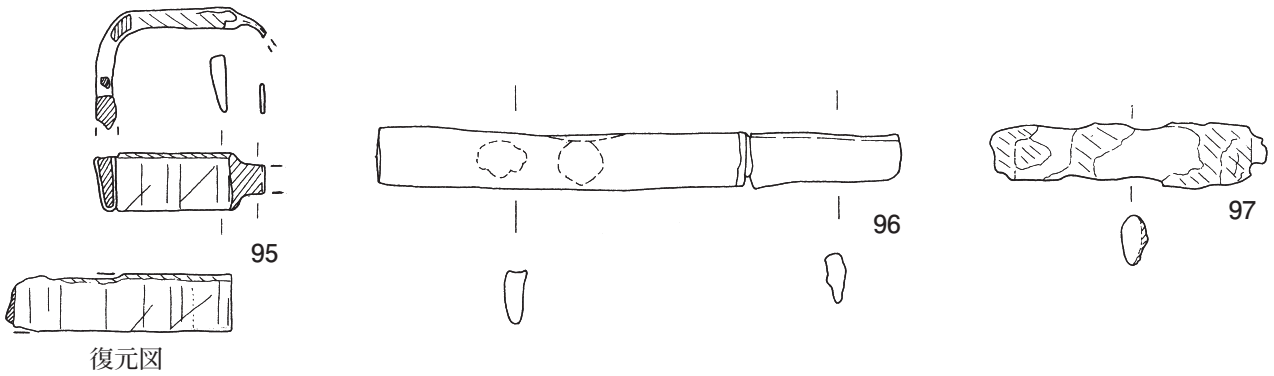
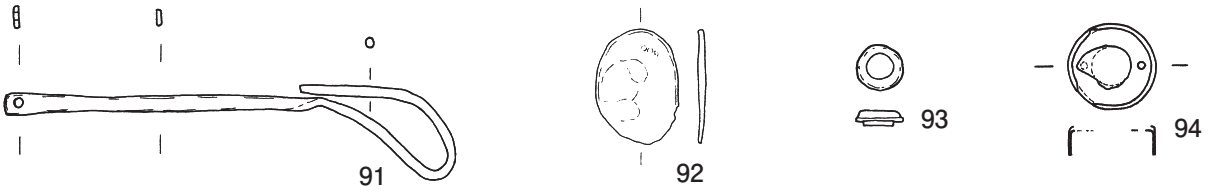
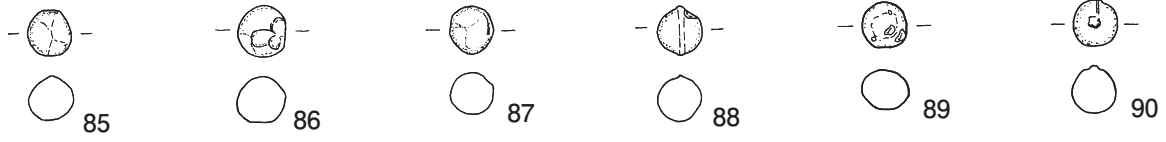
0 1/2 5cm

第75図 金属製品4 (銅1)

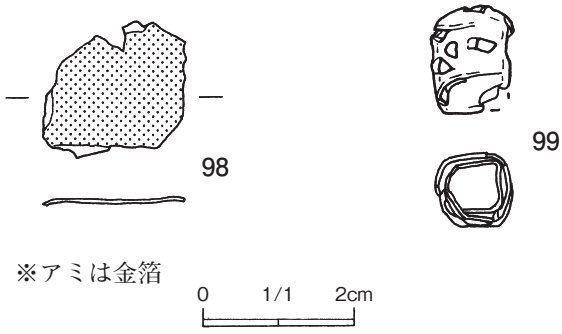


0 1/2 5cm

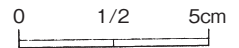
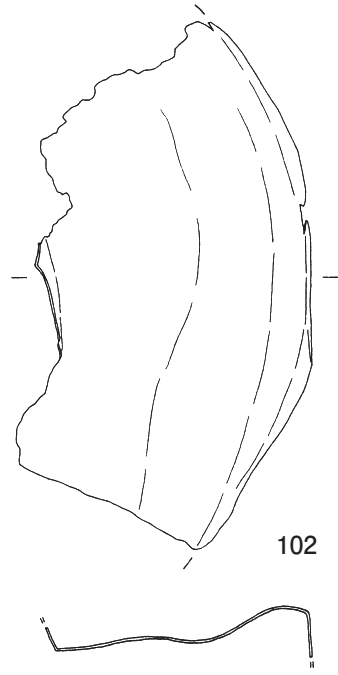
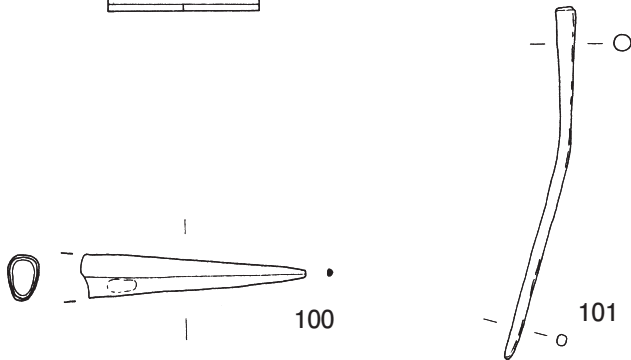
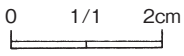
第76図 金属製品5 (銅2)



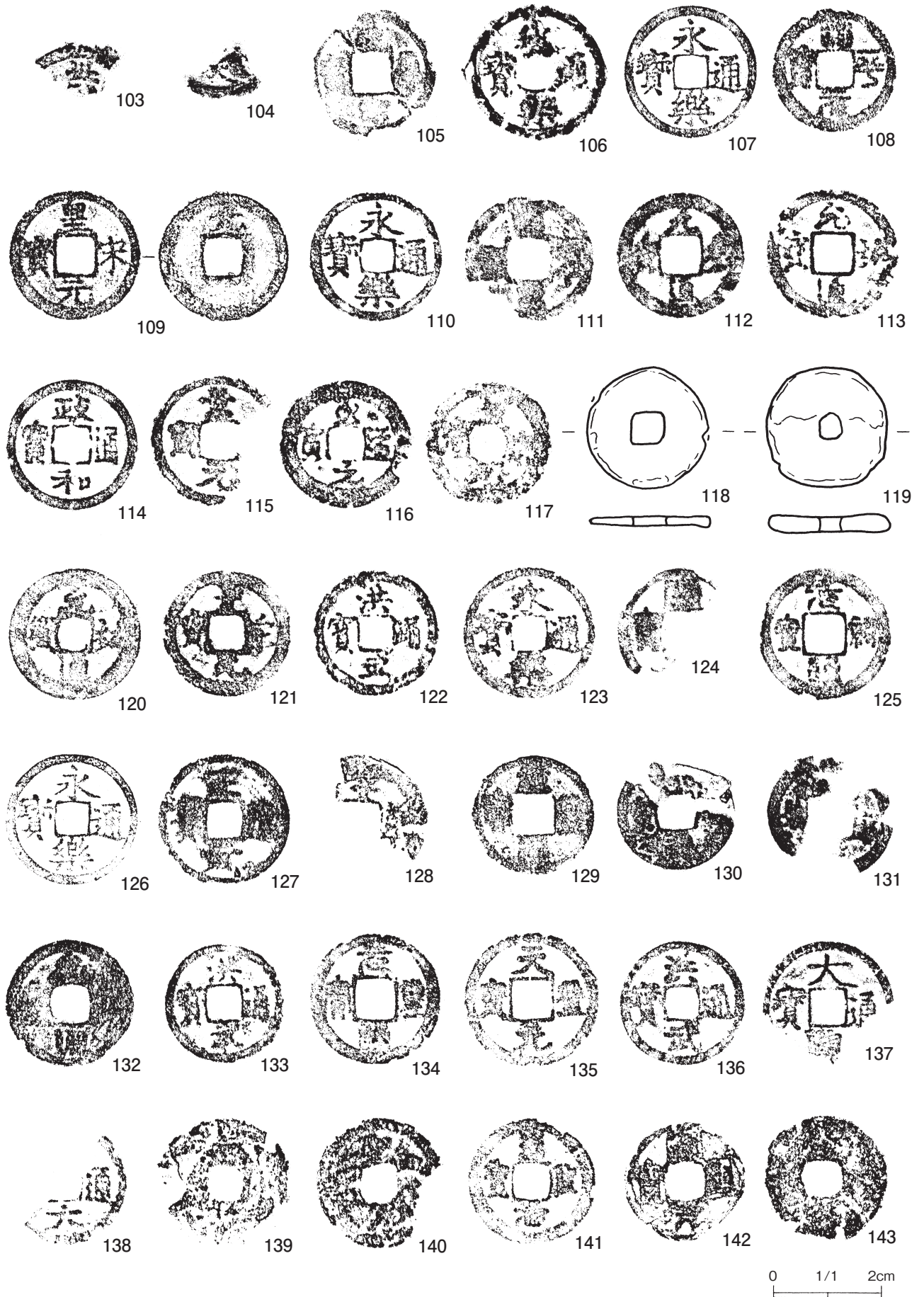
復元図



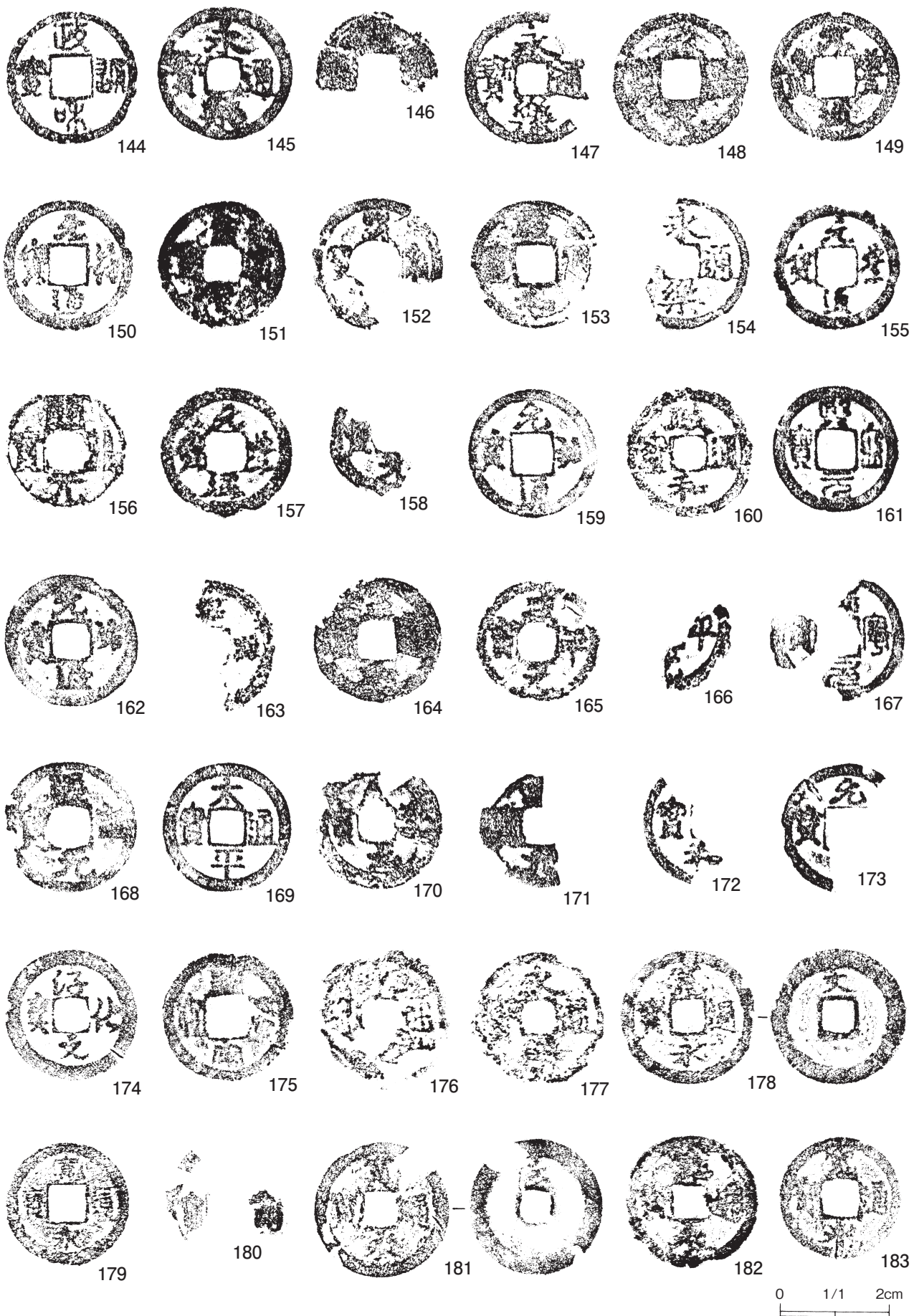
※アミは金箔



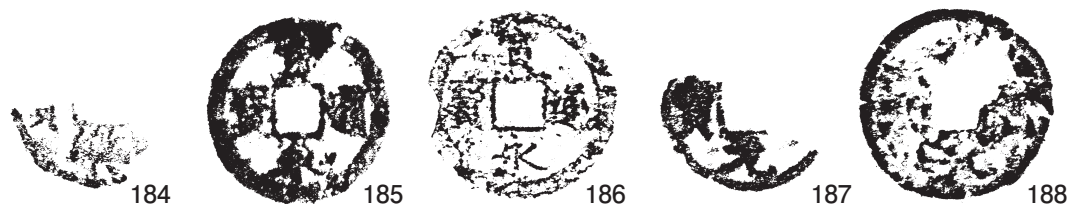
第77図 金属製品6 (銅3)



第78図 金属製品7 (錢貨1)



第79図 金属製品8 (錢貨2)



第80図 金属製品9 (銭貨3)

() は残存値

法量の単位は cm

図 No.	遺物名	材質	調査区	出土地点	口径 (長さ)	底径(幅)	器高 (厚さ)	遺物 ID 1	遺物 ID 2	備考
1	毛抜き	鉄	KB04	G-8 GNo. 65	(6.5)	1.7	0.3	0004-0031		
2	継手状金具	鉄	KB04	2 溝	14.0	1.7	-	0004-0001		
3	壺金?	鉄	KB04	1 壙 F-6 GNo. 298	4.4	0.6	-	0004-0007		
4	火打金	鉄	KB04	1 壙 F-6 GNo. 373	5.5	-	0.3	0004-0009		
5	火打金	鉄	KB04	69 壙 H-10GNo. 31	8.8	3.0	0.3	0004-0024	町金29	
6	火打金	鉄	KB04	F-6 GNo. 500	(5.5)	2.8	0.5	0004-0028		
7	火打金	鉄	KB04	G-8 GNo. 67	(6.0)	3.2	0.4	0004-0032		
8	釘(角)	鉄	KB04	56 壙 1 T	7.3	0.6	-	0004-0022		
9	釘状製品(角)	鉄	KB04	H-9 GNo. 15	11.7	0.7	-	0004-0040		
10	釘(角)	鉄	KB05	D-3 GNo. 62	(2.3)	1.2	0.4	0005-0003		
11	釘(角)	鉄	KB05	14 壙 D-3 GNo. 74	(3.2)	0.7	-	0005-0004		
12	釘(角)	鉄	第15次	5 井	(4.7)	1.0	-	0015-0004		
13	釘(角)	鉄	第15次	B 区	6.4	1.0	0.4	0015-0007		
14	棒状製品	鉄	第15次	5 井	5.5	0.7	-	0015-0005		
15	刀子状製品	鉄	KB04	20 壙 H-8 GNo. 114	(5.5)	1.6	0.5	0004-0018		
16	刀子(切先)	鉄	KB04	43 壙 H-9 GNo. 233	(5.3)	1.0	-	0004-0020		
17	刀子	鉄	KB05	14 壙 D-3 GNo. 81	(5.5)	1.5	0.3	0005-0005		
18	小刀	鉄	第26次	CT No. 30-1	(12.2)	2.2	0.4	0026-0001	町金45	
19	小柄(刀身)	鉄	KB04	4 T F-6 GNo. 227	14.9	1.5	0.5	0004-0026		55・56 壙か
20	筭?	鉄	KB04	1 壙 F-6 GNo. 701	(5.7)	1.5	0.3	0004-0014		
21	小札	鉄	KB04	42 壙 H-9 GNo. 222	(3.0)	2.0	-	0004-0019		
22	小札	鉄	KB04	H-8 GNo. 61	6.5	2.0	0.6	0004-0036		
23	小札	鉄	KB04	H-10G	4.0	1.6	0.15	0004-0046		
24	弾丸	鉄	KB04	1 壙 F-6 GNo. 281	2.2	-	-	0004-0006	町金33	重さ 27.1g
25	鉄鏃	鉄	KB04	3 溝 F-5 GNo. 100	8.0	-	-	0004-0002		
26	鉄鏃	鉄	KB04	No. 19P	6.0	1.1	-	0004-0025		
27	鉄鏃	鉄	KB05	8 溝	6.9	0.6	-	0005-0002	町金17	
28	鉄鏃(雁股)	鉄	KB04	H-9 GNo. 12	6.2	3.2	0.8	0004-0039	町金23	
29	楕円形製品	鉄	KB04	H-9 GNo. 74	3.6	2.5	0.15	0004-0042		
30	環状製品	鉄	KB04	1 壙 F-6 GNo. 206	3.3	-	0.6	0004-0005		
31	環状製品	鉄	KB04	1 壙 F-6 GNo. 536	3.2	-	0.5	0004-0011		
32	環状製品	鉄	KB04	G-10GNo. 117	3.0	-	0.6	0004-0034		
33	柄状製品	鉄	KB04	H-8 G	4.0	2.1	0.2	0004-0037		
34	小札状製品	鉄	KB04	1 壙 F-5 GNo. 269	(2.8)	(2.6)	0.1	0004-0004		
35	棒状製品	鉄	KB04	F-6 GNo. 42	4.5	0.7	-	0004-0027		中空
36	題せん扶み状製品	鉄	KB04	一括	5.7	0.55	-	0004-0053		
37	鉄着せ製品	鉄	第15次	5 井	(4.5)	2.3	0.7	0015-0003		
38	鋌	銅	KB05	1 溝 C-3 GNo. 3	1.7	0.8	-	0005-0001		鉄部分欠損
39	割足	銅	KB05	一括	2.2	-	-	0005-0024		
40	端金物	銅	KB04	I-9 GNo. 3	2.1	0.7	-	0004-0033		
41	飾り金具	銅	KB04	拡張 G-9 GNo. 110	2.6	0.8	0.2	0004-0029		表面剥落
42	飾り金具	銅	KB04	拡張 G-9 GNo. 110	4.0	1.7	0.2	0004-0030		表面剥落

第34表 金属類一覧表 1

が7点、他は中世以前の渡来銭である。109の皇
宋元宝は「元」の背文がある。

寛永通宝は新があり、KB5区2溝・3溝と第15
次で出土している。178・181は「文」の背文がある。

118・119は鉄銭で、銭名は判読不能。182も鉄銭
で寛永通宝。

出土状況は、KB4区の1壙や北側のH-G-8グ
リッドなどでやや多く出土する。

() は残存値

法量の単位は cm

図 No.	遺物名	材質	調査区	出土地点	口径 (長さ)	底径(幅)	器高 (厚さ)	遺物 ID 1	遺物 ID 2	備考
43	釘	銅	KB04	1 壙 F-5 GNo. 249	4.7	1.1	0.4	0004-0011		表面剥落
44	釘	銅	KB04	一括	4.7	0.4	-	0004-0049		
45	釘	銅	KB04	一括	3.4	0.3	-	0004-0043		表面剥落
46	煙管(雁首)	銅	KB04	7 井 G-7 GNo. 12	(3.3)	1.5	-	0004-0004		
47	煙管(雁首)	銅	KB04	1 壙 F-5 GNo. 55	(4.0)	0.5	-	0004-0007		
48	煙管(雁首)	銅	KB04	1 壙 F-5 GNo. 60	(3.1)	1.3	2.5	0004-0008		
49	煙管(雁首)	銅	KB04	1 壙 F-5 GNo. 105	-	1.9	-	0004-0010		
50	煙管(雁首)	銅	KB04	1 壙 F-5 GNo. 375	(2.3)	1.4	2.5	0004-0012		
51	煙管(雁首)	銅	KB04	1 壙 F-6 GNo. 284	-	1.4	-	0004-0013		
52	煙管(雁首)	銅	KB04	1 壙 F-6 GNo. 373	(3.4)	1.0	-	0004-0014		
53	煙管(雁首)	銅	KB04	E-4 GNo. 1	4.9	1.6	2.5	0004-0020	町金73	表面剥落
54	煙管(雁首)	銅	KB04	E-5 GNo. 2	-	1.6	-	0004-0021		
55	煙管(雁首)	銅	KB04	F-6 GNo. 35	-	1.6	-	0004-0022		
56	煙管(雁首)	銅	KB04	5 トレ F-6 GNo. 119	5.9	1.0	-	0004-0024		
57	煙管(雁首)	銅	KB04	拡張 G-9 GNo. 98	(3.0)	1.5	2.5	0004-0031		表面剥落
58	煙管(雁首)	銅	KB04	一括	-	1.6	-	0004-0041		
59	煙管(雁首)	銅	KB04	一括	-	1.6	-	0004-0044		
60	煙管(雁首)	銅	KB05	14 壙 D-3 GNo. 85	-	1.4	-	0005-0011		
61	煙管(雁首)	銅	KB05	2 溝 B-2 GNo. 59	1.4	-	-	0005-0006		
62	煙管(雁首)	銅	KB05	17 壙 D-2 GNo. 48	4.2	1.5	-	0005-0012		
63	煙管(雁首)	銅	KB05	C-1 GNo. 100	-	1.5	-	0005-0013		
64	煙管(雁首)	銅	KB05	D-3 GNo. 126	6.4	1.7	2.7	0005-0016	町金74	表面剥落
65	煙管(雁首)	銅	KB05	6 溝 D-4 GNo. 101	5.4	1.1	-	0005-0018		表面剥落
66	煙管(雁首)	銅	KB05	ナカ用水ギワ	(4.0)	1.2	-	0005-0020		表面剥落
67	煙管(雁首)	銅	KB05	一括	(4.9)	0.9	-	0005-0021		
68	煙管(雁首)	銅	KB05	一括	5.3	1.2	-	0005-0029		表面剥落
69	煙管(雁首)	銅	第15次	5 井 No. 5	(8.75)	1.1	1.75	0015-0001		
70	煙管(吸口)	銅	第15次	No. 20	4.8	1.6	-	0015-0002		
71	煙管(吸口)	銅	KB04	8 溝 G-10GNo. 119	5.1	0.9	-	0004-0003		
72	煙管(吸口)	銅	KB04	1 壙 F-5 GNo. 47	(5.4)	0.9	-	0004-0006		
73	煙管(吸口)	銅	KB04	東拡	8.2	0.7	-	0004-0035	町金76	
74	煙管(吸口)	銅	KB04	一括	(3.7)	0.4	-	0004-0045		表面剥落
75	柄頭	銅	KB04 ?	一括	4.1	2.0	0.8	0004-0053	町金03	鏽の可能性も。上端欠損。
76	縁	銅	KB04	65 壙 F-6 No. 723	3.9	2.2	0.9	0004-0019	町金02	
77	切羽	銅	KB04	G-8 GNo. 33	3.8	2.5	-	0004-0026		
78	刀装具 ?	銅	KB04	1 壙 F-5 GNo. 62	(2.8)	(2.3)	0.1	0004-0009		銀箔貼り ?
79	弾丸	銅	KB04	1 壙 F-5 GNo. 44	1.2	-	-	0004-0005		
80	弾丸	鉛	KB04	拡張 G-9 GNo. 85	1.2	-	-	0004-0028		
81	弾丸	銅	KB04	西拡	1.2	-	-	0004-0037		
82	弾丸	銅	KB04	一括	1.2	-	-	0004-0050		
83	弾丸	銅	KB04	一括	1.1	-	-	0004-0051		
84	弾丸	銅	KB04 ?	一括	1.2	-	-	0004-0054		
85	弾丸	銅	KB04 ?	一括	1.2	-	-	0004-0055		
86	弾丸	銅	KB04 ?	一括	1.3	-	-	0004-0056		
87	弾丸	銅	KB04 ?	一括	1.2	-	-	0004-0057		
88	弾丸	鉛	KB04 ?	一括	1.2	-	-	0004-0058		
89	弾丸	鉛	KB05	1 溝 No. 157	1.3	-	-	0005-0004		発錆 ?
90	弾丸	銅	KB05	3 溝 C-1 GNo. 28	1.2	-	-	0005-0009		表面剥落
91	弾金 ?	銅	KB05	一括	11.9	-	-	0005-0028	町金112	
92	楕円形板	銅	KB04	52 壙 F-6 GNo. 617	3.0	2.2	0.2	0004-0018		鏽の蓋板 ?
93	鳩目	銅	KB05	1 溝	1.2	-	-	0005-0005		表面剥落
94	口金	銅	第15次	一括	2.75	0.75	-	0015-0004	町金146	
95	小柄	銅	KB04	拡張 G-9 GNo. 143	4.8	1.4	0.4	0004-0032		
96	小柄	銅	KB05	2 溝 C-3 GNo. 92	13.8	1.5	-	0005-0007	町金08	銀装飾
97	小柄	銅	KB05	3 溝 B-2 GNo. 39	7.3	1.6	0.7	0005-0008		一部欠損
98	飾り金具	銅	KB04	52 壙 F-6 GNo. 609	(1.8)	(1.8)	-	0004-0017		金箔貼り
99	飾り金具	銅	KB05	1 溝 No. 149	1.5	1.2	-	0005-0003		
100	円錐状製品	銅	KB04	一括	5.8	1.2	-	0004-0046		
101	棒状製品	銅	KB05	C-3 GNo. 41	9.3	0.5	-	0005-0015		表面剥落
102	蓋状製品	銅	第26次	一括	13.9	7.2	-	0026-0001		

第35表 金属類一覧表 2

No.	調査区	出土地点	銭種(銭貨名は番号順)
103・104	KB04	2溝 E-5 G No. 17	洪武通宝、寛永通宝
105	KB04	5溝 F-8 G No. 32	皇宋通宝
106	KB04	13溝 G-10G No. 116	永樂通宝
107	KB04	6井	永樂通宝
108	KB04	9井 N-7 G No. 13	治平元宝
109	KB04	13井	皇宋元宝 背文「元」
110	KB04	13井 G-8 G No. 274	永樂通宝
111	KB04	1壙 F-5 G No. 11	熙寧元宝
112	KB04	1壙 F-5 G No. 61	元豐通宝
113・114	KB04	1壙 F-5 G No. 232	元祐通宝、政和通宝
115	KB04	1壙 F-5 G No. 398	景德元宝
116	KB04	1壙 F-6 G No. 515	至道元宝
117	KB04	1壙 F-6 G No. 675	聖宋元宝
118・119	KB04	1壙	不明2一鉄銭
120・121	KB04	21壙 G-8 G No. 296	元祐通宝、聖宋元宝
122	KB04	21壙 G-8 G No. 333	洪武通宝
123	KB04	42壙 H-9 G No. 221	永樂通宝
124	KB04	48壙 H-9 G No. 366	開元通宝
125	KB04	48壙 H-9 G No. 391	元祐通宝
126	KB04	48壙 H-9 G No. 392	永樂通宝
127	KB04	52壙 F-6 G No. 625	正隆元宝
128	KB04	55壙	不明
129~131	KB04	56壙 F-6 G No. 661	元豐通宝、不明2
132	KB04	70壙 G-9 G No. 184	元祐通宝
133	KB04	77壙 G-6 G No. 349	洪武通宝
134	KB04	F-5 G No. 30	元豐通宝
135	KB04	F-5 G No. 43	天聖元宝
136	KB04	F-6 G No. 113 2T	洪武通宝
137	KB04	F-6 G No. 412	大觀通宝
138	KB04	G-8 G No. 2	至大通宝
139	KB04	G-8 G No. 11	不明
140	KB04	G-8 G No. 13	聖宋元宝
141	KB04	G-8 G No. 23	紹聖元宝
142	KB04	G-8 G No. 25	開元通宝
143	KB04	G-8 G No. 26	不明
144	KB04	G-8 G No. 30	政和通宝
145	KB04	G-8 G No. 44	永樂通宝
146	KB04	G-8 G No. 84	不明
147	KB04	G-8 G No. 96	永樂通宝
148	KB04	G-9 G No. 19	天聖元宝
149	KB04	G-9 G No. 41	元豐通宝
150	KB04	G-9 G No. 50	元符通宝
151	KB04	G-10G No. 35	聖宋元宝
152	KB04	H-8 G No. 10	聖宋元宝
153	KB04	H-8 G No. 13	政和通宝
154	KB04	H-8 G No. 34	永樂通宝
155	KB04	H-8 G No. 45	元豐通宝
156	KB04	H-8 G No. 70	開元通宝
157	KB04	H-8 G No. 95	元豐通宝
158	KB04	H-9 G No. 23	不明
159	KB04	H-9 G No. 110	元祐通宝
160	KB04	H-10G No. 32	政和通宝
161	KB04	I-8 G No. 5	熙寧元宝
162	KB04	I-9 G No. 19	元祐通宝
163	KB04	東拡張	不明
164~173	KB04	一括	至和通宝、咸平元宝2、熙寧元宝2、太平通宝、至道元宝、不明3
174	KB05	1溝 No. 147	淳化元宝
175	KB05	1溝 No. 148	皇宋通宝
176・177	KB05	2溝 B-2 G No. 68	永樂通宝2
178	KB05	2溝 D-5 G No. 186	寛永通宝(新) 背文「文」
179	KB05	3溝 B-2 G No. 42	寛永通宝(新)
180	KB05	4溝 D-3 G No. 182	不明
181	KB05	17壙 D-2 G No. 32	寛永通宝(新) 背文「文」?
182~184	KB05	一括	寛永通宝一鉄銭、永樂通宝2
185	第15次	No. 3	寛永通宝(新)
186	第15次	No. 18	寛永通宝(新)
187	第15次	B区	不明
188	第26次	1壙 No. 18	永樂通宝

第36表 金属類一覧表3

第4節 石製品類

ここでは、成形したものを使用した石製品と使用による損耗形態を呈す石器を石製品として、墓標・供養塔である板碑・五輪等を石造物として扱う。

いずれの遺物も遺構出土があるが流れ込みであろう。

(1) 石製品

石臼は1～38で、茶臼と粉挽臼がある。茶臼は3・5・6・8・13・17～20・25・27・28・31で、6は下臼の全形が窺える。挽木の挿入口は3・20に見られるが、12・26は位置がやや高く貫通しており違和感を覚える。他の例(第5集)では2箇所の穿孔を数え他の機能を想定しなければならない。17の上には漆状の黒色皮膜が付着している。また、7・15・19・29・36にススや炭化物が付着するがいずれも破損後である。15の上下面には円錐状の穿孔があり作業の痕跡と見られる。

39～42は、扁平で丸く径1～2cmの黒～暗色の石で、基石としておく。

43は両側に溝を有し石錘のような形状である。軽石製。

砥石(44～81)は直方体を基本形とし、損耗により変形するものがある。泥岩質のものがほとんどである。77は欠損したものに砥面や抉りが見られる。78・79・81は緑泥石片岩を、80はデイサイト製で磨面を各所に有する。79は板碑の台石・80は五輪塔由来か。

磨石(82～127)は礫の原形が残る物が多く使用により形成された面が不規則に存在する。デイサイト製が多数を占める。名称が縄文時代のものを連想させるが砥石と区別するために分割しておく。

砥石・磨石共に金属を砥いだことによる線条痕を残すものが見られ、鎌や武器類などの刃物を対象としていたものであろう。

128～130は石英・チャートで擦痕・潰れが認められるもので火打石として扱った。判別は困難であるが火打金の出土例から当然存在するものとして想定しておくべきものである。

(2) 石造物

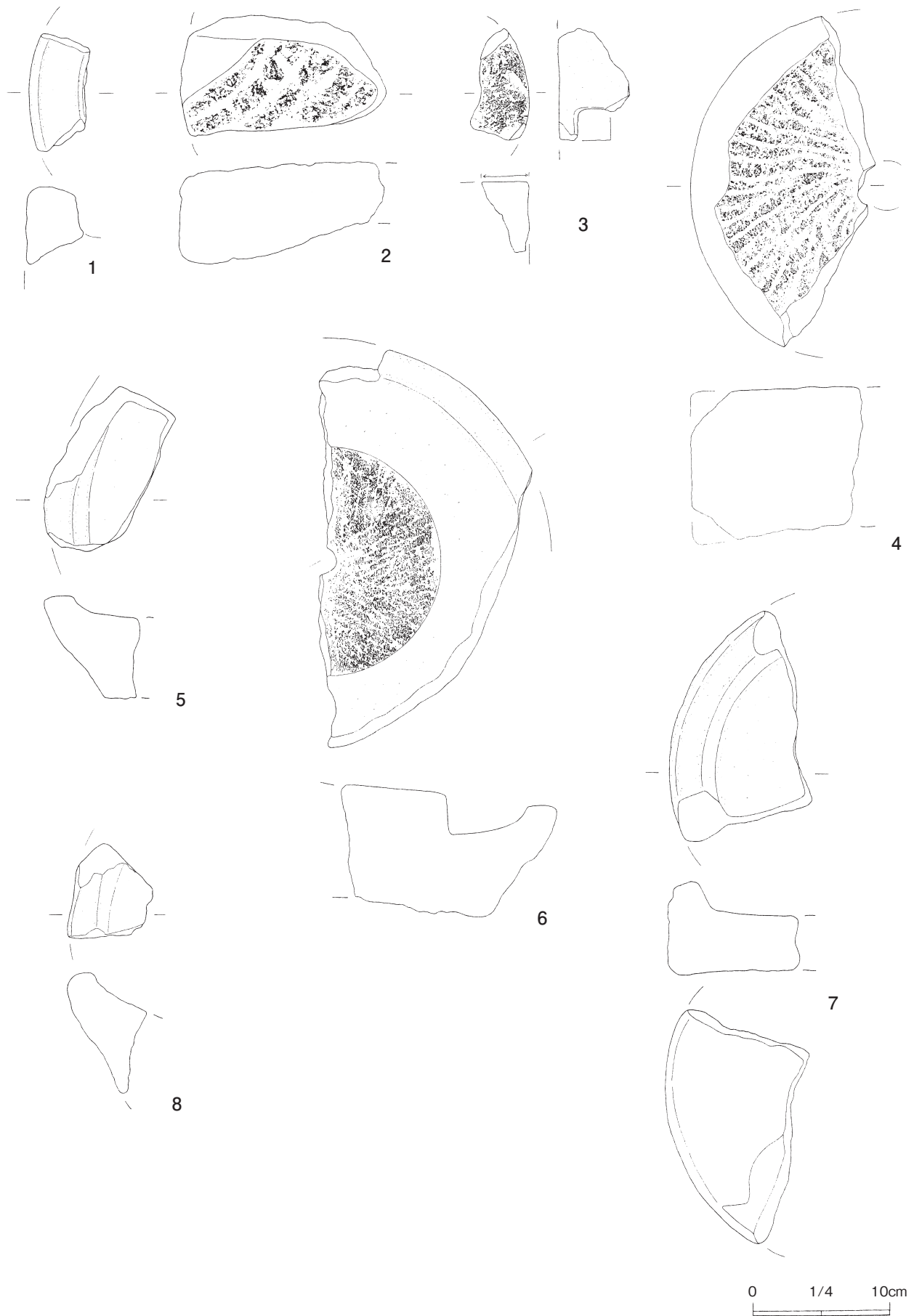
【板碑】板碑は34点を数えるが、略完形は26次1号井戸出土の159のみで、他は破片である。

○銘文など 年号がわかるものはない。134には五輪塔の水輪・地輪、136・141にキリク月輪、146には十郎二郎・十郎四郎・く郎五郎が彫られる。159はキリク・サ・サクの三尊が見られる。

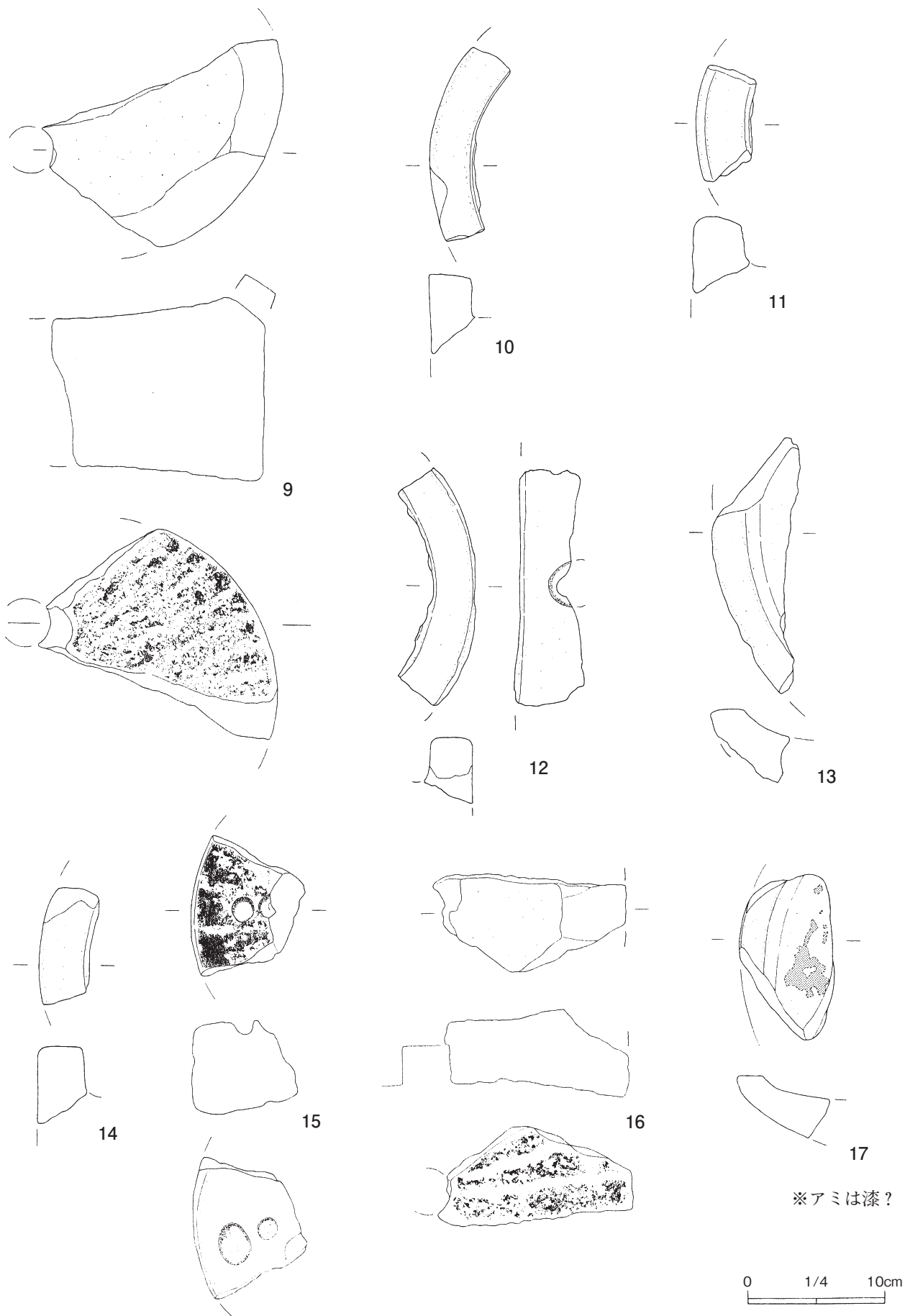
○使用痕 2次使用としては表面に摩耗痕・線条痕が認められるものがあり(140・146～148・150・156・159・164)、砥石として使用されたものであろう。また、下方両側縁に抉りが153に認められる。同様に使用によるものか。

○付着物 廃棄以降であろうか、スス・炭化物が付着・赤化するものが多数あり(132・135・142・144・145・147・148・151・152・159・164)、なんらかの焼却や戦乱時の燃焼に伴うものであろう。

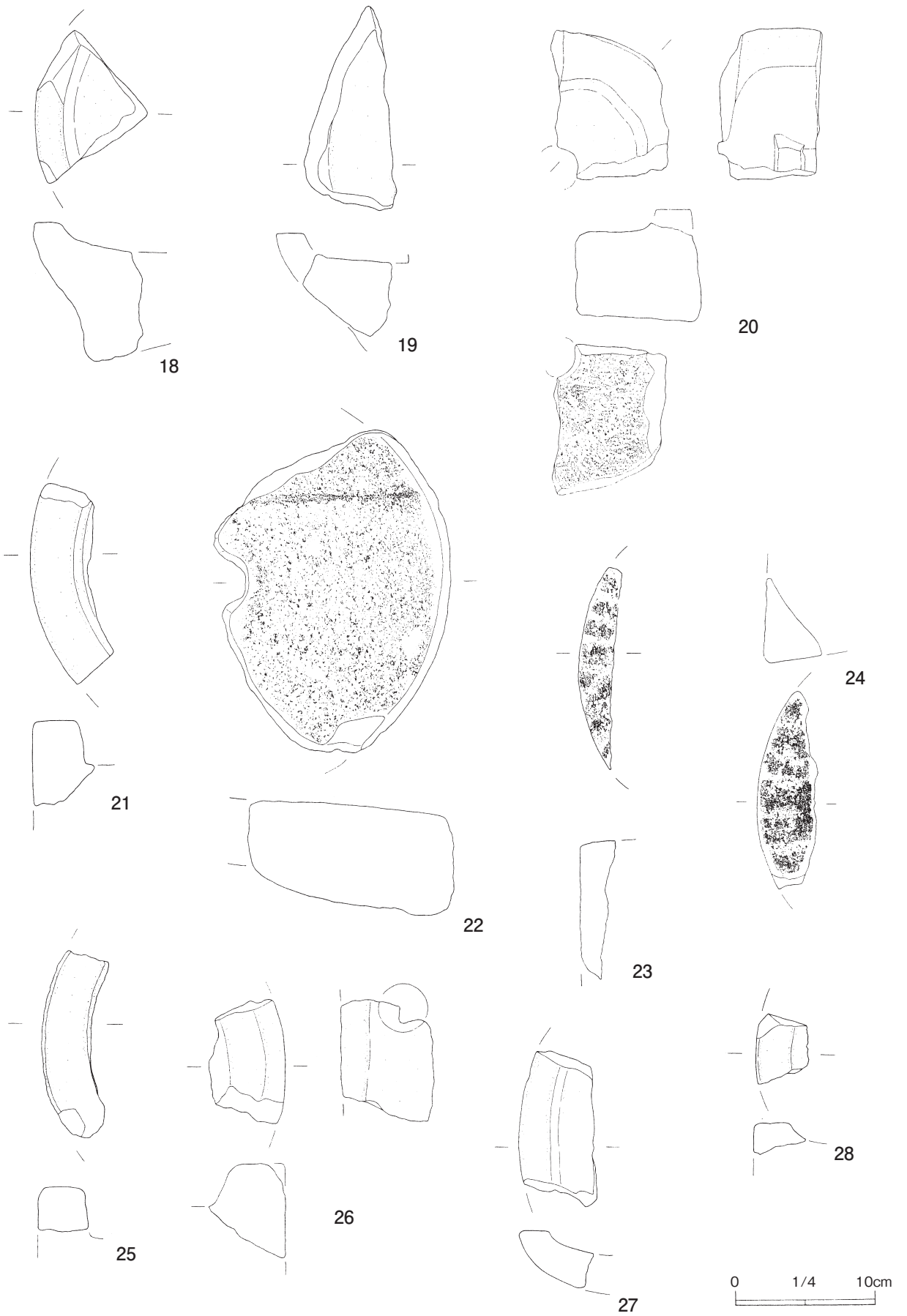
○台石 164は抉りを有し板碑の台石と思われるが表面全面と側・裏面に一部摩耗痕がある。



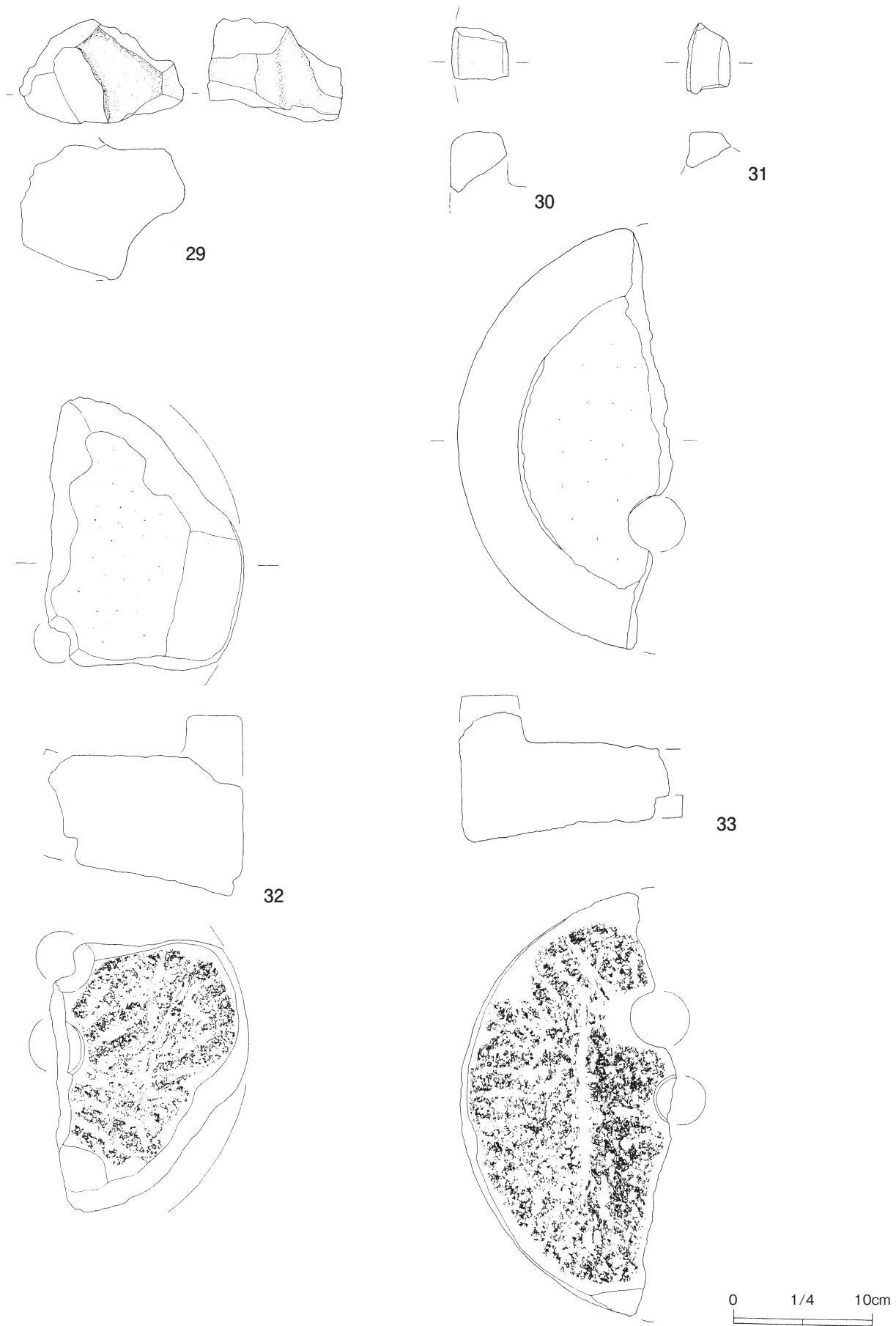
第81図 石製品1 (石白1)



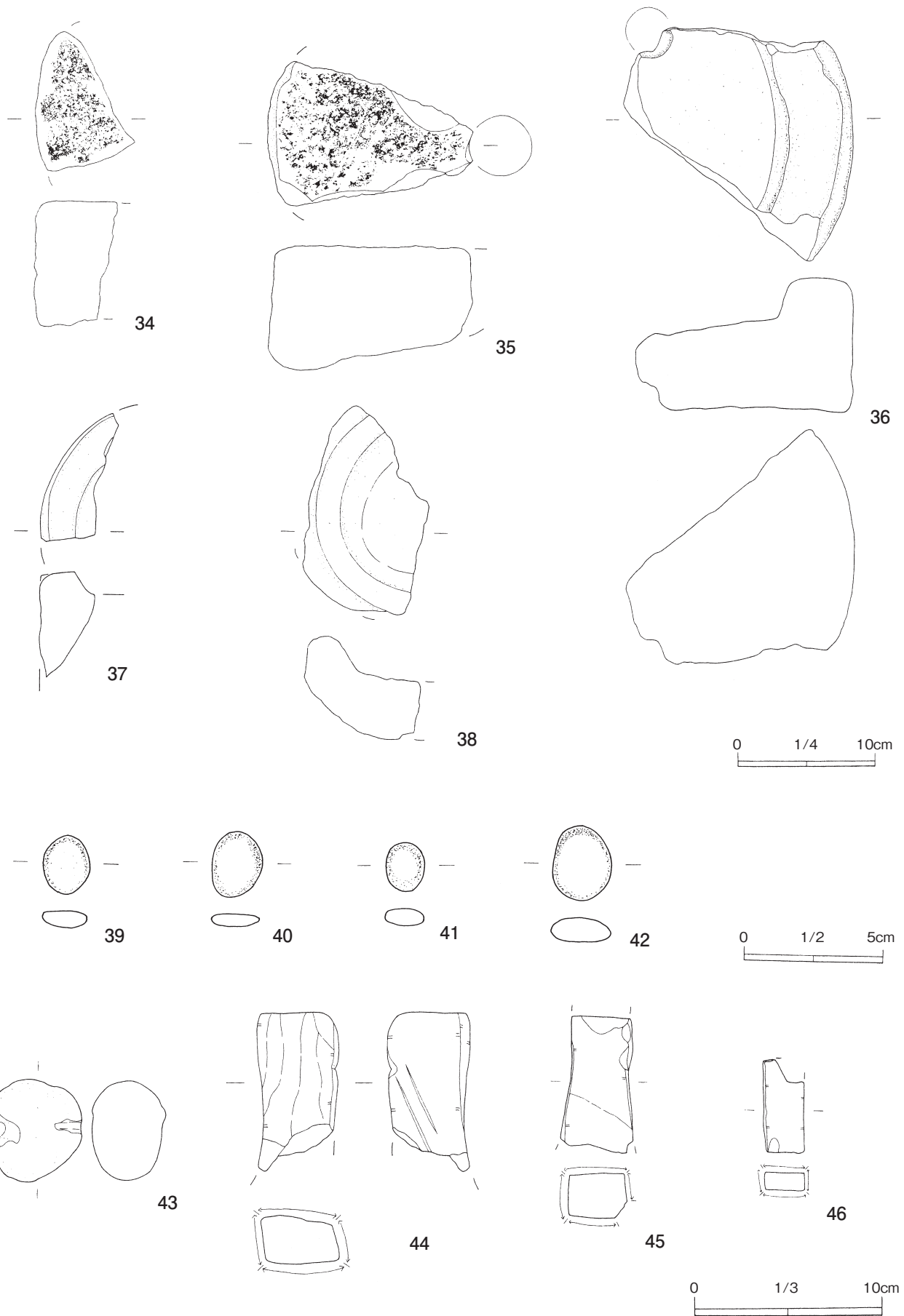
第82図 石製品2 (石臼2)



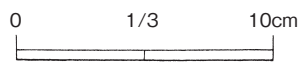
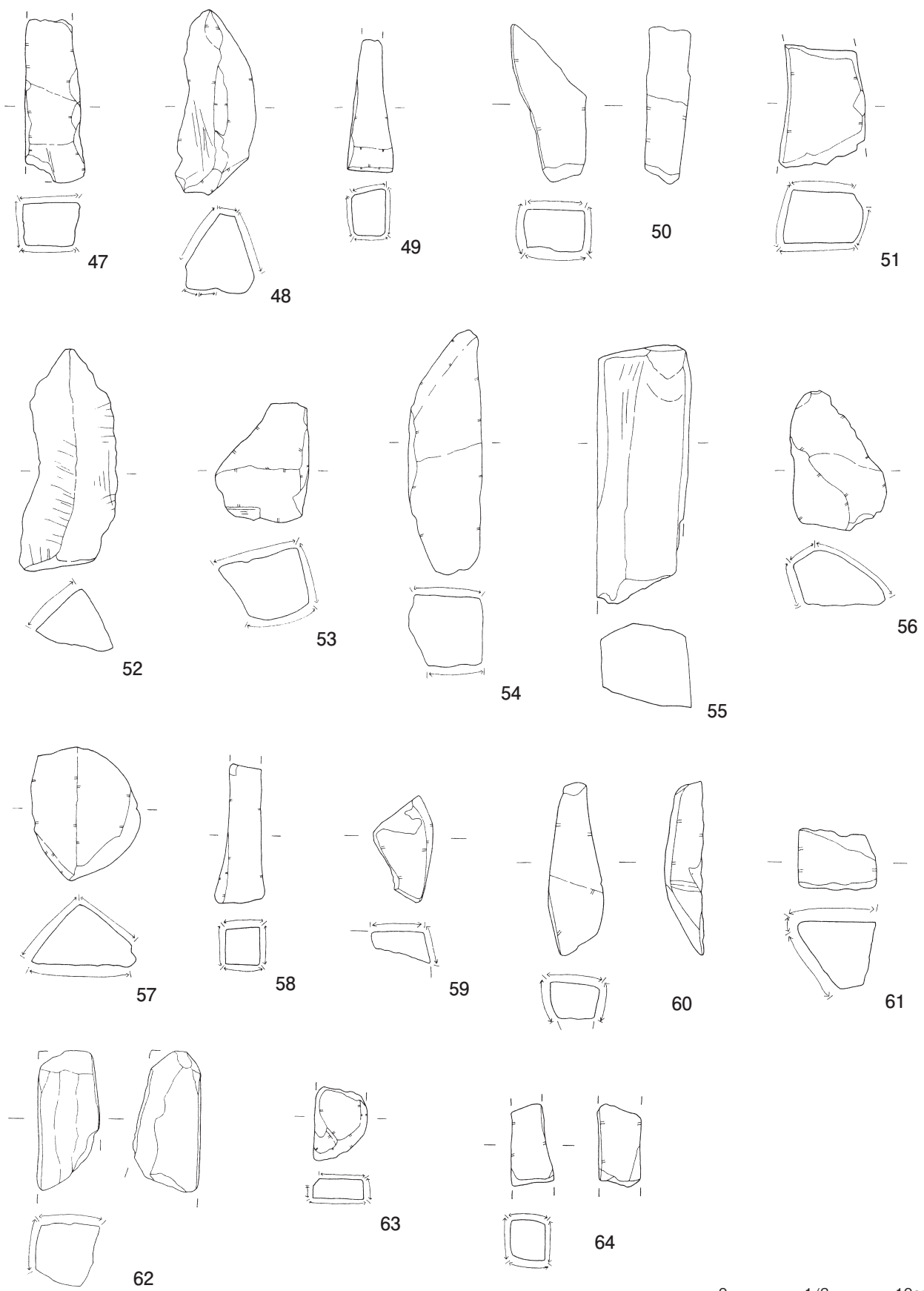
第83図 石製品3 (石臼3)



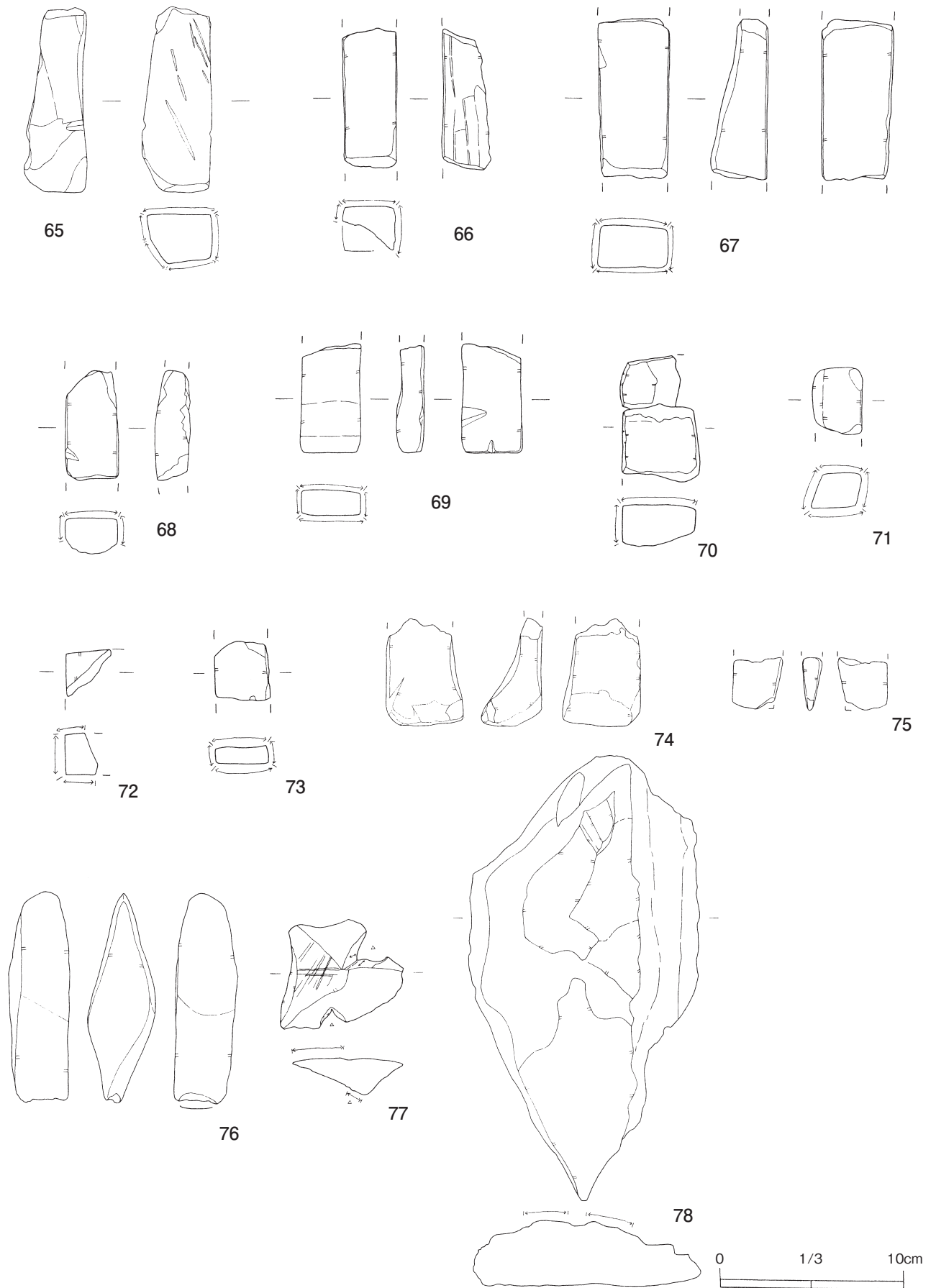
第84図 石製品4 (石臼4)



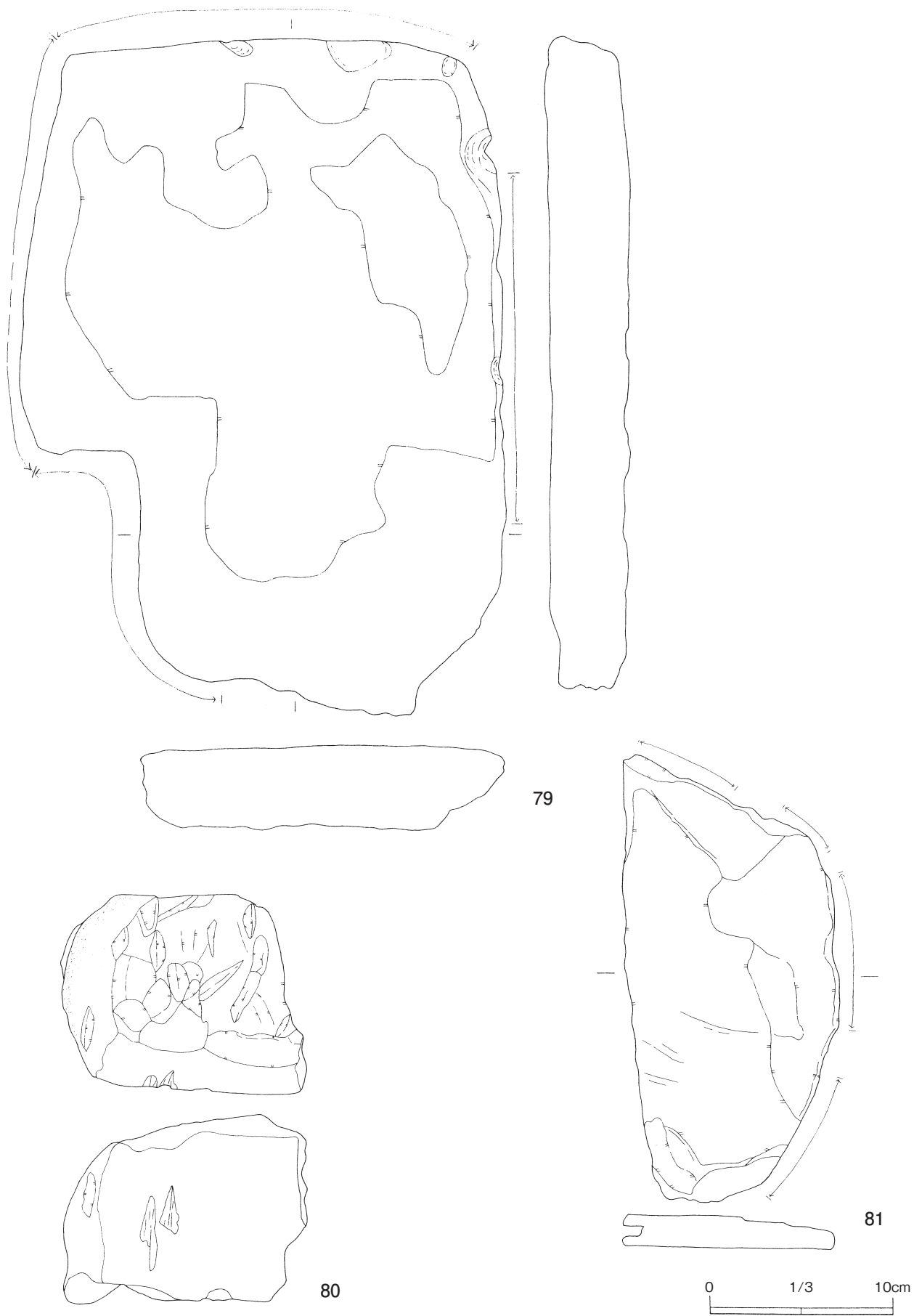
第85図 石製品5 (石臼5ほか・砥石1)



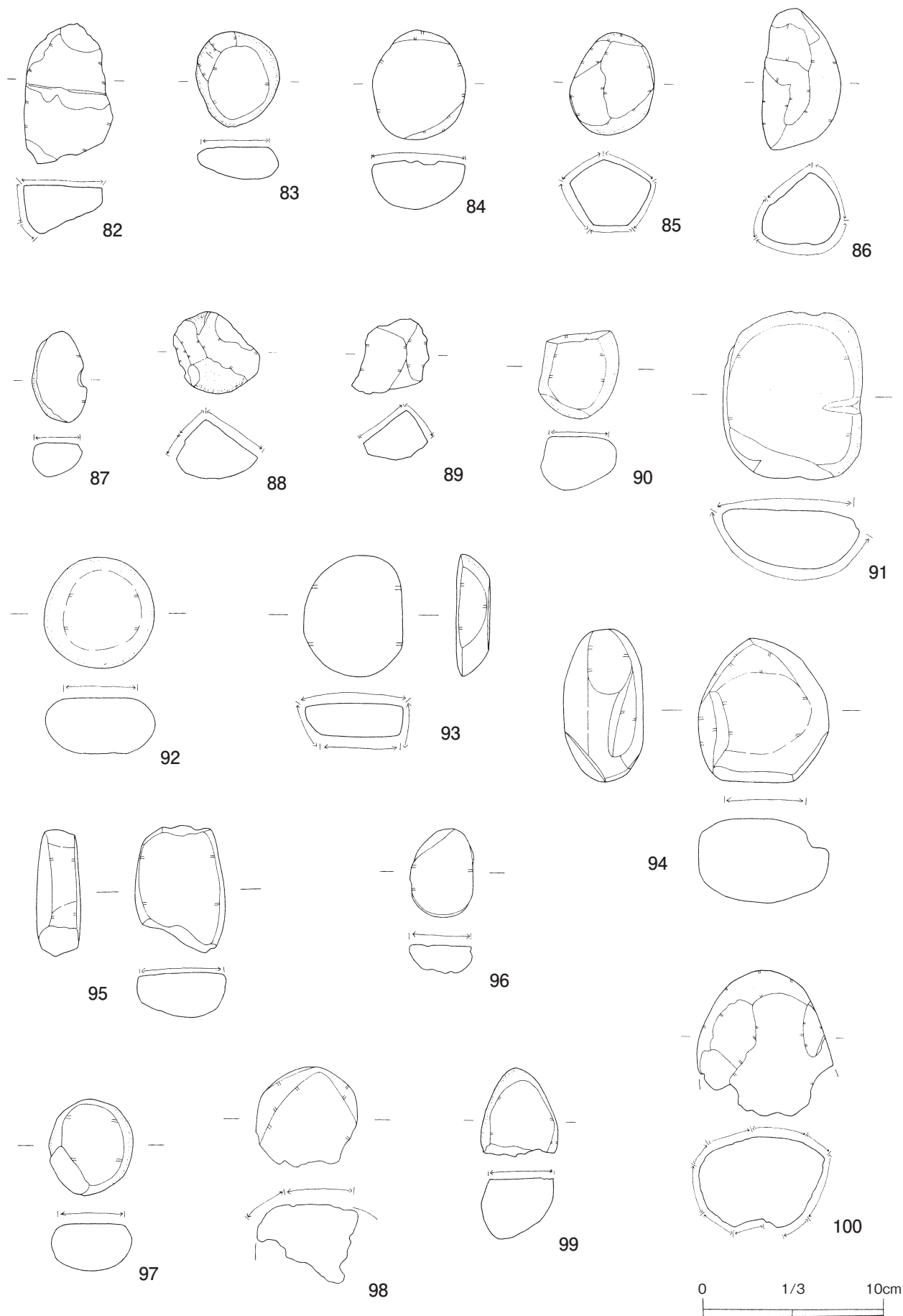
第86図 石製品6 (砥石2)



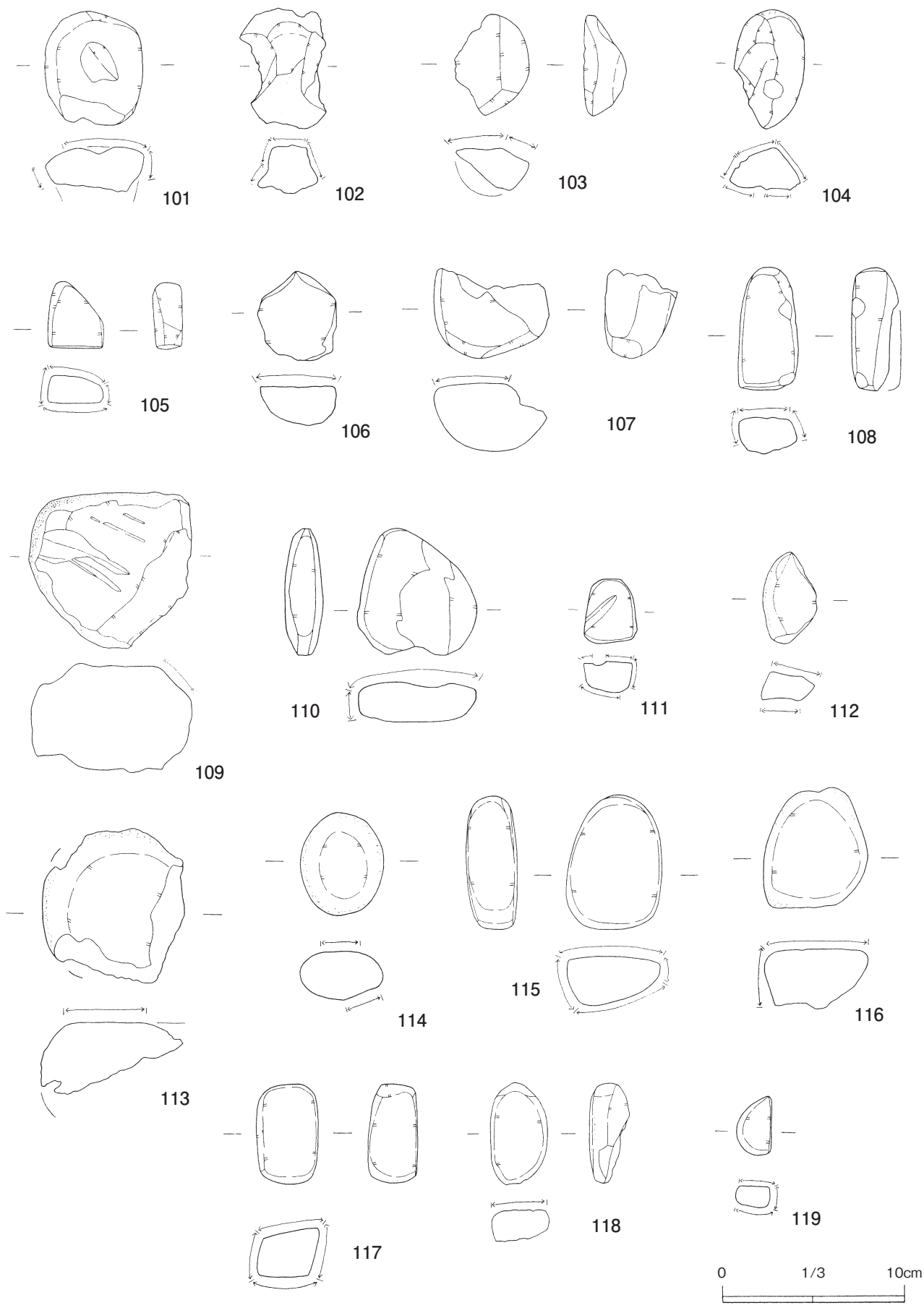
第87図 石製品7 (砥石3)



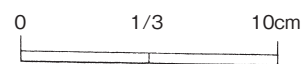
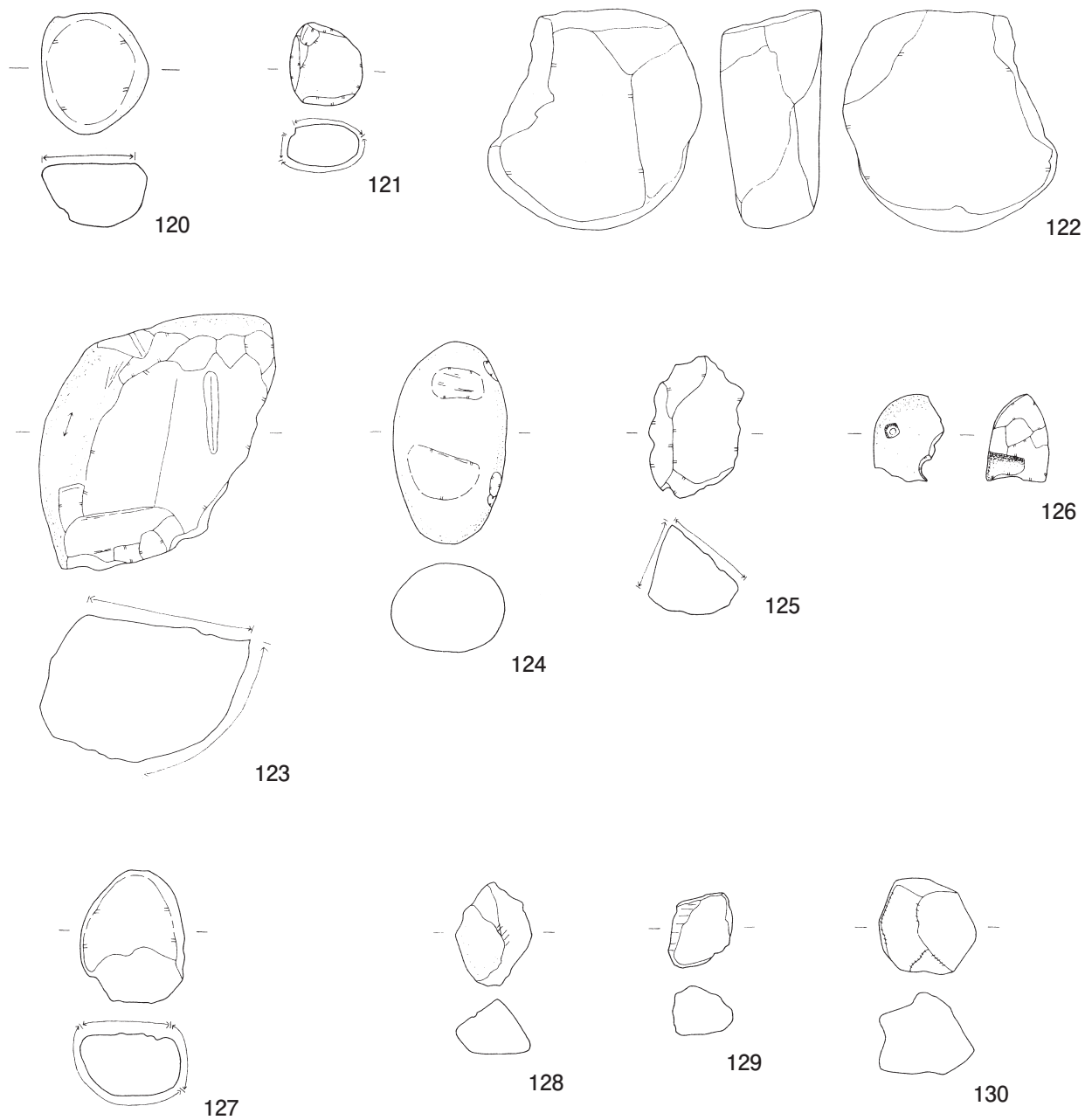
第88図 石製品 8 (砥石 4)



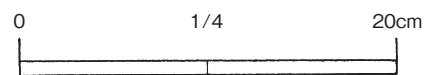
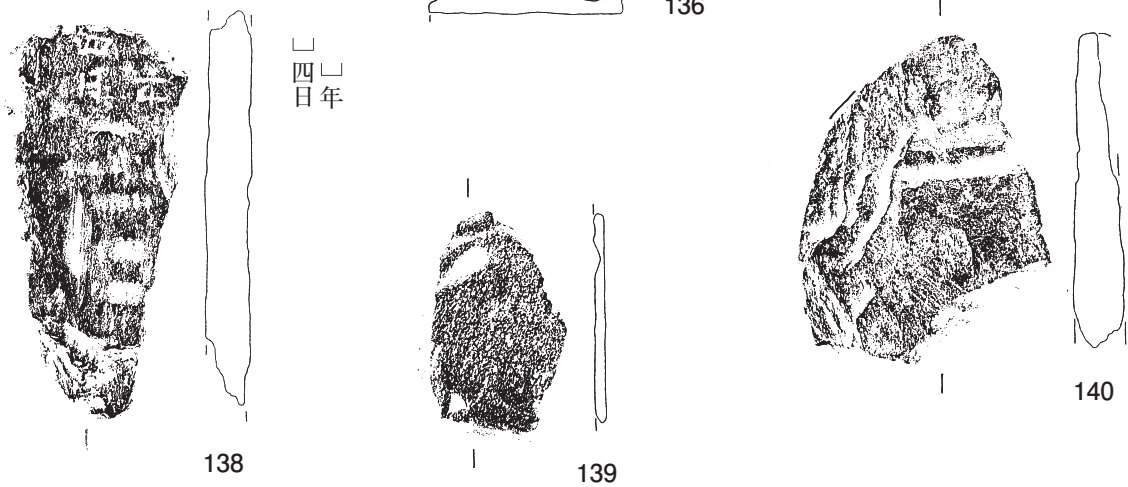
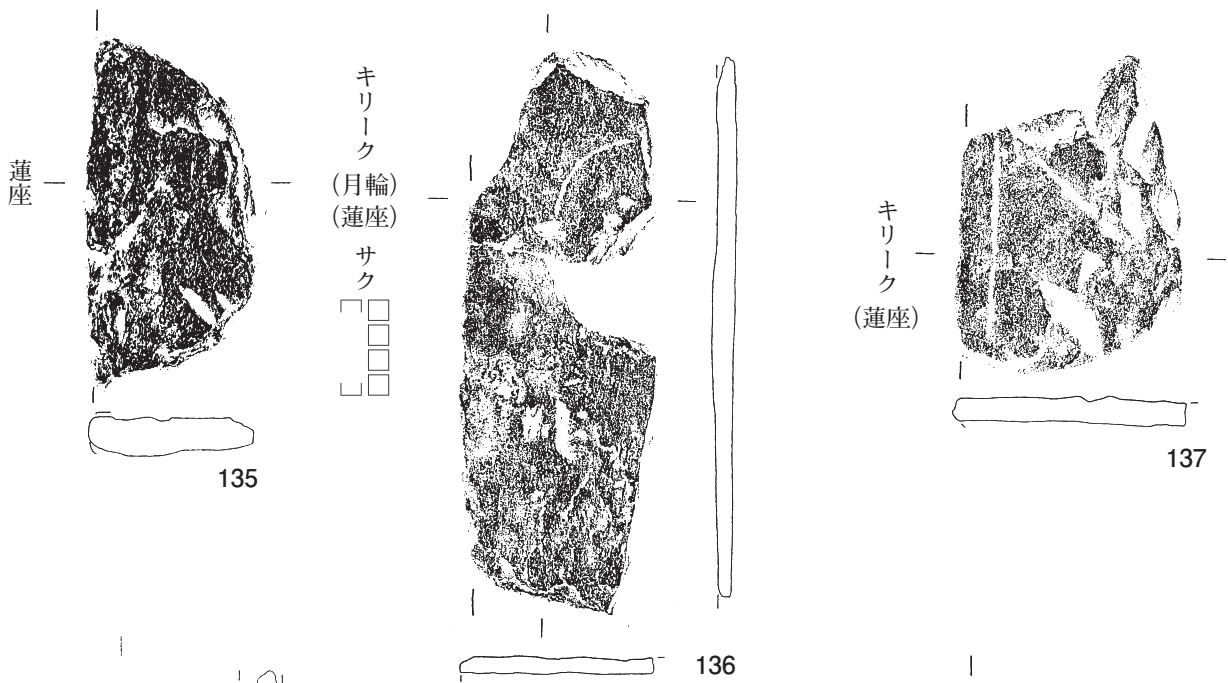
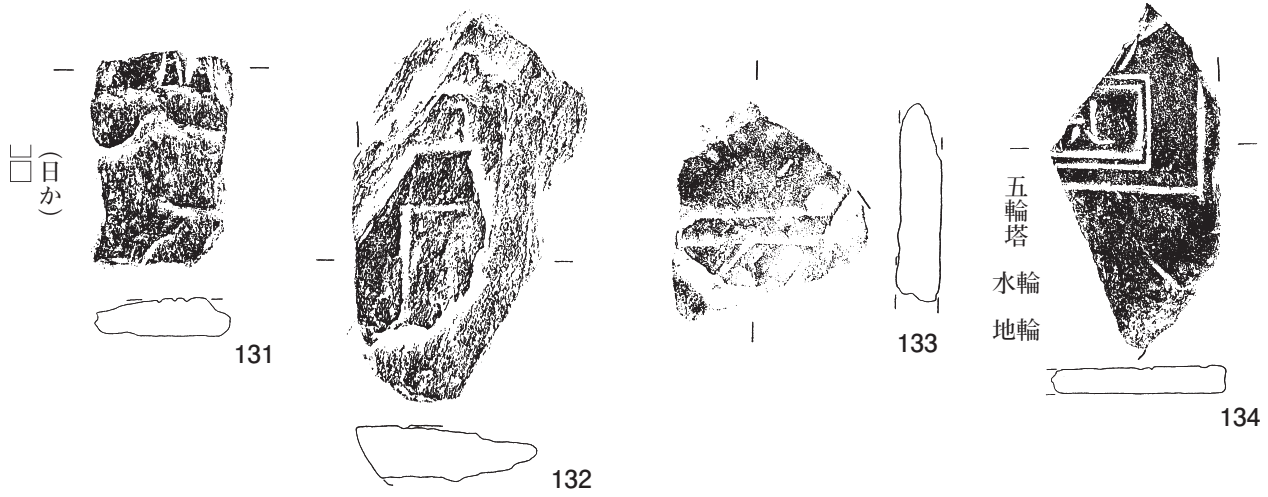
第89図 石製品9 (磨石1)



第90図 石製品10 (磨石 2)



第91図 石製品11 (磨石3・火打石)

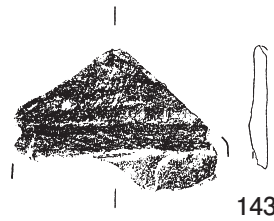


第92図 石製品12 (板碑1)

キリーク
(月輪)
(蓮座)



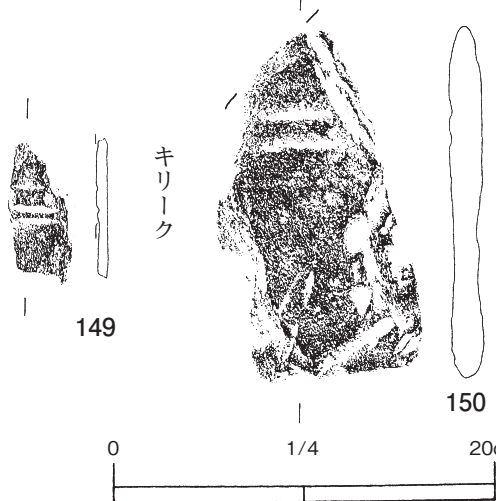
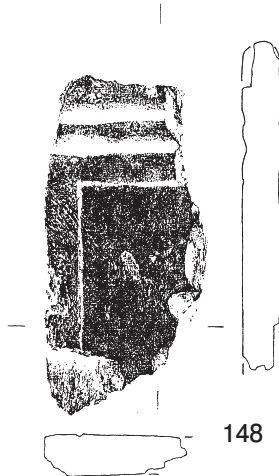
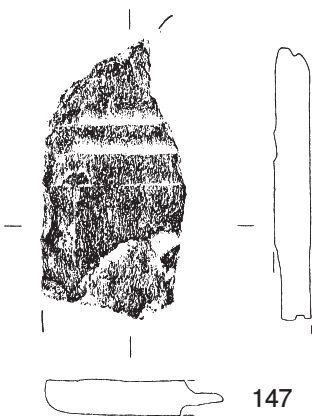
四か
年
尼



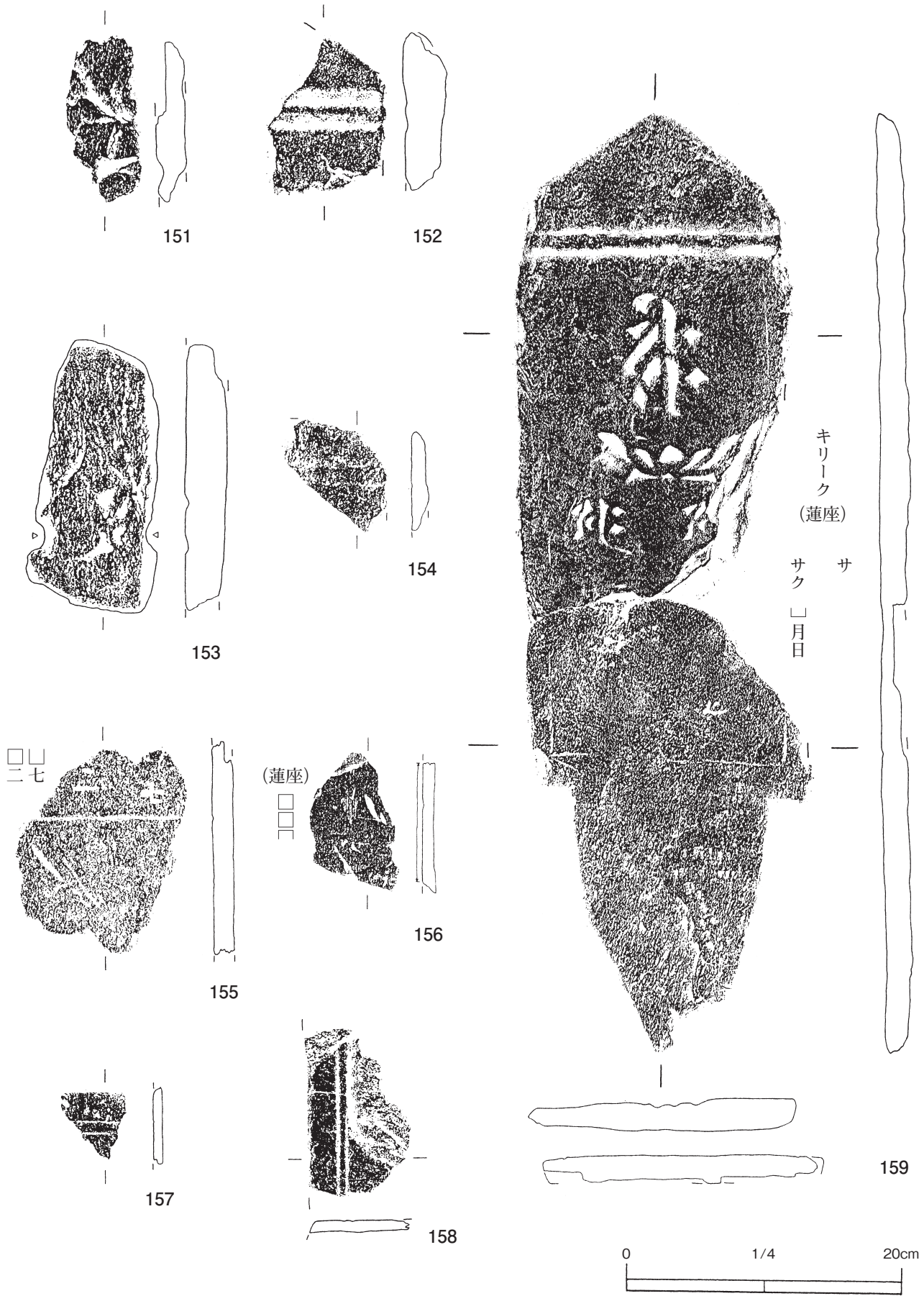
(蓮座)
延



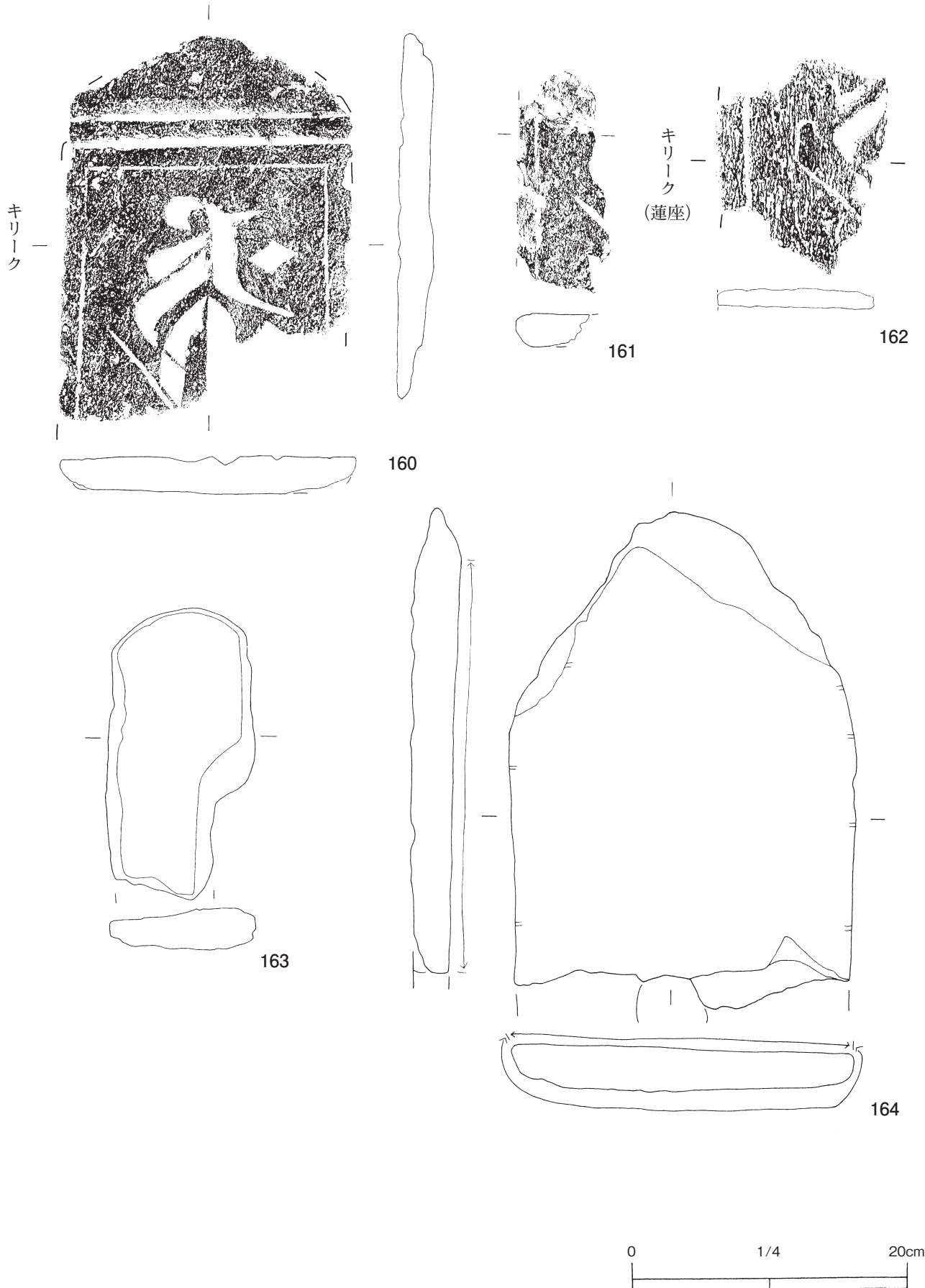
十郎二
十郎四
く郎五



第93図 石製品13 (板碑2)



第94図 石製品14 (板碑3)



第95図 石製品14 (板碑4)

()は残存値 法量の単位は cm

図 No.	遺物名	材 質	調査区	出土地点	長さ	幅	厚さ	遺物 ID 1	遺物 ID 2	備 考
1	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	2溝 E-5 G No. 34		(8.4)	(5.5)		石22	
2	粉挽白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	2溝 E-5 G No. 42		(9.0)	(7.5)		石19	
3	茶白(上白)	安山岩	KB 4	2溝 E-5 G No. 82		(8.1)	(5.1)		石23	
4	粉挽白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	12溝 I-9 G No. 115		(24.1)	(11.2)		石53	
5	茶白(下白)	安山岩	KB 4	12溝 I-9 G No. 125		(12.0)	(7.5)		石02	
6	茶白(下白)	安山岩	KB 4	2井 G-7 G No. 8		(29.5)	(10.0)		石51	
7	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	15井 F-8 G No. 80		(17.2)	(7.0)		石20	スス付着
8	茶白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	15井		(6.9)	(8.8)		石04	
9	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	22井 F-7 G No. 60		(15.3)	(13.5)		石54	
10	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	22井 F-7 G No. 61		(14.4)	(5.9)		石01	
11	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	24井		(8.6)	(5.7)		石08	
12	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	4 壙 F-5 G No. 81,82		(17.5)	(4.9)		石15,21	
13	茶白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	33壙 I-9 G No. 97		(18.8)	(5.4)		石13	
14	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	33壙 I-9 G No. 108		(8.6)	(5.7)		石09	
15	粉挽白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	42壙 H-9 G No. 437		(10.3)	(6.9)		石17	ススタール状に付着 穿孔
16	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	48壙 H-9 G No. 380		(14.2)	(6.5)		石16	
17	茶白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	52壙下 F-6 G No. 619		(12.2)	(4.5)		石25	漆?付着
18	茶白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	56壙 F-6 G No. 715		(11.2)	(10.0)		石18	
19	茶白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	E-5 G No. 73		(14.9)	(6.0)		石10	炭化物付着
20	茶白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	F-6 G No. 111 2 T		(11.0)	(7.3)		石05	
21	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	F-6 G No. 487		(14.6)	(6.1)		石11	
22	粉挽白(下白)	不明	KB 4	G-7 G No. 91		(23.3)	(8.3)		石52	
23	粉挽白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	G-8 G No. 14・31		(14.8)	(10.1)		石39	
24	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	G-8 G No. 51		(14.3)	(5.1)		石12	
25	茶白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	G-8 G No. 55		(13.5)	(3.3)		石06	
26	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	G-9 G No. 35		(9.0)	(6.8)		石24	
27	茶白(下白)	角閃石安山岩	KB 4	一括		(11.2)	(4.1)		石14	
28	茶白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	拡		(5.1)	(2.3)		石03	
29	粉挽白(下白)	礫岩	KB 4	一括		(12.0)	(7.5)	0004-0004		スス付着
30	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 4	2 T		(3.8)	(4.4)		石26	
31	茶白(上白)	不明	KB 5	3溝 C-1 G No. 47		(5.2)	(2.6)		石08	
32	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	KB 5	14壙 D-3 G No. 1		(19.5)	(10.2)		石22	
33	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	第15次	1井		(30.0)	(9.5)		石07	
34	粉挽白(下白)	角閃石安山岩	第15次	1井		(10.2)	(9.1)		石02	
35	粉挽白(下白)	角閃石安山岩	第15次	5井 No. 7		(10.6)	(9.0)		石01	
36	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	第26次	1井		(17.0)	(9.7)	0026-0001		スス付着
37	粉挽白(上白)	角閃石安山岩	第26次	一括		(9.4)	(7.7)		石01	
38	搗白か	デイスайト	KB 5	D-3 G No. 88		(15.1)	(7.4)		石09	
39	碁石	不明	KB 4	48壙	2.1	1.6	0.6	0004-0001		
40	碁石	不明	KB 4	一括	2.3	1.8	0.4	0004-0002		
41	碁石	不明	KB 4	一括	1.7	1.4	0.6	0004-0003		
42	碁石	不明	KB 5	一括	2.7	2.1	0.9	0005-0001		
43	石錘か	軽石	KB 4	G-6 G No. 310 東拡10溝	5.7	4.9	4.0	0004-0005		
44	砥石	泥岩	KB 4	1溝 F-6 G No. 62	(8.7)	4.5	2.7		石38	
45	砥石	泥岩	KB 4	1井 F-7 G No. 28	(7.4)	3.9	2.4	0004-0015		
46	砥石	泥岩	KB 4	15井	5.1	2.2	1.0	0004-0018		
47	砥石	泥岩	KB 4	18井 G-8 G No. 189	(8.8)	3.2	2.3	0004-0019		
48	砥石	泥岩	KB 4	7井 G-7 G No. 39	10.0	4.3	4.2	0004-0016		
49	砥石	泥岩	KB 4	1壙 F-5 G No. 307	7.0	2.4	2.5	0004-0020		
50	砥石	泥岩	KB 4	3壙 E-5 G No. 86	8.5	4.0	2.2		石36	
51	砥石	泥岩	KB 4	33壙	(6.6)	4.6	2.9	0004-0021		
52	砥石	泥岩	KB 4	48壙 H-9 G No. 360	12.0	5.2	3.3	0004-0022		
53	砥石	泥岩	KB 4	49壙 I-9 G No. 94	6.4	5.0	3.8	0004-0024		
54	砥石	泥岩	KB 4	東拡 G-6 G No. 229	13.1	4.0	3.9	0004-0026		
55	砥石	不明	KB 4	G-10 G No. 40	13.9	5.0	4.5	0004-0030		
56	砥石	泥岩	KB 4	G-9 G No. 61	7.5	5.2	3.0	0004-0028		
57	砥石	泥岩	KB 4	G-9 G No. 78	7.2	5.0	3.2	0004-0029		
58	砥石	泥岩	KB 4	H-8 G No. 73	(7.5)	2.7	2.0	0004-0031		
59	砥石	泥岩	KB 4	1 T	5.8	3.2	(1.7)		石44	
60	砥石	泥岩	KB 4	1 T	9.3	3.0	(2.0)		石37	
61	砥石	泥岩	KB 4	一括	3.3	4.2	3.6		石47	
62	砥石	泥岩	KB 5	2溝 C-3 G No. 141	(7.5)	3.4	3.4		石06	
63	砥石	泥岩	KB 5	2溝	(4.0)	2.8	1.0	0005-0002		
64	砥石	泥岩	KB 5	2・6溝 D-4 G No. 134	(4.5)	2.4	2.2		石04	
65	砥石	泥岩	KB 5	5溝 D-4 G No. 97	10.2	3.9	2.7		石03	
66	砥石	泥岩	KB 5	19壙 D-2 G No. 10	(7.9)	3.0	2.5		石07	
67	砥石	泥岩	KB 5	7 P D-3 G No. 130	(9.0)	3.9	2.4		石02	
68	砥石	泥岩	KB 5	用水	(6.1)	3.0	2.0		石05	
69	砥石	泥岩	KB 5	中 用水際	(6.0)	3.4	1.4		石01	

第37表 石製品類一覽表 1

()は残存値 法量の単位は cm

図 No.	遺物名	材 質	調査区	出土地点	長さ	幅	厚さ	遺物 ID 1	遺物 ID 2	備 考
70	砥石	泥岩	KB 5	中 用水際	(7.0)	(4.3)	2.3	0005-0003		
71	砥石	泥岩	KB 5	一括	(3.7)	2.8	2.0		石19	
72	砥石	泥岩	KB 5	一括	(2.6)	2.5	2.3		石20	
73	砥石	泥岩	KB 5	一括	(3.3)	3.1	1.0		石21	
74	砥石	泥岩	第15次	17壇	(6.0)	4.3	3.3		石04	
75	砥石	泥岩	第15次	B	(2.9)	2.7	1.1		石05	
76	砥石	泥岩	第15次	一括	11.7	3.4	3.8		石03	
77	砥石	不明	第26次	BT	6.0	6.8	2.0	0026-0002		
78	砥石	緑泥石片岩	KB 4	55壇 F-6 G No. 672	24.5	12.9	3.6	0004-0025		炭化物付着
79	砥石	緑泥石片岩	KB 4	7井 G-7 G No. 106	37.0	26.7	4.5	0004-0017		挟りあり
80	砥石	デイサイト	KB 4	49壇 I-9 G No. 90	11.0	13.3		0004-0023		
81	砥石	緑泥石片岩	KB 4	G-6 G No. 277	24.6	12.0	1.7	0004-0027		
82	磨石	デイサイト	KB 4	2溝 E-5 G No. 29	7.8	5.0	2.7	0004-0002		
83	磨石	デイサイト	KB 4	2溝 F-4 G No. 6	5.3	4.6	1.8	0004-0001		
84	磨石	デイサイト	KB 4	6井	6.1	5.1	2.2	0004-0003		
85	磨石	デイサイト	KB 4	7井	5.7	4.6	3.6	0004-0004		
86	磨石	デイサイト	KB 4	13井 G-8 G No. 283	7.8	4.3	4.0	0004-0005		
87	磨石	デイサイト	KB 4	14井 F-8 G No. 82	5.0	3.0	1.9	0004-0007		
88	磨石	デイサイト	KB 4	18井 G-8 G No. 194	4.5	4.8	3.3	0004-0008		
89	磨石	デイサイト	KB 4	24井	4.2	4.3	2.8	0004-0009		
90	磨石	デイサイト	KB 4	1壇 F-5 G No. 28	4.9	4.4	3.0		石28	
91	磨石	デイサイト	KB 4	1壇 F-5 G No. 56	9.4	7.7	3.2		石33	
92	磨石	デイサイト	KB 4	1壇 F-5 G No. 65	6.2	6.1	3.1		石35	
93	磨石	デイサイト	KB 4	14壇	6.7	5.5	1.9		石30	
94	磨石	デイサイト	KB 4	33壇 I-8 G No. 6	8.0	7.2	4.6		石49	
95	磨石	デイサイト	KB 4	41壇 H-9 G No. 328	7.0	5.0	2.5		石29	
96	磨石	デイサイト	KB 4	41壇 H-9 G No. 446	4.9	3.5	1.6		石32	
97	磨石	デイサイト	KB 4	48壇 H-9 G No. 393	5.4	4.6	2.6		石34	
98	磨石	デイサイト	KB 4	56壇 F-6 G No. 755	5.6	5.6	(4.4)		石42	
99	磨石	デイサイト	KB 4	C-9 G No. 21	4.8	4.3	3.4	0004-0010		
100	磨石	デイサイト	KB 4	E-5 G No. 70	(8.0)	7.5	5.0	0004-0006		
101	磨石	デイサイト	KB 4	F-6 G No. 10	6.3	5.5	(2.5)		石31	
102	磨石	デイサイト	KB 4	F-6 G No. 30	6.6	4.9	2.7	0004-0012		
103	磨石	デイサイト	KB 4	F-6 G No. 394	5.5	4.1	2.3		石43	
104	磨石	デイサイト	KB 4	F-6 G No. 420	6.6	3.9	2.3	0004-0011		
105	磨石	デイサイト	KB 4	G-8 G No. 78	3.7	3.1	1.5		石40	
106	磨石	デイサイト	KB 4	H-9 G No. 44	4.7	4.4	2.1		石48	
107	磨石	デイサイト	KB 4	H-9 G No. 189	4.9	6.3	3.7		石41	
108	磨石	デイサイト	KB 4	H-9 G No. 204	6.8	3.3	2.1		石46	
109	磨石	デイサイト	KB 4	I-9 G No. 15	8.5	8.9	6	0004-0013		
110	磨石	デイサイト	KB 4	西側拡張	6.9	6.6	2.2		石50	
111	磨石	デイサイト	KB 4	南側	3.1	2.9	1.7	0004-0014		
112	磨石	デイサイト	KB 4	一括	5.0	3.0	1.5		石45	
113	磨石	デイサイト	KB 5	2溝 B-2 G No. 80	(8.5)	(7.9)	(4.0)		石13	
114	磨石	デイサイト	KB 5	2溝 D-4 G No. 137	5.7	4.6	2.7		石12	
115	磨石	デイサイト	KB 5	14壇 D-3 G No. 13	7.4	5.1	2.7		石16	
116	磨石	デイサイト	KB 5	14壇 D-3 G No. 14	6.6	5.8	3.3		石15	
117	磨石	デイサイト	KB 5	14壇 D-3 G No. 140	5.5	3.4	2.7		石18	
118	磨石	デイサイト	KB 5	一括	5.7	3.1	1.7		石10	
119	磨石	デイサイト	KB 5	一括	3.3	1.9	1.2		石11	
120	磨石	デイサイト	KB 5	一括	5.5	4.9	2.9		石14	
121	磨石	デイサイト	KB 5	一括	3.7	3.3	1.9	0005-0001		
122	磨石	不明	第15次	1溝 No. 27	10.0	9.8	4.6		石06	
123	磨石	デイサイト	第15次	4井	11.8	10.7	6.7	0015-0001		
124	磨石	デイサイト	第15次	No. 4	9.2	5.1	4.0	0015-0002		
125	磨石	デイサイト	第15次	一括	6.4	4.3	4.0	0015-0004		
126	磨石	デイサイト	第15次	一括	4.0	3.2		0015-0003		
127	磨石	デイサイト	第26次	10壇 No. 40	6.0	4.7	2.8	0026-0001		
128	火打石	石英	KB 4	G-8 G No. 37	4.7	3.4	2.5	0004-0032		
129	火打石	石英	KB 4	一括	3.4	3.0	2.2	0004-0033		
130	火打石?	石英	第26次	1壇	4.4	4.4	3.7	0026-0003		

第38表 石製品類一覧表 2

図 No.	遺物名	調査区	出土地点	縦×横×厚	遺物 ID	備考
131	板碑	KB 4	E-4 G No. 14	12×7×2	0004-0018	
132	板碑	KB 4	4溝 F-7 G No. 58	21×12×3	0004-0012	側面～裏面スス付着
133	板碑	KB 4	6井 G-7 G No. 17	12×11×2	0004-0013	
134	板碑	KB 4	7井 G-7 G No. 16	18×10×1	0004-0001	
135	板碑	KB 4	7井 H-7 G No. 27	18×9×2	0004-0003	左端、被熱による赤化か
136	板碑	KB 4	7井 G-7 G No. 82、 H-7 G No. 21	30×11×1	0004-0002	ススが漆のように付着
137	板碑	KB 4	8井 G-7 G No. 84	17×13×2	0004-0004	
138	板碑	KB 4	14井 F-8 G No. 54	21×11×2	0004-0006	
139	板碑	KB 4	16井 G-8 G No. 231	12×8×1	0004-0014	
140	板碑	KB 4	22井	18×13×3	0004-0015	表面に線条痕あり
141	板碑	KB 4	10井 G-8 G No. 115	39×25×3	0004-0005	
142	板碑	KB 4	33壇 L-9 G No. 74	14×14×2	0004-0007	裏面一部 スス付着
143	板碑	KB 4	41壇 H-9 G No. 347	8×12×1	0004-0016	
144	板碑	KB 4	42壇 H-9 G No. 278	9×10×3	0004-0008	裏面、黒化(スス)
145	板碑	KB 4	69壇 H-10 G No. 46	12×7×2	0004-0017	表面被熱スス付着
146	板碑	KB 4	東拡 G-6 G No. 170、 18井 G-8 G No. 315	20×19×3	0004-0009	表面磨く
147	板碑	KB 4	G-6 G No. 262	15×9×2	0004-0010	一部スス付着、裏面砥跡(線条痕)あり
148	板碑	KB 4	一括	21×9×2	0004-0011	表面・裏面上部にスス付着 左端一部砕いた跡あり
149	板碑	KB 5	6溝 D-4 G No. 112	8×4×1	0005-0001	
150	板碑	KB 5	2井 D-3 G No. 214	19×11×2	0005-0002	表裏、砥石として使用によるものか 摩耗痕あり
151	板碑	KB 5	14壇 D-3 G No. 51	12×5×2	0005-0003	スス付着
152	板碑	第15次	5井 No. 9	13×10×3	0015-0001	スス付着
153	板碑	第15次	5井	20×10×3	0015-0002	下部両側 抉り
154	板碑	第15次	5井	7×7×1	0015-0003	
155	板碑	第15次	一括	16×13×2	0015-0005	
156	板碑	第15次	一括	9×7×1	0015-0004	表面摩痕
157	板碑	第15次	一括	6×5×1	0015-0006	
158	板碑	第26次	1井 No. 55、井戸拡張	12×7×1	0026-0005	
159	板碑	第26次	1井	69×21×2	0026-0001	表面平滑 表面被熱スス 裏面被熱スス
160	板碑	第26次	2井 No. 96	29×22×2	0026-0003	裏面摩耗痕あり
161	板碑	第26次	2井	17×7×2	0026-0006	
162	板碑	第26次	10壇 No. 33	16×13×2	0026-0004	
163	板碑台石か	KB 4	7井 H-7 G No. 19	21×11×3	0004-0019	台石か
164	板碑台石	第26次	2井 No. 94	36×25×3	0026-0007	表面、全面摩耗 側面顕著な摩耗 表裏、被熱により黒化

第39表 石製品類一覧表 3

第5節 科学調査

はじめに

本報告では、4区2号溝から出土した取瓶（土一680）に認められた付着物についてその特性を明らかにすることにより、遺物の用途に係わる資料を作成する。

1) 試料

取瓶とされるものは径7.2cm・重さ117.5gで、上面に付着物があり下面は素焼き土器のような表面で下端が窪んでいる。付着物本体は全面に広がり碗全体の堆積で、凹凸が顕著である。色調は周縁が赤褐色で内部は灰色一部緑色を呈す。

2) 分析方法

付着物についてはあらかじめX線透過撮影を行い、その結果重元素がかなりの量付着していることが確認された。そのため、蛍光X線分析で表面の色調の違う緑色部分と黒色部分の元素分析を実施した。

(測定機器) SEA5230HTW (エスアイアイ・ナノテクノロジー社製)

(分析条件)

測定時間：100sec 分析環境：大気中

測定範囲：直径1.8mm

管電圧：50kV

管電流：20 μ A（緑部分）、112 μ A（黒部分）

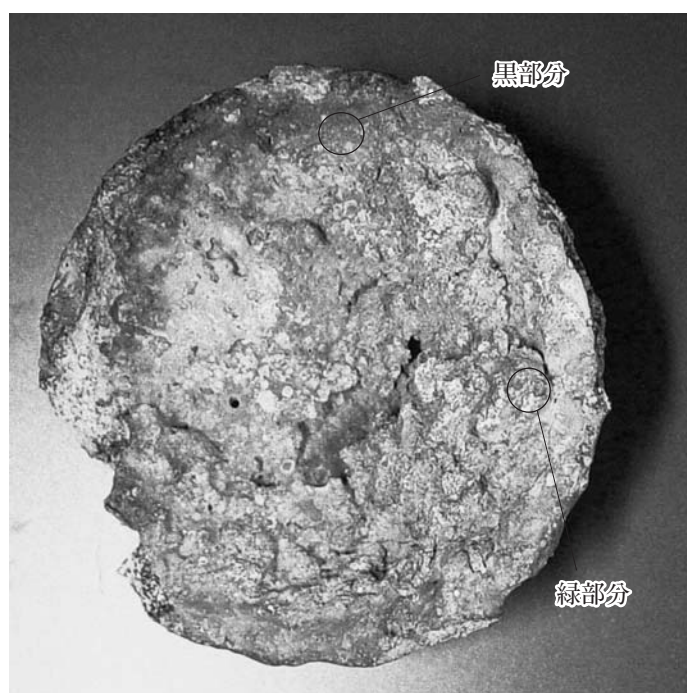
3) 結果及び考察

黒部分については、銅・錫・鉛が強く検出され、青銅であることが確認された（第40表／第97図）。一方、緑部分では銅が非常に強く確認され、他には銅由来である銀やヒ素、青銅の材料である鉛や錫が確認された（第41表／第98図）。緑部分では銀が確認されることから、この素材は銀銅分離技術である南蛮吹きが行われておらず、戦国から江戸初期に使用されたものと考えられる。

なお、取瓶内面で金属が不均一となって固着しており、黒・緑部分でその成分に差が見られている。そのため、ここでは成分組成までは調査していない。

これらのことから、この取瓶は青銅製品を製作するために使用されたものと考えられる。

(なお、分析の実施及び分析に関するデータは沓名貴彦氏によるものである。それらに基づき嶋村英之が構成したもので、文責は嶋村にある。)



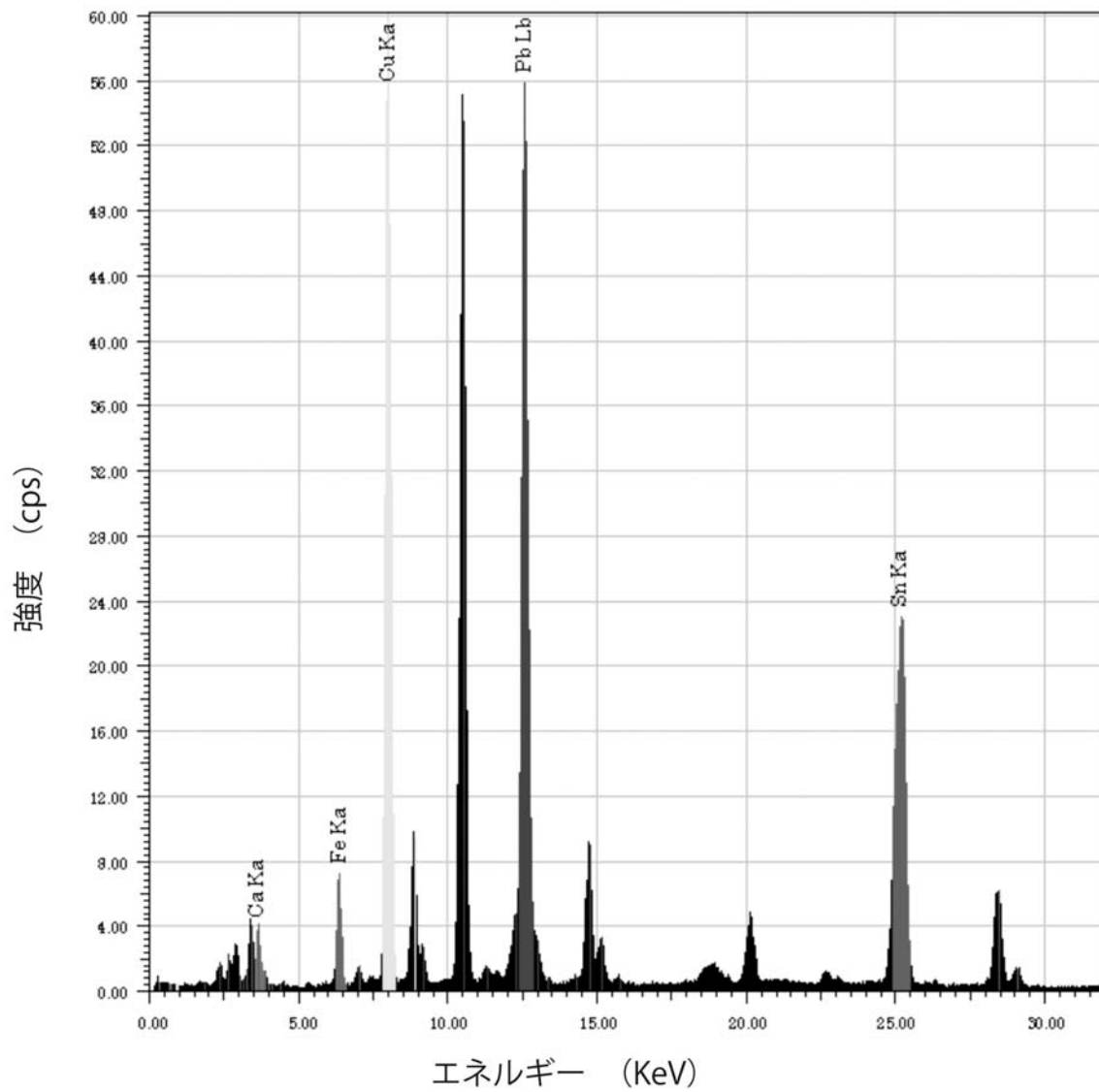
カラーは口絵16参照

第96図 科学調査箇所

[結果]

Z	元素	元素名	ライン	A (cps)	ROI (keV)
29	Cu	銅	K α	571.804	7.86–8.22
82	Pb	鉛	L β	675.054	12.42–12.84
20	Ca	カルシウム	K α	38.435	3.54–3.84
50	Sn	スズ	K α	447.749	24.92–25.47
26	Fe	鉄	K α	65.576	6.23–6.57

第40表 黒部分の分析結果

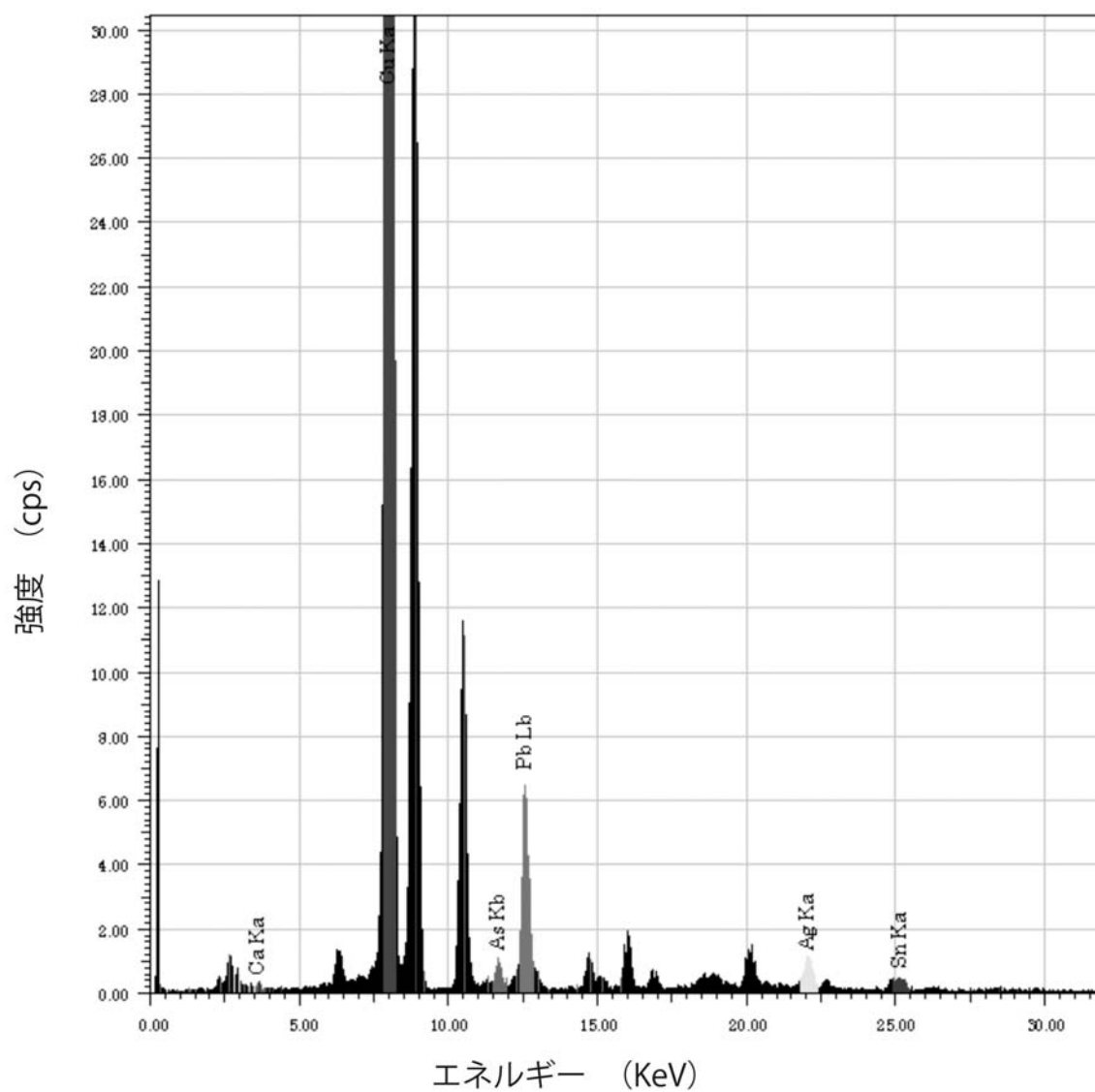


第97図 黒部分のスペクトル

[結果]

Z	元素	元素名	ライン	A (cps)	ROI (keV)
47	Ag	銀	K α	18.394	21.84-22.36
29	Cu	銅	K α	2468.487	7.86-8.22
82	Pb	鉛	L β	82.928	12.42-12.84
20	Ca	カルシウム	K α	2.884	3.54-3.84
33	As	ヒ素	K β	12.989	11.52-11.93
50	Sn	スズ	K α	9.696	24.92-25.47

第41表 緑部分の分析結果



第98図 緑部分のスペクトル

第V章 まとめ

ここでは特徴的な遺構を取り上げ年代・性格を考察し、最後にKB4区の変遷を追うこととする。年代比定等無理をしている点が多々あるが、今後の叩き台として提示しておく。

第1節 KB4区

当調査区は『武州騎西之絵図』によると、武家屋敷の中央を東西方向に抜ける道の南側、武家屋敷の西部、加藤孫太夫あるいは石原善右衛門屋敷周辺に当たると思われる。

○溝

当調査区で大規模な溝は2号溝のみである。また、幅50cm前後の小規模なものが存在するが、走行方向は多様であり、同一のものは6・7・9・10・14号溝、4・5・8号溝である。

2号溝は検出された範囲が狭く不明な点が多いが、東西に走行することや幅・深さから東方50mKB7区1号溝と、また西方50mのKB8区では1号溝とつながる可能性がある。溝底面にテラスを有することは特徴的である。年代は17世紀前半の土器類の出土から、騎西城廃城の頃であろう。

9号溝は小規模であるが、中程に深く掘り込まれた堰状の施設がある。

○井戸状遺構

報告で足掛かりとした壁面の掘り込みは5基の井戸に設けられ、武家屋敷全体の中でも比率は多い。深い井戸に備わるものではない。調査区中央にまとめ、連続する時期か同一屋敷内等の要因に帰するものか。

7号井戸の遺物出土状態も他に類を見ない。2枚の志野丸皿がそれぞれ2分され、覆土中位で出土した。いずれも口縁一箇所を三角に欠失したもので故意に破壊したと思われる。1枚には「二良？」の墨書がある。井戸埋め戻しの祭祀に関わるものか。

○土壙

まず大型のものが目を引く。3・6号土壙は長さ4mを超えるものだが幅が狭く細長である。深さも40cm前後で浅い。

64・65・77号土壙は長さ4m前後・幅2m超で、深さが90cm前後の深いものである。この規模は武家屋敷全体でも大規模で特異なものである。調査区中央やや南にまとめり占地が同一である。

遺物が豊富なものは、1、55・56号土壙である。1号土壙は浅く複数の土壙が重複したものである。出土した遺物は16世紀後半から17世紀初頭の陶磁器があるが、浅くて小型のかわらけが多数ある。騎西城の年代的指標となるものである。

55・56号土壙は漆塗り杓子や唐津皿など良品がある。当地に屋敷を構えた「あるじ」の家格を現すものであろう。17世紀初頭に廃絶されたものと思われる。

第2節 KB5区

当調査区は4区の南側で、『絵図』によると、武家屋敷の西側、加藤孫太夫あるいは石原善右衛門屋敷周辺に位置するものであろう。

○溝

調査区をL字に巡る2・3号溝はつながるのは明らかであるが、北方向の延長については不明でKB4では確認されない。東方向の延長については30m東の第39次第4トレンチ1号溝につながる可能性がある。走行軸は南から東に展開するKB1区や第7・12次などの溝と同一である。最終埋没時期は18世紀頃。

南端の10号溝はKB1区10b号溝・第12次2号溝・第7次3号溝とつながる。

○土壙

26～28号土壙の円形土壙は直径160cm・深さ40cm前後、ややオーバーハングする断面など規格性があり覆土にロームブロックを含むことなど、隣接するKB1区からの広がりをおぼせる。

14号土壙は、騎西城廃城後18世紀前半の遺物群であるが、かわらけがまとまって出土しており、編年の良好な資料となる。



第99図 『絵図との対照図』

第3節 他調査区

第15次調査区は『絵図』によると、武家屋敷の南西部黒柳空兵衛屋敷地にあたる。また第26次調査区は武家屋敷西部中程の石原善右衛門屋敷地周辺と思われる。

第15次の墓壇（2号土壇）は、KB2区で確認された墓域の南群の一角を占めるものであろう。また、古瀬戸前期の水注や後期の瀬戸美濃製品があり当該期からの生活の痕跡を認められる。

第4節 遺構の変遷

溝については、遺物の流れ込みや確認できなかった遺構に伴う遺物がある。さらに掘り返し・長い埋没時間など、時期決定に不確実な部分を伴うが今後の考察の叩き台として敢えて、KB4区について年

代的変遷を追う。

ただし、各段階には他時期の遺構が共存するものと思われる。

【第1段階】（15世紀中～16世紀前半）

調査区北端に位置する69号土壇でまとまってかわらけが出土している。

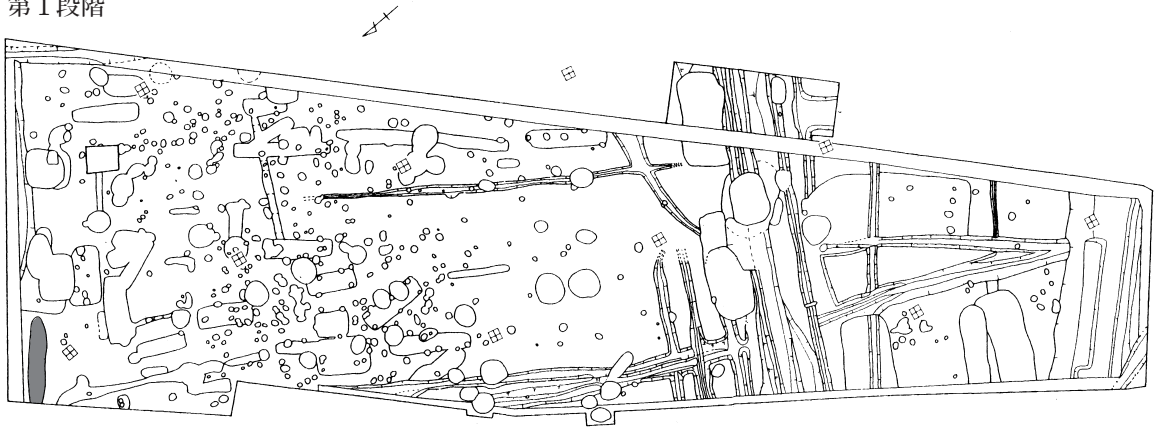
【第2段階】（16世紀中～末）

およそ北半分に分布するが、北端の41・48壇、中程の井戸群で西よりの5・17・10号井戸、東寄りの6・7・9号井戸、中央東端の大型土壇77号土壇がある。

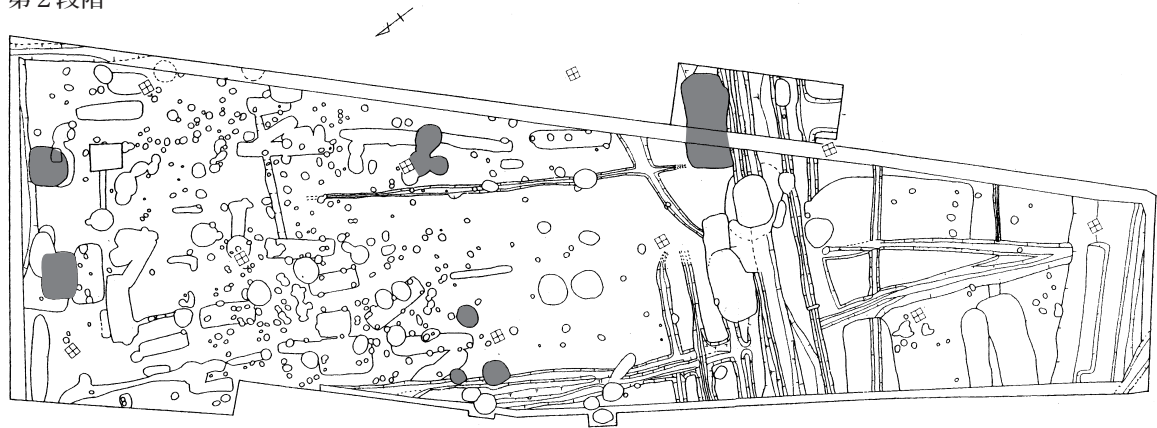
【第3段階】（17世紀前半）

大久保氏が城主の時期である。南半分に主体があるが、南端の2号溝、そこから北の1、65、55・56号土壇、北西側の井戸15・18号井戸がある。

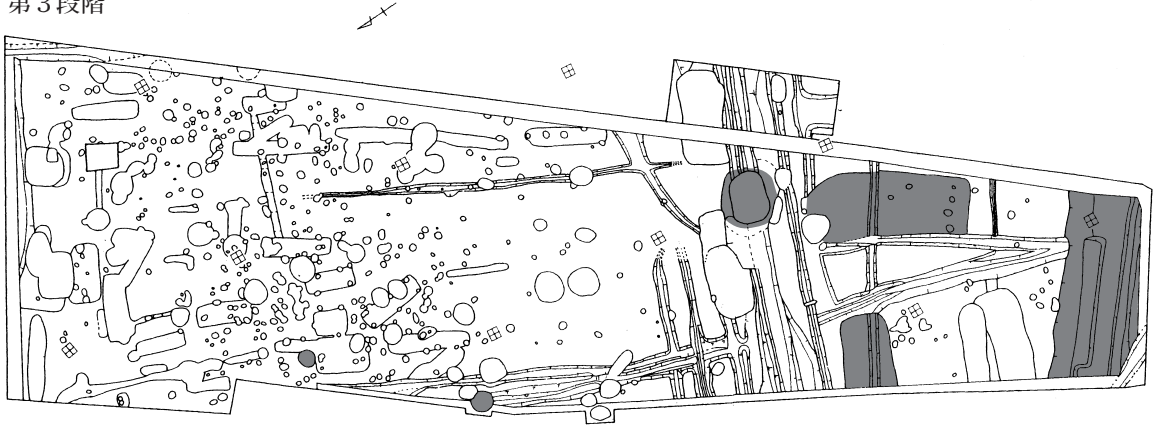
第1段階



第2段階



第3段階



KB4区

第100図 遺跡の変遷

参考文献

- 秋本太郎 2008 「戦国期北関東のかわらけー戦国大名支配との関連ー」『中世東国の世界3戦国大名北条氏』高志書院
- 浅野晴樹 1988 「関東における中世在地産土器について」『埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要』第4号
1991 「東国における中世在地系土器についてー主に関東を中心にー」『国立歴史民俗博物館研究報告』第31集
- 大橋康二 1984 「肥前陶磁の変遷と出土分布」『国内出土の肥前陶磁』佐賀県立九州陶磁文化館
- 小野正敏 1982 「15、16世紀の染付碗、皿の分類とその年代」『貿易陶磁研究』No.2 貿易陶磁研究会
2000 「遠江の出土陶磁器組成の特徴」『横地城跡 総合調査報告書 資料編』菊川町教育委員会
『騎西町史』考古資料編1 2001 騎西町教育委員会
『騎西町史』考古資料編2 1999 騎西町教育委員会
『騎西町史』通史編 2005 騎西町教育委員会
- 九州近世陶磁学会 2000 「九州陶磁の編年」九州陶磁学会
2001 「国内出土の肥前陶磁」東日本の流通をさぐる九州陶磁学会
- 島村範久・嶋村英之・坂本征男 1997 「騎西武家屋敷跡城 妙光寺第1・2次発掘調査報告書」騎西町遺跡調査会報告書第2集 騎西町遺跡調査会
- 島村範久 2005 「騎西（私市）城跡」『シンポジウム 埼玉の戦国時代 検証 比企の城』資料集 史跡を活用した体験と学習の拠点形成事業実行委員会
2005 「騎西（私市）城跡」『戦国の城』高志書院
2009 「騎西武家屋敷跡城 第40次発掘調査報告書」騎西町遺跡調査会報告書第6集 騎西町遺跡調査会
- 嶋村英之 2011 「騎西城武家屋敷跡 第17・28・35・36・39・41・43次調査」加須市埋蔵文化財調査報告書第1集 加須市教育委員会
2012 「騎西城武家屋敷跡第13・18・25・32・33・34・38・49次調査 騎西城跡第9・10次調査」加須市埋蔵文化財調査報告書第3集 加須市教育委員会
- 嶋村英之・島村範久・嶋村薫 2011 「騎西城武家屋敷跡 KB大英寺・1・2区調査ー中近世編ー」加須市埋蔵文化財調査報告書第2集 加須市教育委員会
2012 「騎西城武家屋敷跡 KB3・6・9区 第19・20・21・29次調査ー中近世編ー」加須市埋蔵文化財調査報告書第4集 加須市教育委員会
- 田中 信 1996 「川越市内出土の中世土師器についてー特に河越館跡および周辺出土を中心にー」『川越市埋蔵文化財調査報告書(XI)』川越市教育委員会
2005 「山内上杉氏の土器（かわらけ）とは」『戦国の城』高志書院
2005 「出土遺物からみた山内上杉（越後上杉氏）の城・陣所」『シンポジウム 埼玉の戦国時代 検証 比企の城』資料集 史跡を活用した体験と学習の拠点形成事業実行委員会
2010 「葛西城と扇谷上杉氏のかわらけ」『葛西城と古河公方足利義氏』雄山閣
- 塚田良道 1989 「忍城跡の発掘調査」『行田市郷土博物館研究報告』Vol1 行田市郷土博物館
- 中野晴久 1994 「生産地における編年について」『全国シンポジウム中世常滑焼をおって』資料集
2005 「常滑・渥美窯」『陶磁器から見る静岡県の中世社会』菊川城館遺跡国指定記念シンポジウム資料集
- 服部実喜 2008 「かわらけから見た北条氏の権力構造」『中世東国の世界3戦国大名北条氏』高志書院
- 藤澤良祐 1987 「本業焼の研究（1）」研究紀要VI 瀬戸市歴史民俗資料館
1988 「本業焼の研究（2）」研究紀要VI 瀬戸市歴史民俗資料館
1989 「本業焼の研究（3）」研究紀要VI 瀬戸市歴史民俗資料館
2002 「瀬戸・美濃大窯の再検討」『財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要』第10輯財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター
2008 「中世瀬戸窯の編年」高志書院
- 横田賢次郎・森田 勉 1978 「大宰府出土の輸入中国陶磁器について」『九州歴史資料館研究論集』4

圖 版



空中写真
騎西城跡と武家屋敷東側周辺



空中写真 KB4区
(南より)



同上
(真上)



2号溝 完掘



調査風景



同 取瓶
(土-680) 出土



同 桶の底 (木-5) 出土



同 白天目 (土-11) 出土



4号溝 完掘



10号溝 完掘



10号溝 漆碗出土



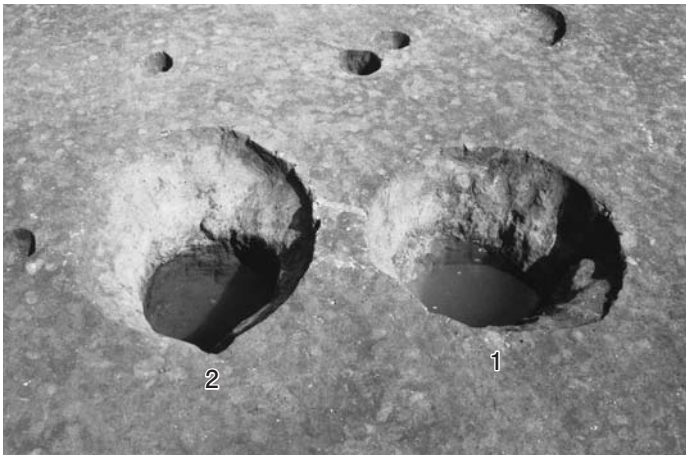
12号溝 完掘



9号溝 完掘



9号溝 堰状遺構



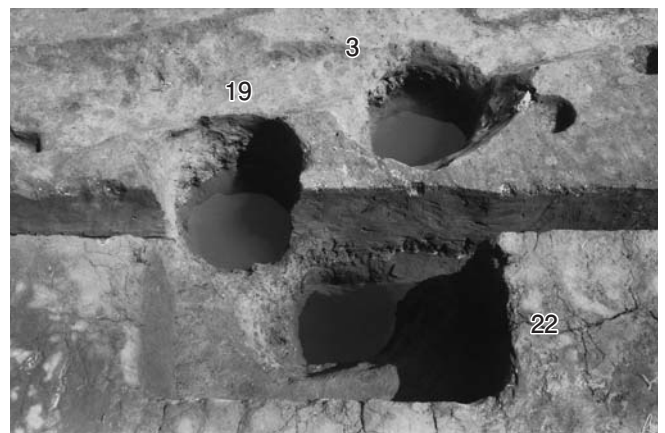
1・2号井戸 完掘



2号井戸 完掘



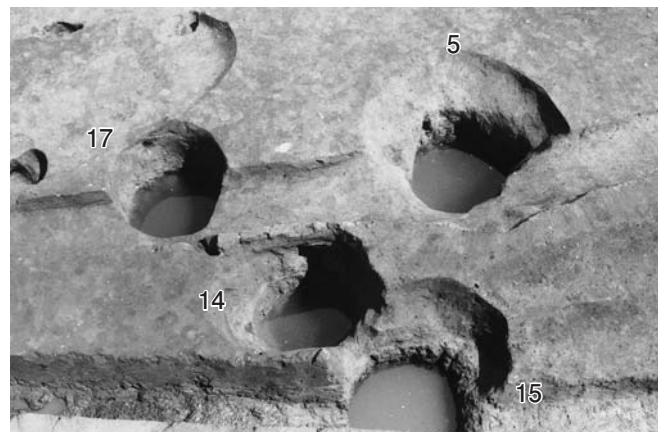
同 茶臼 (石-6) 出土



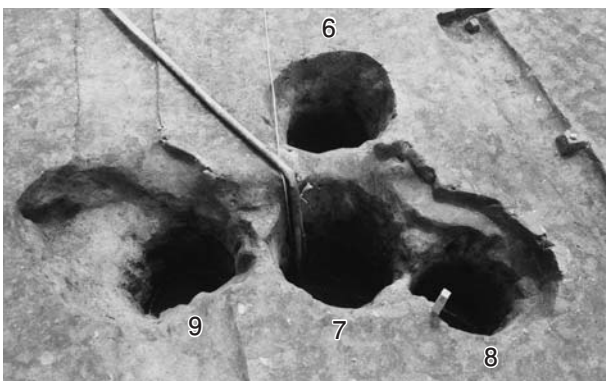
3・19・22号井戸 完掘



4号井戸 完掘



5・14・15・17号井戸 完掘



6・7・8・9号井戸 完掘



6号井戸 天目 (土-39) 出土



7号井戸 丸皿 (土-44) 出土



同 丸皿 (土-43) 出土



同 天目 (土-41) 出土



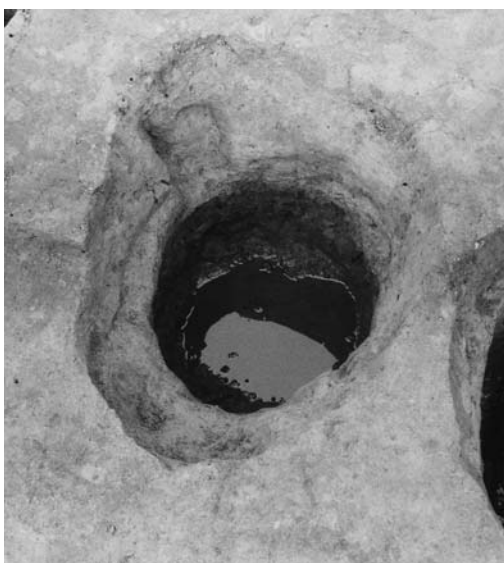
10号井戸 完掘



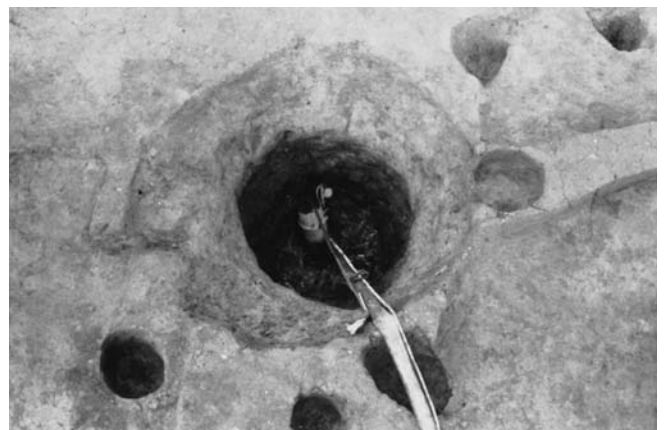
10号井戸 板碑 (石-141) 出土



11号井戸 完掘



12号井戸 完掘



13号井戸 完掘



14号井戸 完掘



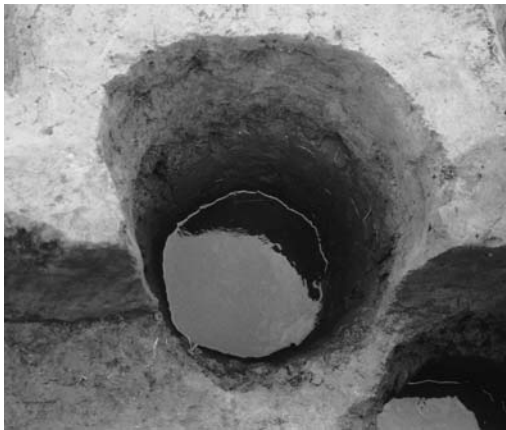
16号井戸 完掘



18号井戸 完掘



18号井戸 遺物出土



19号井戸 完掘



19・22号井戸 完掘



20号井戸 完掘



21号井戸 完掘



22号井戸 完掘



1号土壙 遺物出土



同 天目 (土-75) 出土



同 かわらけ (土-107) 出土



同 かわらけ (土-103) 出土



同 遺物出土

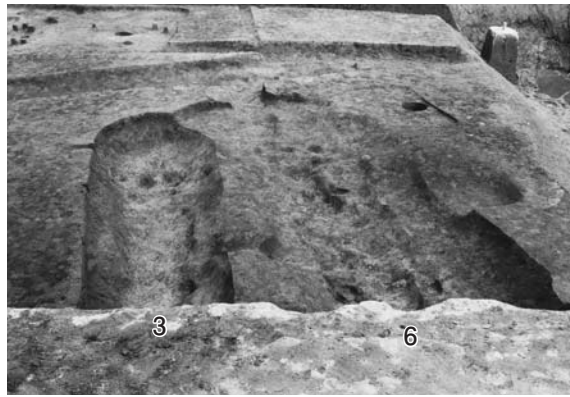


同 かわらけ出土



同 遺物出土





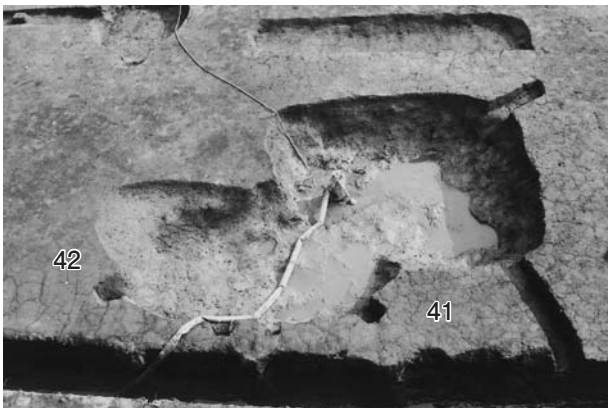
3・6号土壇 完掘



7号土壇ピット 完掘



10号土壇 完掘



41・42号土壇 完掘

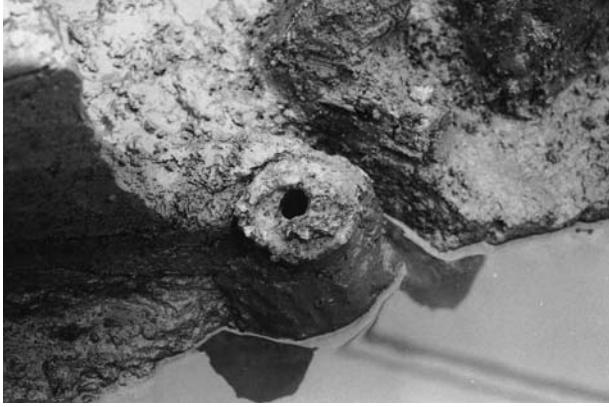


同 調査風景



同 遺物出土





41号土壇 ふいごの羽口 (土-683) 出土



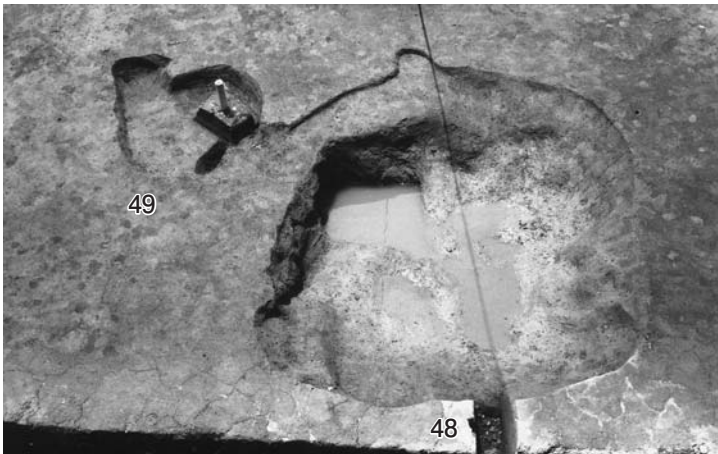
同 かわらけ (土-161) 出土



42号土壇 遺物出土状況



47号土壇 骨出土



48・49号土壇 完掘



48号土壇 丸皿 (土-169) 出土



同 かわらけ (土-171) 出土



53号土坑 完掘



55・56号土坑 完掘



同 丸皿 (土-184) 出土



同 丸皿 (土-185) 出土



同 加工材 (木-23) 出土



同 丸皿 (土-185) 出土



64号土壙 完掘



65号土壙 完掘



65号土壙 縁(金-76)出土



67号土壙 完掘



68号土壙 完掘



69号土壙 完掘



76号土壙 完掘



77号土壙 完掘



82号土壙 完掘



調査前風景



調査風景



1号建物跡



完掘（南側）



完掘（北側）



2号溝 完掘



2号溝 完掘



同 小柄 (金-96) 出土



同 かわらけ (土-363) 出土



3号溝 漆碗 (木-10) 出土



3号溝 肥前丸碗 (土-371) 出土



4号溝 肥前小坏
(土-382) 出土



5号溝 完掘



6号溝 完掘



6号溝 煙管 (金-65) 出土



7号溝 白木椀 (木-9) 出土



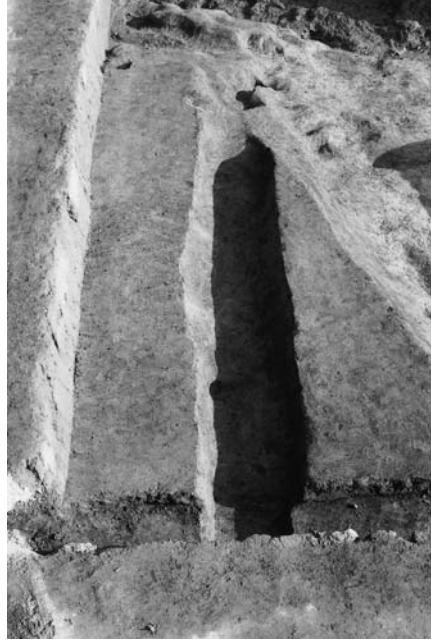
10号溝 完掘



11号溝 完掘



12号溝 完掘



14号溝 完掘



1号井戸 完掘



1号土壙 完掘



2号土壙 完掘



14号土壙 遺物出土状況



14号土壇 調査風景



同 かわらけ (土-415) 出土



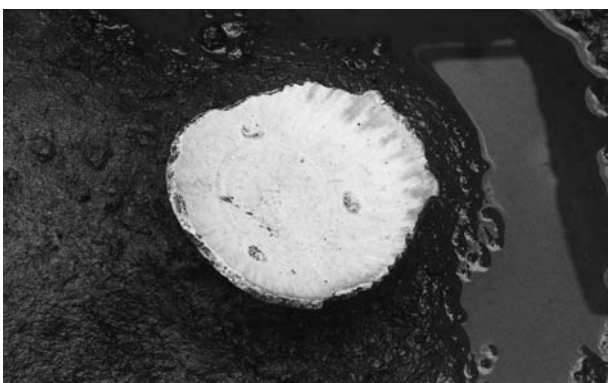
同 かわらけ (土-416) 出土



同 天目茶碗 (土-401) 出土



同 遺物出土状況



17号土壇 菊花皿 (土-441) 出土



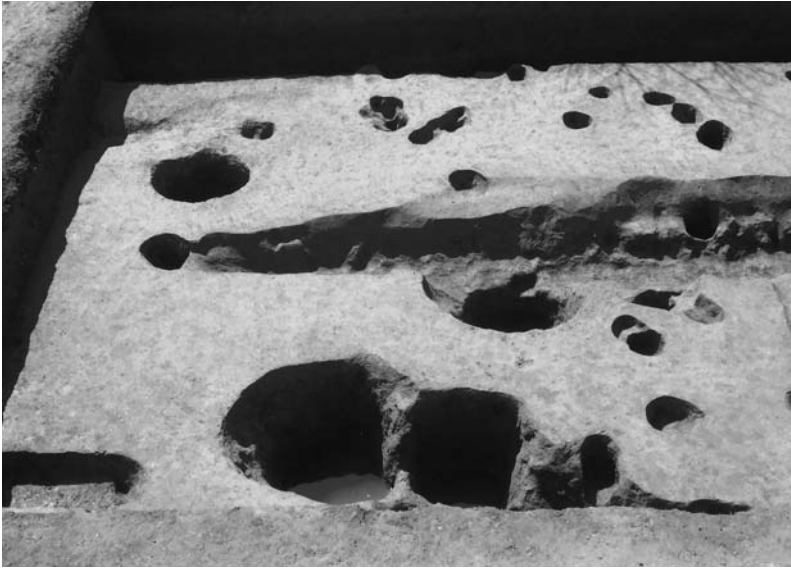
17号土壇 煙管 (金-62) 出土



調査前風景



B区 完掘



A区 完掘



A区 完掘



1号溝 完掘



1号井戸 遺物出土



1号井戸 完掘



2号井戸 完掘



3号井戸 完掘



3号井戸 遺物出土



4 (右) ・ 5 (左) 号井戸 完掘



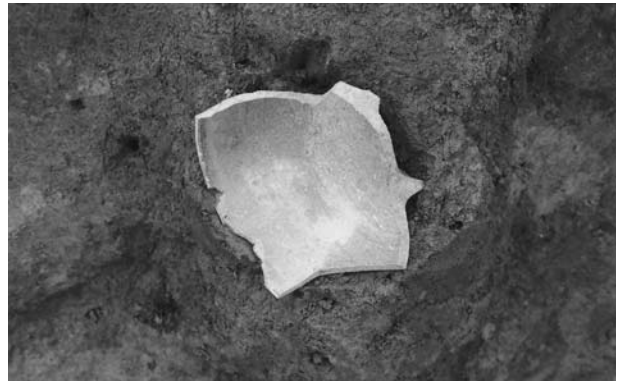
4号井戸 志野向付 (土-510) 出土



4・5号井戸 煙管 (金-69) 出土



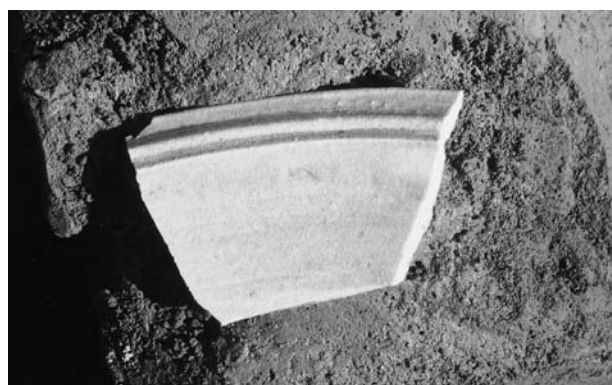
1号土壇 遺物出土



2号土壇 骨出土



8号土壙 (B区) 完掘



15号土壙 (包含層)
折縁深皿 (土-518) 出土



唐津大皿 (土-547) 出土



遺物出土状況



調査風景



調査前風景



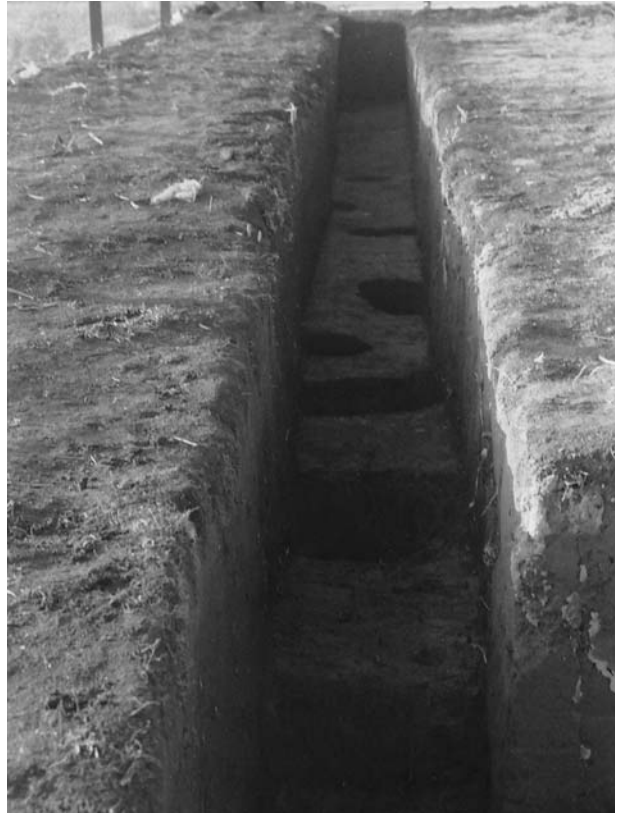
完掘 (北より)



完掘 (西より)



Bトレンチ (東より) 完掘



Cトレンチ (東より) 完掘



1号井戸 完掘



2号井戸 完掘

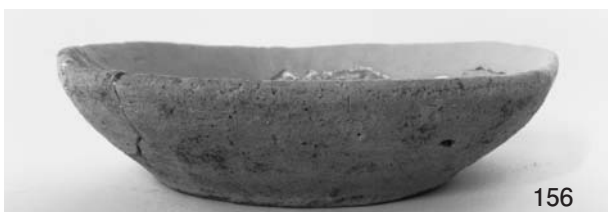


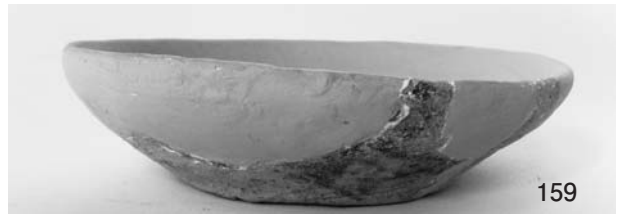
10号土壌 完掘



11号土壌 遺物出土















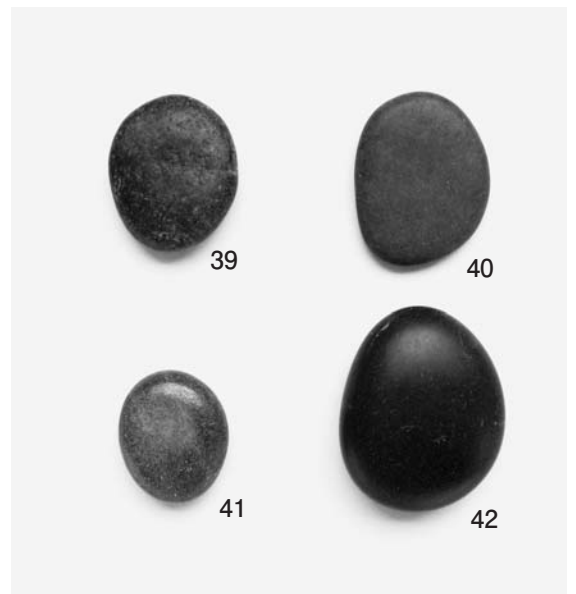
火打金



煙管

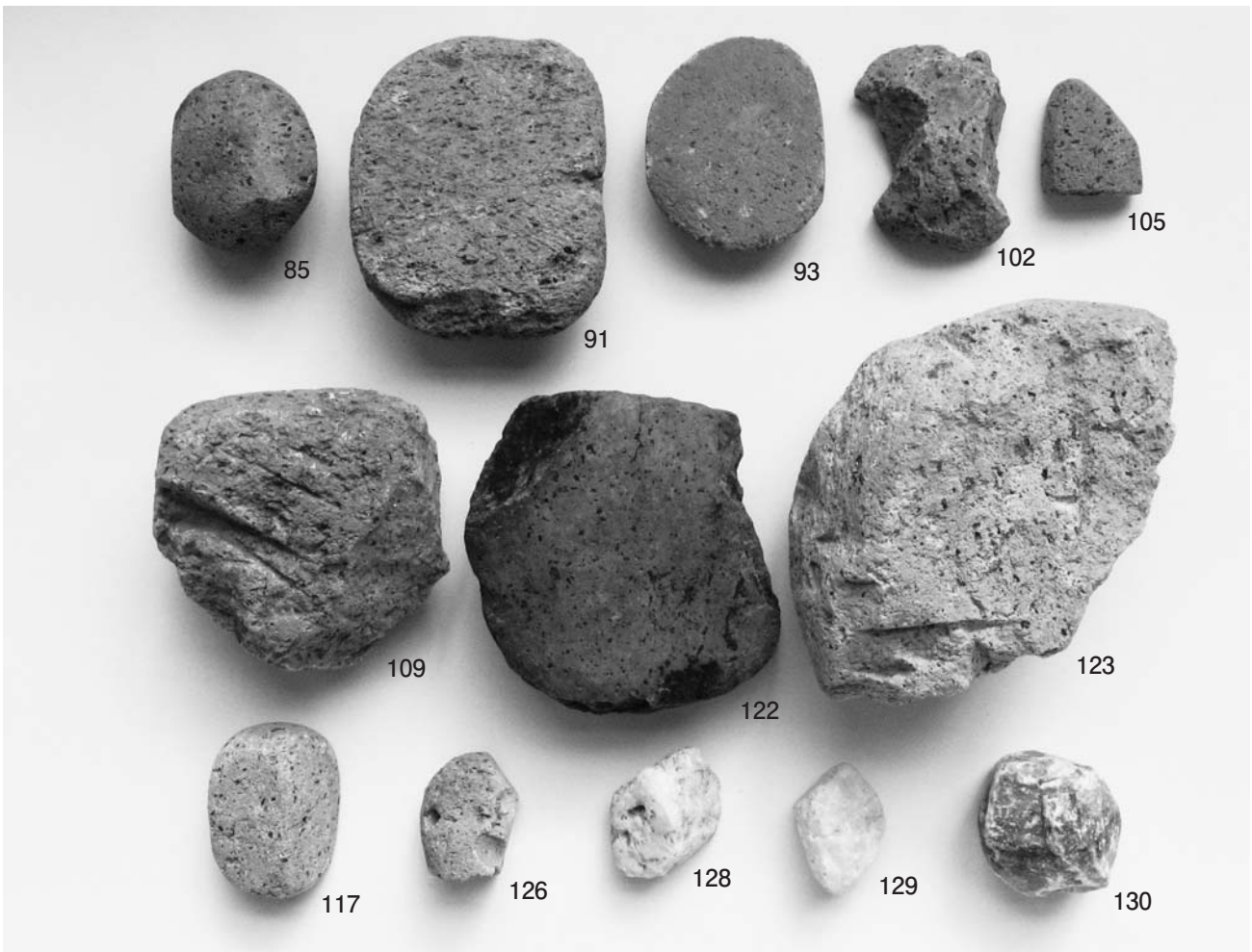


彈丸



石臼

碁石

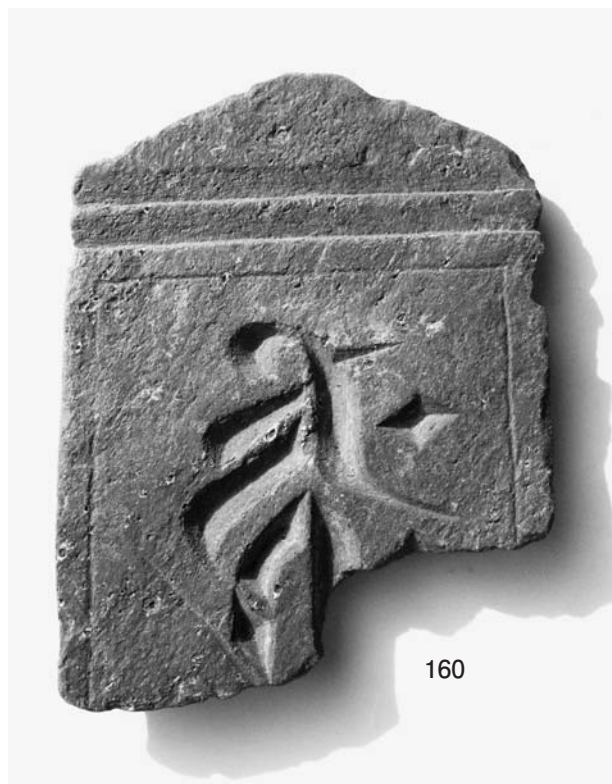




141



159



160



153



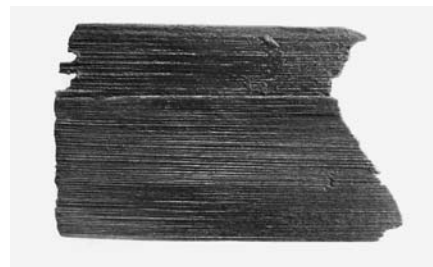
164



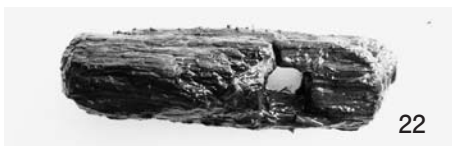
6



7



11



22



24



23

報告書抄録

フリガナ	キサイジョウブケンシキアト							
書名	騎西城武家屋敷跡							
副書名	KB4・5区 第15・26次発掘調査 -中近世編-							
巻次								
シリーズ名	加須市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第6集							
編著者名	嶋村英之 嶋村薫							
編集機関	加須市教育委員会							
所在地	〒347-8501 埼玉県加須市下三俣290番地							
発行年月日	西暦2013年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
きさいじょう 私市城 ぶげやしきあし 武家屋敷跡	さいたまけんかぞし 埼玉県加須市 ねごや 根古屋 第4区/字前 127・1261他 第5区/同112 ・113他 第15次/仮39-2 第26次/仮50-1	11421	070	36°6'6"	139°35'1"	19850201~0910	960	土地区画 整理
				36°6'8"	139°35'3"	19851007~ 19860131	595	
				36°6'6"	139°34'6"	19900213~0319	117	
				36°6'8"	139°35'4"	19921209~ 19930128	89	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
私市城 武家屋敷跡	城館跡	第4区中近世 第5区中近世 第15次中近世 第26次中近世	溝19井戸24土壇77 溝17井戸4土壇31 建物跡1 溝1井戸6土壇20 溝4井戸2土壇11	土器類・曲物・下駄・ 横槌・漆塗杓子・蘆民 将来符・鉄鏝・小札・ 弾丸・銭貨・煙管・火 打石・板碑等 土器類・弾金・煙管・ 銭貨 土器類・煙管・銭貨 土器類・桶・板碑	井戸埋戻祭祀?			
要約	文献による騎西城は1455年から1632年の約180年間に亘るもので江戸初期の絵図によりその城下は明らかとなっている。4区では主に16世紀中頃から17世紀初めの遺構が展開していた。5区ではL字状に巡る溝を確認した。他にその前後の時期の溝や井戸・土壇などの遺構を検出した。							

加須市埋蔵文化財調査報告書 第6集

騎西城武家屋敷跡

K B 4・5区 第15・26次発掘調査

—中近世編—

平成25年3月25日印刷

平成25年3月31日発行

発行 加須市教育委員会

〒347-8501 埼玉県加須市下三保290番地

印刷 関東図書株式会社